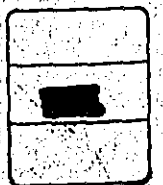


国際協力事業団
情報システム基礎調査
報告書(案)

昭和59年3月

国際協力事業団



国際協力事業団
情報システム基礎調査
報告書（案）

JICA LIBRARY



1033429[0]

昭和59年3月

国際協力事業団

| | |
|--------------------|------|
| 国際協力事業団 | |
| 受入 '84.10.29 月日 | 000 |
| | 00.7 |
| 登録No. 10784 | GAI |

国際協力事業団
情報システム基礎調査
報告書（案）

- I. 図書館機能の充実のための情報システム基礎調査
 - 1. 国際協力事業団図書整理マニュアル
 - 2. 国際協力事業団基本情報（コアジャーナル等）選定調査
 - 3. 図書館業務のコンピュータ化に関するシステム設計

- II. センターファイリング・システムの導入等に係る基礎概念設計

I. 図書館機能の充実のための 情報システム基礎調査

**1. 国際協力事業団
図書整理マニュアル**

国際協力事業団 図書整理マニュアル

| | | |
|------|---------------------|----|
| 1. | 図書資料選書基準 | 1 |
| 1. 1 | 本基準の目的 | |
| 1. 2 | 登録し、目録を作成すべき図書資料の範囲 | |
| 1. 3 | 登録しない持帰資料の処理方法 | |
| 1. 4 | テキストの範囲 | |
| 1. 5 | 雑誌 | |
| 2. | カード目録作成 | 3 |
| 2. 1 | 目録編成 | |
| 2. 2 | 目録の構成 | |
| 2. 3 | 目録カードの種類 | |
| 2. 4 | (ユニット)・カードの作成 | |
| 2. 5 | TEXTについて | |
| 3. | 装備 | 15 |
| 3. 1 | ラベル | |

1. 図書資料選書基準

1. 1 本基準の目的

この選書基準は、国際協力事業団図書資料室で登録して、目録を作成すべき図書資料の範囲を示したものである。

この選書基準は主として調査団の持帰資料の中から、図書資料室として管理し、利用者に提供すべき図書資料を選定する際に必要なものとして提示されたものである。但し、本基準は持帰資料以外にも適用する。

1. 2 登録し、目録を作成すべき図書資料の範囲

原則として、以下の各条件を満たす図書資料を登録する

i) 書名、著者、出版者が、表紙、標題紙、標題紙裏、奥付、前書きで明示されていること

i i) 図書・雑誌等の抜刷、一部分の複写物、国際協力事業団内部用として作成した翻訳ではないこと

但し、A c t 関係等の抜刷りは登録する

i i i) 30 ページ以上であること

但し、国際協力事業団の出版物とテキストは例外とする

1. 3 登録しない持帰資料の処理方法

2. に示した条件を満たさない持帰資料は、調査団別に、一括して受入順に棚に並べて管理する。これらの図書資料については、受入時に調査団別にリストを作成する。また、調査団持帰り資料については、調査団名から探索できるように、調査団持帰り資料リストと一括処理された持帰資料に対応する調査団コードを記述する。

一括処理された持帰り資料については、原則として、国際協力事業団職員以外には公開しないものとする。

1. 4 テキストは、原則として、表紙・標題紙・標題紙裏・奥付・前書きで、テキストであることが明示されているもの、および、前以って担当部課からテキストとして指定されたもの限り登録する。テキストとして受入れたもののうち登録しないものは、すみやかに提供者に返却する。

1.5 雑誌

雑誌は、定期刊行物受入カードを用いて登録する。年刊より出版頻度の高い定期刊行物を雑誌として扱い、巻号表示があれば年報もこれに含む。

2. カード目録作成

2.1 目録編成

i) 閲覧目録-----和洋混排

- a. 著者目録
 - b. 書名目録
 - c. 分類目録
 - d. 地域目録 (Shelf List)
 - e. 件名目録 (但し印刷カードにあるもののみ)
- 計5種類

ii) 事務用目録 (基本カード)

- a. 一般図書
- b. JICA作成報告書
- c. テキスト
- d. 持帰り資料
- e. 移住図書

2.2 目録の構成

目録は「記述」に原目を付加した目録カードを一定の順序に排列する。

- i) 和洋混排
- ii) 語順排列

2.3 目録カードの種類

i) タイプ (洋書) または手書き (和書) によるカード (記述ユニット・カード)

カードは、キハラー和井1002, 洋井1102を使用
(カードの色はどちらも白)

注; 複写のとき、まわり2~3ミリ写らないので注意する。

ii) LC-MARCカード (原目未記載のもの)

ジャパンマーク・カード

日販マーク・カード

流通センター・カード

iii) 継続図書はオープン・エントリーとはしないで、1冊1カードとする。

iv) 副本は登録しない。

v) つづきカードは原目を記載せず、請求記号と登録番号を記載する。

- a. カードの右上部に 1/2 (1枚目)、2/2 (2枚目) を記す。
- b. 和書の右下に、つづく (1枚目以降)、つづき (最後のカード) を記す。
- c. 洋書の右下に、see next (1枚目以降)、continued (最後) を記す。

2. 4 (ユニット)・カードの作成

i) 請求記号

- a. 二次資料-----地域コードの左にRを付けて混排（二次資料は、NDC03に該当するもののほか、事業団資料室より提示された、付録2「二次資料一覧表」に示されたものを含む）
 - b. 別置資料-----地域コードの左に記号を付けて混排（付録3「別置図書資料及び別置記号」参照）
 - c. 地域コード-----3桁コード（付録4「国際協力事業団地域区分表」参照）
 - ・2つ以上の地域にまたがる場合の優先順位
 - 1) 地域優先順位
 1. 開発途上国
 2. 先進国
 3. 東欧
 4. 世界および日本
（詳細は、付録5「地域優先順位」を参照）
 - 2) 内容が最も多いもの
 - 3) 量（ページ数）が同じ場合は最初のもの
- 注1) 同一区分内で、一次区分が標題に明記されていれば、一次区分を二次区分に優先
- 注2) 標題中に国名が明記されていない場合主たる内容の国名を優先し、総記(000)を副出する
- <例外>
- ・アラブにおける・・・エジプトが入っていても中東(300)
 - ・中南米における・・・中米(600)
 - ・アフリカの総記はアフリカ北東部(400)とする
 - ・東パキスタンが標題中であって、内容がバン格拉デッシュの場合バン格拉デッシュを優先し、パキスタンを副出
 - ・海洋は、2つ以上の地域にまたがる場合は上位区分とする
- 注3) 標題中に3つ以上の国名が表記されている場合、
- 1) 地域優先順位に従い、2つ迄を国レベルでとり、全体を包括する一次区分を副出する。
 - 2) 異なる一次区分にまたがる国名が表記されている場合は、2つ迄を国レベルでとり、世界総記を副出する。
- d. 分類コード-----原則としてJDC（付録6「事業団分類法」）に従う。分類は3桁に止める。分類表を更に展開する必要はない。
- e. 部課記号又は著者記号（アルファベットの頭文字）
 - ・部課記号は、付録7「報告書発行部課記号表」を参照
 - ・国際協力事業団設立以前の部課記号は、付録8「国際協力事業団報告書発行部課記号新旧対照表」参照
 - ・団体著者の場合、団体名の最初のアルファベット1文字とする
 - ・複合姓は前置詞等からとる。
- f. 請求記号には巻数表示はしない。
注) 請求記号は目録記述の一行上から記入する

i i) 事務用記号は請求記号の下に別記する

A. 一般図書の場合

- 1) 登録番号
- 2) 非公開のものはCRと記載
- 3) 部内資料、部内限、部内秘、等の記載が表題紙にあれば、CRと記載

B. JICA作成報告書の場合

- 1) 登録番号
 - 2) 部課記号
 - 3) 区分指定 公開：JR，取扱注意：CR(N)，非公開：SC、
CRおよびSCは下に管理番号(表題紙の右上部の数値)を記入
- 注1) 区分指定のCRが消されている場合はJRと記載
注2) 区分指定がJRで、部内資料等の記載が表題紙にある場合は、桂氏へ
- 4) 作成番号
 - 5) 管理番号
- 注) 部課記号と旧ラベル記載が矛盾する場合は、旧ラベル記載を採用する。
付録8「国際協力事業団報告書発行部課記号新旧対照表」を参照のこと。

C. 持帰資料の場合

- 1) 登録番号
- 2) 区分指定
- 3) 調査団コード

D. テキストの場合

- 1) 登録番号
- 2) JICAの出版物はB. JICA作成報告書と同様の扱いとする。

注1) 登録番号は5桁の数字を用い、ナンバリングを用いて下記のように記載する。番号は資料の種類ごとに別番号とする。(プラスE型A字体5桁)

| | | |
|-----------|------|---------------|
| 一般 | | A 0 0 0 0 1 ~ |
| JICA作成報告書 | | 0 0 0 0 1 ~ |
| テキスト | | B 0 0 0 0 1 ~ |
| 持帰資料 | 図書 | C 0 0 0 0 1 ~ |
| | 鉱工業 | |
| | 社会開発 | D 0 0 0 0 1 ~ |
| | 地図 | F 0 0 0 0 1 ~ |
| | 鉱工業 | |
| | 社会開発 | H 0 0 0 0 1 ~ |
| 長期貸出資料 | | N 0 0 0 0 1 ~ |

注2) マイクロ作成資料については、カードの右下にⓈの印を押す。
マイクロが出来て来たら基本カードを複写してマイクロのカードを起こす。

i i i) 目録記述

A. 洋書（日本語以外の言語で書かれた図書はすべて洋書扱いとする）

- a. 原則としてAACR2に準拠する。ただしAlternative Heading（記述ユニット・カード）方式を採用する。
- b. 記述はAACR2第2レベルとする。

c. 使用言語

- 1) 標題に2つ以上の言語が併用されている場合は、内容で最も多く用いられている言語で目録を記述する
- 2) 内容での使用頻度が同程度であれば、以下の優先順位に従う
1. 日本語（和書扱い）、2. 英語 3. その他の言語
- 3) アルファベット表記される言語の図書資料は、原語で記述する
- 4) その他の特殊言語は英語に翻訳する。
- 5) 翻訳外注の範囲は表紙・標題紙・標題紙裏・目次・前書
- 6) 著者等の固有名詞は、原語のよみのアルファベット表記

d. 記述内容

本タイトル＝並列タイトル^{*1}：タイトル関連情報／最初の責任表示
；2番目以降3番目迄の各責任表示、－版表示／版に関する最初の責任表示、－最初の出版地など；最初の出版者など、出版年など^{*2}

資料の数量^{*3}；その他の形態的細目^{*4}；大きさ、－（各シリーズの本タイトル；シリーズ番号、サブシリーズのタイトル、サブシリーズ番号）、
注記^{*5}－ISBN.

- *1 必要に応じて記述する。
- *2 出版年とコピーライト年が異なる場合は、両方を記述する。コピーライト年にはcをつける。
- *3 前付けを含め3つまで。ページがない場合はl v.、ページが3つ以上の場合はl v. (various pagings)、ルーズリーフの場合はl v. (loose leaf)、箱入の場合は、
sheets in a boxとし、箱単位で登録する。
- *4 マイクロ、フォトコピー、ファイル
- *5 with summary, with translation
JICA作成報告書の場合のみ調査団長名
At head of title: 標題紙中の標題の前（上）にあるもの

1) 標題

- ・原則として標題が国名で始まる場合は、国名と標題が異なる行に書かれていれば、国名を注記に示す

At head of title: 国名

国名と標題が連続して同一行に書かれていれば、国名からを標題とみなす。

- ・標題が年号／回次で始まる場合
 - 1) 改行されている場合は、標題、年号／回次とする
 - 2) 同じ行に続けて記されている場合は、そのまま記述する
ただしこの場合は標題のトレーシングの2つめとして指示をする

2) 責任表示

- ・団体著者が出版者と同一の場合、出版者としてのみ記述する
ただし標目では著者として採用する。
- ・表題紙では団体著者名のみ記載であっても、前書／後書に著者が明らかであれば、責任表示として〔 〕で記述する。
- ・団体著者が政府機関の場合は原則として省庁レベルまで記述する。
- ・国際協力事業団の出版物については、表題紙に部課名・下部組織まで記載されていれば、以下の方法で処理する。
 - a. 国際協力事業団本部の出版物については、部課名を省き、本部の出版物として扱う

[Tokyo] : Japan International Cooperation Agency

- b. 青年海外協力隊の出版物については、部課名、訓練所名を記述する

[Komagane] : Komagane Training Center, Japan Overseas Cooperation Volunteers, Japan International Cooperation Agency

- c. 国際協力事業団の、下部組織の出版物については、下部組織名を記述する（付録9「付属機関英文名称一覧表」を参照のこと

出版地：下部組織名の訳称, Japan International Cooperation Agency

注1) とともに団体著者で共著の場合はなかに国際協力事業団があれば、これを先頭に3つまで記述する。

注2) 出版者が2つ以上の場合、出版地は最初（または優先）の出版者のもののみを記述し、2番目以降の出版者は出版者名のみ

3) 出版地

- ・国際協力事業団の下部組織または青年海外協力隊の出版物で所在地が東京以外の町村であれば、町／村名，県名 を記述

表題紙にある場合 Sakura mura, Ibaraki ken

表題紙にない場合 [Sakura mura, Ibaraki ken]

B. 和書

a. 原則として、日本目録規則新版予備版に準拠する。

1) 標題

・ 標題が国名で始まる場合、表題紙どおりの記号法を用いる。

・ 標題が年号／回次で始まる場合

1) 改行している場合は 標題 年号／回次

2) 同一行に続けて記されている場合は 表題紙どおり
ただし標題のトレーシングの2つ目として指示

l. t., 標題 . . .

2) 責任表示

・ 団体著者が出版者と同一の場合、出版者としてのみ記述する
ただし標目は著者として出す。

・ 表題紙では団体著者名のみ記載であっても、前書／後書に
著者が明らかであれば、責任表示として〔 〕で記述する。

・ 国際協力事業団の出版物については、洋書の場合と同様に扱う

・ とともに団体著者で共著の場合は国際協力事業団があれば、これ
を先頭に3つまで記述する。また出版者は国際協力事業団とす
る。

・ 個人著者名のよみをヘボン式ローマ字表記でトレーシングに
指示する II. Katsura, Keiso.

3) 出版地

・ 出版地が東京以外の町村であれば、町／村名 県名 を記述

表題紙にある場合 桜村 (茨城県)

表題紙にない場合 (桜村 (茨城県))

・ 国際協力事業団の下部組織が出版者の場合、所在地が東京以
外であれば上記に従う

i v) 標目指示 (トレーシング)

A. 標目の範囲

- 1) 書名：並列書名、シリーズ名、コース名、セミナー名のみ
ただし、標題が年号／回次で始まる場合は、それ以降を第2の書名として指示する
 - ・シリーズ名は必要に応じて書名として副出する。モノグラフ・シリーズも図書扱いとし、シリーズ名を副出する。文庫はシリーズとはしない。
- 2) 著者（3名まで）、編纂者（1人）等（訳者は標目としない）
和書の個人著者名は、よみをヘボン式ローマ字で指示する。
 - ・シンポジウム名、セミナー名等は、タイトル中および表題紙・表題紙裏・奥付に記載されていれば、著者として副出する。
 - ・著者の生没年は、標目に記さない。
 - ・団体著者が政府機関の場合は、原則として国名と省庁名を記述する。省庁名の正式名称は、"World wide Government Directory" (1981) を参照。団体著者が特殊法人の場合は、国名は不要。
注) 国際協力事業団と他の機関が共著者の場合、事業団を優先
- 3) 地域コード（3つまで）
- 4) 分類コード（2つまで）
- 5) 件名（既成カードにあるものすべて）

B. 記載の形式

注) 原則として下から2行目の第2線から記述する

- 1) 標題 I. t., 2番目以降の標題指示…
- 2) 著者 II. a., 2番目以降の著者名指示.
- 3) 地域コード III. g., 2番目以降の地域コード
- 4) 分類コード IV. c., 2番目の分類コード
- 5) 件名 V. s. 1. 件名 (ヘボン式) ., s. 2. 件名 ., s. 3. 件名.

例

副出がない場合：洋書／団体著者の和書

I. t. II. a. III. g. IV. c.

個人著者の和書

I. t. II. Katsura, Keiso. III. g. IV. c.

副出がある場合：個人著者の洋書

I. t., 第2標題… II. a., 第2著者.
III. g., 第2地域コード. IV. c. 第2分類.

個人著者の和書

I. t., 第2標題… II. 第1著者よみ., 第2著者よみ. III. g., 第2地域コード. IV. c., 第2分類.

団体著者

I. t., 第2標題… II. a., 第2著者…,
第3著者… III. g., 第2地域コード. IV. c., 第2分類.

v) 登録

基本カードの事務用記号の位置に登録番号をナンバリングを用いて記載するとともに、図書資料に登録印を押し、登録番号、請求記号、を所定の位置に記載する。登録印の押印位置は、1) 表題紙裏下から1/3の位置が登録印の上線 2) 同紙の他の位置 3) 遊び紙 4) 表紙裏 5) 標題紙の近辺の優先順位に従う。

原簿の所定の位置にナンバリングで登録番号を記入し、さらに必要事項を記述する

v i) カードの複製

標目指示に従い必要な枚数をカードの裏に記入する。必要枚数を複写し、それぞれに標目を付加する。和書の標目はヘボン式でローマ字化する。原則として標目は第一線の位置(書名の上)より記述し、一行以内におさめる。

v i i) カードの切り込み

基本カード、副出カードともに、2枚目以降のカードに半月の切り込みを入れる。

v i i i) 標目の記載

1. 和書の標目は、ヘボン式ローマ字で記載し、語単位で分ち書きする。
2. 洋書の著者が、外国省庁の場合は、「国名、省庁名」とし、国名は付録4「国際協力事業団地域区分表」に準拠する。省庁名は“World wide Government Directory”を参照。特殊法人の場合は国名は不要。和書の場合、著者が日本の省庁であれば、国名は不要。紛争・独立等で国名が変更したものは、旧国名での出版物は基本記入にしたがう。団体著者の標目は、記述の本体に準じて、原則として、フル・ネームで記載する。団体名の変更および、言語による名称の不整合については、現物に準拠して標目を記載し、相互参照カードを作る。

x i) カードの排列

- a. 著者名のカードは、それぞれアルファベット順に、和洋混排、語順
排列とする。
排列順位；著者名、書名、逆年代、分類コード、地域コード
同一コードは書名のアルファベット順

国際協力事業団作成報告書の場合は
排列順位；著者名（K）、部課記号、逆年代、地域コード、分類コード
同一コードは書名のアルファベット順
- b. 書名カードは、それぞれアルファベット順に、和洋混排、語順排列
とする。
排列順位；書名、著者名、シリーズ番号、逆年代、地域コード、分類コード、
著者記号または部課記号
同一番号は著者名のアルファベット順
- c. 分類カードは番号順（昇順）
排列順位；分類、地域、著者記号または部課記号、書名、逆年代
- d. 地域カードは番号順（昇順）
排列順位；地域、分類、著者記号または部課記号、書名、逆年代
- e. 別置記号等のカードは混排
- f. 事務用基本カードの排列順位
一般図書；登録番号順
持帰資料；書名のアルファベット順
JICA作成報告書；登録番号順
テキスト；登録番号順

2.5 TEXTについて

- 1) コース名のトレーシングは標記されているとおりにする

<例> Group Training Course in Agricultural Land...

誤 t., Agricultural...

正 t., Group...

- 2) Osaka International Training Centre, Japan International Cooperation Agency の類のトレーシングは、以下のとおりとする

a., Osaka...

- 3) 出版年の表示は、標題紙、表紙等の優先順位に従ってとるが、表示のないものは、序、内容からとり、[]又は[?]を補記する。疑問のあるものは、桂氏に聞く。

- 4) セミナー名、コース名は、国際協力事業団の場合、ほとんどのものを叢書の類としてみなしており、セミナー自体が意見・主張をもたないので、Titleの所へトレーシングを出す。

- 5) タイトル中にコース名が含まれているものは、トレーシングに出す。また、頭からコース名が出ている場合もトレーシングに出す。

- 6) Uchihara International Center, Japan International Training Centerの出版地は、Uchihara machi, Ibaraki ken とする。

3. 装備

3.1 ラベル

a. 図書目録カードの請求記号の通りに手書ラベルを作成する。

◇ 記号入カラーラベル（角丸型）を使用。

- | | |
|---------------|-------|
| 1) 一般図書 | 黒色 |
| 2) 国際協力事業団出版物 | オレンジ色 |
| 3) 持帰資料 | 青色 |

b. 原則として下から1 cmの背文字が隠れない位置にラベルを貼る。

c. 本の背がうすくラベルが貼れない場合、又、別置記号Lの場合は、表表紙にかかるようにする。
読み取れない場合は原則として表紙左下から1 cmに貼る。

d. 背が、クロス製や金文字のものはビニール糊を塗布する。

e. 正誤表----- 適当な場所に貼る。

f. 挿し込み図表----- 裏表紙の裏に適当な大きさのポケットをつけ
それらを、その中に収める。

g. 背文字の記入

原則として、背表紙に番名のないものは記入を補う。

h. ブックジャケットは、必要部分を切りとって表紙裏に添付する。

2. 国際協力事業団基本情報 (コアジャーナル等) 選定調査

2. 国際協力事業団基本情報（コアジャーナル等）選定調査

| | |
|---------------------|---|
| 1. 調査の目的 | 1 |
| 2. 調査の方法 | 1 |
| 3. 調査結果 | 1 |
| 3.1 事業団における各資料の利用状況 | 1 |
| 1) 資料の種類 | |
| 2) 資料の内容 | |
| 3.2 コアジャーナル・リスト | 7 |

付録資料

| | |
|-------------|----|
| 基本参考図書資料リスト | 22 |
|-------------|----|

1. 調査の目的

専門家、調査団、各事業部の情報に関するニーズについて調査検討を行い、事業団の図書館として対応すべき範囲を整理し、中心的雑誌（コアジャーナル）、基本参考図書のリストを作成する。

2. 調査の方法

組織規定、職務規定の分析を行い、事業団内部の組織機構上、想定される情報需要構造を把握した。また、標本調査法による利用者のインタビューを行い、情報ニーズの把握に努めた。

3. 調査結果

3. 1 事業団における各資料の利用状況

1) 資料の種類

資料の種類は、内部作成資料、持帰り資料、公的機関の刊行物、一般刊行物に大別された。

内部作成資料とは、事業団内部で作成される資料で、大部分が報告書で占められる。その他に事業団の年報や調査団作成の地図などが含まれる。

持帰り資料とは、調査団が現地で収集してきた資料で、図書、地図、パンフレットなど多種にわたる。

公的機関の刊行物とは、国際協力機関、国内各省庁、関係研究所、学協会の出版物をさし、単行書、雑誌、レポート類などがある。

一般刊行物とは、公的機関の刊行物以外の雑誌及び図書である。

| 資料の種類 | | 具体例 | |
|--|--|--|--|
| 1. 内部作成資料 事業団内部で 作成された資料、 一部は一般向けに 販売されている | 報告書 | 事前調査報告書 本格調査報告書 プロジェクトの報告書 | 事前調査団の報告書。 TOR, S/Wなどを 含む。 本格調査団の報告書。 Prposal, Inception Report, Progress Report, Interim Report, Draft Final Report, Final Report な どがある。 |
| | その他 | 任国事情 JICA年報 地図 | 各国の一般事情。 国際協力総合研修所で オリエンテーションの ために作る。 各年のプロジェクトの 簡単な説明など。 調査の基礎資料となる。 設計用などに使う。 |
| 2. 持帰り資料 現地で寄贈されたり、購入した資料 | | 形態としては、図書、地図、パンフレットな ど様々である。 | |
| 3. 公的機関の 刊行物 | 国際協力機関 の出版物 国内関係研究所 国内各省庁 | 世界銀行 OECD 国連 ODA GGZ AID 海外経済協力基金 アジア経済研究所 外務省 関連省庁 | annual report, 開発報告書 UNDP (国連開発計画) 海外経済協力便覧 機関誌 任国事情 レポート類 |

| | | | |
|----------|---|--------------------------------------|---|
| | 学協会 | 国際協力推進協会 関連分野の学会 | 協会誌 学会誌 |
| 4. 一般刊行物 | 雑誌 「JICA逐次 刊行物目録」参照 図書 | 一般誌 専門誌 各分野の概論 的なもの | 世界週報 エコノミスト 国際開発ジャーナル 各分野の専門雑誌 (Practicalなもの) |

2) 資料の内容

(1) 内部作成資料

ここでは内部作成資料を、各事業部作成の報告書、事業団の過去のデータ・実績に関する資料、地図に分けて、それぞれについてまとめた。

①各事業部作成の報告書

<利用 目的 >

- ・最終報告書は事業評価のため使う。(企画)
- ・ " 調査計画 " 。(農林計)
- ・新しいプロジェクトに関連した過去の調査報告書は部内、他部のものとも使う。
(開発2、農林計)
- ・社会開発部の報告書をよく見る。(鉱工業、農林計)
- ・事前調査報告書は本格(実施)調査の段階の業務指示にとって重要。(鉱工業)
- ・総合プロジェクトの計画のために、対象地域の過去の調査報告書をまとめて利用する。
(地域)

- ・Final以前の報告書も必要とする。(開発2)
- ・Finalが出た時点で、それ以前の間接報告書等は捨てる。(開発1)

<利用方法・利用頻度>

- ・自分の部内の過去の報告書は部の倉庫保管のものを日常的(2, 3日に一度)に見に行く。(開発2)
- ・自分の部作成のものは部内、他の部のものは担当者か図書室で利用する。しかし秘扱いは担当部課の許可が必要なので利用しにくい。(開発1)
- ・報告書は部内のものを利用している。(農林計)
- ・国別にまとまった報告書は図書室で利用。(地域)

<保管>

部内及び関連部課で作成した報告書、関連資料類は部内で整理・分類・保管している。

(農林計)

②事業団の過去のデータ・実績に関する資料

- ・企画部の作成した任国事情でその国の一般事情を知る。(開発1)
- ・派遣事業部で相手国に行ってきた専門家の書いたものを見せてもらう。(農業、林業)
- ・派遣調査団一覧(表)を企画部に問い合わせる。(開発1)
- ・調査団の過去の概要表を企画部に見に行く。(開発2)
- ・事業団の年報を過去のプロジェクトの概要を知るために図書資料室で利用する。
(開発2)

③地図

- ・図書室にあるものは利用するが、足りない所は、調査の時、測量して作成する。
(鉱工業)
- ・プロジェクト別に地図を収集しているから、重複している可能性が高い。(開発1)
- ・地図作成途上の観測データが保存されず、散逸しているのは無駄である。(開発1)

(2) 持帰り資料

<収集>

調査団が相手国より寄贈され、また購入することで入手する。この場合、各調査団ごとに収集するので、重複して収集されている可能性が高い。(開発1、開発2、地域、企画)

<利用目的>

- ・報告書作成のために利用される。(地域、開発1)
- ・地図は計画段階だけでなく、調査実施の際にも利用される。(開発1)

<保管>

- ・コンサルタントが収集したものも事業団がすべてもらいうける。(鉱工業)
- ・プロジェクト進行中は手元におき、最終報告書が完成後、資料室に納入する。
(鉱工業、地域、開発2)

<問題点>

- ・一度図書資料室に納入されると、整理されていないので、再利用ができない。
(開発1、鉱工業)

(3) 公的機関の刊行物

これらの資料は開発1、開発2、地域、鉱工業、農林計で、利用目的、入手方法、保管等がほぼ同じため、一括して記入、特に課によって異なる場合のみ、後ろにカッコをつけて、その課の略称をつけた。

<収集>

- ・関連団体からの寄贈、もしくは電話による依頼。
- ・地域課では意図的に一般指標を収集するようにしている。(地域)

<利用目的>

- ①一般事情の把握 相手国の風俗・習慣については、特に外務省の任国事情を使う。これは派遣される調査団が予備知識として利用する。
- ②一般的統計指標の利用 相手国の統計（人口、資源他）は主に国際協力機関の出版物から得られ、これは特に調査報告書、プロジェクト報告書作成のために必要とされる。
- ③途上国の開発状況を知るために、国際協力機関の年報他を利用する。
- ④専門分野に関する情報を得るため、関連省庁のレポート、学会誌、研究所の出版物を利用する。現在の調査計画や報告書作成の段階で特に必要とされるわけではないが、今後の計画、企画に重要である。

<利用方法>

- ・部内で回覧する。
- ・地域課に問い合わせる。（開発1）
- ・図書室のものを利用する。（鉱工業）

<保管>

- ・同じ階の倉庫や部内のキャビネットの中に保管している。

(4) 一般刊行物

①雑誌

<収集>

・各部で国際協力についての一般雑誌、専門的実践的な情報については専門雑誌を購入している。また、官公庁から出向している職員については、その官公庁や関連団体から専門雑誌が寄贈されている。雑誌の種類についての満足度は部により異なり、“現在の種類で充分である（鉱工業課）”という意見と“専門雑誌をもっと増やして欲しいが、予算が少ないのでとれない（開調第1課）”という意見があった。

<利用方法>

- ・部内で回覧し、各自必要なものはコピーをとる場合もある。

回覧について“専門雑誌は、課長または課長代理クラス以上しか回らない”（開調第1、2課）という話であった。

<利用目的>

- ・JICAの活動の成果や最新の専門情報を取り入れるため。（開調第2課）

<保管>

- ・部内の本棚におく。（開調第2課）

②図書

<収集> 2種類（A・B）に分けられる。

A；各部でプロジェクトに必要な図書を関連省庁からもらいうける。
各分野の概論的なものは関連省庁からもらいうける。（開調第2課）

B：資料室で収集している。

一般図書を多く収集して、早く整理してほしい。（農林開発協力課）

各専門分野の概論的なものは、資料室で網羅的に収集してほしい。（開調第2課）

<利用目的>

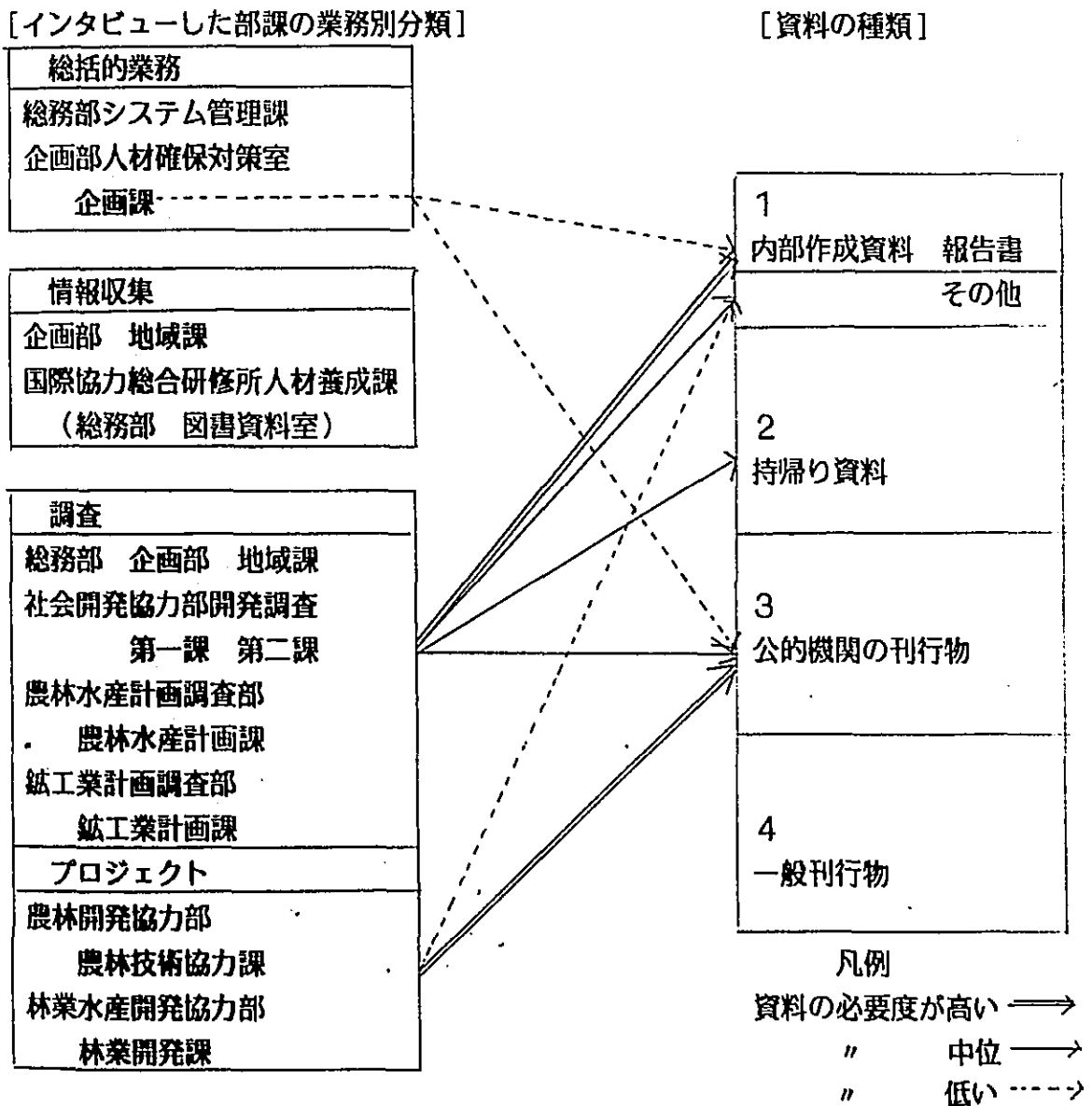
A、B：各分野の概論的情報を得る。（開調第2課）

<利用・保存>

Aは、担当者が利用し、自分の机または部内で保管する。

Bは、資料室で利用、保管する。

図1 関連部課とその利用資料



3. 2 コアジャーナルリスト

国際協力関係主要雑誌（和雑誌）

以下の方法で調査し、主要雑誌を別表のように選択した。

(1) JOINT（経済文献研究会）、産業経済インデックスー産業経済雑誌主要記事索引（日本開発銀行）、雑誌記事索引（国立国会図書館）の収録誌から国際協力関係雑誌を選択。

(2) 日本開発銀行中央資料室編「産業情報総覧」（日外アソシエーツ）の「海外と日本」項に掲載されている記事、論文の掲載誌を集計、選択。

別表のリスト中、すでに国際協力事業団が所蔵している雑誌には*を付し、未所蔵誌に解説を加えた。なお、解説は、雑誌本体および「83「雑誌総かたろぐ」をもとにした。

別表：

*ESP

ICC月報

*アジア経済

*アジア交流

*アジアトレンド

*アジア研ニュース

アナリスト

*エコノミスト

エネルギーフォーラム

*海外経済情報

*海外就業情報

*海外市場

*海外投資研究所報

外国の立法

*外務省調査月報

*金融財政事情

*経済と外交

国際開発ジャーナル

工業立地

国際金融

*国際資源

*国際問題

*資源

資源とエネルギー

*ダイヤモンド

*地域開発ニュース

*調査月報（日本銀行）

*通産ジャーナル

通産省公報

*東京銀行月報

*ファイナンス

貿易と関税

*貿易と産業（貿易政策の誌名変更）

ラテンアメリカ時報

ICC月報

刊行機関：国際商業会議所日本国内委員会
(東京 313-8585)

創刊年：1956 刊行頻度：月刊

備考：国際商業会議所の機関誌。同会議所の活動状況、国際経済を扱っている。
会員配布および直販。

アナリスト

刊行機関：(社)経済発展協会(東京265-5701)

創刊年：1953 刊行頻度：各月刊

備考：投資、証券の専門誌。外国事情も掲載される。会員配布および直販。
1号850円。

エネルギーフォーラム

刊行機関：電力新報社(東京572-6871)

創刊年：1955 刊行頻度：月刊

備考：電力業界、石油等のエネルギー業界、エネルギー需要業界を対象とした経営、政策、
技術の専門誌。一部550円。約43部発行。

外国の立法

刊行機関：国立国会図書館調査立法考査局

創刊年：1962 刊行頻度：隔月刊

備考：各国の法律、議会、立法、警察等の諸制度に関する論文を収録。「外国法令関係国
内文献目録」が掲載されている。市販されていない。

国際開発ジャーナル

刊行機関：国際開発ジャーナル社(東京593-2206)

創刊年：1967 刊行頻度：月刊

備考：開発途上国の経済、社会、政治について掲載。

1号 750円。年間 9,000円。発行部数 2,200部。

工業立地

刊行機関：日本立地センター(東京)

創刊年：1962 刊行頻度：月刊

備考：日本立地センターの機関誌で、工場の立地に関する総説、解説、ニュース、海外情
報、統計などを掲載している。1号 400円。

国際金融

刊行機関：外国為替貿易研究会（東京241-7721）

創刊年：1961 刊行頻度：月2回刊

備考：外国為替貿易研究会の機関誌。為替、金融、貿易の国際動向、統計等を収録。会員制。配布数 6,000部。

資源とエネルギー

刊行機関：資源エネルギー問題研究所
（東京 666-7785）

創刊年：1977 刊行頻度：季刊

備考：資源とエネルギーに関する情報、海外動向、論評などを掲載。直販。
一号 2,500円。配布数 2,000部。

通産省公報

刊行機関：通商産業調査会（東京543-5821）

刊行頻度：日刊

備考：通産省大臣官房広報課の公報紙。通産省関係の法令、公示、通達等およびその解説、審議会等の答申、調査資料を掲載。年間 41,000円。直販。

貿易と関税

刊行機関：日本関税協会（東京 263-7221）

創刊年：1953 刊行頻度：月刊

備考：貿易、貿易為替、関税に関する国内、国外の経済、動向の解説を掲載。直販。
年 6,660円。

各専門分野の主要雑誌（洋雑誌）

国際協力事業団の主要業務に対応する専門分野に対応する主要雑誌を選択した。

選択にあたっては、Science Citation IndexのJournal Citation Report（1982）による総引用数、Impact Factor（論文あたりの引用指数）、およびUlrich's International Periodical Directory21版（1982）をもとにした。

分野別の内訳は以下の通りである。

| | |
|-------|----|
| 社会開発 | 7誌 |
| 医学・医療 | 12 |

| | |
|----------|----|
| 農薬 | 16 |
| 林業 | 4 |
| 水産業 | 1 |
| 畜産業 | 2 |
| 鉱工業 | 5 |
| 資源・エネルギー | 7 |
| 技術移転 | 3 |

選択された専門雑誌を、誌名のアルファベット順にリストし、解説を加えた。解説は、Ulrich's を参考にした。

Acta Tropica

刊行機関：Schwabe und Co. (スイス)

創刊年：1944 刊行頻度：年4回

言語：英語 ISSN：0001-706X

備考：熱帯地域を対象とする生医学の専門誌。年156フラン。

Agricultural Engineering

刊行機関：American Society of Agricultural Engineers (米国)

創刊年：1920 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0002-1458

備考：農業工学の専門誌。配布数 12,800部。

年18ドル (非会員)。UMI からマイクロフィルム入手可能。

American Journal of Agricultural Economics

刊行機関：American Agricultural Economics Association (米国)

創刊年：1919 刊行頻度：年5回

言語：英語 ISSN：0002-9092

備考：農業経済に関する協会誌、年35ドル

配布数6,850。マイクロフィルム入手可能。

American Journal of Epidemiology

刊行機関：Johns Hopkins University (米国)

創刊年：1921 刊行頻度：月刊
言語：英語 ISSN：0002-9262
備考：疫学の専門誌。年50ドル。

配布数 3700部。MIMからマイクロフォーム入手可能。

American Journal of Medicine

刊行機関：Yorke Medical Group (米国)
創刊年：1946 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0002-9343

備考：医学一般雑誌。年46ドル。配布数42,000部。BLH、MIM、UMI
からマイクロフォーム入手可能。

American Journal of Tropical Medicine and Hygiene

刊行機関：Allen Press Inc. (米国)

創刊年：1921 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0002-9637

備考：熱帯地域における医学及び衛生学に関する学会誌。年45ドル。配布数2,800。

American Mineralogist

刊行機関：Mineralogical Society of America (米国)

創刊年：1916 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0003-004X

備考：アメリカ鉱物学会誌。配布数 4,200部。55ドル(非会員)。

American Society of Civil Engineers
Environmental Engineering Division.
Journal.

刊行機関：American Society of Civil Engineers (米国)
創刊年：1956 刊行頻度：隔月刊
言語：英語 ISSN：0090-3914
備考：アメリカ土木学会環境工学部刊行の雑誌。49ドル（非会員）。
UMIからプリント入手可能。

American Society of Civil Engineers
Hydraulics Division. Journal.

刊行機関：American Society of Civil Engineers (米国)
創刊年：1956 刊行頻度：月刊
言語：英語 ISSN：0044-796X
備考：アメリカ土木学会水力学部の刊行物。
UMIからリプリント入手可能。
68ドル（非会員）。配布数3,600部。

American Society of Civil Engineering
Structure Division. Journal.

刊行機関：American Society of Civil Engineers (米国)
創刊年：1956 刊行頻度：月刊
言語：英語 ISSN：0044-8001
備考：アメリカ土木学会建設部門誌。年87ドル。UMIからリプリント入手可能。

American Society of Civil Engineering
Water Way, Port, Coastal and Ocean
Division. Journal.

刊行機関：American Society of Civil Engineers (米国)
創刊年：1956 刊行頻度：季刊
言語：英語 ISSN：0148-9895
備考：水路、港、海岸、海洋の開発技術に関する専門誌。31ドル（非会員）。
UMIからリプリント入手可能。

American Water Works Association Journal

刊行機関：American Water Works Association (米国)

創刊年：1914 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0003-150X

備考：水道、給水設備に関する米国の協会誌。会員のみ購買可能。配布数32,000部。
UMI, BLHからマイクロフォーム、リプリント入手可能。

Annals of Tropical Medicine and Parasitology

刊行機関：Academic Press Inc (London) (英国)

創刊年：1907 刊行頻度：年6回

言語：英語 ISSN：0003-4983

備考：熱帯地域における医学及び寄生虫学に関する専門誌。年119ドル。
UMIからマイクロフォーム入手可能。バックナンバー入手可能。
配布数1,000。

Applied Energy

刊行機関：Applied Science Publishers Ltd. (英国)

創刊年：1975 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0306-2619

備考：各種エネルギーの経済的・社会的・技術的面を取り扱った専門誌。バックナンバー
入手可能。62ポンド。

Bell System Texhcnical Journal

刊行機関：American Telephone & Telegraph Cowpany (米国)

創刊年：1922 刊行頻度：年10回

言語：英語 ISSN：0005-8580

備考：電信電話に関する科学技術専門誌。
年20ドル。配布数11,500。

Civil Engineering ASCE

刊行機関：American Society of Civil Engineers (米国)

創刊年：1930 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0360-0556

備考：環境開発や建設についての専門誌。
36ドル。配布数85,000部。UMIからマイクロフォーム、リプリント

入手可能。

Energy Sources

刊行機関：Crane Russak & Company (米国)

創刊年：1973 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0090-8312

備考：エネルギー資源の国際的・学際的雑誌。UMIからマイクロフォーム及び
リプリント入手可能。60ドル。

Environmental Science & Technology

刊行機関：American Chemical Society (米国)

創刊年：1967 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0013-936X

備考：環境科学及び環境工学に関する専門誌。年23ドル(非会員)。
配布数18,000。

Experimental Agriculture

刊行機関：Cambridge University Press (英国)

創刊年：1965 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0014-4797

備考：農業環境学に関する専門誌。年100ドル。UMIから
マイクロフォーム入手可能。配布数1,000。

Fishery Bulletin

刊行機関：U. S. National Marine Fisheries Service (米国)

創刊年：1881 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0090-0656

備考：水産業に関するアメリカの政府刊行物。年15ドル。配布数2,000部。
MIM、NTIからマイクロフォーム入手可能。

Food Policy

刊行機関：Butterworth Scientific Ltd. (英国)

創刊年：1976 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0306-9192

備考：食糧及び農業の経済及び計画政策に関する専門誌。年150ドル。

Forestry

刊行機関：Institute of Foresters of Great Britain (英国)

創刊年：1927 刊行頻度：年2回

言語：英語 ISSN：0015-752X

備考：Oxford 大学出版局発行の英国林務官協会誌。年20ポンド。配布数1,600部。

Fuel

刊行機関：Butterworth Scientific Ltd. (英国)

創刊年：1922 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0016-2361

備考：燃料及びエネルギーに関する科学技術誌。390ドル。ISIから
マイクロフォーム及びリプリント入手可能。

IEEE Journal of Oceanic Engineering

刊行機関：Institute of Electrical and Electronics Engineers (米国) 備

考：1976 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0364-9059

備考：海洋工学の専門誌。MIMからマイクロフォーム入手可能。42ドル。

International Water Power and Dam Construction

刊行機関：IPC Electrical-Electronic Press Ltd. (米国)

創刊年：1949 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0306-400X

備考：水力発電とダム建設に関する国際誌。年91ドル。配布数3,975部。
UMIからマイクロフォーム入手可能。

JAMA

刊行機関：American Medical Association (米国)

創刊年：1848 刊行頻度：週刊

言語：英語 ISSN：0098-7484

備考：古い歴史をもつ米国医師会の機関誌であるが、臨床医学医療の専門論文を掲載して
いる。配布数は、275,000と極めて多い。わが国からの投稿も多い。

Journal of Agricultural and Food Chemistry

刊行機関：American Chemical Society (米国)

創刊年：1953 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0021-8561

備考：農芸化学に関する学会誌。80ドル（非会員）。配布数5,100。ISIからマイクロフォーム及びリプリント入手可能。

Journal of Dairy Research

刊行機関：Cambridge University Press (米国)

創刊年：1929 刊行頻度：年4回

言語：英語 ISSN：0022-0299

備考：酪農に関する政府刊行物。年175ドル。配布数1,100。UMIからマイクロフォーム入手可能。

Journal of Economic Entomology

刊行機関：Entomological Society of America (米国)

創刊年：1908 刊行頻度：隔月

言語：英語 ISSN：0022-0493

備考：昆虫学に関する学会誌。年60ドル（非会員）。配布数3,800。MIMとUMIからマイクロフォーム入手可能。

Journal of Forestry

刊行機関：Society of American Foresters (米国)

創刊年：1902 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0022-1201

備考：林業に関する学術的・实际的・専門的な内容をレポートした雑誌。年26ドル（団体）。配布数19,000部。UMIからマイクロフォーム及びリプリント入手可能。

Journal of Petrology

刊行機関：Oxford University Press (米国)

創刊年：1960 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0022-3530

備考：地質学、岩石学の専門誌。79ドル。配布数1600部。UMIからマイクロフォーム入手可能。

Journal of the Science of Food and Agriculture

刊行機関：Blackwell Scientific Publications Ltd (米国)

創刊年：1950 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0022-5142

備考：食糧科学及び農業に関する学会誌。年215ドル。配布数1,870。

ISIからリプリント入手可能。バックナンバー入手可能。

Journal of Soil and Water Conservation

刊行機関：Soil Conservation Society of America (米国)

創刊年：1946 刊行頻度：隔月

言語：英語 ISSN：0022-4561

備考：土壌及び水資源保護に関する学会誌。22ドル。配布数13,200。

UMIからマイクロフォーム入手可能。UMI, ISIからリプリント入手可能。

バックナンバー入手可能。

Journal of Soil Science

刊行機関：Blackwell Scientific Publications Ltd (英国)

創刊年：1950 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0022-4588

備考：土壌学に関する学会誌。85ドル。配布数2,000。

UMIからマイクロフォーム入手可能。

Journal of Tropical Medicine and Hygiene

刊行機関：Blackwell Scientific Publications Ltd (米国)

創刊年：1898 刊行頻度：隔月

言語：英語 ISSN：0022-5304

備考：熱帯医学、医療に関する代表的専門誌。配布数900部。

Journal of World Trade Law

刊行機関：Vincent Press (英国)

創刊年：1967 刊行頻度：隔月

言語：英語 ISSN：0022-5444

備考：通商、貿易関係の専門誌。技術移転関係記事を掲載。年40ポンド。

Lancet

刊行機関：Lancet Ltd

創刊年：1823 刊行頻度：週刊

言語：英語 ISSN：0140-6736

備考：外科に関する最も権威ある専門誌。

LITHOS

刊行機関：Universitets for laget (ノルウェー)

創刊年：1968 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0024-4937

備考：岩石学、地球科学の国際的雑誌。55ドル(団体)。配布数800部。
バックナンバー入手可能。

Poultry Science

刊行機関：Poultry Science Association (米国)

創刊年：1908 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0032-5791

備考：畜産に関する協会誌。年60ドル。配布数3,700。
UMIからマイクロフォーム入手可能。

Power Farming

刊行機関：Agricultural Press Ltd. (オーストラリア)

創刊年：1941 刊行頻度：月刊

言語：英語 ISSN：0032-5988

備考：農業における機械化に関する専門誌。年12オーストラリアドル。
配布数16,000。

New England Journal of Medicine

刊行機関：Massachusetts Medical Society

創刊年：1812 刊行頻度：週刊

言語：英語 ISSN：0028-4793

備考：医学全般における最も権威ある専門誌。配布数207,000部。

Pesticide Science

刊行機関：Blackwell Scientific Publications Ltd (英国)

創刊年：1970 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0031-613X

備考：農産物管理及び害虫駆除に関する研究、技術の国際誌。年150ドル。
配布数1,030。ISIよりリプリント入手可能。バックナンバー入手可能。

Preventive Medicine

刊行機関：Academic Press (米国)

創刊年：1972 刊行頻度：年6回

言語：英語 ISSN：0091-7435

備考：予防医学に関する専門誌。年113ドル(米国以外)。

R&D Management

刊行機関：Basil Blackwell (英国)

創刊年：1970 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0033-6807

備考：研究開発管理に関する研究誌。年89ドル。配布数800。

Research Management

刊行機関：Technomic Publishing (米国)

創刊年：1958 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0034-5334

備考：経営管理の専門誌。技術移転関係記事を掲載。年40ドル(機関購読)。

配布数4,000部。UMIからマイクロフィッシュおよび
バックナンバー入手可能。

Soil Science Society of America. Journal

刊行機関：Soil Science Society of America (米国)

創刊年：1936 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0361-5995

備考：土壌学に関する学会誌。年22ドル。配布数6,000部。

Tropical Agriculture

刊行機関：Butterworth Scientific Ltd (英国)

創刊年：1924 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0041-3216

備考：熱帯農業に関する専門誌。年10ドル。ISIからマイクロフィッシュ及び
リプリント入手可能。

Tropical Animal Health and Production

刊行機関：Longman Group Ltd (英国)

創刊年：1969 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0049-4747

備考：熱帯地域における獣医学及び畜産物に関する専門誌。年28ドル。

Tropical Pest Management

刊行機関：Centre for Overseas Pest Research (英国)

創刊年：1971 (vol. 7) 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0143-6147

備考：熱帯における有害動物の駆除に関する専門誌。50\$。配布数3,000。

Tropical Stored Products Information

刊行機関：Tropical Products Institute (英国)

創刊年：1960 刊行頻度：年3回

言語：英語 ISSN：0564-3325

備考：熱帯における食糧政策に関する専門誌。年7ポンド。配布数3,600。

UNASYLVA

刊行機関：Food and Agriculture Organization of the United Nations

創刊年：1947 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0041-6436

備考：林業及び林産物に関する国際的専門誌。英語・仏語・西語版がある。英語版は、3,800部配布。UMIからマイクロフィッシュ版を入手可能。年10ドル。

Water Resources Bulletin

刊行機関：American Water Resources Association (米国)

創刊年：1965 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0043-1370

備考：水資源に関する研究、開発、計画、管理の学会誌。年45ドル。配布数3,500部。UMIからマイクロフォーム入手可能。

Water Supply and Management

刊行機関：Pergamon Press (米国)

創刊年：1977 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0364-7714

備考：給水管理分野における研究成果及び実用のための国際誌。年140ドル。

配布数1000部。MIM, UMIからマイクロフォーム入手可能。

バックナンバー入手可能。

Weed Research

刊行機関：Blackwell Scientific Publications Ltd (英国)

創刊年：1961 刊行頻度：隔月刊

言語：英語 ISSN：0043-1737

備考：雑草に関する研究誌。年135ドル。配布数1,600。

ISIよりリプリント入手可能。バックナンバー入手可能。

Wood Science

刊行機関：Forest Products Research Society (米国)

創刊年：1968 刊行頻度：季刊

言語：英語 ISSN：0043-7700

備考：林業生産物に関する研究誌。UMIよりマイクロフォームで入手可能。年40ドル。

配布数1,500部。

World Agricultural Situation

刊行機関：U. S. Department of Agriculture (米国)

創刊年：1953 刊行頻度：年3回(1, 3, 9月)

言語：英語 ISSN：0084-1358

備考：世界の農業事情に関するレポート

World Health Organization, Bulletin

刊行機関：World Health Organization -- Organization Mondiale de la Sante

創刊年：1947 刊行頻度：年6回

言語：英語 ISSN：0042-9686

備考：世界保健機構の機関誌。公衆衛生の専門誌。年50ドル。配布数6,500部。

基本参考図書資料リスト

アジア動向年報 1970年版— アジア経済研究所 ア
ジア経済出版会（発売） 昭和45（1970）—

月刊誌「アジアの動向」を年報に改め、前年の趨勢を
中心にアジア各国の政治経済を明らかにする一種の地
域年鑑。韓国、北朝鮮、中国、モンゴル、香港、イン
ドシナ、ベトナム、カンボジア、ラオス、タイ、フィ
リピン、マレーシア・シンガポール、インドネシア、
ビルマ、バングラディシュ、インド、ネパール、パキ
スタン、スリランカについて重要日誌、参考資料、主
要統計などにわたって解説している。これらの典拠資
料は新聞、雑誌、各国の統計、政府刊行物、国会議事
録など。

アジア農業基礎統計 近藤康男 東京大学出版会 昭
和47（1972） 335p

中国、フィリピン、インドネシア、ベトナム、タイ、
インド、ビルマ、マライの各国を対象に、戦前（主と
して1920—1930年代）の農業事情を示す統計書。調査
の困難な地域であるため、資料的価値が高い。

アフリカ年鑑 1971年版— アフリカ協会 昭和46
（1971）—

アフリカ全域（国際機関など）の動向、地域別・国別
の地誌、政治・経済事情について解説。ほかに経済統
計と年間の主要日誌が収録されている。

朝日年鑑 朝日新聞社 1924—

国際政治、経済、司法、労働、運輸、通信、教育、生活、文化、スポーツ、
その他の事項の年間の推移を中心に、世界、日本（政治・経済・社会、文化）
に大別して解説している。別冊は各年版によって異なるが、1932年版は
「名簿/統計資料編」である。巻頭目次および索引は詳しい。大正3（1914）
年に新聞の付録として大阪朝日新聞社から小冊子が発行されたことがあ
るが、本格的な年鑑は「大正14年版」から開始されている。「昭和30
年版」以来、他の年鑑にさきがけて暦年編集に改め、現在にいたる。

岩波西洋人名辞典 増補版 深田英雄 岩波書店 1981 1962. 232 p

西洋を欧米に限定せず、中近東、アフリカ、大洋州、インドの各地を含
む範囲とし、中国や日本との関係において関わりの深い西洋人に重点を
おき、初版には約2万3000名を収録していたが、これらの補正を行い、
その後の約2300名を追加している。各項目は五十音順のカタカナ人名
見出しのもとに、原綴、生没年、解説、著作等を添えている。欧文と漢
字の索引がある。なお追加部分はすべて巻末にまとめてある。

海外経済協力便覧 1968— 海外経済協力基金調査開
発部 海外経済協力基金 昭和43(1968)— (年刊)
開発途上諸国の経済状況・開発計画およびこれらの諸
国に対する先進諸国・国際機関による援助・融資・経
済協力に関する統計を収録し、その推移を示す。Ⅰ
主要経済指標(約20項目)、Ⅱ 途上国別の一般概
要・開発計画・投資環境・経済協力(地域別・約60か
国)、Ⅲ 経済協力の動向(途上国への国際機関・政
府・民間による援助状況、主要援助実施機関の概要)、
Ⅳ 我が国の経済協力(援助実績、経済協力機関・
機構)の4編からなり、巻末に付録として外国通貨単
位・平価・為替相場、略語表、途上諸国による地域協
力機構一覧、年表等を収録する。

海外市場白書 1957年版— 日本貿易振興会 昭和32
(1957)— (年刊)
74年版以降、「世界貿易の現状」「わが国海外投資の
現状」の2分冊からなる。第1分冊は概観、国別篇
(主要国の経済・貿易・対外経済政策・対日関係)、
貿易関係統計を収録。第2分冊は概観、地域別・国別
篇(外資政策、外資の流入状況等)および各国の外資
政策一覧、奨励業種と規制業種、各国入直接投資残高
表を収録。64年版までは『月刊海外市場』の1月特別
増大号として刊行され、65年版から独立し、66—71年
版は概観・地域篇と統計篇の2分冊、72—73年は3分
冊で刊行。

海外における日本人および日系人団体一覧表 (新版)
外務大臣官房領事移住部 昭和49(1974) 166p
日本人会、日系人会、経済関係団体(駐在員)、衆人
会、関連機関・団体を地域・国別に収録し、住所、代
表者、会員数、概要を記載。巻末に海外子女教育施設
一覧がある。初版は昭和40年作成。

外国経済統計年報 1946年— 日本銀行統計局 昭和
22(1947)—
主要47か国(74年版までは35か国)の国別経済統計を
各国および国際機関の統計資料から収集したもの。西
欧・東アジア諸国15か国については15—30項目の累年
統計を収録し、他の22か国は概略のみ。他に、世界の
概要、主要経済指標(20数か国の比較)、経済協力統
計(IMF、IBRD等)、付録として各国通貨の名
称・為替相場、主要統計一覧を収録。「外国経済統
計」(大正13年から昭和16年まで毎年刊行)を継承。

解説土木用語語 土木施工構築委員会 山海堂 昭和
47(1972) 404, 21p

一般土木用語のほか新用語を含み、関連ある官庁文書
用語を合わせ、約1600項目を収録したハンディ版。耐
重、材料、土質、施工、道路、港湾、ダム、都市計画
等の15分野に分けて構成し、各分野ごとに五十音順に
配列し英語の対訳を付加している。解説は詳しく、巻
末には総合索引がある。

角川外来語辞典 第2版 荒川惣兵衛 角川書店 1977 1643p
大衆化もしくは通俗化した外来語約2万7000語を収録する。したがっ
て、明らかに中国語と分かるものや専門用語は除いている。五十音順配
列の見出し語のもとに、原語、国語、言語学的説明、語源、分類(語の
属する分野)、語義の解釈、説明、参照語(変化形、同義語・反義語な
ど)、出典、用例を示している。旧版(1967)の末尾に約100頁を増補と
して追加したものが第2版である。

角川漢和中辞典 具塚茂樹 等 角川書店 1959 32, 1502p
現字数は9500。「康熙字典」の部首順に配列し、そのもとでは、その漢
字の画数順、さらに現代かなづかいによる字音の五十音順配列。漢字の
解説は解字、字義、参考から成る。熟語の見出し語のもとでは、読み
方、語釈、出典、用例、同義語等を解説する。巻頭に総語索引、巻末に
音訓索引がある。

角川類語新辞典 大野 晋、阪西正人 角川書店 1981 932p
現代語を中心に、単語、複合語、述語、慣用語、ことわざ等を、意味上
の類似性によって分類配列したシリーズ。各見出し語のもとには、用
例、語釈、位相、対意語など、簡単な解説をしている。巻末の五十音順
索引によって、見出し語を見付け、本文における位置を確かめ、類義語
の異同を明らかにすることができる。

グランド世界大地図 人文社 1976 地図62枚、索引149p
地勢世界、行政世界、日本に次いで、日本から近い順に、アジア、ヨー
ロッパ、アフリカ、北米、中米、南米、大洋州、オセアニアなどを配列
したアジアに詳しい地図帳。5百万分の1と8百万分の1の縮尺図が多
い。巻末に欧文地名(ABC順)、漢字地名(中国、台湾、朝鮮、日本など
各国別、漢字の音引五十音順配列)の索引がある。和文地名索引もある
が、教育用として必要な地名に限られている。

原色動物大図鑑 内田清之助 等 北隆館 1957—60 4冊

I 脊椎動物の哺乳類・鳥類・爬虫類・両棲類, II 脊椎動物のうち、魚類・円口類, 原索動物の頭索類・尾索類・鰓嚕類, III 蜂・蛾・毛虫・前肛・軟体動物, IV 節足および無脊椎動物の下部門に属するもの。ただし、昆虫類は次の図鑑に属る。各巻別の学名・和名の索引がある。

現代アジア社会事典 大和学芸図書 1975 470 p

「現代アジアの情勢」の部では、アジア諸国の政治、経済、社会、文化等の様ざまな分野にわたる事項を、各2頁建ての40項目のもとに解説する。「現代アジア社会事典」の部では、地名、人名、事項等の小項目を五十音順に配列し、簡単な説明を加えている。五十音順の項目索引および地名、人名、略称の各索引がある。

現代人物事典 朝日新聞社 1977 1767 p

1945年以降、各界で活躍し、話題を扱った内外の人物のうち、日本人約4000名、外国人約3000名を選んで、それぞれの政歴、経歴、人物、業績等を解説する。外国人はアジア、アフリカ、特に中国、朝鮮に重点をおいている。巻末には、1万5000項目から成る人名索引、政歴の主要事項から関係者を検索できる事項索引がある。

現代用語の基礎知識 自由国民社 1948— (年刊)

時事問題、国際問題、現代の学芸常識、現代の科学、現代の生活、スポーツ等に用語を大別し、さらにそれぞれを120以上に細分し、各用語をあげて解説している。巻末の「マスコミに出る外来語・略語解説」は約1万2000語を収録、巻頭に五十音順の索引がある。

広漢和辞典 諸橋徳次 等 大修館書店 1981—82 4冊

『大漢和辞典』(206)をもとに、視字約2万、熟語12万を選び、新たに百科項目、国字、俗字、中国簡化字などを加えたもの。引用された漢文には送り点、送りかな、読みがなを付して読解し易くしてある。解字欄を設けて、音韻、字体の変遷を示し、語彙表を設けて、共通する基本的な意味をあげ、語源の解説もしている。別冊の索引は徳西・音訓・中国語音・四角号紙の各索引および熟語の五十音順索引から成る。

広辞苑 第2版 補訂版 新村 出 岩波書店 1976 2448 p

約20万項目を収録した事典的辞書。漢語、外来語、俗語、方言、隠語、慣用語、ことわざなどの国語項目のほか、各種専門分野の事項、人名、地名、書名など、固有名詞を含む。見出し語は浪音式かなづかいの五十音順配列。語釈が二つ以上あるときは語源に近いものからあげ、専門用語には分類略語を示し、漢語やことわざにはその出典を示している。

国語大辞典 尚学図書 小学館 1981 2621p

『日本語大辞典』(201)を基礎にして、新たに2000語を追加し、約25万語を収録しているといわれる縮約版。方眼は除かれ、用字も削減されているが、解説は平易で理解し易くなっている。巻末に、漢字表等の付録がある。

国際協力ハンドブック 淡 敏郎 国際協力研究会
国際開発ジャーナル社(発売) 昭和50(1975)
649p

国際協力に関する資料集で、政府関係機関・行政官庁・国際機関等に関する法令・協定等(抄)を主体に、関係組織の紹介(官庁・政府関係機関、国際機関、内外の民間団体)、提言・宣言(国内・諸外国・国際・国際会議)、関係資料(経済協力実績統計)、用語解説の5部からなる。索引はない。外務省の監督の下に農林省、経済企画庁が協力して編集。

国際経済要覧 1967— 経済企画庁調査局 大蔵省印刷局 昭和42(1967)— (年刊)

国際経済・主要国経済(約40か国)の動向を概観すると共に、国際的に比較できるように、国連や各種国際機関が作成した諸統計を編集。世界経済指標(地域別)、主要経済指標(国民所得、財政金庫・国際収支、産業、貿易等)、国民生活指標(消費・家計・生活環境等)、経済協力指標、主要国際経済動向指標(16か国・国別)の累年統計5編122表から成る。付録として、人口・食糧・資源等の予測統計、国際機関の略語・機構図等19件を収録。

国際統計資料ガイド 東京、日本貿易振興会、官報販売所(発売)
1982 105p、2,500円

1982年1月現在でJETRO資料室が所蔵する海外統計資料のうち、「国際」という分類カテゴリーに入る主要統計297種を収録。注解を付した出誌。

国際統計要覧 1951年版— 総理府統計局 大蔵省印刷局 昭和29(1954)— (年刊)

各国の人口、経済、社会、文化などの基本的な統計を簡潔に要約して収録。主として国連の諸統計が中心。一般向けの簡便な国際統計書として長い歴史をもち、戦前内閣統計局から出ていた「列国国勢要覧」がその前身。

国際連合世界建設統計年鑑 1974年版(1963年—1972年)— 国際連合統計局 全国建設能率協会訳 建設産業研究所 昭和50(1975)— (Yearbook of construction statistics 1963~1972: United Nations) (隔年刊)

1972年に初めて配布された国連の建設統計質問表に基づき、過去10年間の世界各国別または地域別の建設活動の統計を収録。「一般活動指標」と建築許可を受けた建物および住宅、ならびに新規に完成した建物および住宅について収集した「建築許可」の2種類の統計資料を集録。

国際連合世界統計年鑑 1952— 国際連合統計局 渡部亮吉訳 原書房 昭和28(1953)— (Statistical yearbook)

国連による基本的統計書 Statistical yearbook の日本語版。原書は、戦前、国際連盟が刊行した Statistical yearbook of the League of Nations を継承し、1948年から刊行されているもの。邦訳はその第4巻、1952年からである。各国の統計機関の協力により収集されたあらゆる分野の資料を27巻に編纂し、大部分は最近10年の数字を掲載。英文に和文を併記。巻末に国名索引がある。

国連アフリカ統計年鑑 1972— 日本E C A連絡委員会訳 編 アフリカ開発協会 昭和49(1974)— (Statistical yearbook for Africa)

国連アフリカ経済委員会(UNECA)統計部が編纂した統計資料の翻訳版。アフリカ各国毎に、人口・雇川、国民所得勘定、農林水産業、鉱工業、運輸・通信、貿易、物価、財政金融、社会の9項目48表の過去9年間にわたる累年統計データを収録。北部、西部、東部、中部その他の4地方に分け国名のA B C順に掲載し、巻頭に各国別・表別の掲載・不掲載一覧表がある。1974年版(昭和51年刊)で44か国を収録。原書の4分冊を翻訳では1冊にまとめている。

最新世界大地図 改訂版 日本リーダーズダイジェスト社 1965 303p
地球の表面(第1部)、世界の諸国(第2部)、世界に関する最新の知識
(第3部)および索引(第4部)から成る。カタカナとローマ字が対照
できるようにしている索引がある。The "Reader's Digest" Great
World Atlas を基礎とする。

時事年鑑 時事通信社 1917-36; 1947-

第1部 日本の記録(政治・外交、経済、労働、社会、教育、文化、ス
ポーツ、地方)、第2部 世界の記録(世界政治の焦点、世界経済の動
向、世界文化、国際機関、各国情勢)、第3部 資料と要覧、第4部 名
勝、第5部 統計から成る。索引はやや粗いが、事項索引と人名索引か
ら成る。大正6(1917)年に時事新聞社が創刊、のちに簡型時事通信社
に移り、『簡型時事年鑑』(1937-43)となった。戦後再刊、前々年の9月
から前年の8月までをカバーする。

JAPONICA 時事百科 大日本百科事典 小学館 1972-

前年の事柄、事件等を見出し語とする五十音順配列の事項欄、四名を五
十音順に配列し、各語の概要に加えて、国内総生産、国民所得などを示
している各国別、各県ごとの行財政、開発、文化・観光などを掲載した
県勢欄、物故者を中心にあげた人物欄などから成る。

出版年鑑 出版ニュース社 1951-

出版関係の諸統計を含むが、主体は国内で前年中に出版販売された新刊
書(1973年版までは重刊書も含む)のリストであり、一種の販売書誌と
見なすことができる。各記入は著者・題名、大きさ、冊(頁)数、
価格、出版月から成り、日本十進分類法によって配列されている。また
書名索引、著訳両者人名索引が詳しい。なお、この系統の基礎として、
旬刊誌『出版ニュース』の「新刊分類旬報」がある。

小学館ランダムハウス英和大辞典 同編集委員会 小学館 1973-74

4冊

アメリカ英語の辞書としての性格の強い *Random House Dictionary
of the English Language* (68頁巻頭)を採択したものであるが、日
本人向きに、必要に応じて見出し語を追加し、さらに解説を追加してい
る。約27万語を収録。文学作品とか新聞雑誌から広く用例を採り、
専門語や固有名詞も豊富に収録しているので、英語の事典的な辞書とし
て使える。見出し語のもとに、発音、品詞の表示、変化形、語彙、用例、
成句、語源などが続き、必要に応じて挿図、部分地図を付している。別
に、これを縮小したパーソナル版(2冊または1冊)もある。

Kenkyusha's New English - Japanese Dictionary [新英和大辞典]

第5版 小堀義男 等 研究社 1980 2477 p

1927年、36年、53年、60年の刊行に続く第5版で、14万語を収録していた旧版を大幅に増補し、約23万語を収録。事典的性格をいっそう強め、人名、地名のほか、百科項目も多数含んでいる。見出し語(米式綴字を優先)のもとに、初出年を初記し、発音、語源、品詞を表示し、語彙(使用頻度の高いものを先行)、用例、成句をあげる。大学生以上を対象とする標準的辞書。

人事興信録 第1版— 人事興信所 明治36(1903)—
政治家・民間会社の役員・大学教授・宗教家・芸術家など各界の主要人物又は中堅として活躍している日本人を採録して氏名の五十音順に収め、役職・本籍地・家族・経歴・著書・研究・趣味・宗教・親戚・住所・電話等を記してある。皇室・皇族は別に掲げてある。第20版(昭和52年)には約11万名を収録。

年刊人物情報事典「日外アソシエーツ」1981—

過去1年間に新聞雑誌に掲載された人物、つまり話題になった人物の記事を採録し、掲載紙誌、日付、頁などを示している。選択的ではあるが、誤字もある。前刊年版では、40紙誌の約2万件におよぶ記事を人名の五十音順に2巻に収めている。82年度版からは、①政治・官界・法曹界、②経済・産業・技術界、③文芸・報道・出版界、④芸術・芸能・スポーツ界、⑤社会・世相編に分冊された。なお、この雑誌編ともいうべき、『年刊企業・団体情報事典』(250頁巻別)がある。

森林家必携 増補改訂 木多静六 林野弘済会 昭和
50(1975) 833p

ポケット版ではあるが、「樹木要覧」「造林造園及び保護」「数学及び経理」「利用及び理水砂防」「林産及び化学」「地質土壌及び気象」「森林法規」「雑」の8編からなる充実した便覧。数年おきに改訂を加えている。なお、林業関係者・学生に不可欠な基礎知識・データをコンパクトにまとめた煩書に「林業必携」(農業図書 昭和44 331p)がある。

水産百科事典 同編集委員会 海文堂 昭和47(1972)
541p (Encyclopedia of fisheries)

水産学の全分野にわたる事項、用語、慣用語などを収録説明してある。各項目には英語および学名を付し、辞書をかねている。項目の記列は五十音順。ABC順の欧文索引がある。

スタンダード和仏辞典 朝倉季雄 等 大修館書店 1970 11, 1391 p
普通語のほか、動植物名、その他の専門用語、新語、外来語など、約3
万7000語を収録。然し語を含めれば約15万語におよぶという。見出し
語は五十音順に配列し、訳語はつとめて五語を選び、文脈に応じて使わ
れ方が異なることばの正しい使い方を明らかにするために、豊富な例文
を用いている。付録に世界の国名、主要地名・人名、手紙の書き方、商
業文、教則などがある。

生活の医学 熱帯医学ハンドブック 日本熱帯医学協
会 昭和41(1966) 263p (日本熱帯医学協会叢書
3)

熱帯医学に関し、基礎および臨床の知識を収録したハ
ンドブックで、熱帯における衣食住の一般衛生を述
べ、熱帯地のおもな病気を解説し、予防・治療法にお
よんでいる。巻末に、熱帯の国々の概説、各地の罹患
統計が掲載されている。

世界経済年報 1957年版一 国際連合 日本国際連合
協会訳 日本国際連合協会 昭和32(1957)一
(年刊) (World economic survey)

国際経済への関心を高め国連活動の基礎とするため、
世界経済の情勢と趨勢を調査分析した報告書。年度に
よって内容は異なるが、世界経済の概観の他3主題
(生産、貿易・支払、国内均衡)および3グループ
(先進市場経済諸国、中央計画経済諸国、開発途上国)
の2側面を組み合わせて取りあげ解説。1970年以後、
第2次国連「開発の10年」計画上の必要から作成され
た開発についての測定・評価・予測関係の資料を年次
によって内容の一部または全部として収録している。

世界人口年鑑 1960, 1966年版(第12, 18集)一 国
際連合統計局 原書冊 昭和36, 42(1961, 1967)一
(Demographic yearbook)

世界各国・地域の公式の人口統計を集成した人口統計
年鑑。公式統計のない国については、1966年以降国連
推計を利用して補足したため、主要項目に関して全世
界の統計の一貫が可能になった。毎年2部に分け、グ
ループIは基礎的人口統計の世界概要、人口、乳児・
母性死亡率、一般死亡率、結婚、離婚の各項目からな
り、グループIIは特殊題目として死亡、出生、センサ
ス、結婚、人口推移・分布、離婚等のうち1つを毎年
取りあげ、特に詳確な統計を収録。巻頭に統計概要、
各表の解説(英文併記)、巻末に既刊分の統計事項索
引あり。原著は1948年版から刊行。

世界人名辞典 新版 東京堂出版 1971—73 3冊

西洋編、日本編、東洋編の3冊から成る。西洋編は中近東、アフリカ、インド、ラテンアメリカをも含む。約1万7000名をカタカナ人名見出しの五十音順に配列。原綴人名からの索引がある。日本編は約7000名、東洋編は日本人を除くアジア地域の約5100名を収録。中国、朝鮮、モンゴル語の人名は日本語読みを原則とする。いずれも解説は簡潔。

世界大百科事典 平凡社 1981 33冊および別冊

大・中・小の約7万項目を語り説き、かなり専門的な要求にも応えうるような詳しい解説を与え、署名を付している。代表的な五十音順の百科事典。初版(1955—59)33冊。その後2回の改訂を経て、これが第3次の改訂版に相当する。換3段組で、別刷版も大幅に増やしているが、参考文献は付していない。第33巻は約30万項目から成る五十音順索引と便覧。別冊は「現代」および「地図」である。1973年から『世界大百科年鑑』(425)を刊行している。

世界大百科年鑑 平凡社 1973—

前年の日誌に当たる百科年鑑。前年に死亡した内外の著名人を五十音順に解説した特設著名人。五十音順の大・中項目の解説と、必要に応じて用語集・年表を加えた事典項目から成る。これに前年の主要トピックを選んで、詳しく論じた特別レポートが盛り込まれている。巻頭に五十音順の目索引がある。

新版世界地名辞典 東京堂出版 1930 2冊

東洋編と西洋編から成る。東洋編は日本を除く、アジア全体の現在の地名を中心に、3000余を採録し、五十音順に配列する。ABC順、漢字索引の各索引がある。西洋編はヨーロッパ、南北アメリカ、アフリカ、オセアニア、ソ連、極地方を対象とし、ダムや塔などの建造物のほかに、歴史上、文学上の地名を含む4000の項目から成り、五十音順の配列である。ABC順とロシア文字の各索引がある。なお、両編とも人文地理学的説明に主眼をおく。

世界地名大事典 横辺光等 創倉書店 1973—74 8冊

ヨーロッパ・ソ連(1—3巻)、アメリカ・オセアニア(4、5巻)、アジア・アフリカ(6—8巻)の3部から成る。3部合わせて、約1万6000の項目を収録する。各部ごとに見出し語はカタカナ表記とし、五十音順に配列し、原綴名を併記している。解説中の地名にも穿めて原綴を添えている。各部ごとに日本語と外国語の索引がある。

世界年鑑 共同通信社 1949—

国際的な諸問題、事件を取りあげ、毎年の世界情勢について概説している。国際関係、世界各国の現況、重要資料などをまとめているが、その年に問題になった事項あるいは国については重点的に記述している。1981年版は(1)国際機構・会議、(2)列国の現勢、(3)宇宙開発・エネルギー・軍縮、(4)主要文献、(5)統計・資料、(6)世界人名録、の6部と索引から成る。

世界農業白書 1956— 国際連合食糧農業機関 国際

食糧農業協会訳 昭和32(1957)— (The state of food and agriculture)

F A Oが1951年より毎年世界の農業と食糧事情の概観と分析を行なった結果を報告する The state of food and agriculture の邦訳。1956年以降は地域別・問題別の構造分析に重点をおいている。

世界の国旗・国歌総覧 原沢 俊 岩崎書店 1976 502 p

国旗図と国歌図から成る。前者は国連と153か国の国旗をカラーで掲げ、国名・国の面積・人口・国花・国鳥等も示す。後者は103か国の国歌の楽譜を掲載している。ただし、歌詞はない。

年刊全アラブ要覧 中外調査会 1976—

序論、各国概、資料図から成る。序論には特撮的内容を盛り込み、各国図でアラブ21か国をABC順に取りあげ、各国ごとに元首、国史、地図、主要都市、地名、自然、略史、人口、住民、政治、経済、産業、日本との貿易、観光などにわたって解説している。

大漢和辞典 語構増次 大修館書店 1955—60 13冊

現字4万5000、熟語52万7000から成る包括的な内容で、正字のほか、略字、俗字、異字などが掲載され、熟語、故事名語、格言などのほか、人名、地名、動植物名、事件など、さまざまな事物事項を解説する最大規模の漢和辞書。用例、出兵を示すほか、しばしば挿絵を加えている。第13巻は総索引、字音索引、字訓索引などから成る。縮写版もある。

体系農業百科事典 農政調査会 1966—68 8冊

副産物との関連を考慮しながら農業を包括的に扱った大項目主義の体系的事典。(1)農業理化学、(2)作物・園芸、(3)畜産・養蚕、(4)食品工業、(5)農業経営、(6)農業社会経済、(7)通論、および(8)総索引、の8巻から成る。各巻末に用語解と巻別索引(人名・事項)を添えている。総索引も人名索引と事項索引とから成る。

新国大辞海 大辞文庫 富山研 1982 2254, 87 p

辞源辞海辞典として作られたものであるが、古語を多く収録し、漢語、方言、外来語も含め、約9万8000語から成る。もとは歴史的かなづかいによる五十音順配列であったが、見出し語を現代かなづかいに改めて配列し、発音、品詞表示、漢字表記、語源、語釈、用例、典故などにわたって解説している。特に、重要な語釈と語源の解説に特徴がある。なお、原本の全5巻は1932-37年刊行で、第5巻が漢字・仮名・外来語索引であった。

Grosses deutsch-japanisches Wörterbuch [大独和辞典] 相良守宏
博友社 1953 1801 p

普通語、外来語、方言、俗語、専門語などのほかに、人名、地名などの固有名詞も含む、約40万語を収録。語源や同系語のあるものは見出し語の直後に添えている。名詞には性別を、形容詞、動詞、副詞で不規則変化するものはその形を、訳語の前にはしばしば同義語または反義語を示している。巻末に文法一覧表、不規則動詞表がある。

大日本百科事典 小学館 1972 28冊および別冊

人名、地名、作品名、その他の事項、さらに国語項目など約10万の見出し語を収めた小項目主義の五十音順百科事典。日本語・日本語読みものは漢字(ひらがな)の見出しに読みを添え、外国語・外来語などはカタカナ見出しのもとに漢語を添えている。縦4段組で、挿図は横して小さいが、約2万1000の挿色図を挿入している。必要に応じて参考文献、問い合わせ先、関連施設などを付記している。第24巻が「索引小百科」、第25、26巻が日本および世界美術名宝事典、第27、28巻が日本および世界大地図集。このほか、5冊として、各種の地図帳がある。通称「ジヤポニカ」。『JAPONICA 時事百科』(42巻)が発行されている。

東南アジア要覧 1959年版一 東南アジア調査会 昭
和34(1959)一 (年刊)

東南アジア15か国を東から地理的順序に配列して、各国ごとに、基本的事項(略史、政体、軍事、経済、教育、宗教など21項目)、その年のおもな動き(主な問題点についての解説)、その年の年誌(1年間の主要事項を暦

日式に記載)をまとめたもの。巻末に「全般的事項」を収め、各国ごとに要図を付す。索引はない。1959-63年版の編者および出版者は内閣官房内閣調査室。

東南アジアハンドブック 松本重治 講談社 1976 401 p

第1部は、東南アジア10か国について、それぞれ歴史、政治・経済・社会、文化等について概説する。第2部は、東南アジアと国際経済、中米、華人系住民との関係、東南アジアとの付き合い方などについて解説する。索引はない。

地学事典 増補改訂版 地学団体研究会 平凡社 1981 1612p
地学およびその関連分野の用語約1万6000を見出しとする小項目注の五十音順配列の事典。各用語には英・独・仏・露語等を併記し、解説は定義を与えたり、具体的な説明を加える形式をとる。巻末に68項の付図・附表と、4万1000語の外国語索引がある。増補の約370の新項目とその索引は巻末に別掲されている。

中国総覧 同編集委員会 霞山会 1971— (隔年刊)
1978年版は4回目に当たるが、1974年から77年前半を対象とする。第1部で中国を扱い、政治、軍事、対外関係、経済と産業、文化・社会・教育、台湾の6編のもとに、41章161節を設けて解説する。第2部では、香港とマカオ、朝鮮民主主義人民共和国、インドシナ諸国、モンゴル人民共和国、華僑問題の5編17章48節を解説する。巻末に、事項・人名の索引がある。『中国政治経済総覧』を継承するもの。

中東・北アフリカ年鑑 1968年版— 中東調査会 昭和43(1968)—

中東・北アフリカ諸国、すなわちアラブ連盟加盟国のアラブ14か国と未独立国1地域および非アラブ諸国の5か国を対象とする年鑑。昭和42年に刊行した「中東年鑑」を翌43年より改題。

中東年誌 1969年版— 東南アジア調査会 昭和45(1970)—

第I部は、各国の政体・元首・人口・政党・国民所得など基本事項の一覧表。第II部は、中東地域の出来事を事件・テーマ別に編集した日録である。

著作権台帳 日本著作権協定会 1951—

比較的詳しい項目記述のものを「上巻形式」、その記述を簡略化したものを「下巻形式」と呼び、総続する2巻で上下巻を構成する。著作者、芸術家、プロスボニツマン、ジャーナリスト、一般人名、故人の名前から成る個人台帳および著作権使用者、会社・官庁、団体・学会・研究所、学校、図書館・美術館・博物館・動物園などの名前から成る団体台帳、さらに外国著作権台帳がある。巻末に、人名(姓順、五十音順)、団体、外国人名の各索引がある。

南米農業要覧 海外移住事業団 全国農業改良普及協会 昭和49(1974) 1054p

南米4か国(ブラジル、アルゼンチン、パラグアイ、ボリビア)の社会環境、気候、土壌・肥料、病虫害・農業の他、食用・園芸・製菓・工業・飼肥料作物、養蚕・養蜂、畜産、林業、農地開発各分野の生産技術を体系的に解説。巻末に付表として、関係各国通貨・度量衡、熱帯植物分類・名称対比表、ブラジル進出企業一覧、和歌のA B C順事項索引がある。

日本国語大辞典 日本大辞典刊行会 小学館 1972—76 20冊
古語から現代の普通語、さらに特殊語、慣用語、ことわざなどのほか、地名、人名など固有名詞を含む約50万語を収録した最大規模の国語辞書。各見出し語のもとに、意味、用法などを歴史的に時代を追って記述し、用例を示している。その他、適宜、方言、語源説、発音、古辞書の例を設けて解説する。必要に応じて、風俗、風物、語源、語義などの挿絵によって解説を補っている。縮刷版(10冊)もある。

日本書籍総目録 '77/78— 日本書籍出版協会 1977— (年刊)
国内出版者在庫の図書を網羅的に収録する意図のもとに採集された販売書誌、非市販書、逐次刊行物、検定教科書、一枚もの等を除き、毎年5月現在で入手可能な図書を収めている。82年版の場合、3940の出版者のもの約29万9700点を掲載している。本稿の配列は書名の五十音順であり、ほかに、「著者索引」、「シリーズ索引」、「発行所一覧」がある。尚協会から継続的に刊行されていた『日本総合図書目録』を発展的に継承し、協会加盟出版者以外の出版物も広く収録している。

日本全国書誌 国立国会図書館 1981— (週刊)
国内出版の図書および逐次刊行物を収録したカレントな書誌。冊子体のほか、マイクロフィッシュ版も製作の予定。基礎となる「週刊版」は従来の同館の『橋本選報』(1955年6月—1980年12月)を継承し、官公庁納入の部(省庁部局課名別、都道府県別配列)、民間納入の部(日本十進分類法による配列)、さらに児童図書、各種資格試験関係図書から成る。季刊の書名索引と著者名索引があり、さらに「年刊版」は1948年版以来発行されていた同館の『全日本出版物誌目録』を継承したのもといえるが、書誌本体ではなく索引の年間集積版であり、書名目、著者名目、件名目、分類目、逐次刊行物目から成る。

日本団体名鑑 1973— 国政通信社 昭和48(1973)—
(年刊)

各分野の公益法人、公共法人、特殊法人等を収録した名鑑。主管省庁別に分類し、団体名の五十音順に記列。記載事項は「全国各種団体名鑑」(A E 4)とほぼ同様で、収録団体も大部分が共通。他に、地方自治体主管の団体、任意団体、関係機関(農協、商工会議所、大学、文化施設、国会議員等)を収める。巻頭に団体名の五十音順索引(関係機関は含まず)がある。

日本統計索引 同橋集委員会、河島研究事務所 日外アソシエーツ 1975
1937 p

ほぼ1975年1月現在のが国の基本的な統計資料144種(540冊)を対象に、そこに収録されている2万4000以上の統計表の、表頭、表例に変わされている個々の細目を検索できるようにしたもの。日常語から手取りかぎが得られるので、統計資料の利用に不慣れた人でも使いこなすことができる。なお、外国関係の統計に対する部分が、同書の「補遺 区別・地域別語」(1976)である。

日本統計年鑑 総理府統計局、日本統計協会 毎日新聞社 1950—
“わが国の国土、人口、経済、社会、文化などのあらゆる分野にわたり、重要で基礎的な統計資料を総合集録した”包括的な統計書。主に官庁統計を原資料とし、原則として最終収録年次は前年とする。英文併記。巻末に事項索引がある。「昭和24年版」が最初。

日本の参考図書 解説総覧 同橋集委員会、日本図書館協会 1980
907 p

1977年までにはわが国で出版された参考図書のうちから、一般的に利用されるものを選び、解説を付している。全体を、総記(303点)、人文科学(2042点)、社会科学(1456点)、科学技術(1329点)および生物科学(606点)に大分類し、そのもとでは、主題あるいは形式による小見出しを立て、合計5736点の参考図書を配列している。索引は書名および事項名の2種類から成る。1978年以降に出版された参考図書について知るには、季刊誌『現代の図書館』に掲載されている「最近の参考図書」を参照すればよい。なお、新刊の参考図書について情報を与えてくれるのが『日本の参考図書』の「四季版」(1986年4月以降を補足)である。これは、すべてに解説を付してはいないが、収録範囲が広く、新しく参考図書を選び出すには十分役立つ程度の詳しさを解説と、価格を付している。

農学大事典 1977訂正追加版 同編集委員会 養賢堂
昭和52(1977) 1943p

農学全般にわたって体系的に解説した基本的な事典。
農業生産の基礎、環境、生産対象(作物・家畜・蚕など)、生理・遺伝、生産技術、経営、研究・教育、普及、実験計画など50の大項目に分けて解説している。
付録として作物の品種特性表がある。索引は作物索引と項目索引からなる。昭和50年に改訂版が出されたが、これに追補としての項目を加えたのが、昭和52年版である。

廣川ドーランド図説医学大辞典・廣川書店 1980 46, 2 415 p
米国の標準的医学事典として、1900年以來改訂を重ねてきた *Dorland's Illustrated Medical Dictionary* (25th ed. Philadelphia, Saunders, 1974) を翻訳して英和事典に改めたもの。解剖学用語に詳しく、図解も豊富。約11万の英語見出しに発音を添え、対応する和訳語をゴシック体で示している。巻末に、約7万項目から成る「日本語による見出し語索引」があるので、和英事典としても使える。

万有百科大事典 小学館 1973—76 21冊および別冊

文学、美術、音楽・演劇、哲学・宗教、日本歴史(2巻)、日本地理(2巻)、世界歴史、世界地理、政治・社会、経済・産業、生活、医学、化学、物理・数学、科学技術、宇宙・地球、植物、動物の分野別20巻から成る。各分野とも小項目を五十音順に配列し、カラー図版を多用して解説している。事項によっては1,2点の参考文献を付す。第21巻は索引と世界総合年表(古代—1975)である。別冊2巻は、日本と世界の大地図帳。通称「ジャンル・ジャポニカ」。

仏和大辞典 伊吹武彦等 白水社 1981 42, 2 651 p

約8万5000語を収録するが、文例が豊富な大冊である。見出し語のもとに発音を示し、語源は見出し語に近いものから記述する。語義は一般的なものから特殊なものへと順次解説し、必要に応じて、補足説明を加えている。熟語、慣用句、ことわざなどは語義のあとに載せ、さらに、類義語を一括してあげ、それらの異同を解説している。付録として、固有名詞の読み方、動詞活用表がある。

ブリタニカ国際大百科事典 ティービーエス・ブリタニカ 1972—73

28冊

New Encyclopaedia Britannica (307) を基本とし、必要な補足を加えているところから、これも3部構成である。この主体をなすのが、読む事典を目指している大項目主義の20巻から成る五十巻組百科事典(横3段組)。これに対して、「リファレンスガイド」と呼ばれる約12万の小項目から成る全6巻の引くための事典(横3段組)は、大項目への参照も出している。別巻の総索引は同セットに対する索引であり、本巻5000項目を分野別に体系化した「ブリタニカ・スタディガイド」を付している。第28巻は参考文献である。なお、1975年以来、『ブリタニカ国際年鑑』(424)も発行されている。

ブリタニカ国際地図 ティービーエス・ブリタニカ 1971. 320, 273p
世界・海洋・大陸の地図を巻頭におき、諸地域の地図(ヨーロッパ、ソ連、アジア、アフリカ、オーストラリア・オセアニア、アンダロアメリカ、ラテンアメリカ)、極南西の地図、「世界の自然と人間」(人口、宗教、言語、農林漁業、鉱工業、交通、気候などの図から成る)を収めている。人口密度の低い地域は6百万分の1とし、ヨーロッパ、北米の大部分、南アジア、東アジアは3百万分の1、特に主要地域43か所は百万分の1、主要都市は30万分の1の縮尺図とする。地名は現地語綴を採用。約16万の地名をアルファベットの文字に統一してABC順に配列した巻末索引がある。欧米中心の編集。

ブリタニカ国際年鑑 ティービーエス・ブリタニカ 1975—

英語版の *Britannica Book of the Year* の原稿や資料を参考にして編集されているもの。「国際百科年表」、「人間の記録」、「特別寄稿」、「国際百科年鑑」などから成るが、主要な部分は「国際百科年鑑」であり、毎年の注目すべき事柄を大項目にまとめ、五十巻順に配列している。

貿易要覧 1955— 貿易弘報社 昭和30(1955)—
(年刊)

外国貿易の実務に必要な各種のデータ・知識をコンパクトにまとめた便覧。外国為替(各国通貨の為替相場一覧等)、郵便電報(内国外国郵便物の種類・料金等)、貿易・為替関係官庁等担当官(所在地)一覧、銀行・保険・海運・航空会社一覧、貿易手続(主要一般商品輸入税率表)、貿易関係主要法令の6部からなる。昭和27~29年に毎年刊行された「貿易手帳」を継承するもの。

毎日年鑑 毎日新聞社 1919-81

日本編(政治、外交、経済、労働、国民生活、社会、地方、文化)、四
部編、各賞・スポーツ、名産・団体名簿、統計・資料・図表などから成
る。1980年版の別冊は「近・現代史年表」、1981年版の別冊は「最新時
事用語」。前々年9月から前年の8月までを収録期間としていたが、1967
年版からは暦年編集となる。巻頭に索引(和字・ローマ字)がある。1981
年をもって刊行中止。

ミリオネ全世界事典 学研研究社 1980 14冊

イタリアの *il Milione, Enciclopedia di tutti i Paesi del Mondo*
(1975-79) を正本とし、必要に応じて補記した各国事典大系ともいう
べきもの。1-5巻がヨーロッパ、6-9巻がアジア、10、11巻がアフリ
カ、12、13巻がアメリカ、14巻がアメリカ、オセアニア、順次に当てら
れている。それぞれ各国について、「総説」、「国土」、「人口」、「都市」、
「経済」、「歴史」、「文学」、「美術」、「演劇」、「音楽」、「科学」、「風俗と
習慣」などの見出し語のもとに平易に解説している。原色図版が豊富で
ある。

読売年鑑 読売新聞社 1949-

日本(日本10大ニュース、政治、外交、経済、財政、産業、教育、労
働、社会)、都道府県、世界、文化、スポーツ、統計の大見出しのもとに
解説している。『読売政治年鑑』(昭和21-24年版)の題検。前々年の
9月から前年の8月までを収録期間としていたが、1980年版から暦年編
集となる。巻頭に、ローマ字、カタカナ、漢字の索引がある。

ラテン・アメリカが典 1979年版 ラテン・アメリカ協会 1979 1358p

総論編は8章(ラテン・アメリカ全般の自然、住民、歴史、文化と社会、
宗教、政治・法制、経済、日本との関係)に分けて解説。各国編は、
27か国と争地立地域11について、総論編に準じて解説している。ほかに、
資料編があり、「ラテン諸国間主要条約及び協定」、「ラテン一般事情及
対日関係に関する資料」、「ラテン・アメリカ歴史年表」等を収録。

類語辞典 広田栄太郎、鈴木繁三 東京堂 1955 746p

普通語に限らず、漢語、和語、古語、俗語、敬語、方言、成句などにわ
たって、類語、同義語の見地から整理し、五十音順に配列した辞書。見
出し語には通用の語を選び、多数の参照見出しを付している。漢字の同
義異義の説明もある。巻末に花ことば、枕詞、季題一覧、逆引枕詞、序
詞一覧などがある。

和独大辞典 木村謙治 博友社 1952 2633p (複製)

見出し語をヘボン式ローマ字の ABC 順に配列する。同一語で多くの意義を持つものは分類し、単語、例句、例文をそれぞれ分けて収録している。句の配列は名詞、形容詞、副詞、動詞の順である。昭和12年に博文館から刊行されたものの複製であり、用語、字体とも旧式。歴史的かなづかいに慣れないと使いづらいが、熟語、例文は豊富である。

63(213):016
Abstracts on tropical agriculture. Amsterdam.
Department of Agricultural Research, Royal Tropical
Institute, in co-operation with the Agricultural
University, Wageningen, 1975-. v.1, no.1-. Monthly.
D.fl.200 pa.

As *Tropical abstracts*, 1946-74 (v.1-29).

V.3(1977): 5,952 indicative and informative
abstracts. Classes A-S. Each issue has geographical,
affiliation and author indexes. Annual geographical,
affiliation, author and subject indexes. A major source
of information in its field. Card service available. The
new format conforms more closely to that of *Agrindex*
(qv).

Tropical storage abstracts (Slough, Berks, Tropical
Stored Products Centre, 1973-. 6 pa) has c.200
abstracts pa on the storage of durable agricultural
produce in the tropics. Annual author and subject
indexes.

熱帯地方の農産に関する抄録、1975-。地理・合同・著者名索引
あり。この分野での主たる情報源。"Tropical abstracts"の題
名で、1946-74まで継続。

Acronyms, Initialisms & Abbreviations Dictionary, 7th ed. E.T.
Crowley. Detroit, Gale Research, 1980. 1900 p.

あらゆる分野の略語、頭字語等の省略形 13 万以上を見出しとし、その
完全形と定義をみえている。通常、3 年ごとに改訂されるが、その間、
毎年 *New Acronyms, Initialisms & Abbreviations* という補遺を発
行し、1 万 2 000 以上の新しい略語を追録している。

908(6):016
African abstracts: quarterly review of articles appearing in
current periodicals. London, International African
Institute, 1950-72. v.1-23.

Published with assistance of grants from Unesco and
the Ford Foundation.

Bilingual in English and French up to and including the
1966 volume; thereafter in English only, with a French
edition, *Analyses africanistes*. Abstracts of articles in
African studies in leading European, African and
American periodicals. Each volume has a detailed,
analytical index. V.1-20 reprinted by Dawson
(Folkestone, Kent), 1970, at £120.

ヨーロッパ、アフリカおよびアメリカの主要誌を収録したアフリ
カ研究に関する抄録誌。

African Bibliographic Center. Rural development in Africa. [Comp. by Anita Rhett et al.]. Washington, D.C., 1972. 129 p. (Current Reading List series, v. 9, no. 2) H338

An annotated bibliography of 1121 imprints from 1969 to 1972, in all languages. The material is in three sections: (1) lists of publishers, lists of periodicals and abstracting services; (2) subject bibliography under such topics as rural development, cooperatives, land, marketing, finance, planning; and (3) area and country bibliography. Author and subject indexes.

アフリカにおける地域開発、全言語における 1969-72までの出版物 1, 121件の書誌。3分野より成る。1: 出版物のリスト、雑誌および抄録作成機関のリスト 2: 地域開発、協力、土地、マーケティング、財政、計画等の主題書誌。3: 地域・国名書誌。著者名および主題索引

908(6):016

Africana Journal: a bibliography and review quarterly. New York, Africana Publishing Co., 1970-. Quarterly. \$25 pa (individuals), \$40 (institutions).

As *Africana library journal*, 1970-73.

'Part of this journal is devoted to reviews, part to bibliography with subject and geographical sections' (Univ. of London. School of Oriental and African Studies. *Library guide* (4th rev. ed. 1980), p.27).

アフリカ研究に関する文献展望と書誌

Agricultural Development Council. Research monographs. New York, 1965-1970. 6 nos. H339

Contents: Number 1, Research on agricultural development in Southeast Asia, by C. R. Wharton, Jr. (62 p.); number 2, Research on agricultural development in North Africa, by P. W. Foster (72 p.); number 3, Research on agricultural development in East Africa, by P. F. M. McLoughlin (111 p.); number 4, Research on agricultural development in selected Middle Eastern countries, by D. C. Taylor (166 p.) (covers Iran, Iraq, Jordan, Lebanon, Saudi Arabia, Syria, Turkey); number 5, Research on agricultural development in Central America, by H. A. Lombardo (71 p.); number 6, Research on agricultural development in five English-speaking countries in West Africa, by C. K. Eicher (153 p.) (covers Gambia, Ghana, Liberia, Nigeria, Sierra Leone). The *Research monographs* consist of short articles, bibliographies of published items, dissertations, and research in progress, plus recommendations for further research. Institutions conducting research in the area are also listed. Material is in the language of the areas as well as in English. No indexes.

記事論文、出版物の書誌、論文、進行中の研究を収録。研究機関のリストあり。索引はなし。6号より成る。

- 1: 南アジアの農業開発研究
- 2: 北アフリカ "
- 3: 東アフリカ "
- 4: 中近東の国々 "
- 5: 中米 "
- 6: 西アフリカの英語が公用語の 5ヶ国 "

An Almanack. London, Whitaker, 1868— (Annual)
米国の上掲書と同様に、様々な事項、事象にわたる情報を豊富に収録しているが、英国の出版物であるところから、英国をはじめ、ヨーロッパに関する統計的な情報が豊富である。同類の他の年鑑と比較すると、特に索引が詳細である。通称 Whitaker's Almanack.

908(5)(058)
Asia yearbook. Hong Kong, Far Eastern Economic Review, Ltd., 1960-. Annual. (1981 ed. 267p. £6.50).

Formerly 'Far Eastern economic review' yearbook.
An overview is followed by country-by-country analyses, covering politics and social affairs, foreign relations, economy and infrastructure.

Not to be confused with the London-based *Asian annual: the 'Eastern World' handbook* (London, Foreign Correspondents, Ltd., 1954-. \$2.50 pa).

アジア各国の政治、外交、経済全般を概観した年鑑。

908(5):016
Asian bibliography. Bangkok, UN Economic Commission for Asia and the Far East, Library, 1952-. v.1, no.1-. 2 pa. Exchange basis only.

A selective list of the ECAFE Library's book accessions dealing with Asia and the Far East. Titles of publications in Asian languages are translated. About 500 items per issue on 33 areas (A-Z), with subject subdivisions (eg. Hong Kong: Agriculture — Administration — Audit — Budget — Education — Fisheries — History — Immigration — Police — Public service — Public works — Trade — Water transport).

ECAFE図書館の収蔵書のうち、アジアに関する図書を収録した雑誌。

378(4/9-77):016
ALTBACH, P.G. Higher education in developing nations: a select bibliography, 1969-1974. New York, London, etc., Praeger, with the International Council for Educational Development, 1975. iv, 229, [1]p. (Interbook Inc. \$6).

Continues his *Higher education in developing countries* (Cambridge, Mass., Harvard Univ., Center for International Affairs, 1970).

Bibliography of 2,438 references (general perspectives; developing countries; regions and countries; Africa (Botswana ... Zambia); Asia; Latin America; Middle East and North Africa) — largely for periodical articles. Appended list of bibliographies and journals. Cross-reference index. Appendix: International and regional agencies concerned with research and education in higher education.

開発途上国における高等教育に関する主として、雑誌記事の図誌。
2,438リファレンス(概観、開発途上国、地域・国、アフリカ、アジア、中南米、中近東および北アフリカ)。付録：高等教育研究および実施に関する国際および地域団体。

Annual Abstract of Statistics. Gr. Brit. Central Statistical Office.
London, H.M.S.O., 1946— (Annual)

上記と同じく、英国のあらゆる分野の統計をほぼ10年の期間を対象にして集録した包括的な統計年報。各統計表には典拠資料が示されているので、さらに詳しい統計へのガイドとして利用できる。前身は、同国者の *Statistical Abstract* (1840/53—1924/38) である。

1731735 LCCN: 81189261

Natl. Bibliography No.: C***

SALUS, low-cost rural health care and health manpower training: an annotated bibliography with special emphasis on developing countries / editor, Rosanna M. Bechtel; abstracts written by Rosanna M. Bechtel ... [et al.]

Variant Title: S.A.L.U.S., low-cost rural health care and health manpower training

Bechtel, Rosanna M.

Corporate Source: International Development Research Centre.

Ottawa: International Development Research Centre, c1981-(1982 > v. <1-9 >); 25 cm.

Publication Date(s): 1981-9999

Place of Publication: Ontario Government Level: [International

ISBN: 0889362904 (pbk. : v. 7)

LC Call No.: RA771.52 Dewey Call No.: 362.1/0425

Languages: English

Document Type: Monograph; Bibliographies

*IDRC-165e.** [includes indexes.

Descriptors: Rural health services-Abstracts; Underdeveloped areas-Public health-Abstracts; Underdeveloped areas-Community health services-Abstracts; Underdeveloped areas-Medical education-Abstracts

農村衛生と人材養成プログラムに関する図誌.

908(5):016

Bibliography of Asian studies. Ann Arbor, Mich. [later New Haven, Conn.], Association for Asian Studies, 1956-. Annual.

As *Bulletin of Far Eastern bibliography*, 1936-40; as 'Far Eastern bibliography', in *Far Eastern quarterly*, 1941-56. Cumulated annually from 1946. Now forms the September issue of *The Journal of Asian Studies* each year.

The 1975 issue (1978. xlviii, 738p.) has 17,775 numbered entries, the result of analysis of c.800 periodicals and c.150 books. Detailed arrangement. 45 countries/areas (Asia — Indian Ocean — East Asia — China ... Soviet Far East ... Malaysia ... South Asia ... Afghanistan). 'Asia (General & miscellaneous)' is subdivided: Anthropology & sociology — Arts, communication & media — Economics — Education — Geography — History — Language — Library & information services. — Literature — Philosophy and religion — Politics and government — Science and technology. Author index.

アジア研究に関する図誌.

Biological & agricultural index, a cumulative subject index to periodicals in the fields of biology, agriculture and related sciences. V. 1- (1916-). New York: H. W. Wilson, 1919-. A045

Monthly, except August. Cumulated quarterly and annually from September 1964 to date. Cumulated triannually 1916-August 1964. Service offered on subscription basis. Title was *Agricultural index* (1916-1964).

Material covered. Indexes 185 primary journals in English concerning the fields of agricultural chemicals, agricultural economics, agricultural engineering, agriculture and agricultural research, animal husbandry, bacteriology, biochemistry, biology, botany, conservation, dairying and dairy products, ecology, entomology, food science, forestry, genetics, horticulture, marine biology, microbiology, mycology, nutrition, pesticides, physiology, poultry, soil science, veterinary medicine, virology, and zoology. Journals selected by subscribers' vote. 60 of the journals indexed are from Britain and the British Commonwealth countries, 101 from the United States, 4 from Europe, and 3 from international organizations. 7 Translations of Russian journals are also included. Bulletins of state agricultural experiment stations, the U.S. Department of Agriculture, and selected state agricultural extension bulletins were indexed from volume 1 to volume 18 (1916 to 1964). Certain foreign-language titles were dropped in 1949.

Contents and arrangement. Similar to *Readers' Guide to periodical literature* and other H. W. Wilson indexes. Citations are listed by subject using Library of Congress subject headings and subheadings. Cross-references to other subjects are given when appropriate. No author indexes. Each citation includes title of article, author, abbreviated title of journal, volume, pagination, and date, plus bibliography and translation notes, if significant. Book reviews are listed by author in a separate section in each issue. These may be useful for selection of current books.

Critical comment. Widely used because of its selectivity and the arrangement of citations under specific subjects, which enables users to obtain references without having to refer laboriously between indexes and citation lists. Of particular value for those wanting a few important references quickly. Other sources, however, must be used for comprehensive searches and searches by author.

農業および関連分野の英文誌を収録対象とする索引誌。

1423511 LCCN: 80053500
Food aid and policy for economic development : an annotated bibliography and directory / by Melissa Lawson Cadet
Cadet, Melissa Lawson.
Sacramento, Calif. : Trans Tech Management Press, c1981. 178 p. : 28 cm.
Publication Date(s): 1981
Place of Publication: California
ISBN: 0938398016 (pbk.); 0938398000
LC Call No.: Z7164.F7C32; HV696.F6 Dewey Call No.: 016.3638/8/091724
Languages: English
Document Type: Monograph; Directories
Includes index.
Descriptors: Underdeveloped areas-Food relief-Bibliography; Underdeveloped areas-Food relief-Directories; Economic assistance-Bibliography; Economic assistance-Directories

食糧援助と経済援助に関するディレクトリーおよび注解書誌。

Columbia Lippincott Gazetteer of the World. L. E. Selzer. New York, Columbia Univ. Press, 1962. 10, 2143, 22 p.

世界の地名を約13万の見出し語にして、その綴字、発音、所在、地域および人口、文化、政治、経済、産業等の人文・自然地理情報を記載している。ただし、歴史地名についてはあまり詳しくない。補遺の部分で1952年以降の政治的・地理的な変化について解説している。

Commonwealth Secretariat. Food Production and Rural Development Division. Training for agricultural development; directory of resources in the Commonwealth. London, 1976. 360 p. H433

The directory resulted from the need for information about education and training facilities to "accelerate the pace of improving the nutrition, purchasing power, and therefore, the quality of life of the vast number of rural dwellers in the Commonwealth." Information was obtained principally from local staff, otherwise from publications made available by national, international, or academic sources. For each Commonwealth country are given a description of the geography, the agricultural economy, and the situation of education; followed by a list of schools and training centers, with information on the administration and the courses for each. All 42 Commonwealth countries are considered, and an index to courses and institutions is found at the end. There is also a list of international agricultural training centers.

共和国の農業開発教育および研修施設のディレクトリー。42ヶ国収録。コースおよび機関の索引が巻末にあり。国際農業トレーニングセンターのリストあり。

341.232(033)=40
CANADIAN INTERNATIONAL DEVELOPMENT AGENCY (CIDA). {Rev. ed.}. English-French international development lexicon/Lexique français-anglais du développement international. Compiled by D. Szachanska. Ottawa, CIDA, 1977. 86p. 102p.

Over 1,000 terms, including 400 organisations, in the field of international organisation and co-operation. 4 parts: (a) a list of national and international bodies; (b) acronyms; (c) the development terminology (35 categories); (d) areas. Bibliography is included. (Based on *Unesco bulletin for libraries*, v.32, no.3, May/June 1973, entry 137).

国際機関・協力の分野における語彙集(英-仏)。4部(国内および国際組織のリスト、頭字語、開発用語集、地域)より成る。(1,000語以上、機関名400含む)。

341.232:003.083

CARROLL, M., *comp.* Acronyms relevant to international development/Liste de sigles en développement international/Sigles relacionadas con desarrollo internacional. Ottawa, International Development Research Centre, 1980. 162p. (Unipub. \$9).

About 1,500 entries. AAACU ... ZPG, giving abbreviation, full name, place and country.

国際開発における、もしくはそれに関するsigle のリスト (1,500項目。略称、正式名称、地域)

Dejene, Tekola and Smith, Scott E. Experiences in rural development: a selected, annotated bibliography of planning, implementing, and evaluating rural development in Africa. Washington, D.C.: American Council on Education, Overseas Liaison Committee, 1973. 48 p. (OLC Paper no. 1) H342

256 items issued since 1960, intended as an aid to persons concerned with rural welfare. Material for Africa is arranged by large topics, such as planning, administration, evaluation, education, and programs. Another section, containing selected items on India and Mexico, is not subdivided by subject.

Material consists of books, periodical articles, and agency and conference papers in English and French. Author and subject indexes.

アフリカの地域開発の計画、施行、評価に関する図誌。1960年以降。256項目(英・仏語の図書、雑誌記事、機関および会議録)主題配列: 計画、管理、評価、教育、プログラム、インド、メキシコに関する項目もあり。著者名および主題索引あり。

341.232:061(410)

Development guide: a directory of non-commercial organisations in Britain entirely concerned in overseas development and training. London, Overseas Development Institute; Hemel Hempstead, Herts., Allen & Unwin, 1978. ix, 216p. £8.50.

First published 1962.

200 organisations, (Action in Distress (AID)... Young Women's Christian Association (YWCA) of Great Britain), p.3-302 — 1 per page. Data: name and address; aims; number of members; research; education, training; information and advice; publications; when founded; how financed; name of president. 'Overseas sources of information' (countries, A-Z), p.205-8. Index (partly analytical).

海外開発・研修に関する英国の非営利団体のディレクトリー (200機関)。

1430591 LCCN: 80154344
 Natl. Bibliography No.: F***
 La Mortalite dans les pays en developpement = Mortality in developing countries
 Variant Title: Mortality in developing countries
 Conde, Julien.
 Corporate Source: Organisation for Economic Co-operation and Development, ; Development Centre.
 Series: Etudes du Centre de developpement = Development Centre studies; Development Centre studies.
 Paris : Centre de developpement de l'Organisation de cooperation et de developpement economiques ; New York : Division de la population des Nations-Unies, 1980- (6) v. in (3) : ill. ; 27-32 cm.
 Publication Date(s): 1980-9999
 Place of Publication: France Government Level: International
 ISBN: 9264020977 (v. 1)
 LC Call No.: HB132L.M6 Dewey Call No.: 312/.2/091724
 Languages: English; French
 Document Type: Monograph; Statistics
 English and French. Bibliography: t. 3, p. 72.
 Contents Note: t. 1. Banque de donnees v. 1. Structures de population v. 2. Donnees brutes: deces, taux et tables de mortalite / par Julien Conde, Michele Fleury-Brousse, Dominique Waltisperger -- t. 2. Banque de donnees v. 3. Evaluation v. 4. Ajustements / par Julien Conde, Michele Fleury-Brousse, Dominique Waltisperger -- t. 3, v. 5-6. Nouvelles tables-types de mortalite a l'usage des pays en developpement / par Reny Clairin ... [et al.]
 Descriptors: Underdeveloped areas-Mortality-Statistics; Underdeveloped areas-Statistics, Vital

途上国地域の死亡率に関する統計.

Cumulative Book Index. New York, Wilson, 1893— (Monthly)
 英語で書かれた図書の世界書誌を目指し、各国で出版販売された図書を収録対象とする。年間5~6万点の記入数にのぼり、著者、書名、件名の詳出体目録形式の構成で、原則として著者記入のもとに完全な書誌的データすなわち書名、頁数、価格、出版年、出版者などが記載されている。米、カナダで出版販売された図書を一括収録した *United States Catalog* が4版(1928)をもって最終版となったので、その補遺として、この月刊版が逐次累積されることになった。まず1928年から32年までの累積版が第1巻となり、以後現在に至っている。なお年間累積形式になったのは1969年からである。略称 CBI。

338.984:016

Development index: list of periodical articles indexed by the Library of the Overseas Development Administration. London, the Administration, 1967-. Fortnightly. *Gratis*.

A current-awareness index. Each issue has c.50 references on Third World economies. Arranged under alphabetical subject heads (eg. Agricultural development; Co-operatives; Dairy industry; Economic surveys; Energy; International economic relations; Land; Public health; Raw materials; Technical co-operation; Wildlife; Women in development).

海外開発（農業開発、協力、畜産、経済研究、資源、国際経済、国土、公共衛生、原料、技術協力、野生動物、女性問題）に関する雑誌記事索引。

Devindex Canada; index to 1975 Canadian literature on economic and social development. Index de la littérature canadienne de 1975 sur le développement économique et social. Ed. by Gisèle Morin-Labatut. Ottawa: International Development Research Centre, 1976. 58 p. H343

In English and French. "An annotated bibliography of material published in Canada during 1975 on social and economic development in developing countries of the world as part of the DEVSIS (Development Sciences Information System) project." The purpose of the bibliography is to assist decision-makers with background information on facts, trends, policies, programs, evaluation, and resources for development, including agricultural development. The publications are arranged accordingly; author, subject, geographic, and institution indexes. Plans for future bibliographies are tentative.

発展途上国における経済および社会開発に関するカナダ国内で出版された文献索引（1975年版）。英語・仏語使用。著者名、主題、地理および機関の索引あり。

338(4/9)(022)

ECONOMIST INTELLIGENCE UNIT. Quarterly economic review series. London, the Unit, 1952-. diags., charts, tables. ea.£11; £40 pa. for one review (4 issues & annual suppt.); £2,080 pa. the complete set.

80 different reviews covering 160 countries, each review having four quarterly issues and an annual supplement. Each review contains a summary, main trends in the economy and forecasts for a year ahead, news analyses on main issues such as political developments, government policies, trends in investment and consumer spending, key business indicators, evaluation of foreign trade data, and assessment of development plans. Includes charts and statistical appendices. Valuable, if expensive, economic digests.

世界 160 カ国の経済状態、開発計画を分析し、動向の予測を行なった包括的なレビュー。

362.1(4/9):016

ELLING, R.H., ed. *Cross-national study of health systems — countries, world regions, and special problems: a guide to information sources*. Detroit, Mich., Gale Research Co., 1980. xviii, 687p. (Health affairs information guide series, v.3). \$36.

Complementary to *Cross-national study of health systems — concepts, methods and data sources*. (Transaction Bks., 1980).

Identifies 17 types of special problems in health systems. Specific countries (including Canada, Cuba, People's Republic of China, Sweden, UK and USSR — but not USA dealt with elsewhere in the Health affairs series), and other world regions are then covered. The annotated bibliography records research monographs, periodical articles, official reports and unpublished dissertations, according to the Gale prospectus.

各国の保健制度に関する注解書誌.

908(4/9-77)(031)

Encyclopedia of the Third World, by G.T. Kurian. London, Mansell, 1979. 2v. (1,400p.). diagrs., tables, maps. £40. (Rev. ed. Mansell. c.£60; Facts on File, 1981. 3v. \$125, the set).

1: Afghanistan-Kuwait; 2: Laos-Zambia.

Europa year-book-type data on 114 countries. V.1 includes 'Organizations', p.3-25. 'Guyana', p.586-99, has 'Basic facts sheet' on location & area; weather; population; ethnic composition; language; religion; colonial experience; constitution and government; civil service; local government; foreign policy; Parliament; political parties; economy; budget; finance; agriculture; industry; energy; labour; foreign commerce; transport & communications; mining; defence; education; legal system; law enforcement; health; food; media; social welfare; glossary; chronology (to 1977); bibliography (6 items). V.2 has 7 appendices of statistics; also 'Basic bibliography of the Third World', under 6 heads. Non-analytical index. — a distinct drawback.

Somewhat of a luxury to libraries possessing current editions of *Statesman's year-book* and *Europa year book*.

第三世界に関する概観的事典 (2巻には第三世界に関する書誌あり)

1. アフガニスタン—クウェート
2. ラオス—ザンビア 計 114カ国

Europa Year Book. London, Europa Publications, 1959—

国連および専門機関、その他の国際機関に次いで、世界各国をABC順に配列し、概観、統計表による対照を行い、政府、政党、憲法、宗教、新聞社、出版社、放送機関、財政、通商産業等について解説する。前身のルースリーフ式の *Europa Year Book* (1926—29)、および *Europa* (1930—58) のほかに、ヨーロッパ以外の地域を対象とする年鑑 *Orbis* (1938—59) をも継承する。

Facts on File; a Weekly World News Digest ... New York, Facts on File, Inc., 1940— (Weekly)

世界のニュースを主要な新聞から選び、その客観的な要約を、粗い主題見出しのもとに配列して速報する。米国内および米国外と関係の深い事件に関するニュースに重点をおく。隔週、各月、四季の索引のほか、年間の詳細な索引がある。この週刊版を累積したのが *Facts on File Yearbook* であり、世界、米内、その他の諸国、一般、の4分類のもとに重要な出来事を整理している。1946年以來、*Five-Year Index* によってカバーされている。

908(4/9-77)(05/F)

Focus. New York, American Geographical Society, 1950-
v.1, no.1. Monthly. \$10 pa.

[?] Earlier sub-title: 'presenting a brief, readable, up-to-date survey of a country, region or resource (eg, Water; Uranium), helpful in understanding current world events'. V.24, no.2, October 1973: 'Bolivia' (8p. 3 illus., 3 maps) covers history, social and population factors, environment, the economy, transportation and trade, the Bolivian revolution and its aftermath, with 'Suggested readings'. 'Public libraries will find it [the series] helpful as an excellent reference service' (Katz, W. *Magazines for libraries* (3rd ed., 1978), p.451).

地域もしくは資源研究誌。世界状況を知るのに有益。

Food and Agriculture Organization of the United Nations. Bibliography on land settlement.
Bibliographie sur la colonisation agraire;
Bibliografía sobre colonización de tierras. Rome,
1977. 136 p. H344

A geographical arrangement (by continent and country) of publications for the decades of 1960-1970 devoted to the "planned movement of populations to areas of under-utilized agricultural potential" (Preface). Items consist of books, periodical articles, government documents, and conference papers, in world languages; English translations are given for titles in non-Latin alphabets. Material is compiled from the Land Tenure and Production Structure Service, and from other sources listed on page vi of the Preface. The semi-annual FAO bulletin *Land reform, land settlement and cooperatives* is recommended to keep up-to-date with publications on land settlement. Author index and list of periodicals consulted.

移住民に関する 1960-70の雑誌。大陸および国での地理配列。図書、雑誌記事、政府刊行物、会議録収録。使用言語は全世界的で、タイトルは英語翻訳つき。著者名索引および雑誌リストあり。

Food and Agriculture Organization of the United Nations. Development—a bibliography; a selected annotated bibliography on development. Développement—une bibliographie; choix d'ouvrages sur le développement: titres et notices bibliographiques. Ed. 2. [Rome], 1974. 87 p. H345

A list of "relatively accessible" books published in English and French since 1960 for use by educational programs on agricultural development. Material is divided into (1) regional programs arranged by geographical area, and (2) topical programs, such as land use, settlement, marketing, etc. At the end, a list of pertinent periodicals, useful bibliographies, and an author index.

農業開発の教育プログラムに使用でき、比較的入手可能な出版物の書誌。英国とフランスで1960年以降のもの収録。内容：1. 地域プログラム（地理配列）2. 特定プログラム、雑誌リスト、書誌、著者名索引あり。

Food and Agriculture Organization of the United Nations. FAO commodity review and outlook (1961-). Rome, 1961-. (Document CCP; issued also as UN Document E/CN, or PP/G 1875/E/7.75/1/6000.) H147

Issued annually. An English-language narrative and statistical summary of the world food, feed, and fiber situation. The major part is devoted to surveys of individual commodities: production, trade, prices, supply and demand, and outlook. Includes occasional special features, such as policy actions, food aid, conferences, and future plans.

世界の食糧問題に関する統計等も含めた要約。年刊。

Food and Agriculture Organization of the United Nations. Production yearbook. V. 12- (1958-). Rome, 1959-.

Trade yearbook. V. 12- (1958-). Rome, 1959-.
H168

The Production yearbooks are arranged by commodity groups, giving quantities and values of production worldwide and by country. Statistics are given in part 1 for food and fiber, livestock, use of land, population, machinery, and fertilizer. Part 2 contains statistics on prices of products, freight rates, and wages.

The Trade yearbooks are arranged by commodity groups, giving quantities and values of trade worldwide and by country. Statistical tables are issued for livestock, dairy products, other foods, and fibers.

FAO Production yearbooks and Trade yearbooks are published in French and English. They continue the Yearbook of food and agricultural statistics (1947-1957), which was a continuation of the International yearbook of agricultural statistics (1909-1946) published by the International Institute of Agriculture. The Production yearbooks and Trade yearbooks provide the most complete annual record of world agricultural statistics available, compiled from national reports. There are copious notes and occasional retrospective statistics. Statistical information is documented for all tables. FAO offers "standard tapes" giving data in computer-readable form to users of the Production yearbooks and Trade yearbooks. Information on ordering can be obtained from Computer Systems Branch, Management Services Division, Food and Agriculture Organization of the United Nations, Via delle Terme di Caracalla, 00100 Rome, Italy.

Statistics are supplemented by the FAO monthly bulletin of agricultural economics and statistics (1952-).

世界各国における農業製品の生産量や価格に関する統計を記載した年鑑。

Food and Agriculture Organization of the United Nations. Report on the world census of agriculture (1950-). Rome, 1955-. H1169

Successor to: International Institute of Agriculture, *The First world agricultural census* [1930]. Rome, 1939. 5 v. (No census taken in 1940.)

Starting in 1950, a decennial census was taken by FAO, either by questionnaire to the cooperating countries (upwards of 100 so far), or by data gathered from national census reports. The first volume of each census contains the results by countries; succeeding volume(s) contain the program, scope, methodology, and analysis of census results. The first report of the 1970 census appeared in a preliminary edition in 1973. Statistical data for each country include: land utilization, number of holdings, acreage and production of crops, number of livestock and other animals, farm machinery, irrigation and drainage, fertilizers.

The statistical data are kept up-to-date by the FAO *Monthly bulletin of statistics*, (1952-), and by the U.S. Foreign Agricultural Service's *World agricultural production and trade, statistical report* (1963-) (monthly).

20年毎にFAOによって行なわれる世界的な農業統計調査の報告書。土地利用、穀物の収量、家畜の数、耕作施設、機械数等の統計を載せる。

Food and Agriculture Organization of the United Nations. A Selected list of books and periodicals for agricultural education and training in Africa. Rome, 1968. 132 p. H422

"FAO is often called upon to offer guidance to institutions establishing new libraries by suggesting books, manuals, and periodicals which can form the nucleus of such libraries. Hence this select list" (Foreword). English-language textbooks and manuals, with information on purchasing, are arranged in broad groups according to the Universal Decimal Classification: reference works, statistical methodology, sciences, and applied sciences (public health, veterinary medicine, and agriculture). Appended are a list of periodicals, a list of publishers, an author index, and "Notes for library assistants" processing material for the new library.

アフリカの農業教育および研修のための図書・雑誌リスト。UDCで分類されている。付録・雑誌リスト、出版者リスト、著者名索引。

Food and Agriculture Organization of the United Nations. Documentation Centre. Education and training: annotated bibliography, author and subject index. FAO publications and documents (1967-Sept. 1972). Rome, 1972. 388 p. (DC/Sp.25) H421

Title and introductory material also in French and Spanish. An accessions list of 1272 publications in order of receipt in the Headquarters Library in Rome. Coverage is worldwide, with English translations of foreign titles. The material is arranged in three parts: the bibliographical (accessions) list, an analytical keyword subject index in English and an index of authors or entries. Some of the topics covered: personnel, use of radio and television in education, educational methodology, and research in education.

教育および研修に関する。著者・主題索引。

GEO abstracts (1966-). Norwich, Eng.:
University of East Anglia, GeoAbstracts Ltd.,
1966-. H199

Issued bimonthly, 1966-1971, entitled *Geography abstracts*. The abstracts are issued in seven sections, which are usually treated separately in libraries: Section A, Landforms and the Quaternary; section B, Climatology and hydrology; section C, Economic geography; section D, Social and historical geography; section E, sedimentology; section F, Regional and community planning; and section G, Remote sensing, photogrammetry, and cartography. A classified list of "published" items (as opposed to discussion papers or near-print materials), in European languages: monographs, periodical articles, academic series, and essays. English translations of foreign titles. Approximately 1500 periodicals are scanned for the entire set. Annotations are supplied either by the author of the item or by signed experts. Annual author and keyword subject indexes for the period 1966-1971 were combined for all seven sections; from 1972 onward, annual indexes are divided into physical sciences (sections A,B,E,G) and social sciences (sections C,D,F). Five-year indexes are issued for each section individually. See Chapter E for description of appropriate sections in the physical sciences aspects of agriculture. The following social sciences sections are germane: Section C, Economic geography, contains abstracts on agriculture, international trade, labor, natural resources, tourism, and recreation; section D, Social and historical geography, contains abstracts on population, migration, education, and history; section F, Regional and community planning, contains abstracts on rural planning, conservation, and natural resources from the planning aspect.

地理学全般の単行書や雑誌論文を収録した抄録誌。

341.232:061(4/9)
GREAT BRITAIN, DEPARTMENT OF EDUCATION
AND SCIENCE. International understanding: sources of
information on organisations, 1979; a handbook for
schools and colleges. London, the Department, 1979.
158p. *Gratis*.

1974 ed. as, *Sources of information on international
organisations* (\$5p.).

Details of over 100 organisations, national and
international (eg. A1. Action in Distress (AID) ... Y1.
International Year of the Child), 'C25. Commonwealth
Institute': 17p. Data include: name and address;
telephone number; enquiries; description and aims;
special dates; resources and services; topics. 'Some special
dates', p.9-10. Resources and subject indexes.

英国内および国外の学校ならびに大学のハンドブック (1979年度、
100頁以上)

338.984.3:016
GREAT BRITAIN, DEPARTMENT OF INDUSTRY,
Statistics and Market Intelligence Library. Development
plans available in the Statistics and Market Intelligence
Library. London, the Library, 1979. 22p. (Sources of
statistics and market information, 6 (Revised 1979)).
Gratis.

Concise annotated entries for over 100 development
plans, under sponsoring countries and continents, A-Z.
The plans listed are currently in operation.

現在進行中の開発プラン (100以上) を後援国ごとに項目化して
ある。

341.232(038)=20
GREAT BRITAIN. OVERSEAS DEVELOPMENT
ADMINISTRATION. ABC of aid and development: some
terms and institutions. [3rd rev. ed.]. London, ODA,
1980. 79p. *Gratis*.

First published 1971.

About 300 terms are defined, with background
information (eg. 'Inter American Development Bank
(IDB)'; 7/p. Aims 'to explain as simply as possible
phrases, terms and organisations commonly referred to
by those who are involved in overseas aid and
development' (*Preface*). Cross-references. Abbreviations,
p.5-10.

海外援助・開発に関する句・語・機関の説明書(300語、その背
景知識を記載)

Great Britain. Overseas Development
Administration. Library. British aid: a select
bibliography. Ed. 4. London, 1974. 18 p. H347

348 primarily British post-war publications concerned with the
large topic of development, including agricultural development,
cooperatives, resources, and rural development. Items are
arranged in four groups: Legislation and technical assistance
treaties, General studies and periodicals, Special aspects, and
Area studies. References consist of monographs, periodical
articles, and government publications. No indexes or annotations.

開発(農業開発、協力、資源、地域開発)に関する英国での戦後
の出版物の目録(348点)。4側面(法律および技術補助協定、一
般研究および雑誌、特定主題、地域研究)からなる。単行本、雑誌
記事、政府刊行物収録。索引、アノテーションなし。

Guide to Reference Books. 9th ed. E.P. Sheehy. Chicago, Amer-
ican Library Association, 1976. 1015 p. and suppl.

1973年末現在(74年発行のものが若干含まれている)、世界の各国で
出版された1万5000点以上の参考図書、一般(2942点)、人文学
(2459点)、社会科学(2265点)、歴史・地域研究(976点)および純
粋・応用科学(1698点)の五つの主題部門に大別し、そのもとは、
主題および参考図書の種類によって選定し出し語を立てて細分し、収録
する。的確な解題を与え、詳細な索引を付しているところに特色があ
る。通称 Sheehy。この補遺版は、その後の新刊の参考図書を追録して
いる。なお、旧版(8th ed.)は欄名に因んで、通称 Winchell という。

Guide to Reference Material. 3rd ed. A.J. Walford. London, Li-
brary Association, 1973-77. 3 vols.

Sheehy のガイド(102)に匹敵する解題目録で、英国出版の参考図書を
中心に、世界各国のものを収録している。第1巻(1973)は1972年4
月現在の科学技術関係のもの約4300点(他に解題中に含まれたもの約
700点)、第2巻(1975)は1974年4月現在の社会科学、史学、哲学、
宗教関係のもの約4500点(他に解題中に含まれたもの数百点)、第3巻
(1977)は1976年8月現在の国記、語学、文学、芸術などの分野のもの
約5000点(他に解題中に含まれたもの数百点)を国際十進分類法によ
って配列している。批判的な解題が多く、かつ評価は的確である。各巻
別の索引のほか、第3巻に累積事項索引がある。欄名にちなんで、通
称 Walford という。なお、第4版は1980年から刊行開始。

908(8=6):016

HALL, LEWELL, L... ed. Latin American bibliography: a guide to sources of information and research. London. Institute of Latin American Studies, for the SCOUNL Latin American Group, 1978. xviii, 227p. £4.

Subject A-Z: Bibliographies (p.14-28) ... Encyclopaedias ... Language dictionaries ... Library facilities (in U.K.; abroad) — Manuscripts and archives — Maps and atlases ... National bibliography — News and current affairs ... Official publications ... Periodicals ... Statistics ... Subject bibliography (general; major subjects) ... Theses (p.211-9) ... University study and research. 11 contributors. Annotated entries. No index, but fullish contents-list and cross-references. 'An initial guide, not a fully comprehensive bibliography' (*Foreword*). A basic introduction to sources of information and research on Latin America.

ラテン・アメリカに関する書誌。

908(8=6):016

Handbook of Latin American studies. Gainesville, Fla., Univ. of Florida Press (now Univ. of Texas Press), 1936-. v.1-. Annual. (v.42. £38.50. 1981. Univ. of Texas Press. \$55).

V.1-13 published by Harvard Univ. Press, Cambridge, Mass. Latterly prepared 'by a number of scholars for the Latin American, Portuguese and Spanish Division of the Library of Congress'.

Each volume now has over 9,000 annotated entries; section introductions; subject and author indexes, and list of journals indexed.

As from v.26 (1964) coverage has been split, 'Humanities' and 'Social sciences' volumes being published in alternative years. Thus v.38: *Humanities* (1976. xii, 695p.) has 9,750 concisely annotated entries for Humanities: bibliography and general works — Art — Film (new) — Folklore — History — Language — Literature — Philosophy. 96 contributing editors. V.39:

ラテン・アメリカ研究に関する註解書誌。年鑑。

Hazlewood, Arthur. The Economics of 'under-developed' areas, an annotated reading list of books, articles, and official publications. Ed. 2. London: Publ. for the Institute of Commonwealth Studies by Oxford University Press, 1959. 156 p.

H348

Hazlewood, Arthur. The Economics of development: an annotated list of books and articles published 1958-1962. London: Publ. for the Oxford University Institute of Commonwealth Studies by Oxford University Press, 1964. 104 p.

H349

Continues *The economics of 'under-developed' areas*. English-language material covering the characteristics and systems of agricultural production, land tenure, land reform, finance, and cooperation in developing countries. It mainly lists secondary material: "the research worker will have to go beyond this list" for such primary basic material as trade reports, statistics, or census reports. Material is arranged by topic; author and geographic indexes. Asterisks designate the compiler's first choice.

開発途上国の経済に関するリスト(図書、記事、政府刊行物)。
開発経済に関するリスト(1958-62の図書および雑誌記事)。主題：
農作物、土地保有、土地改良、財政、協力。二次資料が主。主題配
列で、著者名および地理索引あり。

1056296 LCCH: 70041193
Natl. Bibliography No.: G079
Agricultural statistics : a handbook for developing countries / by N. M. Idakkadar
Idakkadar, N. M.
Series: Pergamon international library of science, technology, engineering, and social studies
1st ed. Oxford ; New York : Pergamon Press, 1979. xii, 139 p. : 22 cm.
Publication Date(s): 1979
Price: L6.00 (\$12.50 U.S.)
Place of Publication: England
ISBN: 0080233000 ; 0080233072 (pbk.) :
LC Call No.: S494.S.E8132 1979 Dewey Call No.: 338.1/01/82
Languages: English
Document Type: Monograph; Statistics
Descriptors: Underdeveloped areas-Agriculture-Statistics; Underdeveloped areas-Agriculture-Statistical methods; Agriculture-Statistics; Agriculture-Statistical methods

途上国を対象とした農業統計のハンドブック。

63(213):016
IMPERIAL COLLEGE OF TROPICAL AGRICULTURE. Catalogue. . . University of the West Indies (Trinidad). Boston, Mass., G.K. Hall, 1975. 8v. \$545.

130,000 photolithographed catalogue cards for international literature on tropical and sub-tropical agriculture, and related sciences.

熱帯及び亜熱帯の農業と関連科学に関する文献の印刷目録カード
130,000収録。

-338.45(4/9-77):016
Industrial development abstracts. United Nations Industrial Development Organization, Vienna. New York, United Nations, 1971-. 5 pa. (UNIDO Industrial Information System (INDIS)). ea.\$3.

About 200 indicative abstracts per issue of 'printed publications, such as major studies and reports, publications in series, and selected articles; from the reports and proceedings of expert working groups, workshops and seminars; internal studies; public information series; and reports related to technical assistance'. (*Introduction*). Arranged by computer access number. Subject and personal author indexes precede.

工業開発に関する抄録、約 200。主題及び個人著者索引付

Inter-American Committee for Agricultural Development. Inventory of information basic to the planning of agricultural development in Latin America; selected bibliography. Washington, D.C.: Publ. by Organization of American States, General Secretariat, Pan American Union, [1964]. 187 p.

H351

A list of 5083 recent books, articles, and documents in English, Spanish, and Portuguese, "found useful in preparation of the inventory reports" (Intro.). Material published during the years 1950-1964 is grouped by topic, such as natural resources, planning, land use, credit, capital and prices, and marketing; under each topic, by country. Sources are listed in the Introduction; catalogues of leading agricultural libraries of the United States and Latin American countries were consulted, and cooperation was given by many officials and agricultural organizations. No annotations; author index and a list of abbreviations and acronyms.

ラテンアメリカにおける農業開発情報に関する所在目録。英語・スペイン語・ポルトガル語の最近の図書、雑誌、記事、文庫 5,083件収録。期間は1950~64。各主題のもとで国別分類。著者名索引と略語・頭字語のリストあり。

338(4/9-77)(021)

INTERNATIONAL BANK FOR RECONSTRUCTION AND DEVELOPMENT. [Economic development reports]. Baltimore, Md., Johns Hopkins Press; London, Oxford Univ. Press, 1951-

Reports of General Survey Missions to various underdeveloped countries, organised by I.B.R.D. at the request of the governments concerned. These missions undertake a general review of the countries' economic potentialities and propose recommendations on long-term development programmes. Not all the reports are published by the Johns Hopkins Press (eg, *Report on the economic aspects of Malaya*, Kuala Lumpur, Government Printer, 1963). Some of the series are the only reliable and lengthy economic surveys of the countries concerned. The reports run to 450-500 pages each and are supported by maps, tables and adequate indexes:

..... 338(4/9-77)(021)

WORLD BANK. World Bank country reports 1972-. Baltimore, Md., Johns Hopkins Press (except those marked *, issued by World Bank).

A new series continuing the above Economic development reports.

各国の経済状況や開発計画の総合レビュー・シリーズ

332(4/9)(083.4)

International financial statistics. International Monetary Fund. London, H.M. Stationery Office, 1948-. v.1, no.1-. graphs, tables. Monthly. \$35 pa. (\$14 to univ. libraries, faculty and students). Yearbook (1981. 466p. £8.45).

Preliminary pages have data on the IMF, exchange rates, fund accounts, all drawings, currencies drawn, use of fund credit, special drawing rights, foreign exchange, Dep. Banks' foreign assets, interest rates, money, export unit values, commodity prices. 'Country pages' covers c.100 countries (excluding Sino-Soviet bloc), Afghanistan ... Zambia, followed by notes on tables. The January 1979 issue (v.32, no.1) gives time series 1971-77, yearly; 1975-77, quarterly; 1978, quarters 1-3, monthly April-November. 'Sweden' occupies 4p.; 12 graphs; 139 lines of data (exchange rates, consumer prices; gross domestic product, etc.). Invaluable source of statistics.

国際経済に関する諸データと世界の約 100か国に関する財政データを収録

341.232.001.5

INSTITUTE OF DEVELOPMENT STUDIES. Development studies: register of research in the United Kingdom. Brighton, the Institute, at Sussex Univ., 1971-. (1977/78 (ie, 1976/77). 1978. x, 223p.).

First published 1971 as *Development studies: register of UK-based ongoing research*. Amendments and revisions in 1972 & 1973; 4th ed., 1976/77 (ie, 1975/76); then biennial.

Lists research projects arranged A-Z, by univ., polytechnic, etc., including short description, articles and/or reports published, etc. (598 research projects in the 1977/78 volume). Indexes by author/researcher, subject, geographic area, and funding agency. Appendices of statistical data; sample questionnaire; bibliography of research registers and related materials (international, regional, national).

Noted: *Development studies, 1966-1976*: a select list of the writings on Third World development by members of the Institute of Development Studies at the University of Sussex. Rev. ed., by C.M. Lambert. (Brighton, the Institute, 1976. ii, 88p.).

英国における開発研究に関する研究目録。プロジェクト名で配列され、また著者・研究者・主題・地域・スポンサーで索引されている。

Instituto Interamericano de Ciencias Agrícolas. Programa Cooperativo para el Desarrollo del Trópico Americano. Bibliografía sobre colonización en América Latina. Turrialba, Costa Rica, 1972. 70 p. (Centro Interamericano de Documentación e Información Agrícola. Bibliografías, no. 10) H350

A country arrangement of 1080 citations, listed by author under each country. No annotations, but complete bibliographic information given for primary and secondary material, covering the period 1947-1972. Items were selected from the library of the Institute and the Center. Books, pamphlets, government publications, theses, periodical articles, and conference papers, primarily in Spanish. Some of the subjects included: settlement, distribution of land, influence of industry on colonization, ethnic settlements, land use, land planning, and refugees. No index.

ラテンアメリカにおける移民に関する出誌。期間は1947~72、各国のもとで著者名でリスト(1,080件)。主にスペイン語のものでパンフレット、政府刊行物、学位論文、雑誌記事、会議録収録。索引なし。

Jessee, David L. and Brannon, Russell H.
Unemployment and underemployment in rural
sectors of the less developed countries, a
bibliography. Washington, D.C.: Agency for
International Development, 1977. 154 p. on 2
microfiche. (AID Technical Assistance Bureau,
Economics and Sector Planning Division
AID/TA/AGR/ESP, Occasional Paper no. 6)

H073

A classified bibliography of 1400 English-language publications written in the last 20 years, consisting of periodical articles, books, and academic papers, plus publications of international organizations. The classification covers 4 major subject areas with their sub-topics: (1) the nature and scope of employment and income problems; (2) technological impact upon employment and income; (3) agrarian sector policies designed to increase employment and income; and (4) the role of the rural sector and other sectors in regional or national economic development. A number of disciplines are explored, including sociology, anthropology, and public administration, but the emphasis is on economic analysis and interpretation. No annotations, no index.

途上国の農業における雇用問題の過去20年間の英文雑誌論文、図書、学術刊行物、国際機関の出版物を広く網羅した書誌。

338.984.3:016

Journal of development planning, 1969, no.1, p.173-208:
'Annotated bibliography of major United Nations
publications and documents on developing planning,
1955-1968'.

About 100 items in 3 sections: 1. General planning
studies — 2. Methodology of development planning — 3.
Economic integration and multinational planning.

開発計画に関する国連の出版物の書誌。3分野（約100項目）
（計画、研究、方法論、経済調整と多国的計画）より成る。

Keesing's Contemporary Archives; Weekly Diary of World
Events... London, Keesing's, 1931— (Weekly)
世界各国のニュースを要約して記録し、その典拠を示す点では *Facts
on File* (455) と類似する。ただし、*Facts on File* と違って、国、領
域等によってまず配列し、そのもとに広い主題の見出しを立てている。
また英国、ヨーロッパ等に重点をおき、しばしば重要な演説や文書の全
文を採録している。隔週の索引は、さらに四週、1年間、2年間に累積
され、2年で1巻となる。

1694998 LCCN: 82022006

The last age of missions : a study of Third World missionary societies /
Lawrence E. Keyes

Keyes, Lawrence E., 1944-

Pasadena, Calif. : William Carey Library, c1983. xiv, 239 p. : ill. ;
23 cm.

Publication Date(s): 1983

Price: \$9.95

Place of Publication: California

ISBN: 0878084355 (pbk.) :

LC Call No.: BV2365.U53K48 1983 Dewey Call No.: 266/.023/1724

Languages: English

Document Type: Monograph; Directories

Bibliography: p. 207-221.

Descriptors: Missions-Societies, etc; Church and underdeveloped areas;
Missions-Societies, etc-Directories

途上国地域で活動する宗教団体のディレクトリー。

Kuennen, Daniel S. 1973-74 U.S. Government
Printing Office publications useful for rural
development. Georgetown: University of
Delaware Extension Service, [1975]. 63 p. H352

Issued periodically. An annotated list of publications available
for sale, grouped in four categories: People building (educa-
tion, health services, etc.), Community facilities (housing, utili-
ties, etc.), Environmental improvement (land use, zoning,
etc.), and Economic development (agriculture, credit, etc.).

地域開発に有益な米政府出版物のリスト(1973~74)入手可能な
もの対象で、4分野(住民環境改良、社会施設、環境改善、経済開
発)より成る。

912(4/9-77)

Landsat index atlas of the developing countries of the world.
International Bank for Reconstruction and
Development. Baltimore, Md., Johns Hopkins Univ.
Press, 1976. 569p. tables, maps. \$12; £7.75.

'Landsat' is described (*Bulletin*, Special Libraries
Association, Geography & Map Division, no. 111, March
1978, p.72) as 'an image-producing system for resource
evaluation and inventory from orbiting satellites, initiated
by NASA and run through EROS (Earth Resources
Observation Systems) Data Center of the US Geological
Survey'. Text plus 14 four-colour maps, covering the
period July 1972-May 1975. According to the
International Bank, 'a new source of information in such
fields as cartography, land-use classification, agriculture,
forestry, hydrological resources and marine studies,
environment monitoring, geology, transport and
communications, and regional planning'.

ランドサットによる開発途上国の資源の地理的索引。以下の分野
にも応用可。地図作成、土地利用、農業、林業、水資源、海洋研究、
環境、地質学、運輸、通信、地域計画)

34(4/9-77):016

LANSKY, R. Handbuch der Bibliographien zum Recht der Entwicklungsländer/Handbook of bibliographies on the laws of developing countries. Prelim. ed. Hamburg, Übersee — Dokumentation im Verband der Stiftung Deutsches Übersee — Institut, 1977. xi, 419p.

Annotated entries for c.700 bibliographies and legal reference tools in various languages. Geographical order.

発展途上国の法律に関する書誌の書誌。各言語での書誌と法律の二次資料、計 700。地理的配列。

McGraw-Hill Encyclopedia of World Biography. New York,

McGraw-Hill, 1973. 12 vols.

世界各様の歴史上著名な人物約5000名を選び、肖像等を加えて、詳しく解説したABC順の伝記事典。各項目に参考文献、参照指示等を添え、より詳細な解説を求める手掛かりを与えている。第12巻には、索引とともに「研究ガイド」を付し、世界の地域ごとに、人名を年代順に解説し、各人物の歴史上の位置付けを試みている。

Maunder, Addison H. Agricultural extension; a reference manual. Rome: Food and Agriculture Organization of the United Nations, 1972. 336 p.

H441

"The purpose of the Food and Agriculture Organization in arranging for this publication is to draw together those basic principles with world-wide application to the development of agricultural extension services . . . and to explain some techniques and methods of organization and operation." Subjects covered: the meaning, organization, and place of extension, programs with groups in the communities, extension teaching, administration, and cooperation. Includes a 17-page bibliography at the end.

農業拡張のためのレファレンス・マニュアル。主題、意味、機構、拡張地、社会内団体とのプログラム。拡張教育、管理、協力。巻末に書誌あり。

Molnos, Angela. Development in Africa: planning and implementation. A bibliography (1946-1969) and outline, with some emphasis on Kenya, Tanzania and Uganda. [Nairobi]: The East African Academy Research Information Centre, 1970. 120 p. (Information Circular no. 3) H353

An alphabetical list of close to 2000 items in world languages, consisting of books, periodical articles, government publications, dissertations, and conference papers. Additional sections consist of (1) abstracts, bibliographies, and other reference works; (2) a list of periodicals cited; and (3) a world directory of "institutions engaged in studying, planning, implementing social and economic development in Africa." No annotations.

アフリカの開発計画・実行に関する書誌(1946-69)。ケニア、タンザニア、ウガンダが主。2,000項目をアルファベティカルにリスト。図書、雑誌記事：政府刊行物、論文、会議録収録。付録：1. 抄録、書誌、二次資料。2. 収録誌リスト 3. 研究機関のディレクトリー。

1521354 LCIN: 82071980

Primary health care : bibliography and resource directory / project director, Paul Burgess ; principal authors, Joel Montague, Shahnaz Montague, and Edward Capparelli ; contributors, Edward Sabin, Susan Pasquariella, and Barry Karlin

Montague, Joel.

Burgess, Paul. ; Montague, Shahnaz. ; Capparelli, Edward.

Corporate Source: American Public Health Association. ; International Health Programs.

Washington, D.C. : American Public Health Association, International Health Programs, 1982. ix, 67 p. : ill. ; 28 cm.

Publication Date(s): 1982

Place of Publication: District of Columbia

ISBN: 0975531059

LC Call No. : Z6673.M67 1982; RA425 MLM Call No. : W 22.1 M759p Dewey Call No. : 016.3621

Languages: English

Document Type: Monograph; Directories

Includes indexes.

Descriptors: Community health services-Bibliography; Community health services-Information services-Directories; Underdeveloped areas-Community health services-Bibliography; Underdeveloped areas-Community health services-Information services-Directories; Primary health care-Directories; Primary health care-Abstracts

途上国地域におけるプライマリー・ヘルス・ケアに関する図書目録およびディレクトリー。

Mnushine, Naomi and Elpern, Leon. Economic and agricultural problems in developing countries: inventory list of special publications. Jerusalem: The Hebrew University of Jerusalem, The Harry S. Truman Research Institute, 1971. 346 p. (Truman Research Institute Publ. no. 5) H354

An inventory of the collection presented to the Harry S. Truman Research Institute by the American Institute of Crop Ecology, Washington, D.C. Some of the subjects of the collection: use of resources, agricultural planning, rural development, and agricultural economic situation. Material consists of books, government publications, periodical articles, and conference papers covering the years 1957-1970, chiefly in English, with English translations of foreign titles. Items are arranged by geographic area. Not annotated or indexed.

A I C E が Truman 研究所に寄贈したコレクションの蔵書目録。開発途上国における経済および農業問題に関するもの。英語のものが主で、図書、政府刊行物、雑誌記事、会議録収録で、期間は 1957-70、地理配列で、解題および索引はなし。

Neville-Rolfe, Edmund. Economic aspects of agricultural development in Africa, a selective annotated reading list of reports and studies concerning 40 African countries during the period 1960-1969. Oxford: University of Oxford, Agricultural Economics Research Institute, 1969. 1 v. unpagged. H356

The compiler used the facilities of many institutions as well as the Agricultural Economics Research Institute at Oxford to produce the list of 1394 publications in European languages. Material is arranged by country, subdivided by topics such as planning, production, marketing. A useful feature is a list of some of the institutions in Western Europe whose research and documentation are of particular interest to agricultural economists.

アフリカ40ヶ国の農業開発の経済的側面に関するリスト。期間は1960-69。欧州言語で1,394件のレポートおよび研究。国名のもとで主題分類。西ヨーロッパの研究機関のリストあり。

New Encyclopaedia Britannica. 15th ed. Chicago, Encyclopaedia Britannica, 1974. 30 vols.

第1のセット Micropaedia 10巻は小項目のABC類百科で、単独に利用できるとともに、索引としての機能も果たしている。第2のセット Macropaedia 19巻は大項目を数多く含む詳細な解説項目からなるABC類百科。さらに、Propaedia 1巻は知識の分類表ともいべきものであり、特定の主題のさまざまな側面について解説している各項目へのガイドの役割を果たすよう意図して編集されている。以上の3部構成であるところから、この第15版は“Britannica 3”とも呼ばれる。

905(8=6)(058)

The 1980 South American handbook. 56th annual ed. Editor, John Brooks. Bath, Trade & Travel Publications, 1979. 1273p. tables, maps. £6.50. (1981 ed. £10.95).

Initially as *Anglo-South American handbook, 1921-22*. Contents: Introduction and general hints — Health information — History and the people — Countries (p.93-1231: Argentina ... French Antilles; 'Cuba': p.1101-13); general history; government; the people; communications; Havana; ... transport; shopping; leading hotels, etc.; other towns; economy; health ... newspapers; British and Canadian embassies) — Book and periodical list (p.1234-6) — British-Latin American organizations — Weights and measures; latest exchange and inflation rates; climatic tables, etc.; shipping services; airlines. Detailed index. Town plans; coloured maps.

Latin America annual review & the Caribbean (Saffron Walden, Essex, World of Information, [1978?]) (1981 ed. G. Hancock. 238p. illus. £7.95), began publication with the 1979 ed. It has 24 contributors and 10 preliminary articles. 3 groups of countries are dealt with: The south; North and central; The Caribbean; boxed information and the many outline maps are features. Statistics up to 1976.

ラテン・アメリカ各国の歴史と社会生活を略述。詳細な索引がついている。

903(5):016

NUNN, G.R. *Asia: reference works: a select annotated guide*. London, Mansell, 1980. xvi, 365p. £25. (Merrimack Book Service, \$55).

First published 1971 as *Asia: a selected and annotated guide to reference works* (Cambridge, Mass., M.I.T. Press).

Annotated entries for 1,558 reference items. Sections A-T (A. Asia — B. Bangladesh — C. India (including South and Southern Asia) — D. Nepal — E. Pakistan — F. Sri Lanka — G. Southeast Asia — H. Burma — I. Democratic Kampuchea — J. Indonesia — K. Laos — L. Malaysia (including Singapore) — M. Philippines — N. Thailand — O. Vietnam — P. East Asia — Q. China — R. Japan — S. Korea — T. Mongolia). 'A. Asia' is subdivided: Encyclopedias and handbooks; Yearbooks; Directories; Atlases; Bibliography; Theses and dissertations; Subject bibliography (religion and thought; social sciences; natural sciences; art and music; history and geography). Chinese, Japanese and Korean characters are included for titles in the text. Author and title indexes. Omits Middle East, Soviet Asia and Afghanistan; title should therefore read: 'South and East Asia'. 'A scholarly undertaking and will be an invaluable addition to Asian reference collections' (RQ, Spring 1981, p.304).

アジアに関する参考図書 1,558タイトルを収録した参考図書のガイド。中近東、ソビエト・アジア、アフガニスタンは収録していない。

63(213)(022)

OCHSE, J.J., and others. *Tropical and subtropical agriculture*. New York, Macmillan Co., London, Collier-Macmillan, 1961. 2v. (xxii, 1446p.), illus., tables.

Part 1: General; part 2: Crops. 14 chapters, each with references. (eg, 'bananas and citrus', p.371-522: 11p. of references. Section on 'Oil palm' (p.1047-66) gives equivalent names in Spanish, Dutch, French, German and Portuguese, plus sub-sections: world production; botany; varieties; pollination; breeding and selection; climatic and soil requirements; culture; harvesting and processing; products and uses; diseases and insect pests. Glossary, and author and subject indexes in each volume; index of plant names. 144 tables in all.

熱帯および亜熱帯の農業。2巻(1. 概説 2. 作物)よりなる。用語、著者、主題索引あり。また、植物名の索引もある。

Organization for Economic Cooperation and Development. Development Centre. Directory of economic and social development research and training units . . . Paris, 1972-. (Liaison Bulletin)

H368

Directories for 1972-1974 entitled Directory of development research and training institutes; directories for 1975/76 entitled Directory of social science research and training units. Introductory material and indexes in English and French. The following directories are pertinent for agricultural development units: *Directory of development research and training institutes in Africa*, prepared in cooperation with CODESRIA (Conference of Directors of Economic and Social Development Research Institutes in Africa), Paris, 1972, 80 p. (Liaison Bulletin 1972, no. 1); *Directory of development research and training institutes in Asia*, prepared in cooperation with the Asian Association of Development Research and Training Institutes, Paris, 1973, 187 p. (Liaison Bulletin 1972, no. 2); *Directory of development research and training institutes in Latin America*, prepared in cooperation with CLACSO (Consejo Latino-Americano de Ciencias Sociales; Latin American Social Science Council), Paris, 1973, 161 p. (Liaison Bulletin 1973, no. 1); *Directory of development research and training institutes in North America*, Paris, 1974, 135 p. (Liaison Bulletin 1974, no. 1); *Directory of development research and training institutes in Europe*, Paris, 1974, 2 v. (Liaison Bulletin 1974, no. 2-3); *Directory of social science research and training units in Africa*, Paris, 1975, 170 p. (Liaison Bulletin 1975, no. 2); *Directory of social science research and training units in Asia*, Paris, 1975, 2 v. (Liaison Bulletin 1975, no. 3-4); *Directory of social science research and training units in Latin America*, Paris, 1976, 2 v. (Liaison Bulletin 1976, no. 1-2); and *Directory of economic and social development research and training units in OECD member countries*, Paris, 1976, 2 v. (Liaison Bulletin 1976, no. 3-4).

Arrangement is by country and then by organization. For each unit or institute, information is given for the administrative set-up, activities, publications, and relations with other local or international organizations. Agricultural subjects include extension, prices, cooperatives, rural sociology, agricultural economics, rural cooperatives, rural youth, rural labor, agricultural planning and policies, and agricultural production. Indexes: subjects, directors, and liaison organizations.

経済および社会開発研究・研修機関のディレクトリー、国別のもとに機関名で配列。データは、組織編成、活動、出版物、他機関との関連、主題・ダイレクター・連絡機関の索引あり。

Organization of American States . General Secretariat. Statistical bulletin of the OAS. v. 1, no. 1- Jan. 1979- . Monthly.

OAS加盟各国に関する統計集.

Overseas development and aid: a guide to sources of information and material compiled by the Overseas Development Administration and the Central Office of Information (Etho ed. 1981 48p.)

対外開発援助に関する出版活動や情報提供活動を行うイギリス内の国際機関、政府機関、民間団体 104機関のディレクトリー、簡単な解説つき。

338.984(058.7)
OVERSEAS DEVELOPMENT INSTITUTE. Development
guide: a directory of non-commercial organisations in
Britain actively concerned in overseas development and
training. 3rd ed. London, Allen & Unwin, 1978. ix, 216p.
£5.95; \$16.50.

First published 1962.

Entries for 198 organisations, arranged A-Z, with brief
descriptions of each organisation and more detailed
information on available research, education/training,
scholarship, advice, publications and library facilities.
Subject index.

908(96)(058)
Pacific Islands year book and who's who. 13th ed. Sydney,
New York, Pacific Publications, 1978. 511p. tables, maps.
(14th ed. John Carter, Intl. Pubns. Service, 1981. 560p.
\$47.50).

First published 1922.

40 sections, by groups of islands (American Samoa ...
Western Samoa). Includes Galápagos. 'Fiji' (p.81-124):
Population — Government — Defence — Education —
Labour — The land — Mining — Manufacturing —
Housing — Local commerce — Trade — Finance —
Transport — Communications — Electricity — Water —
Personalities and organisations ... Smaller islands ... For
the tourist — Accommodation. Town plans. Index of
islands and chief centres. p.495-511. Small type.

太平洋の諸島毎に、その自然・政治・経済・社会全般を記述。

338.984:016
POWELSON, J.P., ed. Select bibliography on economic
development; with annotations. Boulder, Colorado,
Westview Press, 1979. xx, 450p. \$30.75; \$13.75.

An introductory section listing general periodicals, and
publications and of international organisations, precedes
2 sections: Topics, with 21 references arranged A-Z by
subject (Agrarian reform ... Economic integration ...
World Bank); Areas and countries (Africa, Asia, Latin
America, with countries A-Z under each). No indexes.

経済開発に関する一般雑誌・図書のビブリオグラフィ（索引な
し）。アルファベティカルに主題配列されている。

1719374 LCCN: 82193693

Banques et fonds internationaux : credits et garanties : guide pratique de l'investissement dans les pays en developpement / par Max Peyrard, Etienne Prat, Gerard Soularue

Peyrard, Max.

Prat, Etienne.; Soularue, Gerard.

Ed. 1982. Paris : G.-P. Maisonneuve & Larose. 1982. 574 p. : 25 cm.

Publication Date(s): 1982

Price: 850F

Place of Publication: France

ISBN: 2706800241 :

LC Call No.: HG195.P49 1982 Dewey Call No.: 332.1/5/091724

Languages: French

Document Type: Monograph; Directories

Includes indexes. Bibliography: p. 574.

Descriptors: Underdeveloped areas-Finance-Handbooks, manuals, etc; Underdeveloped areas-Investments, Foreign-Handbooks, manuals, etc; Economic assistance-Handbooks, manuals, etc; Underdeveloped areas-Financial institutions, International-Handbooks, manuals, etc

途上国の財政、途上国に対する財政投資、経済援助に関するハンドブック。

1532443 LCCN: 81981246

Report and directory on organizations in developing countries working on renewable energy : working paper / Prepared for the United Nations Environment Programme by the Environment Liaison Centre

Corporate Source: United Nations Environment Programme.; Environment Liaison Centre.

Nairobi, Kenya : The Centre, [1981] 49 leaves ; 30 cm.

Publication Date(s): 1981

Place of Publication: Kenya

LC Call No.: TJ163.2.R46 Dewey Call No.: 621.042/09172/4

Languages: English

Document Type: Monograph; Directories

"May 1981." Includes bibliographical references.

Descriptors: Underdeveloped areas-Renewable energy sources; Underdeveloped areas-Renewable energy sources-Directories

途上国地域において再生エネルギーの開発にたずさわる機関のディレクトリー。

Rogel's International Thesaurus. 4th ed. rev. by R.L. Chapman.

New York, Crowell, 1977. 1317 p.

約25万語・句を意味によって Abstract, Relations, Space, Physics, Matter, Sensation, Intellect, Volition, Affections の8類に分類し、さらに細分類している。したがって、語の検索は後半の索引による必要がある。例えば、Book を索引から求めると、Intellect - Communication of Ideas - Written Language のもとに配列され、同義語が各品詞別に列がされている。

Rural development abstracts. V. 1- (1978-)

Farnham Royal, Eng.: Commonwealth
Agricultural Bureaux, 1978-.

H337

Not examined. Quarterly. The abstracts will be computer-produced and may be searched on-line via Lockheed's DIALOG Information Retrieval Service (See Chapter I for details of all CAB computer services).

CAB describes this new service as follows: "Designed to support the rapidly growing emphasis on rural development in national, regional and world development programmes, and to provide an over-view, together with a ready means of information search and retrieval from the wide range of studies in world literature bearing on rural development. Subjects covered include: rural development theory, policy and planning, physical resources (land, settlements, roads, water, energy); human resources; social and behavioural factors; economic utilization of resources (employment, investment, appropriate technology); public services including local government, education, health, welfare; individual projects and surveys. Quarterly and annual subject, geographical and author indexes..." (CAB news, 1 Sept. 1977).

地域開発研究の抄録。DIALOGで検索可。季刊。主題・地理
・著者名索引あり。

Rural extension, education and training
abstracts. V. 1- (1978-). Farnham Royal, Eng.:

Commonwealth Agricultural Bureaux, 1978-. H417

Quarterly. A new abstracting service described by CAB in its CAB news (1 September 1977), as follows: "Rapid developments in this field, and the consequent increase in associated activities and publications, give rise to the need for a new specialized abstract journal. Rural extension, education and training abstracts... covers the following topics: general and theoretical studies; policy, planning and administration of formal and informal education and training at all levels; curriculum development; extension—methodology and practices; personnel; attitudes and adoption; case studies. Each number will include subject, geographical and author indexes. Annual indexes will also be provided." The abstracts will be computer-produced and may be searched on-line via Lockheed's DIALOG Information Retrieval Service. (See Chapter I for details of all CAB computer services.)

地域拡張教育および研修の収録誌。各号に主題・地理・著者名索引があり、年間索引もある。DIALOGで検索可。

338.984(038)=00

SCHARF, T., with BALIN, M., comps. Dictionary of development economics: economic terminology in three languages: English, French, German. Amsterdam, Elsevier, 1969. xiii, 268p. \$41.50.

3,112 entries, in 12 chapters (1. Developing — 2. Planning — 3. Agriculture ... 12. Development statistics). English, French and German indexes. Slightly padded with matter extraneous to the subject, and in some cases carelessly edited, this is a useful little book which fills a definite need' (Finance and development, 1970, no.1, p.53-54).

英語・フランス語・ドイツ語の経済開発に関する用語集(12主題、
3,112項目)

332.1(038)=00
SCHARF, T., and SHETTY, M.C. Dictionary of development banking: a compilation of terms in English, French and German, with definitions in English. Amsterdam, Elsevier, 1972. vii, 214p. Dfl.90; \$36.75.

First published 1969.

Over 1,200 terms arranged in 3 broad sections: the environmental framework — development banking — development banks. Each section subdivided. Indexes in each of the 3 languages.

英・仏・独語の金融開発に関する辞書。1,200語。3分野(状況概観、金融開発、銀行開発)からなる。3ヶ国語の索引あり。

Selected institutions for development in OECD countries. 1st draft. Bonn, Deutsche Stiftung für International Entwicklung, 1979. 86p.

OECD諸国内の政府機関で、開発援助を主たる業務とする。212機関を収録し、主要活動を説明したディレクトリー。

Seward, S. B. ; Janssen, H. Canadian development assistance: a selected bibliography 1950-1977. Ottawa, International Development Research Center. 1978, 62p.

1950年から1977年に至るカナダの対外援助、援助計画、援助政策に関する書誌。

Singh, Avtar and Kaufman, Harold F. A Behavioral approach to agricultural development, a review of the literature and suggestions for research, prepared for the Agricultural Development Council, Inc. [State College, Miss.]: Mississippi State University, Social Science Research Center, 1965. 77 p. (Preliminary Report no. 7) H358

A short text attempting to show that "increases in production depend on the decisions of millions of individual farm operators" and not merely on making available to them the technology and capital, the seeds and the fertilizers. The "prime movers in agricultural development are the incentives, motivations and urges within persons." The bibliography concerns studies carried out principally in Asia, Africa, and South America, derived from sources listed on pages 7-8. The "index booklet" reproduced at the end is a checklist for reviewing source materials useful in training agricultural officials in the three continents. Not annotated, no indexes.

農業開発研究文献のレビュー。主にアジア、アフリカ、南米での研究。索引なし。

1694518 LCCN: 81185194

Solar energy / Prepared in co-operation with the Asian Institute of Technology, Bangkok, and the Regional Centre for Technology Transfer, Bangalore

Variant Title: TCDC, technical co-operation among developing countries; T.C.D.C., technical co-operation among developing countries

Corporate Source: Asian Institute of Technology.; Regional Centre for Technology Transfer (India)

Series: Renewable sources of energy ; v. 1
[Bangkok, Thailand] : Economic and Social Commission for Asia and the Pacific, United Nations, 1980. 1, 356 p. ; 27 cm.

Publication Date(s): 1980

Place of Publication: Thailand Government Level: [International]

LC Call No.: TJ810.S6143 1980 Dewey Call No.: 621.47

Languages: English

Document Type: Monograph; Directories

At head of title: TCDC, technical co-operation among developing countries. ^ "ST/ESCAP/134"--T.p. verso. Bibliography: p. 263-356.

Descriptors: Underdeveloped areas-Solar energy; Underdeveloped areas-Solar energy-Directories

太陽エネルギーの開発にたざさわる途上国機関のディレクトリー。

Statesman's Year-book. London, Macmillan, 1864-

世界各国の現勢を統計を多用しながら解説している年鑑。通常、英連邦、米、その他の各国に分け、各国ごとに元首、憲法、政治機構、国土、人口、宗教、社会福祉、教育、法律制度、財政、軍事、歴史等、様々な分野にわたって解説し、統計その他の参考資料を添えている。

Statistical abstract of Latin America. V. 1- (1955-). Los Angeles: University of California, Latin American Center, 1955-. H171

Issued annually. A subject arrangement of demographic, geographic, economic, and agricultural data, giving figures for each of the Central and South American countries. Agricultural subjects include agrarian structure (land holding, land use), ranching, forestry, fishing, agricultural production, labor, and trade. An interesting feature is the section on maps and cartograms. List of sources.

中南米諸国の人口、地理、経済、農林水産業に関する統計集。年刊。

Technical Assistance Information Clearing House. United States non-profit organizations in development assistance abroad, including voluntary agencies, missions and foundations. Ed. by Barbara Crosby and Stuart J. Smyth. New York: T.A.I.C.H. of the American Council of Voluntary Agencies for Foreign Service, 1971. 1038 p. H370

An alphabetical list of agencies, followed by a regional listing. Examples of the categories of development: food production, agricultural education, land development, storage and marketing of food, cooperatives, and rural community development. For each agency gives address, administrative set-up, and aims and objectives.

海外開発援助のアメリカの非営利団体リスト。アルファベティカルオーダー。データ：所在地、組織機構、計画および目的。

The Times Atlas of the World. Comprehensive ed. 6th ed., reprinted with rev. Bartholomew and Son, Ltd. London, Times Books, 1980. 39 p., 123 pl., 227 p.

序の部において、食物、エネルギー、食料等の諸問題を地図に表示するほか、星座、宇宙図、月面図を掲げている。地図の部には、一般図のほか、地形、気候、植生、人口、政治など、主題図を数多く含む。巻末に地理用語解のほか、20万項目から成る詳細な索引がある。5冊から成る Mid-century 版 (1955-59) を基礎とする大型地図帳。

The Times Index-Gazetteer of the World. London, Times, 1965. 964 p. 世界の地名、すなわち都市、集落、山川湖沼、その他の 34万5000の地名を見出し語として、ABC順に配列し、それぞれの位置を緯度・経度で示した索引。これらの地名項目のうち、約19万8000は *The Times Atlas of the World* (522) の Mid-century 版 (1955-59 5冊) に表わされている地名であり、その所在指示がなされている。

616(213):016

Tropical diseases bulletin: selective and critical abstracts and reviews of world literature in all aspects of health and disease in tropical and sub-tropical regions. London, Bureau of Hygiene & Tropical Diseases, 1912-. Monthly. £14 pa.

About 3,500 signed informative and indicative abstracts. Main sections: Environmental health — Community health — Diseases and their control — Medical entomology. Book reviews. Subject and author indexes. Annual author, subject and geographical indexes. Certain issues of each year since 1939 have review article 'Summary of recent abstracts' (eg. v.68, no.10, October 1971. p.1133-46: IX. Helminthiasis).

熱帯病に関する抄録誌。

338.45(4/9)(083.4)(056)

UNITED NATIONS. DEPARTMENT OF INTERNATIONAL ECONOMIC AND SOCIAL AFFAIRS. Yearbook of industrial statistics. 11th ed., 1977. New York, United Nations, 1979. 2v. tables. Annual. (12th ed., 1978. 1980. 2v., ea.£19. (Unipub. 2v. ea.\$35).

First published for 1938/61 under the earlier title (until 1974) *Growth of world industry*.

1: *General industrial statistics*.

2: *Commodity production data*.

V.1 contains information on major items of industrial activity for 99 countries, classified by branches of activity, and international tables on index numbers of industrial production and employment. V.2 contains comparable information on the production of 534 industrial commodities in 576 statistical series for c.200 countries and territories.

世界99ヶ国の主要な産業活動に関する統計および約 200ヶ国 (地域) の工業製品に関する比較統計。

336.1(4/9)
UNITED NATIONS. DEPARTMENT OF INTERNATIONAL ECONOMIC AND SOCIAL AFFAIRS. Statistical Office. Yearbook of national accounts statistics, 1957-. New York, United Nations, 1958-. Annual. (1979)

1983 2v. 270. 1,470円 1981

V.1: *Individual country data*, shows detailed national accounts estimates for 149 countries and areas; v.2: *International tables* contains internationally comparable information on 11 tables of processed data. Data are for a selection of years over the last 17 years.

Supplement to the *Yearbook: National accounting practices in sixty countries*, (Provisional issue. New York, UN, 1964, iii, 248p. Mimeographed. (ST/STAT/SER. F/11)). Data on each country (Argentina ... United States): history and sources; system of accounts; method of estimation of current prices; estimates at constant prices).

世界各國の国民所得データを収録している年鑑。

United Nations. Economic Commission for Africa. Directory of activities of international voluntary agencies in rural development in Africa. [Addis Ababa, 1973]. 241 p. (Social Welfare Services in Africa, 10; United Nations Document E/CN.14/SWCD/61/Rev.2) H371

A regional directory of 33 voluntary agencies working independently or cooperating with government or private agencies. The alphabetical list supplies information on the aims, activities, and administrative organization of the agency, and a country list provides a description of the projects sponsored by the agency. Topics of activities include agriculture, land settlement, vocational education, etc.

アフリカの地域開発の国際任意団体活動のディレクトリー (33団体)。アルファベティカルオーダー。データ：目的、活動、管理組織。国名リストには、機関が出資したプロジェクトの記述がある。

338(5):016
UNITED NATIONS. ECONOMIC AND SOCIAL COMMISSION FOR ASIA AND THE PACIFIC. Library. Asian bibliography, 1952-. Bangkok, The Commission, 1952-. v.1, no.1-. 2 pa. Mimeographed.

A list of the ESOCAP Library's selected accessions dealing with Asia and the Pacific. About 400 items in each issue; arranged by UDC, with area index; subject subdivisions under areas. Includes many government and institutional publications. Titles of publications in Asian languages are translated. No annotations.

ESCAPが収集したアジア・太平洋関係図書のリスト。

UNITED NATIONS. ECONOMIC AND SOCIAL COMMISSION FOR ASIA AND THE PACIFIC. Economic and social survey of Asia and the Pacific, 1957-. Bangkok, the Commission, 1957-. Annual. (1978 ed. 1979. ix, 1670p. £6.60).

In alternative years (eg, 1978) there is a review and appraisal of the industrial development strategy; in other years a topic of current importance.

The Commission's quarterly *Economic bulletin for Asia and the Pacific* (1950-) contains papers relating to the subjects covered in the annual survey.

ASEAN economics in perspectives: a comparative study of Indonesia, Malaysia, the Philippines, Singapore and Thailand, by J. Wong (London, Macmillan, 1979. x, 217p. tables, maps, charts. £10; £4.95; Inst. Study Human. 324.95), which deals with trade, industrialisation, agricultural and rural development, and the socio-economic framework of development, mentions a wide variety of source materials.

産業開発計画その他特定トピックのレビュー。

United Nations. Economic and Social Commission for Asia and the Pacific. Statistical yearbook for Asia and the Pacific (1968-). Bangkok, 1968-. (E/CN.11) H172

1968-1972 issued by United Nations Economic Commission for Asia and the Far East. Title and text in English and French. Under each country are given general statistics for population, national accounts, trade, education, labor, and agriculture. Under the section "Agriculture" are listed crop and livestock production, dairy statistics, acreage devoted to agriculture, per capita production, fisheries, and forestry. Sources are listed in the introduction. The *Statistical yearbook* is one of three issued by the United Nations. The others are: United Nations. Economic Commission for Africa. *African statistical yearbook* (1970-). Addis Ababa, 1970-, in English and French; and United Nations. Economic Commission for Latin America. *Statistical yearbook for Latin America* (1973-). New York, 1974-, in English and Spanish; issued in its series E/CEPAL/977.

アジア・太平洋各国の人口、国民所得、貿易、教育、労働、農林水産業に関する統計年鑑。

338.984.3(4/9)
UNITED NATIONS INDUSTRIAL DEVELOPMENT
ORGANISATION. Summaries of industrial development
plans. Vienna, UNIDO, 1970-75. 4v. tables.

V.1 (1970. v. 459p.) has data for 30 countries on goals and objectives; investment, strategy, policy and institutions; demand projections and data bases; planned development of manufacturing sectors; planned manufacturing projects; productivity and capacity utilization; organisations and systems for planning and implementation; problem areas; and previous industrial growth. V.2 (1971. v. 441p.) has more detailed general background tables and summary of the industrial development plans for 7 countries (Iran, Pakistan, Turkey, Kenya, Tanzania, Costa Rica, and Hungary). V.3 (1973. ix, 503p.) has 12 summaries (Botswana, Iraq, Lesotho, Mauritius, Nepal, Nigeria, Saudi Arabia, Sudan, Swaziland, Togo, Zambia and Poland). V.4 (1975. vii, 225p.) has 8 summaries (Guyana, Ivory Coast, Republic of Korea, Malaysia, Sri Lanka, Thailand, Uganda, Yugoslavia).

工業開発プランの要約。4巻。

1.30 ケ国に関するデータ

2.7ケ国（イラン、パキスタン、トルコ、ケニア、タンザニア、コスタリカ、ハンガリー）の背景とプラン

3.12 ケ国（Botswana、イラク、Lesotho、Mauritius、ネパール、ナイジェリア、サウジアラビア、スーダン、スワジ、トーゴ、ザンビア、ポーランド）の要約。

U.S. Agency for International Development.

A.I.D. bibliography series: agriculture, a selected list of references for A.I.D. technicians. No. 1. Washington, D.C., 1969. H360

Issued irregularly; nine numbers have appeared to date. Each number is devoted to one topic, and is prepared by a government agency or by an academic group. Topics covered so far: Wheat, rice, poultry, fisheries production; Food marketing; Land reform; Agricultural credit; Rural savings. English-language material listed exclusively. Some of the annotated bibliographies have indexes or tables of contents for ease of use.

AIDの技術者用の農業に関する選誌。不定期。9巻。季刊。主題：小麦・米・家畜・海産物・食糧市場・土地改良・農業的信用・地域援助。英文資料のみリスト化。

U.S. Agency for International Development.

Administration of agricultural development, a selected list of references for A.I.D. technicians.

Prepared by Office of Development Administration, Bureau for Technical Assistance, in cooperation with A.I.D. Reference Center. Washington, D.C., 1971. 13 p. (A.I.D.

Bibliography series, Development Administration, no. 1) H361

Compiled from material in the A.I.D. Reference Center and in the Department of State Library. The bibliography focuses on the administrative-management aspects of agricultural development in developing countries. Items are arranged by topics: strategy, planning, services, institution-building, etc. A second section lists material on administration and management in specific countries. Author/publisher/organization index.

開発途上国の農業開発の管理経営に関する資料リスト（AIDレファレンスセンターとDept. of State Lib. 所蔵のもの対象）。主題配列。著者名・出版者・機関索引あり。

908(4/9-77):016
UNITED STATES. LIBRARY OF CONGRESS. Foreign
Acquisition Programs. Accession lists, 1964-. Available
from Library of Congress Offices in the countries
concerned. *Gratis* to libraries, in support of the National
Program for Acquisition and Cataloguing.

India (Monthly).
Nepal (2 pa).
Sri Lanka (2 pa).
Pakistan (Monthly).
Bangladesh (2 pa).
Middle East (Monthly).
Afghanistan (Annual).
Sri Lanka (2 pa).
Eastern Africa (Monthly).
Brazil (Monthly).
Eastern Africa (Library of Congress Office, Nairobi,
Kenya), v.13, no.4, July 1980 (p.121-84, xxxi p.) covers
accessions from 12 countries, A-Z, subdivided by
languages. Appended: UN publications sections —
Non-book materials — Serials (annual issues received;
new titles; changes) — Index — Publishers directory.
Also, Annual series supplement; Annual publishers'
directory.

特定国に関するLC受入れリスト (インド、ネパール、スリラン
カ、パキスタン、バングラディッシュ、中近東、アフガニスタン、
東アフリカ、ブラジル)。

U.S. Library of Congress. General Reference and
Bibliography Division. Agricultural development
schemes in the sub-Saharan Africa; a bibliography.
Comp. by Ruth S. Freitag. Washington, D.C.,
1963. 189 p. H362

An annotated bibliography of postwar literature describing the
various programs and "schemes"—successful or not—to
improve traditional farming methods. The bibliography is rich
in ideas ("schemes"). The 1783 primarily journal articles and
development agency reports are grouped first by predominant
language (English-speaking Africa, French-speaking Africa,
etc.), then by individual country under the name of the coun-
try as of 1963. Author/subject/area index.

サハラ・アフリカ下部における農業法改善計画に関する戦前の文
献の解題書誌。主に、雑誌記事と開発機関作成レポート(計 1,783)
を公用語で分類。次に、1963年の国名のもとで、個々の国に分類。
著者名・主題・地域索引あり。

Vries, C. A. de, comp. Agricultural extension in the developing countries, a bibliography. Wageningen, The Netherlands: International Institute for Land Reclamation and Improvement, 1968. 125 p. (International Institute for Land Reclamation and Improvement, Bibliography no. 7)

II428

A classified bibliography of contemporary literature "intended to serve . . . those who are charged with the training and guiding of agricultural extension personnel . . . in identifying sources of information" (Preface). The bibliography is arranged under the compiler's schedule of topics, such as community development, communication, characteristics of peasants and farmers, selection and training of extension personnel, pilot projects, research and planning, and related sciences. Items consist of monographs, textbooks, periodical articles, essays, government publications, and dissertations, in Western European languages. Annotations are based on information from *Tropical abstracts* and *World agricultural economics and rural sociology abstracts*. There are a bibliography of bibliographies, a list of abstracting journals, and a list of periodicals at the end. No index.

開発途上国における農業拡張に関する書誌。主題配列で、対象は、西ヨーロッパ諸国言語のもので、単行本、教科書、雑誌記事、エッセイ、政府刊行物、学位論文。巻末に書誌の書誌、抄録誌のリスト、雑誌リストあり。索引なし。

Webster's New Dictionary of Synonyms: Rev. ed. Springfield, Mass., Merriam, 1973. 909 p

反義語も含む同義語辞書。あることばのもとに同義語を揃え、相互の意味の違いを解説し、古今の著作から例文を豊富に引用して、そのことばの意義を理解し易くしている。

Webster's Third New International Dictionary of the English Language. Unabridged. P. D. Gove and the Merriam-Webster Editorial Staff. Springfield, Mass., Merriam, 1961. 2662 p.

1755年以來使われた英語を収録。アメリカの現用語に重点をおく非簡約版。60万語を収録していた事典的な Webster's New International Dictionary 第2版(1934)に大改訂を加え、現在ではほとんど用いられなくなったことばとか、人名・地名などの固有名詞を削除し、新たに10万語を追加した45万語から成ることば典型的な性格の強い辞書。したがって、第2版に代替するものではなく、両者は併用できる。ことばの歴史的変遷がたどれるように頭次語義を解説し、用例、同義語等も豊富に添えている。語彙の解説も詳しい。6000 Words (1976) は1961年以後15年間の新語、新義語を収録した補遺である。

333.013:016

WEST, H. W., and SAWYER, O. H. M. Land administration: a bibliography for developing countries. Cambridge, Cambridge Univ., Dept. of Land Economy, 1975. x, 292p.

Lists factual studies, together with commentaries from social, political, legal and economic points of view upon their interrelationships, and upon the objectives, planning and administration of development. Arranged under countries in 5 continental sections, preceded by a general section. Includes books, papers, conference proceedings and journal articles in the English language published between 1960 and 1973.

発展途上国研究に関する書誌。5大陸に分けられ、国別。収録範囲は1960-73出版の英文資料(図書、論文、会議録、雑誌記事)。

Who's Who. London, Black, 1897— (Annual)

現存の著名人の名簿で、英国人を中心に登録している。原則として本人による質問票の記入回答に基づいて経歴事項を記述している。いわゆる who's who タイプの人名簿の先駆をなす。なお、これに登録されていた人物が故人となった場合、訂正されて、10年ごとに再集される人名簿 *Who Was Who* (1929—) に移される。

1232566 LCCH: 79083610

Source directory : assistance to Third World broadcasters / prepared by Miriam Williford

Williford, Miriam, 1926-

[New York] : Ford Foundation ; [London] : British Broadcasting Corp., 1979. ca. 200 leaves : 30 cm.

Publication Date(s): 1979

Place of Publication: New York

ISBN: 0916584143

LC Call No.: HE8689.95.W54 Dewey Call No.: 384.54/03172/4

Languages: English

Document Type: Monograph; Directories

Includes bibliography.

Descriptors: Underdeveloped areas-Broadcasting-Directories; Technical assistance-Directories

途上国に対し放送に関する技術援助を行う機関のディレクトリー。

World agricultural economics and rural sociology abstracts, prepared by Commonwealth Bureau of Agricultural Economics, Oxford. V. 1- (July 1958-). Amsterdam: North Holland Publishing, 1959-64; Farnham Royal, Eng.: Publ. by Commonwealth Agricultural Bureaux in cooperation with the International Association of Agricultural Economists and the International Association of Agricultural Librarians and Documentalists, 1965-. H011

Issued quarterly to 1972, monthly thereafter. In 1966 absorbed the *Digest of agricultural economics*, a quarterly published by the Institute for Research in Agricultural Economics, University of Oxford, 1957-65.

Material covered. Monographs, government and private agency papers, conference reports, and over 1200 journals are abstracted, listed, or reviewed. Worldwide in scope; covers material appearing in many languages, with English translations of foreign titles. "List of periodicals consulted" was issued irregularly before 1977; now published in the first issue of each complete volume. The annual indexes include author, both personal and corporate, and subject.

農業経済および農村社会学分野の抄録誌。世界各国の単行書、政府刊行物、会議録、雑誌を広く網羅する。

World Almanac & Book of Facts. New York, Newspaper Enterprise Association, 1868— (Annual)

政治、経済、社会、文化、宗教、自然など、あらゆる分野にわたる多岐多様な事柄に関する情報を、図、表、統計を用いて要約的に解説している便覧風の年鑑。巻頭に索引を付して検索の便を図っている。

338(4/9)(058)
WORLD BANK. World development report, 1978-. Annual.
Oxford, Univ. Press, 1979-. (1980 ed. 1980. viii, 166p.
tables. £7.95; £3.50; 1981 ed. 1981. \$6.95).

Designed to provide a comprehensive, continuing assessment of global development issues. The 1978 report gave particular attention to the poor countries of Asia and sub-Saharan Africa; the 1979 report focussed on middle-income countries. The 1980 report is in 2 parts (1. Adjustment and growth in the 1980s — 2. Poverty and human development), followed by a statistical appendix to part 1, a bibliographical note, and an annex, 'World development indicators'.

地域開発の諸問題の総合的なレビュー。各年毎に特定のトピックをとりあげている。

908(4/9):016
The World bibliographical series. Oxford. Clio Press, 1977-.
v.1-. maps. (ABC-Clio).

1. *Yugoslavia*, by J.J. Horton. 1977. £19.50; \$25.25.
2. *Lebanon*, by S. Khairallah. 1979. £15.50; \$25.25.
3. *Lesotho*, by S.M. Willet and D. Ambrose. 1980. £33; \$59.25.
4. *Rhodesia/Zimbabwe*, by O.B. and K. Pollak. 1979. £19.75; \$25.25.
5. *Saudi Arabia*, by F.A. Clements. 1979. £19.75; \$25.25.
6. *Russia/USSR*, by A. Thompson. 1979. £30; \$34.75.
7. *South Africa*, by R. Musker. 1979. £21.
8. *Malawi*, by R.B. Boeder. 1979. £18.
9. *Guatemala*, by W.B. Franklin. 1980.
10. *Pakistan*, by S.A. Qureshi.
11. *Uganda*, by R.L. Collison.
12. *Malaysia*, by L.H. Tee. 1981.
13. *France*, by F. Chambers. 1980. £18; \$31.50.
14. *Panama*, by E. Longstaff. 1980.
15. *Hungary*, by T. Kabdebo. 1980. £30.25; \$34.75.
16. *USA*, by S.R. Herstein and N. Robbins.
17. *Greece*, by R. & M.J. Clogg. 1980. £21; \$34.50.
Glover. 1981. £21.
18. *Algeria*, by N. Lawless. 1980. £22; \$34.50.
19. *Sri Lanka*, by H.A.I. Goonetilleke.
20. *Belize*, by R.L. Woodward, jr. 1980. £21; \$31.25.
21. *Bangladesh*, by M.A. Razaque. 1981. £20.
22. *Luxembourg*, by C. Hury. 1981. £19.
23. *Switzerland*, by R. Nuerki.

各国の歴史、地理、政治、経済、社会、文化等に関する文献をそれぞれ 500～600編収録した注解図誌のシリーズ。

338(4/9)(083.4)(05/W)
World economic and social indicators. Washington, World Bank, Economic Analysis & Projections Department, Economic & Social Data Division, April 1977-. Monthly. *Gratis*.

Previously as *World economic indicators*.

Part 1: Current statistics (external trade; borrowing in international capital markets; international reserves; prices; production; industry). Part 2: Annual data (global indicators; external public debt; energy; production and consumption; production; agriculture; social indicators; comparative social indicators for developing countries by geographic area and country. Annotated list of sources; notes.

各国の社会、経済統計および各種指標を記載。途上地域に関する社会指標の比較も行っている。

61(094)(4/9)
WORLD HEALTH ORGANIZATION. *International digest of health legislation, 1948-*. Geneva, W.H.O., 1950-. v.1, no.1-. Quarterly. £19 pa.

Summarises health laws and regulations, citing appropriate clauses, under countries A-Z (Australia ... Zaire). Bibliographical section, p.698-720. Microfiche ed., v.1-25: 1948-1974. \$360.

保健に関する各国の法規の要約。適切な条文を引用する。国別に配列。

362.1(4/9)(083.4)
WORLD HEALTH ORGANIZATION. *World health statistics annual, 1929/1946-*. Geneva, WHO, 1951-. tables. Annual. (1979-80. Jv.).

3: *Health personnel and hospital establishments, 1980*. 1981. 170p. £6.

3 main sections: 1. *Medical and allied health personnel* — 2. *Population/health personnel ratios (Physicians ... Nursing and midwifery personnel)* — 3. *Hospital beds: historical review, 1950-1975*. Covers c.250 countries and areas.

世界各国の医療・保健に関する統計集。

Wurster, Stanley R. and Heathman, James E., comps. *Rural education and small schools, a selected bibliography*. Las Cruces, N.M.: New Mexico State University, Clearinghouse on Rural Education and Small Schools, Educational Resources Information Center, 1969. 178 p. H429

Supplement no. 1, comp. by D. M. Altus;
Supplement no. 2, comp. by Albert D. Link,
1971-1972. H430

Annotated bibliographies of items as received and accessioned in the Educational Resources Information Center (ERIC) from the New Mexico Clearinghouse. The scope is international; material covered consists of periodical articles, monographs, conference papers, theses, and dissertations, with information on how to obtain the individual items. Some of the subjects listed in the keyword index: rural youth, environment, migration, schools, minorities, health, educational background, handicapped, family, and pre-school.

地域教育および小規模学校に関する書誌。雑誌記事、単行書、会議録、学位論文収録。

3. 図書館業務のコンピュータ化に関する システム設計

要 旨

(Executive Summary)

国際協力事業団が所有する情報資料の有効利用を図るため、図書館機能を拡大して情報流通の視点から、電算機による機械化の概念設計をおこなった。機械化の目的は、資料の高度利用と遠隔地からの利用を可能とするため、つまり、多様な索引を作成できるようなデータベース化し、新着あるいは題及して希望の情報を書き出し、国内外の支部・付属機関・事務所に配布する。また、通信回線の接続可能な場所からはオンラインで検索が可能なように構築する。

システムの基本的な思想としては、事業団の各組織成員はいずれの組織・地域にあっても、同じレベルの情報サービスを受けられるように図ることである。つまり、このシステムの恩恵は事業団全体に及ぶものを考えており、各組織の図書室や情報担当を連係させてネットワークを組むよう企てている。

本報告書では、まず、事業団の情報管理に関する現状を観察し、組織の変更は不要であるが、運営のあり方をかなり変える必要のあることをのべ、事業団の職務の執行状況から勘案して、集中機能のある程度に抑え、分散化 (Decentralized) システムで構成する方針を立てた。各部で前処理を行い、中央に集めてから、後処理、入力、蓄積を担当する考え方である。

システムは目録作成・二次情報提供・画像情報 (地図・写真など) 提供・閲覧貸出の各システムに分かれ、前二者は大型電算機を使用し、画像システムは光ディスク装置を、閲覧貸出システムはオフィスコンピュータを使用する。それぞれについて、設計案の考え方と案を示した。

第4章では運営の注意事項をのべた。人員の確保が困難な状況では、また、情報専門家を雇用しても将来の処遇の問題から、外注形式による運営を示唆した。

所要資源と予算を第5章に説明したが、大きな問題点は機械化以前の過去分の機械化処理をどのように考えるかにある。5年計画での段階実施と並行実施の例を6章に示した。応用の甚だ効く内容になっている。

システム実施にあたっての運営上の助言を第7章に列挙した。外部者の視察であるが、

有用であることを希望する。情報管理担当部門が、利用者の要望を待つ受け身の静的なものでなく、事業体の組織の一翼として、事業遂行を分担し、その役割を果たす積極的機能となるよう助言したい。

技術的要旨

(Technical Summary)

(前提)

1. JICA 情報は現地で収集しただけに貴重な所蔵で、この有効な活用を図るには、電算機を利用して、多様な出力を作成し、通信回線によって迅速・円滑に流通させることが望ましい。
2. 事業団の組織規程では、情報の収集、処理、保管および提供は情報管理課の所掌になっている。
3. 情報を巡る環境は非常に進歩して、事業団情報の機械化は技術的には十分可能な状況にある。
4. 各部・支部・付属機関の運営を尊重して、なるべく分散化したシステムとする。すなわち、専門性を生かして、前処理を発生元または収集元で行い、後処理と電算化、蓄積、提供を中央で行う。
5. 収集した資料の二次情報を作成する。キーワードと簡単な要旨を各部で作成し、情報的な観点からの処理を中央が担当する。
6. 定期的に収集した情報の各種リストを作成し、各部に配布する。また、情報はデータベースとして蓄積する。通信回線で遠隔地からオンラインで検索することができる。
7. 地図・写真などの画像情報、ならびに一次文献は、光ディスクファイルに収め、迅速なサービスを行う。

(システム設計)

1. 現行図書目録システムとの継続性を考慮し、その機械化を図る。そのデータベースにオンライン検索できるように、構成する。
2. 大型電算機を使用し、二次情報データベースを整備し、各種リストの作成、SDIサービスとオンライン検索サービスを提供する。
3. レコード構造としては、JAPAN MARC、もしくは SIST-04 ベースで設計する。検索ソフトは ORION にアプリケーションプログラムを若干作成する。

3. レコード構造としては、JAPAN MARC, もしくは SIST-04 ベースで設計する。検索ソフトは ORION にアプリケーションプログラムを若干作成する。
4. 出力としては、新着資料案内、KWICリスト、SDI サービス、累積索引等、希望のものを書き出す。
5. 画像情報の対象としては、地図・統計が当面のもので、将来は一次情報を考慮する。問題は書誌情報の構造であるが、分類その他現行のものを、継続性の上から使用することを考える。
6. 図書資料の閲覧貸出業務の機械化をはかるが、大型電算機を使用するシステムとオフコンを使用するシステムと両方を設計してみた。それぞれの特徴があるが、早急な実施としてはオフコン案が、高度なサービスには大型電算機案が考えられる。
7. 機器としては、ディスク・漢字端末6台・閲覧貸出用機器・光ディスクファイル装置が予定され、ディスクを除いて、40,000千円程度とみられる。

(運営管理)

1. 機械化にあたっては、中央調整機能の充実と努力が成否の鍵である。準備とテスト、普及に万全を期すことである。
2. 予算の大きなものは、初期の機器類の整備費、過去分の入力費である。経常的には入力 20,000 千円、消耗品 4,000千円、人員は長を含めて7 (3 + 外注)。
3. 過去分は方針次第であるが、まともに処理すると 240,000千円と計上される。詳細な需要調査と資料の性格が方針を定めるものとみられる。
4. 各部の情報機能の充実、情報管理課、図書資料室の積極化を期待する。

目 次

要旨

技術的要旨

1 序

- 1. 1 情報の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 1. 2 JICA情報の特徴・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 1. 3 事業団の情報管理・・・・・・・・・・・・・・ 10
 - 1. 3. 1 組織
 - 1. 3. 2 運営
 - 1. 3. 3 情報管理課と図書資料室
- 1. 4 情報環境・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
 - 1. 4. 1 電算機の普及
 - 1. 4. 2 通信の発達
 - 1. 4. 3 大蓄積容量
 - 1. 4. 4 データベース化
- 1. 5 事業団情報の機械化・・・・・・・・・・・・・・ 13
- 1. 6 アプローチ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

2 システムの前提

- 2. 1 基本条件—集中と分散・・・・・・・・・・・・ 15
 - 2. 1. 1 目的
 - 2. 1. 2 分散と集中
- 2. 2 パラメータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - 2. 2. 1 情報数
 - 2. 2. 2 利用
 - 2. 2. 3 地理的特性
- 2. 3 対象分野と資料形態・・・・・・・・・・・・・・ 17

| | | |
|---------|---------------------|----|
| 2. 4 | 入力 | 18 |
| 2. 4. 1 | 分類 | |
| 2. 4. 2 | インデキシング | |
| 2. 4. 3 | 要旨 | |
| 2. 4. 4 | 情報量 | |
| 2. 5 | 出力 | 19 |
| 2. 5. 1 | 定期的サービス | |
| 2. 5. 2 | 応需サービス | |
| 2. 6 | 画像情報提供 | 20 |
| 2. 6. 1 | 画像情報提供 | |
| 2. 6. 2 | 一次情報提供 | |
| 3 | システムの構成 | |
| 4 | 目録作成・検索システム | |
| 4. 1 | カード方式 | 23 |
| 4. 1. 1 | カード目録作成 | |
| 4. 1. 2 | 作業の流れ | |
| 4. 2 | コンピュータ利用方式 | 25 |
| 4. 2. 1 | オンライン目録作成 | |
| 4. 2. 2 | 作業の流れ | |
| 4. 2. 3 | 目録のデータ要素一覧 | |
| 4. 2. 4 | データベースの作成 | |
| 4. 2. 5 | データベースの利用 | |
| 4. 2. 6 | 汎用ソフトウェアを用いての例示 | |
| 4. 2. 7 | データベースの次期システム構築への貢献 | |
| 4. 3 | コンピュータ化のメリット | 33 |
| 4. 4 | コンピュータ化への問題点 | 34 |
| 5 | 二次情報作成・提供システム | |
| 5. 1 | 設計案の考え方 | 36 |
| 5. 1. 1 | 前提条件 | |

| | | |
|---------|---------------|----|
| 5. 1. 2 | 主な特徴 | |
| 5. 1. 3 | オンラインシステムの必要性 | |
| 5. 1. 4 | 外部データベースの利用 | |
| 5. 2 | 設計案 | 42 |
| 5. 2. 1 | 概要 | |
| 5. 2. 2 | 情報のフロー | |
| 5. 2. 3 | 出力イメージ | |
| 5. 3 | まとめ | 53 |
| 6 | 画像情報提供システム | |
| 6. 1 | 設計案の考え方 | 54 |
| 6. 2 | 設計案 | 54 |
| 6. 2. 1 | 概要 | |
| 6. 2. 2 | 情報のフロー | |
| 6. 2. 3 | 光ディスクの検索 | |
| 6. 3 | まとめ | 60 |
| 付4 | 光ディスクの概要 | 61 |
| 7 | 閲覧貸出システム | |
| 7. 1 | 設計の考え方 | 64 |
| 7. 2 | 設計案の前提 | 66 |
| 7. 3 | オフコンシステム | 67 |
| 7. 3. 1 | システム運用の基本事項 | |
| 7. 3. 2 | システムの運用 | |
| 7. 3. 3 | 運用メニューの考え方 | |
| 7. 3. 4 | システムの特徴 | |
| 7. 4 | 大型機システム | 73 |
| 7. 4. 1 | システムの設計条件 | |
| 7. 4. 2 | システムの概要 | |
| 7. 4. 3 | システム導入の効果 | |
| 7. 5 | まとめ | 78 |

| | | |
|-------|-------------------|----|
| 8 | 運営 | |
| 8.1 | 組織と運営 | 79 |
| 8.2 | マニュアルの整備と研修 | 79 |
| 8.2.1 | 前処理マニュアル | |
| 8.2.2 | 手引 | |
| 8.2.3 | 説明会 | |
| 8.3 | 外注 | 80 |
| 9 | 所要資源と予算 | |
| 9.1 | 所要機器、ソフトとコスト | 81 |
| 9.1.1 | 二次情報サービス | |
| 9.1.2 | 画像情報システム | |
| 9.1.3 | 閲覧貸出システム | |
| 9.2 | 人員 | 84 |
| 9.2.1 | 二次情報システム | |
| 9.2.2 | 画像情報システム | |
| 9.3 | 外注 | 84 |
| 10 | 年次計画 | |
| 10.1 | 段階的实施 | 85 |
| 10.2 | 並行実施 | 86 |
| 11 | 助言 | |
| 11.1 | Active componentへ | 88 |
| 11.2 | 情報管理課の機能充実 | 88 |
| 11.3 | 持帰り資料の収集 | 89 |
| 11.4 | 各部図書室の連係 | 89 |
| 11.5 | 総合研修所 | 89 |
| 11.6 | 過去分の処理 | 90 |
| 12 | 総括 | |
| 12.1 | システム構築による成果 | 91 |
| 12.2 | 措置 | 92 |

1 序

1.1 情報の活用

社会の多方面で、情報の需要が増え利用が盛んになってきて、現在は来るべき情報化社会の入口にさしかかっているといわれている。電算機、光ディスク、その他の新しい機器が発達し、情報の利用を促進して、情報そのものも大きく変容しようとする姿勢である。業務や生活その他、計画や決定にあたっては、基礎となる情報が正確で多数あることが、判断を確かなものにし、危険を少なくして成功にいたる途であるとされている。

しかしながら、これらの情報を積載する資料は数多く作成され発行されていて、今日では、莫大な数の資料の取扱に埋没して、却って資料の利用を減退させている傾向がないでもない。まして、自己の所有する情報さえ有効に活用していない例は、非常に多数あり、折角の事業の推進に貢献していない例が少なくない。

資料のような形あるものの取扱は物理量から考えて、従来の能力には限界が存在することを認識せざるをえない。必要とする対象が資料の内容であり、情報であれば、その取扱能力の向上には電算機の利用が可能である。また、通信の発達により情報の流通は極めて容易になってきており、現代では情報の利用を推進し流通させる環境は十分に整備されてきているといっても過言ではない。

1.2 JICA情報の特徴

事業団が所有する情報のなかで、特徴的なものは、専門家が持ち帰った資料と作成報告書である。派遣者が現地で収集した資料や情報類は、通常の情報市場では入手し難いものが大部分で、特に、日本国内ではおよそ存在そのものさえ、知りうべくもないのではないかと思われる。入手が困難で、現地性の高い資料は、非常に価値のあるもので、このような資料の利用を高度化することによって、海外協力の各担当部門の相互の情報流通が可能である。さらには、これらの資料は、より多くの人々に提供することが重要であり、事業団の義務でもあると考えられる。

従来、日本ではなんらかの問題なり課題が生じたとき、海外調査を実施するのが、慣例

である。海外での同種の事情の把握と、異種との相違の確認が、日本での解決の重要な基礎資料であった。海外で得られる知見の或る部分は、国内の畜積情報で賄うことができるが、大部分が市販情報で占められており、一般的すぎて評価に困難を感ずることが多く、結局は海外に赴いて情報を収集しなければならなかった。この点、事業団が所有する情報は現地で収集把握したものであるだけに貴重なもので、存在が知られば、極めて需要の高いものということができる。

1. 3 事業団の情報管理

1. 3. 1 組織

事業団の組織についての規定をみると、総務部に情報管理課がおかれ、その分掌の第一項に、

(1) 情報資料の収集、処理、保管及び提供に関すること

とあり、この項で事業団が意図する情報整備を読むことができる。

システム管理課の分掌にも、

(1) 電子計算機の利用による情報処理の企画調査

とあり、実施はともかく、計画についての参画は規定されている。

各部との権限関係が明瞭でないが、この組織の定めをみるかぎり、情報担当の部署は明らかになっており、組織の問題より、運営の問題と解せられる。

1. 3. 2 運営

事業団規程をみると、事業団が所有する資料の取扱については、

- 1) 国際協力事業団報告書の作成及び管理に関する規程（昭和53年 6月 6日 規程第 9号）
- 2) 報告書作成仕様及び区分表示要領について（昭和58年 4月 1日 通達（総）第22号）
- 3) 報告書要約作成要領について（昭和53年 6月 6日 通達（総）第39号）
- 4) 図書資料の利用に関する規程（昭和52年 9月14日 規程第10号）
- 5) 派遣専門家及び調査団の収集資料等の集中管理について（昭和57年 7月29日 通達（総）第43号）
- 6) 国際協力事業団が作成する資料の管理について（昭和57年 8月13日 通達（総）

第45号)

が規定または通達されている。

報告書の作成、印刷製本、配布、保管の各過程を通じ、主管部長と総務部長の関係が規定されているのは、区分指定と配布および取扱注意報告書と秘報告書の保管であり、主管課長と情報管理課長は持ち帰り資料の図書室納入についてのものである。

この定めだけで判断するのは安易になるけれども、情報管理の基礎である事業団内の情報収集に関する総務部長（情報担当部長）の権限は十分でなく、各部での作成資料や持帰資料の情報を処理し提供するのに必要な協力を十分には得られてないとみられる。

1. 3. 3 情報管理課と図書資料室

組織の規程をみるかぎり、事業団内の情報管理は情報管理課の分掌であり、これを軸に構築すればよいと考えられるが、現状は統計資料の作成が主であるとされ、情報流通に関し組織運営上の一つの問題点が存在すると見なされる。情報処理や収集の権能が積極的に与えられてない。したがって、提供も十分には活動できない。

図書資料室は、組織上、情報管理課に属し、その分掌の一部を担当した形になっているが、人員が十分でないことと、最初の図書資料室の設計が不完全であったことから、図書室としての機能がよく構成されていないように見受けられる。現在の事業団内での扱われ方からも、図書資料の倉庫と考えているのではないかと思われるフシがある。したがって、受入資料の保管にほとんどの努力が費やされ、システムの構成、人員・予算の資源の不足を訴えることになり、積極的な利用を促進するにいたっていない。

図書室の問題点としてつぎのような点が考えられる。

1) 事業団の各部局・付属機関は日本各地に、あるいは海外にも分散しているが、事業団の職員は、どこにいようと地域に関係なく、同一レベルの情報サービスが受けられるよう配慮することが必要である。

2) 事業団内の各図書室間の相互協力が十分にみえない。

3) 図書室で最近どんな資料を入手したかを確かめる手段がない。これは図書室にかぎらず組織全体にいえることではないかと思われる。

4) 調査団の持ち帰り資料の図書室への納本が完全に実行されていない。

5) 事業団の歴史のなかで、関連組織を吸収した際、移管資料の目録類を統一していない。また、現地の言語で書かれた資料の目録には不完全なものがある。

6) 所蔵資料の多様性に、十分対応して整理・提供できるような、専門知識をもつ人員が不足している。
などが挙げられる。

1. 4 情報環境

1. 4. 1 電算機の普及

社会活動における計画・執行・評価のいずれの段階でも、そのための情報を必要とし、しかも数が莫大になってきて、人手で処理するには多くの困難さを抱えている。さらには情報の迅速な流通が望まれていることから、その処理に電算機を利用するようになってきた。また、電算機の方も進歩普及して、情報の機械化を容易にする状況にある。

現在、多くの情報が機械可読化され、照合・配列・編集が可能になっているばかりでなく、データベースにして、検索が極めて容易になったきた。電算機は元来、計算機として発達してきたものであるが、事務処理に利用されるのはもちろん、現在は情報用機器として、その機能を発揮していることは、周知のとおりである。パソコンやワープロの普及に見られるとおり、電算機能は大衆化して、価格も低下し、性能も一段の進歩を遂げた。大量の情報処理は小型電算機では現状無理であるけれども、今後の発展の状況によっては、さらに電算化の傾向は強まるものと見られる。

1. 4. 2 通信の発達

マイクロ通信網の整備、衛星通信の利用から、信頼性の高い大量の通信が可能となり、遠隔地から高品質の情報が容易に送られ、また、送るようになってきた。この高信頼性と高品質は、通信と電算機の結合を可能とし、電算機の遠隔地からのアクセス、電算機同志の結合等、各種機能のネットワーク化が可能となった。

最近通信媒体に光を用いることが技術的に可能になり、送信量が一段と飛躍したばかりでなく、ノイズの混入が極めて少ないことから、品質もさらに良くなり、電算機と通信の結合を一層強めるようになった。また、デジタル技術が進歩した結果、より操作が確実となり性能も向上した。情報は流通して初めて、その有効性を発揮できるから、通信の発達は情報にとって非常に都合のよいことである。電算機の処理能力と通信の伝達能力の急速な発展が、情報の流通利用を促進したということができる。

1. 4. 3 大蓄積容量

レーザー技術の応用によって、情報を高密度で蓄積できるようになってきた。レーザーディスクを利用すると、数万ページの情報が極めて小さい容積に蓄積できるといわれ、電子的な読み取り・書き出しが迅速になされるため、最近の最も顕著な技術革新の一つに数えられている。レーザーディスクの特色の一つは、画像の記録にあって、文字情報しか扱えない電算機の利用を超えて、情報の機械化がさらに広い分野を開拓したことになる。図面・写真を含め、一次情報の機械による取扱いが容易になったわけである。

1. 4. 4 データベース化

対象の情報量が大きく、一方、電算機の内部容量に限界があり、さらには、演算の効率化を図るため、電算機ではデータを纏めてベース化し必要の都度、データをよびだして演算している。この機能は大きなファイルを検索して情報を提供しようとするに利用でき、結果、情報のデータベース化が必要になっている。電算機的能力と通信の進歩を利用し、迅速な検索ができるようにしておくばかりでなく、遠隔地よりの利用も可能にするよう、現在は、情報を機械可読化してデータベースとしているのが盛んである。

1. 5 事業団情報の機械化

事業団が所有する情報は数において、それほど大きいものではないが、先にも述べたように、重要な情報を含んでおり、この有効利用は情報処理の如何にかかっている。電算機にかけるほどの数はないとしても、情報を多面的に活用しようとするれば、電算機能力に頼るのが有効であるし、また、遠隔地からの利用を期待するとしたら、通信回線に載せられる形になっている必要がある。たとえば、事業団の持帰り資料は、既にかんがりの数が蓄積されているが、これをリストするについて、国別地域別はもちろん、産業別、著者別、主題別、アルファベット順、あるいは、年代別などの多様な要求に応えるには、人手にたよるには限界がある。持帰り資料をはじめ、作成報告書その他多種の情報を機械可読にしておくばかりでなく、情報に分類・インデキシング・抄録などの加工を施しておき、いろいろの要求に対応できるようにしておく必要がある。加工の結果は、多様な要求に迅速に応えることができるわけである。これが情報活動を機械化する理由であるし、情報をデータベース化する根拠である。

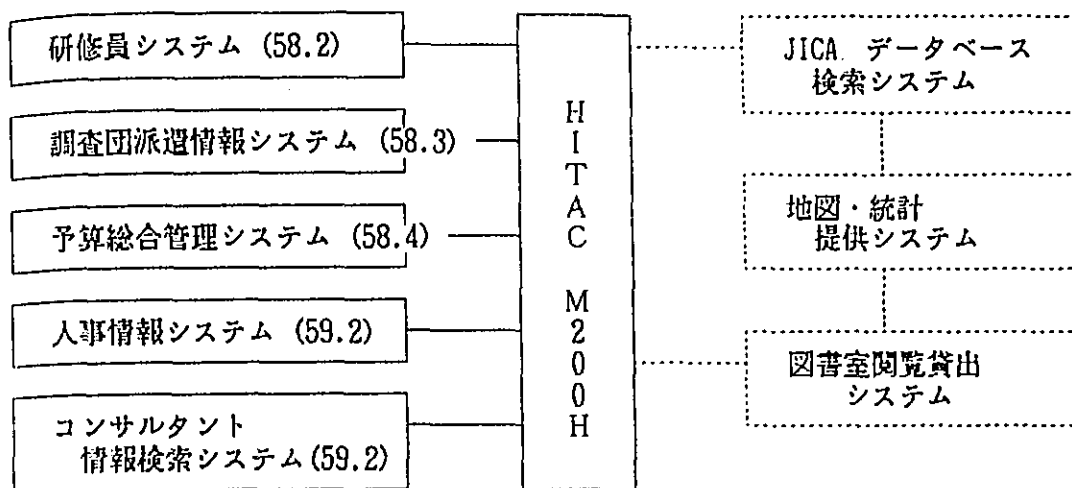


図 1. 1 事業団の電算機システム

1. 6 アプローチ

事業団内の情報流通を機械化する過程としては、

- (1) 情報活動に電算機の導入を決める。幸い、大型電算機の使用が可能であるから、ディスクと検索ソフトの用意で可能である。
- (2) 定常活動の部分の機械化を先に着手する。毎月新着の資料の情報化・電算化処理の手続きや配布のルート、リストなどを作成する。
- (3) 電算化に伴う周辺手続きを整備する。要領、手引、マニュアル、ワークシートおよび参照文書類の作成供与する。
- (4) 定常分の稼働に安定性が得られたら、過去分のデータベース化に着手する。

大方の進め方は上のように考えられるか、遂行の過程での手法を概念的に述べると、

- (1) 現在の形態・手続きを解析し、重複を削除し、欠陥を補正して、機能と扱い量のバランスを見る必要がある。(2) 次いで、機械に置き代わる機能の検討に移る。置き換えが妥当かどうか、を含め、機械の能力およびその限界の確認が重要である。機械にあまり大きな期待を懸ければ、裏切られることになるし、過小に捉えると人間が振り回されることになる。機械と人間の整合は非常に大切で、この面に意を用いないと、折角の機械化が円滑に導入できないことになる。(3) 機械には新しい能力があるから、従来は不可能であったことも容易に実現する。機械化の目的には、新しいサービスへの期待があるはずだし、ニーズを確認して情報活動の開発を行う。(4) 小規模でのテスト稼働を行い、実働のときの問題点を抽出し改良補正する。(5) 稼働中は常に監視し、成果の評価を行ってシステムに反映させる。以上が機械化にあたっての留意点ということができよう。

2 システムの前提

2.1 基本条件—集中と分散

2.1.1 目的

ここで記述されるシステムは、従来の図書館機能をそのまま機械化したものではなく、事業団内の情報流通システムの在りかたを模索し、積極的な機能として、事業団の事業の一翼を担うシステムとして考えられている。事業の進展に伴い、発生し作成された情報を積極的に収集し加工し、処理した情報生産物を定期的、意図的に配布し、また随時の情報要求に応えるのを目的に、構築される。迅速な処理と遠隔地への提供を考慮すると、情報は多様な出力製品を作成できるよう、また機械の論理に耐えられるよう加工し、さらに機械が扱えるよう、可読化する。電算機やレーザーディスクなどを利用した機械化システムの組み立てを目的とする。

2.1.2 分散と集中

事業団の業務の執行形態からいうと、各事業部の独立性が強いため、集中方式のシステムを構築するには、組織運営上の変更が大きくなるので、かなりの部分を分散化せざるを得ない。トータルシステム概念からいえば、また、処理の効率の点からみても、事業団程度の規模の情報システムは集中化した方がよいと思われるが、情報システムとはいえ、業務の運営執行に伴って発生し、作成される情報を対象としているのであるから、業務の実態からかけはなれたシステムを組むわけにはいかない。ある程度の情報業務は各事業部で分散して前処理され、それを中央に収集して、集中処理で完成して、サービスに供するようになシステムが適当と考えられる。

分散する業務と集中する業務の境界は、業務の内容と情報の内容の関係にまず依存し、ついで、処理の効率がシステムの輪郭を限定し、さらには各事業部の負担の程度が実行の可能性を定めるであろう。人員増の困難な状況のもとでは、新規の負担はなるべく外注したほうが実行しやすく、受入れやすいであろう。しかし、専門家の持帰り、あるいは作成した資料は本人が最もよく理解し把握しているわけで、余人には処理し難いか、したとしても正確さを期待できないことが多い。したがって、ある程度の情報処理は各事業部の責任で処理加工されるのが、活動の信頼性を確保しうると考えられる。各部で収集した情

報のある部分は担当個所で加工し、中央に集められた情報は、その余の部分を集中処理して完成し、配布・蓄積する。後処理と蓄積、提供が中央にあり、各部局は前処理と所在地で提供を受けるようになるであろう。分散と集中の適正な組み合わせが、システムの構成の基本的条件である。

2. 2 パラメータ

システムの輪郭を設計するにあたって、基礎となるおおよその数は見積もっておく必要がある。従来の実績から急激に増加する要因もみあたらないが、情報システムの整備により、また、着実な発展も期待して、妥当な成長を見込んでおく。

2. 2. 1 情報数

受入資料数 (地図を含む)

| | |
|-------|---------|
| 蓄積 | 60,000点 |
| 1981 | 4,514点 |
| 1982 | 4,004点 |
| 年間見込み | 5,000点 |

2. 2. 2 利用

| | 1981 | 1982 | 見込み |
|---------|-------------|-------|-------|
| 来館利用者数 | 4,226名 | 4,747 | 5,000 |
| 電話照会数 | 7,186件 | 6,697 | 8,000 |
| 貸出資料数 | 2,733冊 | 3,087 | 3,000 |
| 貸出写真数 | 308種 | 22 | 500 |
| 貸出フィルム数 | 105種 | 240 | 200 |
| コピーサービス | 3,600件 | 3,919 | 5,000 |
| 配布対象 | 150 (課室支部等) | | |

2. 2. 3 地理的特性

| 機関所在地 | 国内 | 海外 | |
|-------|-------------|----|--------|
| 本部 | 3 (18部84課室) | | |
| 付属機関 | 10 | | |
| 支部 | 9 | 9 | |
| 海外事務所 | | 26 | |
| 海外駐在員 | | 12 | |
| 計 | 22 (103) | 47 | 総計 150 |

事業団内の所在地が非常に多数にのぼり、情報流通を阻害する原因になっていると思われるが、そのゆえに情報システムが有効に運営された場合の効果は大きいはずである。通信ネットワークが近い将来に期待されないところも多く、当分は郵便に頼る流通を考慮せざるを得ないであろう。

2. 3 対象分野と資料形態

対象の分野は事業団の事業分野全体にわたると考える。農林・水産・鉱工業・医療・経済から技術協力・移住・社会開発・研修等多種多様な幅をもっており、したがって情報の内容も多彩にわたっている。その結果、情報の分類やソースの作成・選定に困難を感じることになり、情報の同定に必要なツール類の整備に大きな努力が必要であり、詳細設計の際に当面することになる。

対象とする資料は作成報告書の場合は、ほぼA4版（またはA5版）に形が統一されているので、資料形態は均一として扱えるが、持帰り資料は、単行本あり、複製本、タイプ印書の報告書その他いろいろの形態が含まれている。資料整理の立場からいうと、形態の多様な資料類は厄介なものであるが、このシステムでは二次情報化を中心として機械化を考えているので、形態は問わないことにする。ただ、一次情報の提供が早急に期待されるので、マイクロフィッシュ化の過程がシステムのなかに考慮される必要がある。つまり、マイクロ化による形態の統一化である。

2. 4 入力

データベースに入力するには、情報としての整理と電算機が読めるようにパンチすることの二つが必要である。パンチして機械が読めるようにするのを機械可読化というが、機械が読めるからといって、情報の文章そのままで、検索、配列、索引の種々の要求に応えることはできない。一つ一つの情報をデータベースに入れるには、分類・インデキシングおよび情報の要素化を図るなどの加工が必要である。

2. 4. 1 分類

事業団の情報は本質的に外国に関する情報であるので、第一分類は従来どおり、国別が妥当である。第二分類も現在使用中の分類表による。コードも情報活動の継続性からと、さらには変更する理由も見当たらないので、現行で差し支えない。分類そのものはそれほど難しくはないから、検索の際の協力を考えると情報の提出個所に担当してもらったほうが、非常に都合がよいが、整合性を欠くこともありうる。このへんの判断は詳細設計での事業団内部の事情に依存することになる。

2. 4. 2 インデキシング

情報にキーワードを付与することをインデキシングという。各情報にキーワードを付与するには、情報の内容に対する理解が十分でないと、誤ったキーワードや余計なキーワードの付与、さらには欠落があって、後に検索する場合の誤り、雑音、漏れの原因となる。したがって、第一義的には、情報の提供個所に付与してもらうのが、システムの信頼性を高める端緒となる。しかし、提供個所のみでは、システムの特性を熟知していないことも考えられるので、第二段として中央での補完とチェックのステップを考慮しておくことが必要になる。電算機による検索はこのキーワードによるから、インデキシングの重要性を強調しておきたい。類語・同意語・階層関係を考慮して、インデキシングのための語の統制を行うとき、キーワードをディスクリプタと呼ぶ。

2. 4. 3 要旨

事業団の所有する資料もすでに、数万件にのぼり、関係する情報の原資料に全て目を通すことは、時間的にも、労力のうえでも、かなりの量になることが予想される。今後、情報はますます、蓄積されるから、簡単な形でよいが、要旨をつけることが望ましい。抄録として体裁の整ったものを期待したいが、その負担も大きいし、総数が数万から十数万程度と予定すれば、検索出力もそうは大きくならないであろうから、粗選別できる程度でよ

いものと考えられる。

2. 4. 4 情報量

(1) 1レコードあたりの情報量はつぎのように、推定される。

| | |
|------------------|--------|
| 1) 書誌記述 | 800バイト |
| 2) キーワード (平均10個) | 100 " |
| 3) 要旨 | 600 " |
| 4) レコードラベル | 32 " |
| 5) 管理事項 | 200 " |
| 6) その他 | 300 " |

計 約 2,000 "

(2) 情報数が年間 約5,000 とみて、 $2,000 \times 5,000 = 10,000,000$ バイト = 10 Mバイト
蓄積分は $2,000 \times 60,000 = 120,000,000$ バイト = 120 Mバイト となる。

2. 5 出力

出力は週・月・年の定期的なもの、蓄積を遡及検索したものとに分かれる。

2. 5. 1 定期的サービス

1) 新着資料情報

毎週もしくは毎月、図書室で受け入れた作成報告書および持帰り資料 (約80から400) の件名標目索引を電算機出力し、各課室支部付属機関に配布する。

(約 150)

2) S D I (Selective Dissemination of Information) サービス

特定主題の情報を到着次第電算機で選択出力して、希望組織に配布する。

3) 累積目録索引

年1回、収集資料の累積索引を電算機出力して、遠隔機関に配布する。

4) 目次サービス

新着雑誌・報告書の目次部分をコピーし、希望組織に配布する。

2. 5. 2 応需サービス

1) オンライン検索

データベースが整備され、通信回線の利用できるところならば、端末からオンラインで、蓄積情報を遡及検索することができる。

2) オフライン検索

端末からアクセスできないところは、図書室で出力し郵送する。

2. 6 画像情報処理

2. 6. 1 画像情報提供

事業団は地図写真などの画像情報をかなり多数、所蔵しており、この活用も情報システムの課題である。迅速な検索と複製提供を考慮すると、マイクロフィッシュや光ディスクによるファイルを前提に、さらにはイメージ電送による遠隔サービスも計画すべきであろう。

2. 6. 2 一次資料提供

上記サービスで、所要の情報の存在が判明すると、該当資料の要求が生ずる。所在を報知すれば済むことも多いが、資料の閲覧・貸出できない遠方は、コピーして発送することになる。この提供システムの整備が必要で、情報が電算機で容易に検索できるようになると、この要求も増加する傾向になる。それだけ情報の利用が高まることになるが、そのためにも、資料複写サービスの充実と、先行きはファクシミリの利用も考慮しなければならないであろう。

3 システムの構成

このJICA情報システムは(1)目録作成検索システム、(2)二次情報作成検索システム、(3)画像情報システム、(4)閲覧貸出システムの4つのサブシステムからなっている。

(1) 目録作成検索システム

これは図書室に所蔵されている資料の目録作成とその目録データベースによる検索を目的としたもので、現在の図書目録システムの延長上にあるが、電算機を使用するので、刷出を含めてカード目録ばかりでなく、冊子体目録や累積索引の作成も容易であり、また、遠隔地端末からオンラインアクセスも可能である。現在の図書室システムをあまり変更せずに、機械化する方針をとっており、過去分との継続性が主眼にある。後に述べる(2)の二次情報システムをどの程度遡及するかによっては、このシステムの輪郭は若干変更を余儀なくされるであろう。資料管理が目的であるけれども、JICA二次情報システムとの接続合併の可能性も、状況と要求によって可能のように考えている。レコード構造としては、国会図書館納本の作成報告書の目録を考慮すると、JAPAN MARC準拠が適当であり、JICA二次情報システムとの整合を考えるなら、SIST-04に拠るのが妥当である。

(2) 二次情報作成検索システム

事業団が収集した持帰り資料や作成報告書は、その価値からいって、二次情報をデータベース化し、電算機による情報処理と通信回線による遠隔地サービスを実施して、事業団内ばかりでなく、関係機関の要望に応えるべきであると思料される。費用も労力もかかるけれども、効用は周知の通りであるし、目録システムとの接続も考慮すれば過去分のサービスも可能であり、あるいは他への進展性も留保される。

(3) 画像情報システム

現在、事業団は関係地域の地図を数多く保有し、有用な情報源になっている。このような画像(イメージ)は最近になって記録が電子的に容易になり、電算機と結んで迅速で大容量の蓄積が可能になってきた。また、他の図・写真に应用できるので、システムの一部として構成するが、大型電算機には接続されない。このシステムはさらに、ファクト情報

システムとして、また一次情報の収容も可能であるので、将来、情報システムの主流となる可能性をもっている。

(4) 閲覧貸出システム

図書館機能のなかで、閲覧貸出の記帳業務や返却催促は電算機にとって、機械化し易い業務ということができ、また、その導入によって、図書館員の負担の軽減、および来館手続きの簡易化に役立っている。このシステムは大型電算機を必要としないので、オフコン程度のシステムを独立して組むことができる。ここでは大型電算機を使用する場合とオフコンを使用する場合との二つのシステムを考えて設計した。

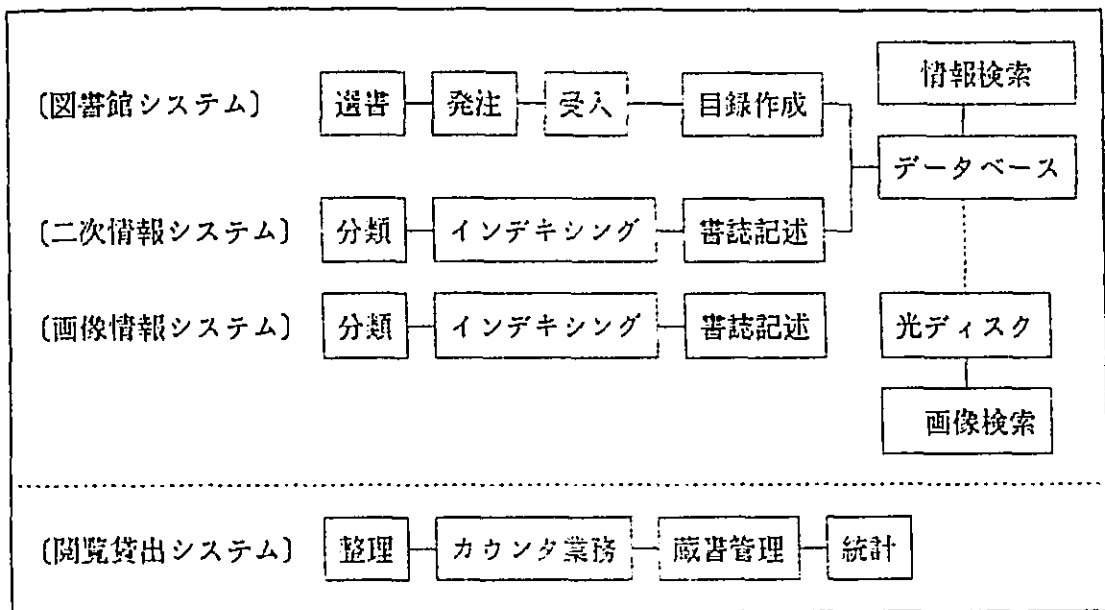


図 3. 1 情報機械化システム概略

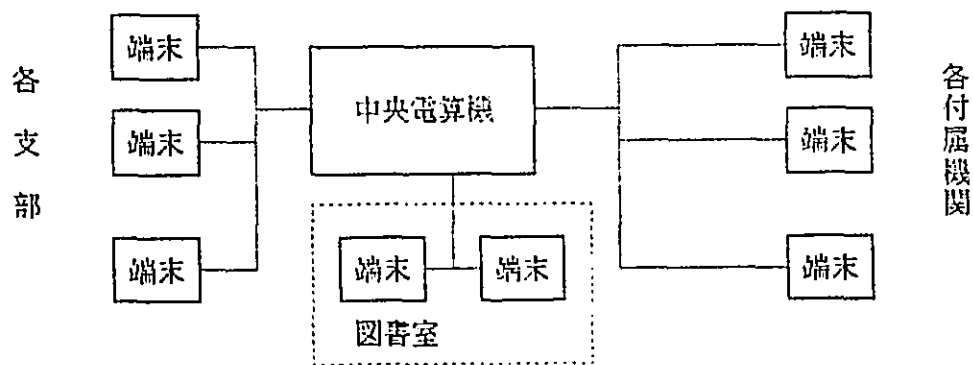


図 3. 2 情報システムネットワーク

4 目録作成検索システム

ここでは、事業団作成の報告書・テキスト・持帰り資料・移住関係図書に対する目録作成と検索について記す。基本的な考え方は、すべての書誌情報作成に通ずるものである。すなわち、上記資料以外にも、和図書、洋図書などに広く応用が可能である。

開発段階は、つぎの二通りが考えられる。

(1) カード方式

(2) コンピュータ利用方式

以下、これについて概要をのべる。

4.1 カード方式

4.1.1 カード目録作成

この方式はコンピュータ化に至るまでの暫定措置と考えられ、つぎの方法があげられる。

1) 市販カードの利用

目録作成は労力とコストのかかる作業であるため、まず、市販カードを有効利用することが重要である。コンピュータ化する場合、参考または採用するマークがあれば、その印刷カードの利用が適切であろう。市販の印刷カードとしては、次のものが挙げられる。

i) 和図書の場合

- JAPAN/MARC の印刷カード
- NIPPAN MARC の印刷カード
- TRC MARC の印刷カード
- 大阪屋 MARC の印刷カード

日本で発行された図書や国会図書館に納本された事業団報告書が該当する。

ii) 洋図書の場合

- 丸善の印刷カード
- 紀伊国屋書店の印刷カード

いずれのカードも、米国議会図書館で整理した図書目録データ(LC/MARC)を利用して、打ち出したものである。持帰り資料の一部に適用可能である。

2) 独自のカード目録作成

事業団所有の資料の大部分が該当するが、市販カードを利用できない図書については、独自にカード目録を作る必要がある。この場合、図書整理マニュアルを参考にしながら、かつ、市販カードとの整合性をもたせるように留意することが重要である。

4. 1. 2 作業の流れ

現在、所蔵データが約6万件あり、今後、約2千件の増加が年に見込まれると想定すると、平均10件弱/日の目録カード作成量である。これは図書館のカatalogerが、1名で処理できる量に当たる。

カード目録作成とその利用の位置づけを図に示すと、次のようになる。

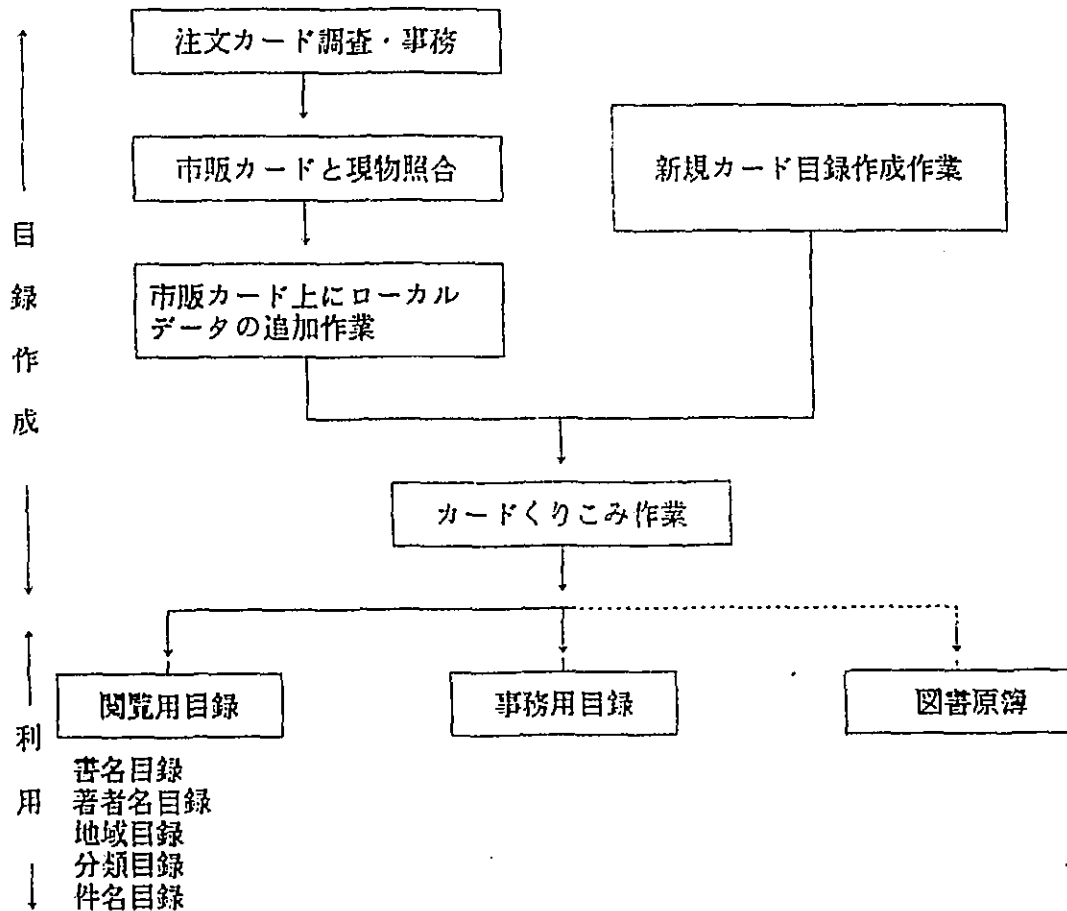


図 4. 1 作業の流れ

目録作成過程では、市販カードの利用と新規カード目録作成に大きく分かれ、市販カード利用の流れでは、(1) カード注文調査・注文事務、(2) カード受領後の現物資料との照合、(3) カード上への項目の追加、(4) カード繰り込み、(5) 現物配架などで

ある。新規カード目録作成では、最小限必要な項目を取る。例えば、書名、副書名、巻次、著者表示、出版者、出版地、出版年、大きさ、ページ、書名の読み、著者の読み、NDC、ローカルデータなどである。ここでいうローカルデータとは、事業団独自の内容を持つ項目で、請求記号、登録番号、購入区分、分類、地域コードなどが挙げられる。

利用面からみると、ユーザーは閲覧カードまたは電話などの媒体を通して情報を知ることとなる。ただし、迅速かつ多様な提供サービスの利点を享受しようとするなら、消極的なサービス体制を改善して、コンピュータ利用へ早急な移行が望まれる。

4. 2 コンピュータ利用方式

4. 2. 1 オンライン目録作成

機械可読目録、すなわちマークの本来の目的は目録作成作業の軽減にある。同じ資料をいくつかの機関で重複して、目録を作成せずに、ある特定機関で作成し、これを有効利用する。これは、多くのコストと時間のかかる目録作業を省力化し、迅速な利用サービスの提供につながる。したがって、機械化にあたり、まずマークの利用が考えられる。

1) 市販マークの利用 (付1参照)

i) 和図書の場合

JAPAN/MARC
NIPPAN MARC
TRC MARC
大阪屋 MARC

タイムラグ(刊行から目録提供まで)にやや難点があるが、いくつかの点からみて、JAPAN/MARC の利用が事業団には適しているように思われる。すなわち、(イ)他のマークにはない官公庁資料が25%含まれている。(ロ)目録の内容が安定し、品質が一定している。(ハ)1件あたりのコストが安い。(ニ)現物が必ず国立国会図書館にあるなどである。事業団に入っていない資料の検索もできるため、国立国会図書館との相互貸借の利用を図れば、あたかも事業団に図書があるかのように利用できる利点もある。

一方、これ以外の市販マークは、(イ)タイムラグが短い、(ロ)選択注文ができるなどの利点がある。

ii) 洋図書の場合

丸善
紀伊国屋書店

LC/MARC をベースとして、選択注文などに応じている。

2) 独自のオンライン入力による目録作成

市販マークにないものは、全項目を新規目録として整理し、ローカルデータと一緒にオンライン入力する。さらに、市販マークで入力済のデータを読み出し、項目の追加・訂正・削除を端末で行うことができる。

4. 2. 2 作業の流れ

コンピュータ化した場合の作業の流れを概念図で示す。ここで主流となるソフトウェアは、メーカー提供の ORION (汎用情報検索用パッケージ) を用いる (付2参照)。

ORION 機能を利用して、目録用データベースを作成する過程としては、次のものが挙げられる。(1) 市販マークの一括または選択購入に伴う作業、(2) 市販マークからデータベ

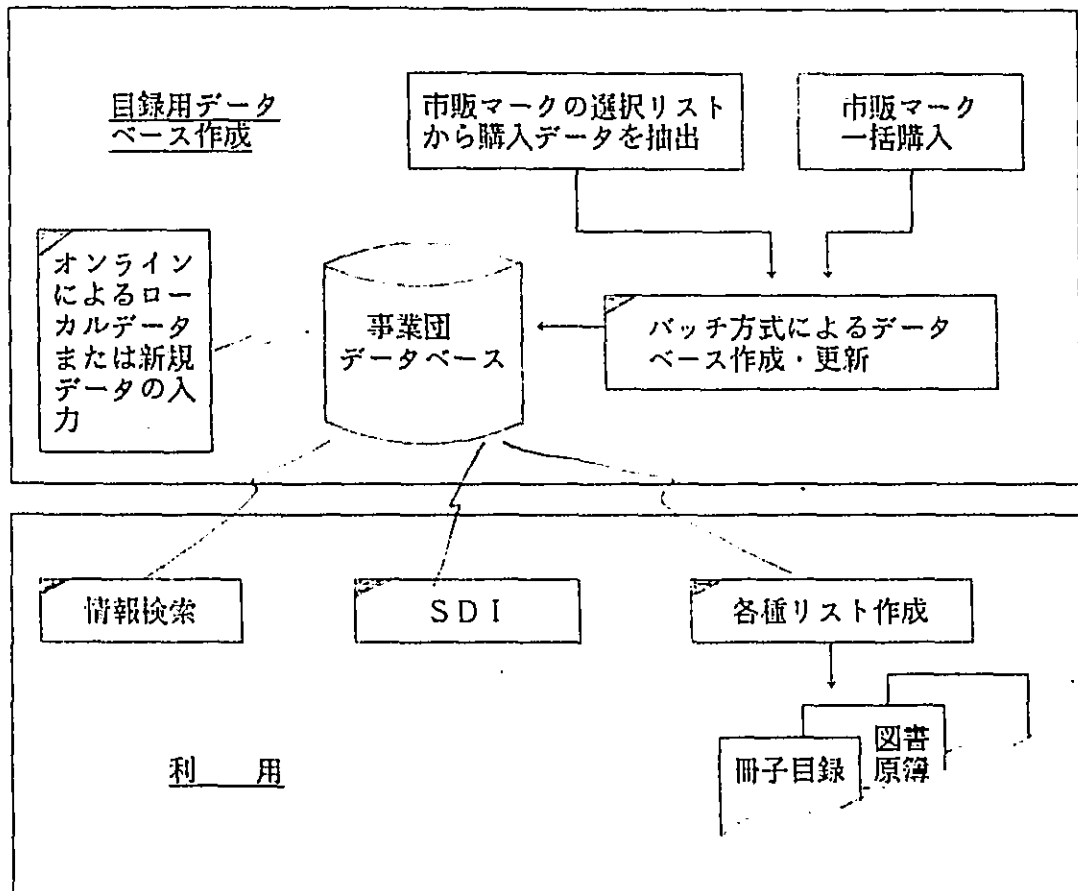


図 4. 2 目録作成と検索システムの概念図

汎用ソフトウェア機能

ース入力用のフォーマット・コード変換、(3) バッチ方式によるデータベース作成と更新、
(4) オンライン入力によるデータ作成およびデータベース作成と更新。

利用面としては、(1) オンラインによる情報検索、(2) オフラインによる情報検索、(3)
) SDI サービス、(4) 各種リスト作成などである。

データベースは、和図書と洋図書の区別なく同一データベース上に作成する方法が得策
であろう。検索項目は、すべて英数カナモードとする。和図書の場合には、漢字の JIS規
格(JIS C6226) でデータの内容を表記する。ギリシャ文字またはロシア文字などを用い
た図書の場合は、ほん字せずに、この JIS規格を用いて表記することが可能である。洋図
書の場合には、アルファベット表記で、EBCDICコードを使用する。

4. 2. 3 目録のデータ要素一覧

目録データ要素(データ項目)の種類を決めることは、きわめて重要なことである。こ
のデータ要素は、オンライン用データベースの利用効率を左右するものである。ファイル
構造は、汎用ソフトウェアにゆだねるため、入力項目と検索項目および表示項目の決定(
付3参照)、インデックスの切り出し方法などの定義を行うことにより、自動的にデータ
ベースの作成および検索が可能である。目録のデータ要素一覧をみると

1) 市販マーク利用の場合

原則として、全項目を対象とする。一例として、JAPAN/MARC のデータ要素一覧を付
4 (巻末) に示す。

2) 独自にオンライン入力する場合

必要最小限にとどめるが、次の項目が考えられる。

(イ) 目録の記述部分(主に表示項目)

書名、副書名、巻次、著者表示、版表示、出版地、出版者、出版年、大きさ、ペ
ージなど

(ロ) 目録の標目部分(主に検索項目)

書名の読み、著者の読み、地域コード、分類、件名など。

(ハ) コードデータおよびローカルデータ

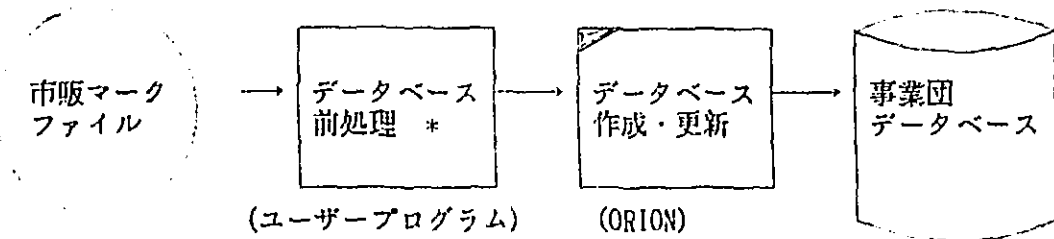
資料種別、ISBN、ISSN、請求番号、登録番号、購入区分など。

4. 2. 4 データベースの作成

1) 市販マークの蓄積

購入した市販マークを利用して、定期的にバッチ方式でデータベース作成・更新処理を行う。

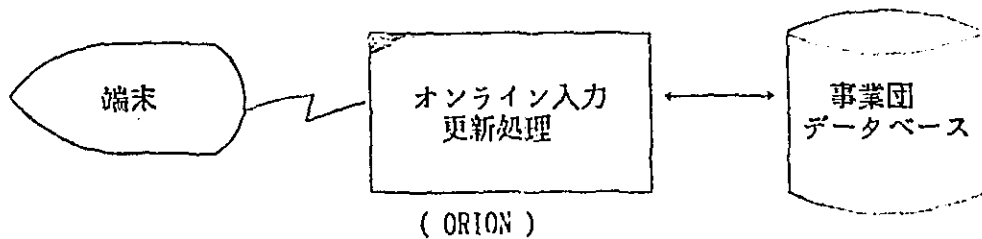
題及分データについては、選択注文によりデータを入手し、これを蓄積する。開発ソフトウェアはユーザープログラムが最低1本必要である。



* ここでは、市販マークファイルのデータをデータベース用に、コード・フォーマット変換などの処理を行う。

2) オンライン入力

データの新規入力、データの訂正・追加・削除を端末で行う。新規入力する場合、既存データとの互換性を考慮し、特に書名の読みと分かち書き、著者の読みについて配慮する必要がある。

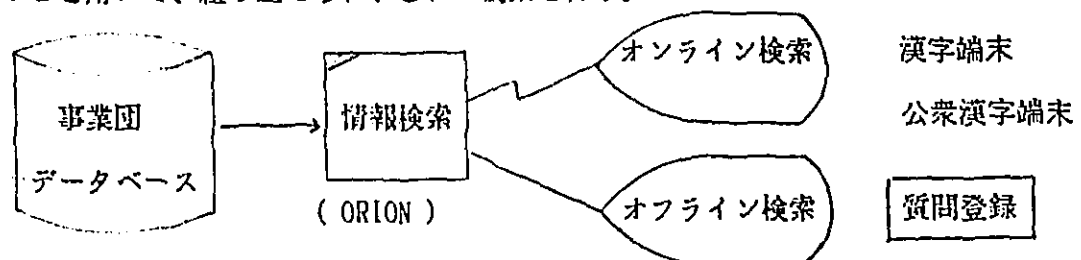


端末としては、漢字入力も可能なパーソナルステーションまたはワープロ機能付漢字端末がよい。ソフトウェアはすべて ORION機能でカバーできる。

4. 2. 5 データベースの利用

1) 情報検索

主な検索項目は、書名、著者、主題（分類、件名）、コード類（出版国、言語、地域、ISBN、ISSN、登録番号など）である。検索キーとしては、アルファベットまたはカナ・数字などを用いて、組み立てられ、これで検索を行う。

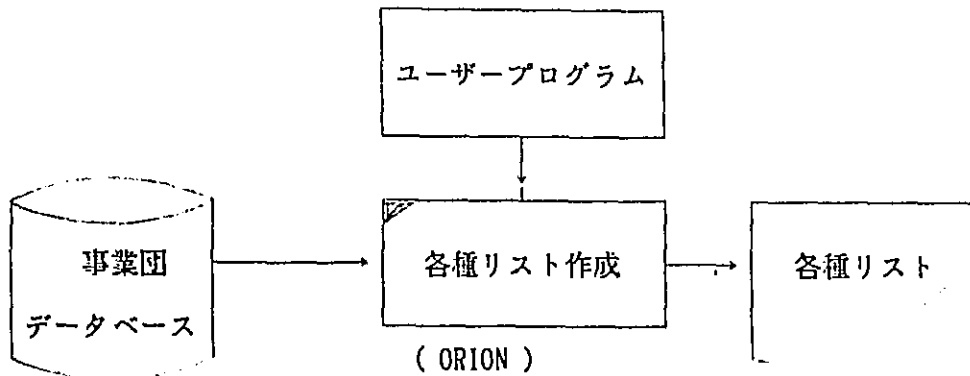


2) SDI

検索項目の登録ができ、定期的に要求リストまたは端末表示が可能である。処理としては、情報検索処理と同じである。

3) 各種事務用リスト

情報検索結果の各種リスト（書名、著者名、主題など）が打ち出せる一方、管理用の各種リスト（図書原簿、統計など）も可能である。



4. 2. 6 汎用ソフトウェア (ORION) を用いての例示

1) データベースの蓄積

漢字端末を用いて、新規に目録データを作成する例である。MAKEコマンド（データを作成するとの命令語）を入れると、次ぎに入力して欲しい項目名が表示され、その都度データを入力する。漢字情報のときには、ワープロ機能で入力し、英数カナモードはそのままキー入力する。

```
コマンドを入れよ。
/ MAKE
.
.
.
/ TI ? 図書館とコンピュータ (書名)
/ TIF ? トショカン△ト△コンピュータ (書名のフリガナ)
/ AU ? 坂本徹朗 (著者)
/ AUF ? サカモト、テツロウ (著者フリガナ)
/ PP ? 東京 (出版地)
/ PN ? 日本図書館協会 (出版者)
/ PD ? 1983, 11 (出版年月)
/ PH ? 279 p (ページ)
/ SB ? 4-8204-8308-0 (ISBN)
```

和書の例

コマンドを入力して下さい。

1/ FI コンピュータ AND トヨカ
* 497 1/ コンピュータ
* 1640 2/ トヨカ
* 3 3/ コンピュータ AND トヨカ
4/ DISPLAY

項目 1

公共図書館のためのコンピュータ用語集 神戸市立中央図書館電子計算機運用
実行委員会編 神戸 神戸市立中央図書館 1982.2 52p 26cm

協力：NEC日本電気株式会社情報処理第一公共システム事業部自治体営業
部図書館システムプロジェクト コンピュータ関連文献・参考文献：P49
～52 非売品

UL2：UL11①図書館—オートメーション—辞書

NDC:013.8

洋書の例

FI COMPUTER AND LIBRARY

- * 919 1/ COMPUTER
- * 3311 2/ LIBRARY
- * 9 3/ COMPUTER AND LIBRARY

4/ DISPLAY

項目 1

CPN-MAIN (110): 2 0 #A COUNCIL OF ONTARIO UNIVERSITIES. #B
OFFICE OF LIBRARY COORDINATION.

TITLE (245): 1 0 #A UNICAT/TELECAT : #B A REPORT OF THE
COOPERATIVE USE OF A COMPUTER-BASED
CATALOGUING SUPPORT SYSTEM / #C PREPARED BY
THE OFFICE OF LIBRARY COORDINATION, COUNCIL
OF ONTARIO UNIVERSITIES FOR THE BOARD FOR
LIBRARY COORDINATION.

IMPRINT (260): 0 #A TORONTO : #B COUNCIL OF ONTARIO
UNIVERSITIES, #C 1975.

COLLATION (300): #A V, 111 (2 FOLD.), [105] P. : #B ILL. ;
#C 28 CM.

2) 情報検索

検索と表示コマンドを用いた検索例を示す。まず、論理演算機能で、コンピュータと図書館がともに書名中にあるものをサーチし、「コンピュータ」が 497件、「図書館」が 1,640件、集合として 3件のヒットをみた。これを先頭から表示した例である。洋図書例として一部を示す。

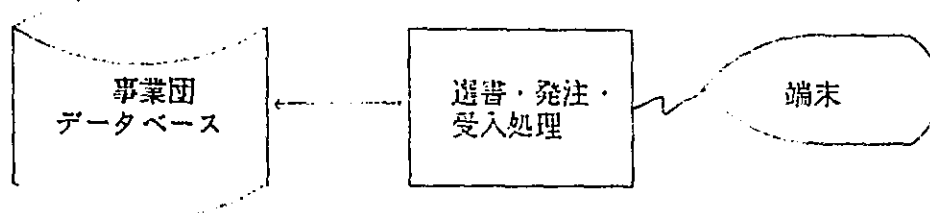
3) 各種リスト出力

図書原簿の打ち出しリスト例として、年月の区間を指定し、この範囲内に受け入れた本を、登録番号順に書名、請求記号、購入区分を表示したものである。

| | | | |
|-----------------------|----------------|----------------|-----------|
| 図書館とコンピュータ 雲南の民族文化 | 2.12S 2.12A | 00123 00124 | A Z |
| ↑ 書名 | ↑ 請求番号 | ↑ 登録番号 | ↑ 購入区分 |

4. 2. 7 データベースの次期システム構築への貢献

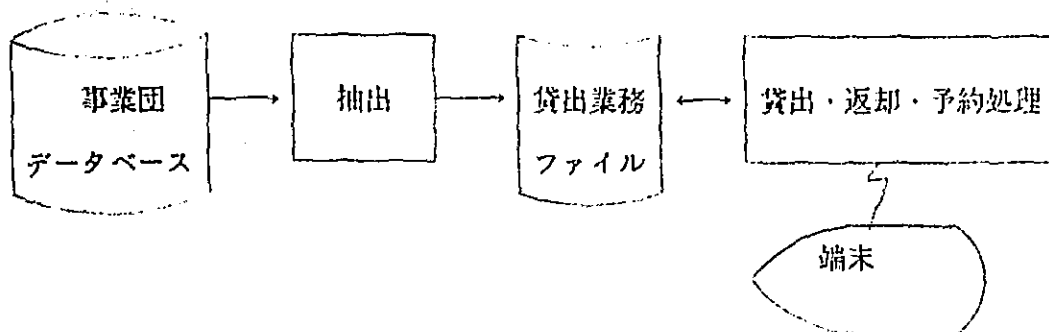
1) 選書・発注・受入業務のシステム構築がしやすい。



選書・発注・受入用のファイルを作成せず、事業団データベースに必要項目を入力することにより、容易に機械化できる。したがって、必要な対象項目を初期段階で洗い出ししておく必要がある。

2) 貸出業務

資料固有番号をサーチキーとして、書名、副書名、巻次、著者、出版者、出版年月、貸出年月日、返却年月日、予約年月日などを、端末画面に表示して、本の貸出・返却・予約業務ができる。これらの業務の開発にあたり、データベースから必要な項目を抽出し、これを利用することにより、システム開発および運用ができる。



4. 3 コンピュータ化のメリット

- 1) 事業団の中央コンピュータを利用することにより、運用コストの軽減が図られる。
- 2) 汎用ソフトウェア (ORION システム) の機能で十分システム構築に耐えうるため、ソフトウェアの開発コストが安い。
- 3) 端末から即時検索が可能のため、図書室に赴く必要がなく、一次情報を求めるときのみ訪れることとなろう。したがって、従来の消極的な図書室のサービスから情報提供サービス部門としてのイメージアップに繋がり、人員・資料などの資源の有効利用が図られる。
- 4) 調査や分析業務への迅速なツールとなりうる。
- 5) カードの繰り込み作業がなくなり、かつ、各種カード、または目録リスト打ち出し量が大幅に少なくなる。
- 6) オンライン利用により、多面検索ができ、その結果、各種統計処理、調査処理が提出し易くなる。
- 7) 主題ごとの多種多様な情報が迅速に得られ、SDIも可能である。
- 8) 他システムの構築がしやすい。
- 9) 将来、図書室を煩わすことなく、データの蓄積が可能となる。すなわち、コンピュータを中心にした情報蓄積・利用体制への移行が考えられ、ペーパーレスの業務が図れる。

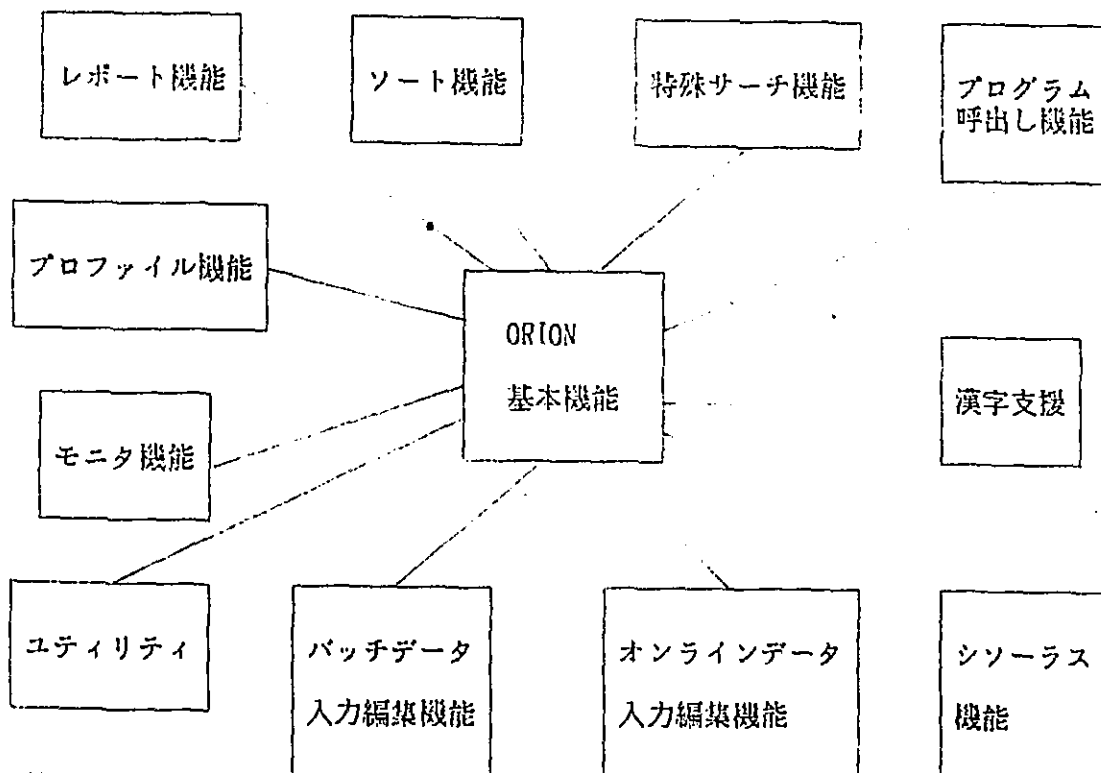
4. 4 コンピュータ化への問題点

従来の図書室という観点からの運用と比べると、コスト高になる。そのため、他組織との関係が必要であり、全事業団規模で取り込むべきである。コスト高はハードウェア（磁気ディスク装置、漢字端末など）に対するものであるが、さらに、書誌情報（マーク）の購入が該当する。

〔付1〕 市販マークのコスト

| 市販マーク | タイトル数/年 | コスト（単価）円 |
|-------------|---------|----------|
| JAPAN/MARC | 約60,000 | 約 10 |
| NIPPAN/MARC | 30,000 | 70~80 |
| TRC/MARC | 35,000 | 70~80 |
| 大阪屋MARC | 28,000 | 40~70 |

〔付2〕 ORION の機能構成



〔付3〕 入力項目と検索項目

| 入力項目 | 検索項目 | ローカル入力 |
|-------------------------|------|--------|
| コントロール番号 | ○ | |
| ISBN | ○ | |
| 国名コード | ○ | |
| ISSN | ○ | |
| 請求記号 | ○ | ○ |
| 刊行年 | ○ | |
| 言語コード | ○ | |
| 資料種類 | ○ | ○ |
| 書名、副書名、巻次等 | × | |
| 書名フリガナ | ○ | |
| 著者名 | × | |
| 著者名フリガナ | ○ | |
| 版表示 | × | |
| 出版地 | × | |
| 出版者 | × | |
| 出版年月 | × | |
| ページと大きさ | × | |
| 叢書名、叢書番号、副叢書名、 副叢書番号 | × | |
| 叢書名フリガナ | ○ | |
| 多巻ものの各巻の書名、副書名、 巻次等 | × | |
| 多巻ものの各巻の書名フリガナ | ○ | |
| 多巻ものの各巻の著者名 | × | |
| 多巻ものの各巻の著者名フリガナ | ○ | |
| 注記 | × | |
| 件名(一般件名と個人件名) | × | |
| 件名フリガナ | ○ | |
| 分類 | ○ | ○ |
| 登録番号 | ○ | ○ |
| 購入区分 | ○ | ○ |

5 二次情報作成提供システム

5.1 設計案の考え方

最初に前提条件、主な特徴およびオンライン情報検索の必要性、外部データベースの利用について記す。

5.1.1 前提条件

- 1) カード目録は事務用およびJICAデータベース入力用ワークシートとして使用し、閲覧用の目録機能はオンライン検索によって行う。
- 2) 基本的な二次情報ファイルの形式としては、科学技術情報流通技術基準SIST 04-1983（書誌的情報交換用レコードフォーマット内形式）、またはJAPAN/MARC仕様を適用する。
- 3) 資料形態にはとらわれず、各資料の主題内容を重視した取扱いをし、すべての資料に共通の地域コード、分類コード、シソーラスに基づいたキーワードを付与する。
- 4) HITACのORIONを最大限に活用する。

5.1.2 主な特徴（表5.1参照）

- 1) 資料室で扱う資料の二次情報を、統一的に取り扱うJICAデータベースを構築する。
- 2) 従来目録に代わるものとして、JICAデータベースのオンライン情報検索を行う。
- 3) JICAデータベースの主なアクセスポイントとしては、著者（団体名）、標題、地域コード、JICA分類、キーワードを考える。
- 4) 資料の種類・内容によっては、JICAデータベースにその抄録も付加する。

5.1.3 オンラインシステムの必要性

1) オンライン処理の定義

情報提供の手段として、最近では電算機を利用したオンライン情報提供サービスが主流になりつつある。オンライン情報サービスは、システムに蓄積した情報を通信回線を通して即座に利用できるようにした情報検索サービスのことをいい、オンラインシステムとは、手元にある端末装置と遠隔地にある電算機を通信回線で結んだシステムをさしている。し

たがって、端末装置を通して必要な指令を電算機に送り込むことができ、反対に電算機から処理結果を端末装置に返送することによりシステムと対話することができる。

表 5. 1 二次情報サービスの特徴

| | 原システム | 新システム |
|----------|----------------------------------|----------------------------------|
| 文献検索 | 目録カード（国別、主題、書名） | オンラインによる多角的検索（キーワード、地域、著者、分類、書名） |
| 資料の収集 | 調査団持帰り資料の集まりが十分でない | 管理がよくなれば、集まりもよくなる |
| 資料の整理 | 整理法が様々であり、また、特殊言語、特殊な形態・内容のものが多い | 納本者に標題・キーワードなどを日本語で付与してもらう |
| 遠隔地からの利用 | 電話・文書による照会 | 冊子体目録を必要部門に配布どこからでもオンラインで検索可能 |
| レファレンス | 資料室職員の経験と勘による調査 | 対話式のオンライン検索と従来の調査を組み合わせる |
| 利用統計 | 労力が大きい | 貸出システムとの連動によりキメ細かい利用統計作成 |
| 新着案内 | 時間がかかる | 新着案内の発行 目次サービス |

2) バッチ処理の問題

バッチ処理の情報検索には問題となることが二つある。一つは一般に、ある質問に対し該当情報があるかどうか、検索結果を見なければ判らないことである。したがって、検索結果がゼロであるよりは、多少、検索式の条件をゆるめてでも、回答があった方がよいという利用者の要求には対応できない。

もう一つの問題としては次のようなことがある。情報検索システムで扱われる情報は、主題内容を示す複数のキーワードが付与され、それをキーにして検索が行われる。このキーワード付けは人によって必ずしも同じではなく、キーワードを付与した人とそれを利用して検索する人の間に差が生じたときは、たとえ、論理的には正しい検索であっても的確な回答は得られない。これを防止するには、利用者が回答をみてズレを察知し、検索式の修正・変更を行えるように、検索システムと何回かのやりとりをすることが必要となる。これはバッチ処理の場合では長時間を要する。

こうした問題を解決するためには、対話が可能なオンライン情報検索が不可欠である。

3) オンラインシステムの機能

オンラインシステムによる検索は、次の順序で行われる。

- ・ 検索開始
- ・ データベースの選択
- ・ 検索語の選択
- ・ 検索式の作成
- ・ 検索実行
- ・ 結果の出力

オンライン検索システム特有の機能としては次のようなものがある。

① 辞書引き機能

任意の単語を与えて次のような表示を得る。

- i) ABC 順辞書のうち、その語を中心とした10語前後を表示する。
- ii) 同意語を表示する。
- iii) 体系順辞書の該当部分を表示する。これをさらに具体的にいえば、次のようになる。
- iv) 単に表示するだけで、検索時にはこのキーワードをもう一度入力しなおすもの。
- v) 表示語に番号がついていて、その番号を使用して検索式を作成できるもの。
- vi) 体系順辞書の場合は上位概念語の番号を指定すれば、自動的に下位概念語がとりこまれるもの。

ORION の場合、上記の ii) と v) が該当する。

② キーワードの件数表示機能

キーワードを入力すると、その語の付与されている文献数が表示されるもので、検索者はこの件数を見ながら、検索式の作成および修正をおこなうことができる。

③ 出力機能

出力機能としては次のような種類がある。

- i) オンライン端末に接続したプリンタに出力する。
- ii) 計算センターのプリンタに出力する。
- iii) 出力項目を指定する。

- iv) 出力する件数を指定する。
- v) 出力の順序を指定する。

ORION では上記のすべてが可能である。

④ 案内機能

システムが利用者の要求に応じて、検索に必要な情報を表示するもので、次のような種類がある。

- i) 検索システム全体の使い方の説明
- ii) 個々のコマンドの説明
- iii) データベースの一般的情報 (収録件数、内容、更新日等)
- iv) 検索経過の表示

ORION では上記の全てが可能である。しかし、こうした案内機能だけでは実際の検索時に素人が簡単に利用することは難しい。そこで、メニュー画面等の利用により、コマンド体系を知らなくても検索ができるように、特別の検索ガイド用ソフトが必要になる。このシステムでは、その活用を提案している。

⑤ オンライン検索の今後

これまでの情報検索は、二次情報の検索を行い、結果を出すだけであった。しかし、今後は具体的な数値を検索できるようにし、その検索結果を使って統計をとったり、予測を^ふこ^ろこ^ろな^うなどの処理が次第に増えていく傾向にある。

JICAデータベースにおいても、今後、独自で入手した生のデータを入力し、ファクト検索ができるようなデータベース作成が必要になるであろう。

5. 1. 4 外部データベースの利用

現在、世界中には約 500を越す文献データベースが存在するといわれている。たとえばアメリカ DIALOG Information Service 社の開発した DIALOG オンライン情報検索システムは約 200種のデータベースを検索することができる。その対象とするデータベースの範囲は、人文科学、社会科学、自然科学、応用科学のあらゆる分野に及び、その情報は学術情報はもとより、経済、産業、特許情報、新聞、雑誌情報など、あらゆるタイプの情報が含まれている。(図 5.1 参照)

事業団に関連あると考えられるデータベースの 1 例としては、Predicasts 社の各国政府・国際機関等による経済予測、世界の統計等に関するデータベースがある。また、農業

DIALOGの 基本コマンドと検索例



DIALOGは下記の操作からコマンド(システムに検索処理をさせる命令)により、検索を行なうことができます。

| コマンド名 | (省略形) | (処理機能) |
|---------|-------|------------------|
| BEGIN | B | データベースを選択する |
| SELECT | S | 指定した検索条件の集まりをつくる |
| COMBINE | C | 指定条件を行なう |
| TYPE | T | 検索結果をタイプアウトする |
| LOGOFF | | 検索を終了させる |

以下は、検索条件のストリートに照する文法を併記した例です。ここで用いているFileはABI/INFORMにDIALOG INDEXにより、検索と併記したデータベースです。

- 1 **FILE IS** 検索条件。 DIALOGシステムからの検索
 1 FILE IS 検索条件。 DIALOGシステムからの検索
- 2 H. STRESS IS TENSION 検索条件。 TENSION もつ文
 H. STRESS IS TENSION 検索条件。 TENSION もつ文
 件は430件で、そのうち100件が検索結果である。
- 3 H. EXECUTIVES AND MANAGERS AND ADMINISTRATION 検索条件。 MANAGER
 H. EXECUTIVES AND MANAGERS AND ADMINISTRATION 検索条件。 MANAGER
 検索結果は2233件
- 4 検索条件を1982年に限定された検索条件。 検索結果は1314件
 検索条件を1982年に限定された検索条件。 検索結果は1314件
- 5 上記検索条件の各データベースの検索結果を1つ
 上記検索条件の各データベースの検索結果を1つ
 つつ検索結果を出力する。 51件
- 6 1件の検索結果の文法については、その1件の検索結
 1件の検索結果の文法については、その1件の検索結
 果を出力する。(FILE IS 検索条件)
- 7 検索結果の文法については、その1件の検索結果
 検索結果の文法については、その1件の検索結果
 を出力する。(FILE IS 検索条件)
- 8 検索条件を1つ、検索結果を出力する。 (出力結果のみ)
 検索条件を1つ、検索結果を出力する。 (出力結果のみ)

もし多くの検索結果を同時に入手したい場合は、オフ
 ラインプリントによりバッチ処理した出力結果がダイア
 ログからユーザに直接送付されます。
 DIALOGシステムの文法データベースには、索引が
 ついており、これを利用すれば文法を詳細に入手しな
 ければならず、検索結果を出力する。

図 5. 1 DIALOG 検索の実例

7 BEGIN 15 DocId: 3134-20 User:3385
 40.00 0.012 Web Fields: 1 Descriptor

FILE: ABI/INFORM - 71-82/AUG
 (Comp. Descr. for the
 Set Name Description)

7 SELECT STRESS OF TENSION
 1964 STRESS
 OF TENSION
 1 2065 STRESS OF TENSION
 7718 EXECUTIVES
 AND MANAGERS
 1194 ADMINISTRATORS
 2 2189 EXECUTIVES OR MANAGERS OR ADMINISTRATORS
 7 SELECT PYS1982
 3 1314 PYS1982
 7 COMBINE 1 AND 2 AND 3
 4 31 1 AND 2 AND 3
 7 TYPE 4/7/1

4/7/1 8201946 ID No: 8201944
 Planning the Planning Process: A Field Study of the Human Side of
 Planning
 Lyles, Marjorie A.; Lenz, S. T.
 Strategic Mgmt Jnl Aug 105-118 Apr/Jun 1982 Cohen: SNAJTB ISM
 0142-2093 Jnl Coor: 300
 217/1/PAPER
 Doc Type: JOURNAL

A study was conducted to determine the incidence and impact of behavioral
 problems on the effectiveness of an implemented planning process. Nine
 managerial personnel were interviewed. Subjects were divided into
 strategic and operational groups on the basis of their managerial status.
 Problems cited included: inadequate resources, inadequate information,
 intransigent attitudes, inadequate communication, inadequate understanding
 of objectives, projection of blame, and uncertainty about the management
 process. In which managers encountered behavioral problems. Putting these
 problems into perspective, a planning model is presented. The model
 stresses the importance of the planning process on an existing organization.
 The cumulative strain on those engaged in the planning process, and the
 administrative stress of the planning process. Chart, Tables,
 References.

7 TYPE 4/2/2-51

4/2/2 8201795 ID No: 8201793
 The kind of stress symptoms and the manager/second definitions
 of stress in the planning process.
 Management Mgmt Jnl 4/204 28-29,33 Jun 1982 1534 0050-3823 Jnl Coor:
 666
 Availability: ABI/INFORM

4/2/2 8201907 ID No: 8201907
 Management Theory: Approaches to the Academy
 McGuire, Joseph W.
 Business Horizons Aug 23-34 Jul/Aug 1982 Cohen: M-ORAD ISM
 0007-1724 Jnl Coor:
 Availability: ABI/INFORM

4/2/3/31 82001871 ID No: 82001871
 Stress Management: Sampling with from Beesley
 Peck, Michael
 Jnl Coor: 277nl 31-47 Jan 1982 Cohen: PEADAY ISM
 0031-5709 Jnl Coor:
 Availability: ABI/INFORM

7 LOGOFF

8 DocId: 6108-12 User:3385
 45.20 0.012 Web Fields: 6 Descriptors
 827.04 Estimated Total Cost

JOIS検索実例

JICST漢字ファイル検索例

```

HHH.
      JICST ON-LINE SERVICE
U: K+
S: K
U: YJOIS 13J-0370,YAMADA.
S: パスワード は ?
U: #####
S: サービスを開始します 1983.04.22
U: YFILE K10/ALL.
S: JICSTK ( 1981.04 - 1983.05 ) 954,205. ( 20:00まで )
      又開始します 15:34:40 電話番号 760.
      JICST COPYRIGHT
[ 1 ] U: シフトキー
      S: 13108 件
[ 2 ] U: シフトキー
      S: 1121 件
[ 3 ] U: 1+2
      S: 164 件
[ 4 ] U: LH=JA
      S: 50 件
[ 5 ] U: TP A.1
#0001 (3060254)
高速道路での大型トラック運転時の視線方向
坂坂行雄, 谷口実 (日本自動車研究第4部)
S7348 (0387-3803) 自動車研究 VOL.4, NO.7 PAGE.268-271 '82
(J) (A1) (J) (JPN) (写真 6表 1巻 6)
高速運転中の大型トラックドライバの視線方向を分析したところ, 1) 視線分布(移動量)は乗用車に比べて大くなる, 2) 昼間運転時には視線方向の中心はほぼ水平付近となり, 乗用車との差は認められない, 3) 夜間運転時には視線方向の中心は大型トラック, 乗用車とも水平より下向きになるが, 大型トラックの場合, 乗用車に比べて下向きが大いなどの結果を得た
1801040V (656,1.051)
高速道路; 大型車; トラック; 運転者; 視覚; 自動車事故; 夜間運転
[視覚]

      S: 出力終了しました JICST COPYRIGHT
[ 5 ] U: TENO
*** シフトキー 料金 時間 1OFF E 1OFF A 1OFF F 退出
*** JICSTK 1420 2 0( 0) 0( 0) 0
*** 累計 1420 2

      S: 会話を終了します 1983.04.22 15:36:31
  
```

図 5. 2 JOIS 検索の実例

関係のデータベースとしては「AGRICOLA」、「CAB ABSTRACTS」などがある。

さらに、日本国内のデータベースとしては、日本経済新聞社の「NEEDS」*、日本科学技術情報センターの「JOIS」（図 5.2 参照）等があり、こうした外部データベースの情報を利用することで、事業団の資料室にない種類の情報も利用することができる。これは例えば、開発途上国に関する開発・援助計画を作成する場合、あるいは各種調査の報告書を作成する場合などに有効に活用されるであろう。

* Nikkei Economic Databank Service

5. 2 二次情報提供システム設計案

5. 2. 1 概要

事業団の資料室で所蔵する持帰り資料・作成報告書等の書誌的情報と主題内容情報をもとに、電算機可読な JICA 情報マスターファイルを作成する。

この JICA 情報マスターファイルを利用して、JICA データベースを構築する。この JICA データベースは当面、事業団が所有する資料に関する情報を収録するが、将来は関係諸国についての各種統計を中心とする、事業団独自のファクトデータベースを構築・提供することも考慮する。

この JICA データベースをもとに、オンライン検索サービス、新着資料情報、SDI サービス、各種累積目録を作成する。このための情報検索システムとしては、日立の「ORION」を利用する。

また、主要な雑誌あるいは報告書等については、目次サービスを行う。さらに、JICA データベースを補完するために、外部データベースのオンライン検索を行う。外部のデータベースは自前のデータベースを作成するのとは比べると、費用も手間もほとんどかけずに利用できるのも、たいへん効率がよい。

システムイメージは図 5.3 のとおりである。

5. 2. 2 情報のフロー

このシステムでは、図 5.4 のように情報は流れるが、そのポイントとなる点をいくつか記す。

1) 資料持帰り者自身によるキーワードの付与

事業団が開発途上地域に派遣する調査団ならびに調査を目的として派遣する専門家や

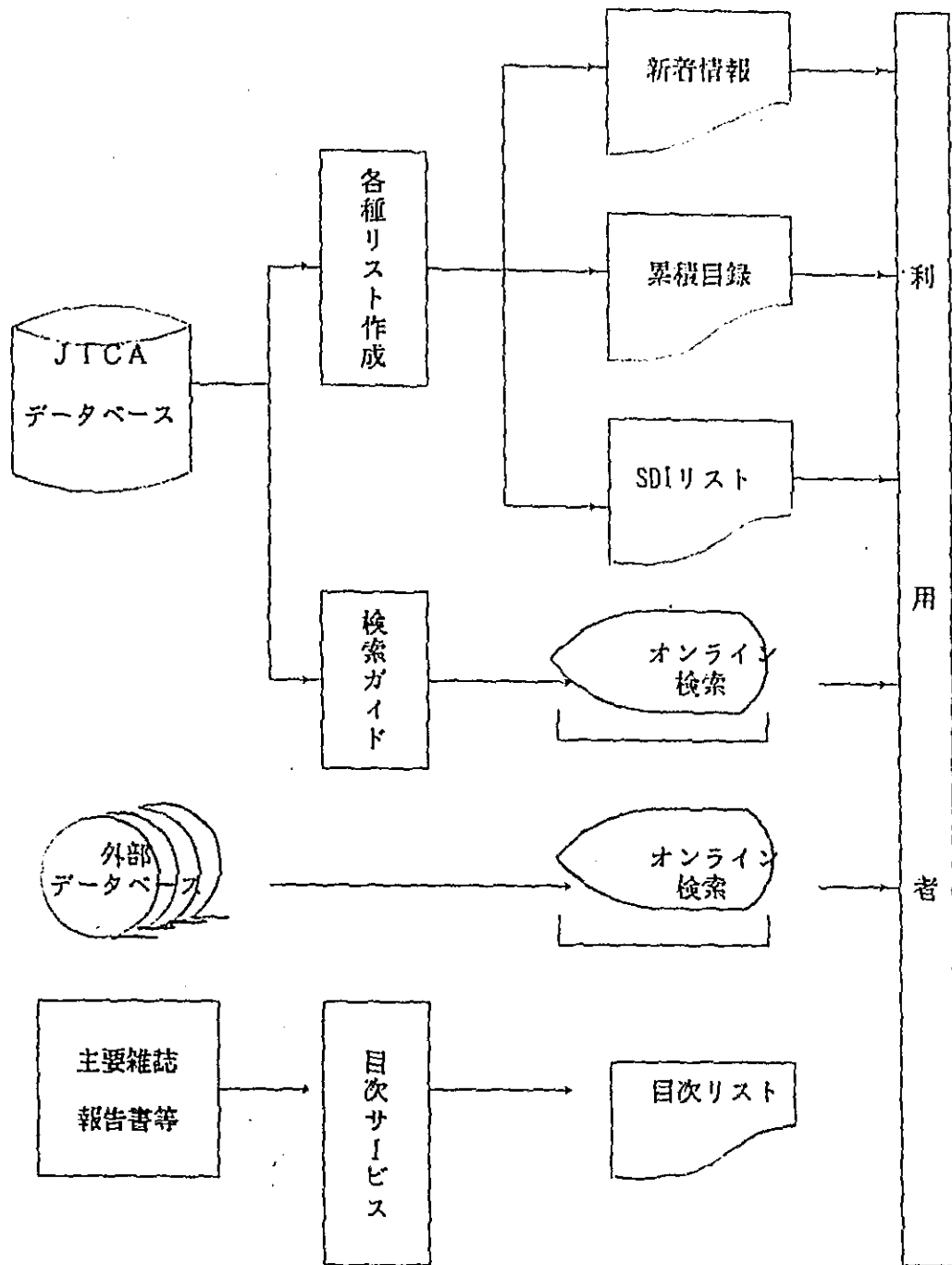


図 5. 3 二次情報提供システム概念図

役職員が現地において収集した各種資料は、すべて中央の情報部門に納入し、その見返りに十分な情報提供サービスを行う。このために、資料一点ごとに、日本語による標題、作成者、および内容を表現するにふさわしい「キーワード」を記入した資料納入票を添付してもらおう。これは現在使用している資料リストに上記の項目を記入する欄を追加するだけですむし、後述3)のために必要である。

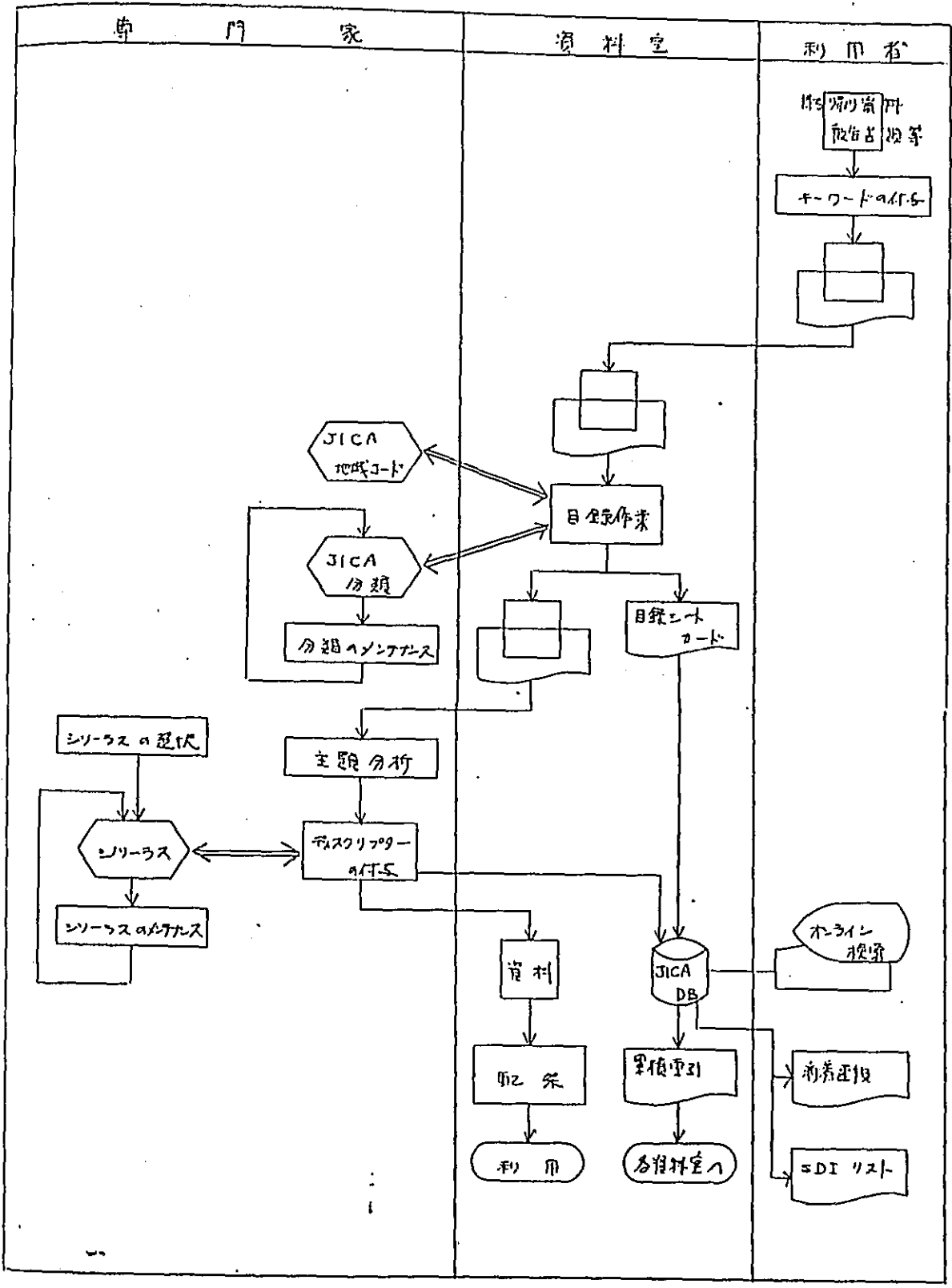


図 5.4 情報のフロー

2) 事業団地域コードと分類コードの付与

図書、地図、写真、フィルム、録音テープ、パンフレット、報告書等どんな形態の資料でも、同じレベルの資料として扱うために、すべての資料に共通の事業団分類コードを目録作業の段階で付与する。

事業団分類は独自の分類表であることから、定期的にメンテナンスをする必要がある。このために専門家による事業団分類表作業グループを設けるか、分類専門家に依頼するのがよいであろう。

3) キーワードの付与

情報検索を効率的におこなうためには、資料の主題内容を示すキーワードを付与する際にも、シソーラス（典拠ファイル）に基づくことが望ましい。事業団が扱う資料の対象分野は極めて広い領域にわたっているので、シソーラスとしてはOECDのマイクロシソーラスを利用することも考えられる。情報提供サービスに積極的に取り組むのであれば、独自のJICAシソーラスを作ることも考えられる。上記シソーラスやJICSTシソーラス等を参考に外部の専門家集団に保守までも含めて作成を依頼することができる。そのときには、主題分野ごとのタームチャートを作っておくと、後述のキーワード付与が非常に楽になる。JICSTシソーラスのタームチャートを図5.5に示す。

資料持帰り者が付与したキーワードをもとに、このシソーラスと照し合わせて、正規のキーワードに置き換える。持帰り者が付与した自然語のキーワードは正規のキーワードのような統一性はないが表現力に富み、新語が発見できる等の利点があるので、不可欠である。

4) マスターファイルのレコード形式

JICAデータベースのもとになるマスターファイルのレコード形式は特定される要素はあまりない。しかし今後の書誌情報の流通を考慮すると、国立国会図書館のJAPAN MARC、科学技術情報流通技術基準SIST 04-1983などが考えられる。この二つには大きな差はないので、どちらでも問題はない。こうしたレコード形式は、関係機関との情報交換を容易にするためのものであり、利用機関が多いため電算機ソフトもこれをバックアップしており、また、電算機の機種変更等にも対応できることを考えれば、当初から採用すべきである。

5) ORION の利用

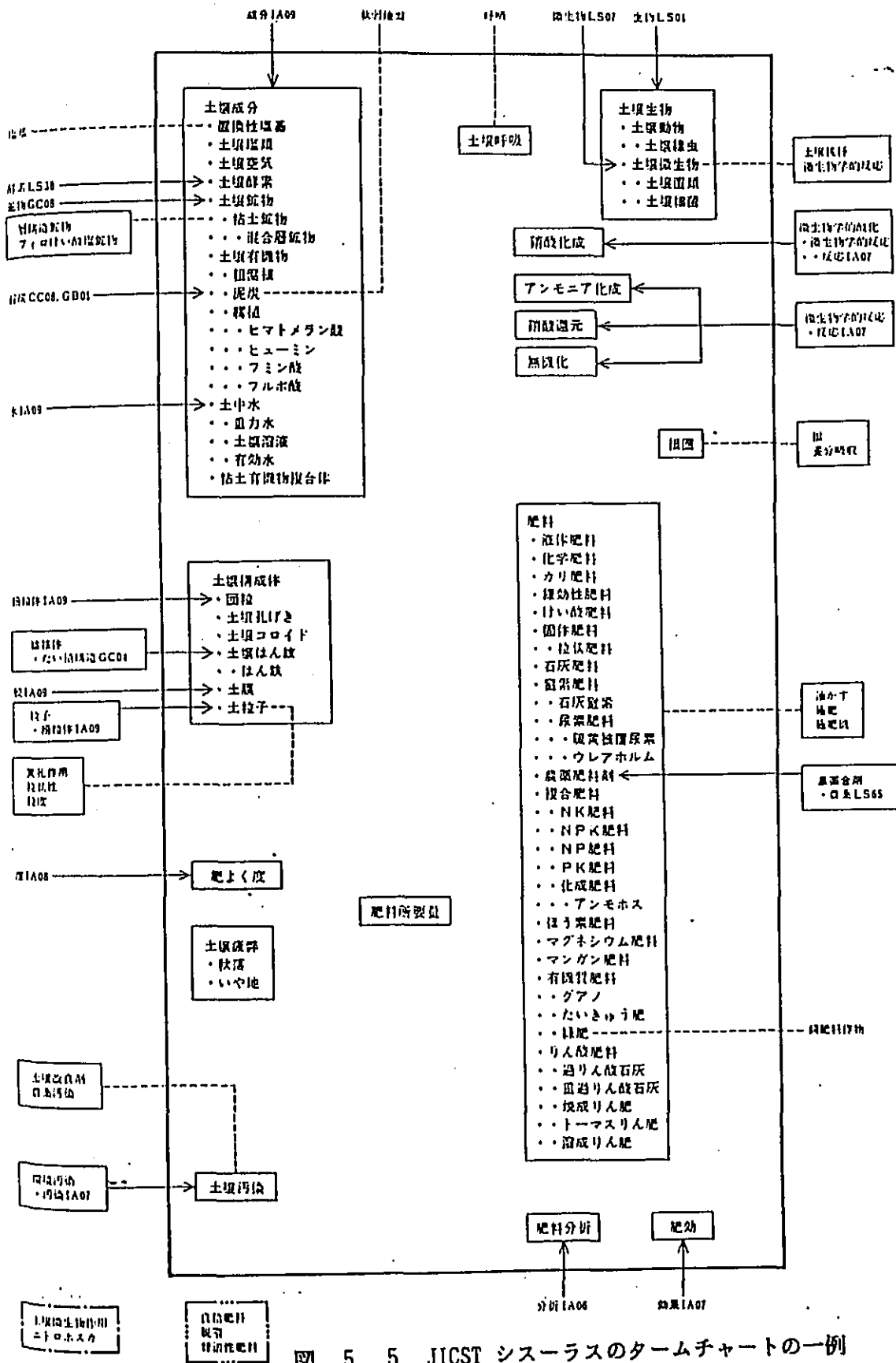


図 5.5 JICST シスーラスのタームチャートの一例

JICAデータベースを作成するには、既製のオンライン情報検索用ソフトを利用するのがよい。日立の電算機では「ORION」が利用できる。これは富士通のFAIRS、IBMのSTAIRSとほとんど変わらない性能を有しているので、JICAデータベースの構築にはこの利用が前提になっている。

6) 抄録

将来は、JICAの所有資料のなかで、特徴あるものを中心に抄録を付加することが望ましい。しかし、最初の段階でそこまで踏み込むには変更が大き過ぎるので、経過措置として、抄録の代わりに、たとえば、持帰り者が付与した日本語のキーワードをそのまま抄録の部分に入力することもできる。

7) JICAデータベースの種類

従来は、二次情報システムを作成する際、図書館のデータベース、地図のデータベース、報告書類のデータベースというように、いくつかのデータベースに分割して作成・検索することが多かった。しかし、利用する側にとっては、求める情報がどんな形であるかを問題にしないことも多い。データベースがいくつかに分割していると、検索は複雑化する。こうしたことは望ましくないので、JICAデータベースでは対象とする資料がなにであれ、一つのデータベースの中に取り込む。

データベースを分割するのは主に情報を整理する側の事情であるので、データベース作成時に多少手間がかかることを考慮にいれても、やはりデータベースは統一する方が利用しやすい。

5. 2. 3 出力イメージ

1) 検索ガイド

ORIONを利用して実際に情報検索を行うと図5.6~8のようになる。この場合、最低限ORION特有のコマンド体系を理解しておく必要がある。しかし、そのままでは、電算機にあまり馴染のない利用者にとっては利用し難い。たとえば検索語を選択する際、キーワードリストのようなものが適宜、表示されて、そのなかから求めるものを探しだせるようにして、システム側が援助するようにすれば利用者に負担がかからない。

そこで、検索時にORIONのコマンド文法についてなにも知識をもっていなくとも、情報検索が行えるようなメニュー対話方式の検索ガイドを用意し、ORIONに接続する。今日のOA隆盛は、このメニュー方式の普及によることが大きい。

以下にその概略を記す。

① キーワードの入力・選択・決定

最初に、思いつくままの検索語を入力すると、システム側でそれに類似したキーワード

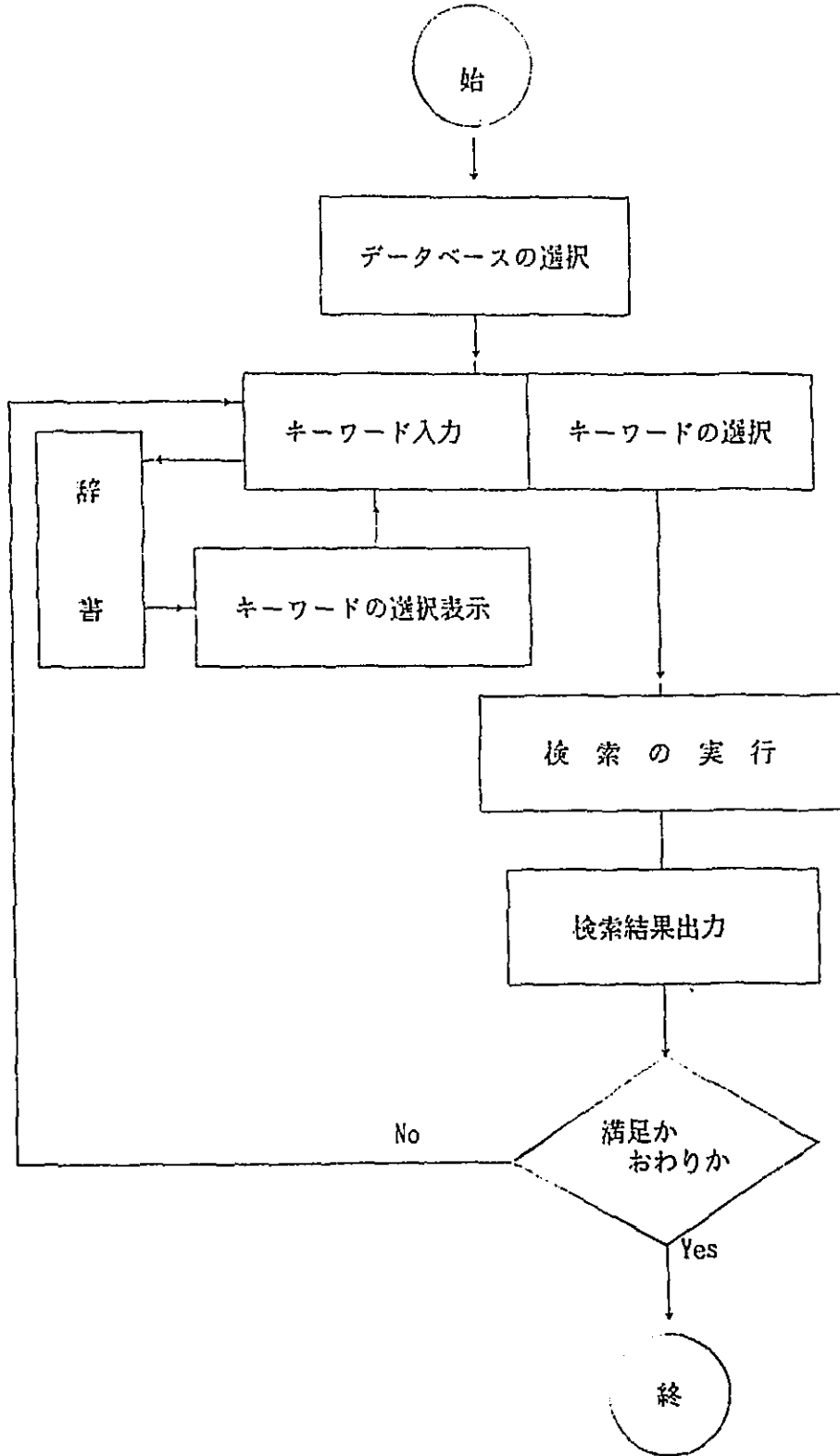


図 5.6 検索の流れ

***** ORION ONLINE SERVICE *****

データベース: ENGY

世界エネルギー情報検索システム

2795 RECORDS

コマンドを入力して下さい。

```

1/ FIND KH:122
* 619 1/ KH:122
2/ FIND KH:111
FIND KH:111
* 327 2/ KH:111
3/ FIND 1 AND 2
* 37 3/ 1 AND 2
4/ FIND 3 AND DATE 790101/790131
* 848 4/ DATE 790101/790131
* 10 5/ 3 AND DATE 790101/790131
6/ LIST FIELDS
    
```

フィールド名 番号 形式 ラベル

| フィールド名 | 番号 | 形式 | ラベル |
|--------|-----|-------|-----------|
| ACCHO | 10 | I KEY | アクセス番号 |
| DATE | 20 | I | 日付 |
| DATAID | 25 | HAP | |
| SERNO | 30 | I | 一連番号 |
| MFLAG | 40 | S | 媒体フラグ |
| PAGE | 50 | I | ページ |
| ABST | 60 | S | 抄録フラグ |
| MICRO | 70 | I | マイクロ アドレス |
| KYHD | 80 | K | 日付(漢) |
| KMEDIA | 90 | K | 媒体フラグ(漢) |
| KPAGE | 100 | K | ページ(漢) |
| SYHOPS | 110 | K | 記事要旨(漢) |
| NROKH | 120 | I | キーワード数 |
| CAT | 130 | S | カテゴリー |
| KKH | 140 | K | キーワード(漢) |
| KW | 150 | S | キーワード |

6/ DISPLAY ALL

項目 1

| | | |
|----|-----------|-----------|
| 0 | アクセス番号 | 901014033 |
| 20 | 日付 | 790101 |
| 30 | 一連番号 | 4033 |
| 40 | 媒体フラグ | F |
| 50 | ページ | 009 |
| 60 | 抄録フラグ | N |
| 70 | マイクロ アドレス | 00F000000 |

図 5. 7 ORION(原形) による検索 (1)

- I J P C は 事 業 執 行 (M E S)

| | |
|---------------|--|
| 120. キーワード数 | 10 |
| 130. カテゴリー | B2 A2 B1 B2 D1 D1 E1 E1 E1 F2 |
| 140. キーワード(漢) | イラン・ジャパン・ペトロケミカル ベル・ヘリ コプター・テキストロン 日本輸出入銀行 イラ ン政府 ヘリコプター 石油 提議解消 F 対外 提議 F 産業政策 F イラン |
| 150. キーワード | イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 |

項目 2

| | |
|---------------|---|
| 0. アクセション番号 | 901034021 |
| 20. 日付 | 790103 |
| 30. 一連番号 | 4021 |
| 40. 媒体フラグ | F |
| 50. ページ | 007 |
| 60. 抄録フラグ | Y |
| 70. マイクロ アドレス | 00E000000 |
| 80. 日付(漢) | 7 9 0 1 0 3 |
| 90. 媒体フラグ(漢) | F |
| 100. ページ(漢) | 0 0 7 |
| 110. 記事要旨(漢) | イラン石油輸出中断で、世界石油市場はアラブ輸 出禁止時より情勢重大(IHT177) |
| 120. キーワード数 | 09 |
| 130. カテゴリー | B2 D3 D1 E1 E1 E1 E1 F2 |
| 140. キーワード(漢) | イラン政府 石油業界 F 石油 石油消費国 産 油国 エネルギー問題 F 輸出規制 F 値上げ F イラン |
| 150. キーワード | イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 |

項目 3

| | |
|---------------|--|
| 0. アクセション番号 | 901044018 |
| 20. 日付 | 790104 |
| 30. 一連番号 | 4018 |
| 40. 媒体フラグ | F |
| 50. ページ | 003 |
| 60. 抄録フラグ | H |
| 70. マイクロ アドレス | 00F000000 |
| 80. 日付(漢) | 7 9 0 1 0 4 |
| 90. 媒体フラグ(漢) | F |
| 100. ページ(漢) | 0 0 3 |
| 110. 記事要旨(漢) | ブラウン米国防長官、イランなど第三世界をめく る米ソ関係緊張を指摘(IHT190) |
| 120. キーワード数 | 08 |
| 130. カテゴリー | B2 D1 E1 E1 E1 E1 F2 F2 |
| 140. キーワード(漢) | 米国防長官 石油 産油国 米ソ関係 外交 F 国際紛争 イラン 米ソ |
| 150. キーワード | イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 イランの石油輸出の中止 |

項目 4

図 5. 8 ORION(原形) による検索 (2)

群を表示するので、適切な検索語をその中から選択する。

② 検索の実行と結果の出力

選択したキーワードで試行錯誤的に検索を進めて行き、検索結果を出力する。

③ 検索結果の評価

検索結果が満足できるものであれば、それでよい。満足しない場合は、検索の最初の段階である検索語の入力へ再び戻り、類似のキーワードにあたってみることになる。

この検索ガイドは事業団の他の情報システムにも適用できうるものであり、JICAシステム全体として統一したメニューの流れを確立すれば、効果は大きい。

2) 累積目録索引

事業団で所有する資料はオンライン検索ができるが、その補助となるものとして冊子体の累積目録索引を作成し、各地の主要組織に配布する。こうした累積目録索引は出力量が大量となるので、年1回程度作成すれば十分である。

内容としては次の4種とする。

① 標題目録

② 地域コード索引

③ 分類索引

④ 著者索引

3) 新着資料情報

JICA入手資料の新着情報として、入手資料の標題のKWICリスト(図5.9)を週1回発行し、各部局に配布する。これは、中央のキーワードを下に追って、自分の求めるキーワードを持つ資料を探す便利な索引である。

4) SDIサービス

毎週発行の新着資料情報は全分野にわたるものであるが、特定の分野の資料を必要とする組織または職員個々に対し、SDIサービス(選択情報の提供)を行う。これは予め、自分が興味を持つ主題を登録しておく、新着情報のなかから、この主題に合致したものが通知されてくるというサービスである。

5) 目次シートサービス

主要な雑誌・報告書等については、その目次部分をコピーし、関係部局に配布する。

| | | | |
|-----|--------|--------------------------------|---------------------------------------|
| 001 | T00025 | ED BY ANY MANUFACTURER, (6) BE | ABLE TO PROVIDE THE STUDENT WITH DIAG |
| 002 | T00052 | CEPTS SOME DATA STRUCTURE WILL | ACCEPT ANY LOGICALLY EQUIVALENT STRUC |
| 003 | T00051 | N ALGORITHM IS DESCRIBED WHICH | ACCEPTS AN ARBITRARY CONTEXT-FREE GRA |
| 004 | T00052 | INSURE THAT ANY PROCESS WHICH | ACCEPTS SOME DATA STRUCTURE WILL ACCE |
| 005 | T00025 | H, (7) ALLOW THE STUDENT READY | ACCESS TO THE MACHINE, (8) BE CAPABLE |
| 006 | T00060 | RATIC SEARCHES PLUS A SEPARATE | ACCESS FOR THE ORIGINAL ENTRY POINT |
| 007 | T00099 | EDUNDANCY AND STORING KEYS (OR | ACCESS NUMBERS OF THE RECORDS) THAT S |
| 008 | T00099 | A SUBSET OF FIELDS BY A SINGLE | ACCESS TO AN INDEX FILE, ALTHOUGH EAC |
| 009 | T00060 | NTEGER, THE WHOLE TABLE MAY BE | ACCESSED BY TWO QUADRATIC SEARCHES PL |
| 010 | T00060 | E SIMPLE QUADRATIC SEARCH ONLY | ACCESSES HALF THE TABLE |
| 011 | T00060 | THE QUADRATIC SEARCH, AND YET | ACCESSES ALL THE TABLE IN ONE SWEEP |
| 012 | T00099 | 1) THE ELIMINATION OF MULTIPLE | ACCESSES IN MANY CASES, (2) THE ELIMI |
| 013 | T00099 | RADE-OFF BETWEEN THE NUMBER OF | ACCESSES FOR QUERY AND REDUNDANCY EXI |
| 014 | T00052 | ARY ALGORITHM FOR COMPUTING OR | ACCESSING ITS COMPONENTS |
| 015 | T00006 | AN ALGORITHM WHICH TAKES INTO | ACCOUNT THE WEAK BANDS BETWEEN VARIAB |
| 016 | T00097 | DISCUSS SOME OF THE ADVANTAGES | ACCRUED BY SUCH SYSTEMS AND DESIGN CO |
| 017 | T00077 | USING EXTENDED INNER PRODUCT | ACCUMULATION, THE BOUND IS HALF THAT |
| 018 | T00050 | T OF COMPUTER TIME REQUIRED TO | ACHIEVE GIVEN LEVELS OF STATIST |
| 019 | T00097 | AN SIMPLY USE THE NEW POWER TO | ACHIEVE FAST TURNAROUND |
| 020 | T00059 | TE THE DEGREE OF NORMALIZATION | ACHIEVED WITH RERS |
| 021 | T00071 | RE COMPARED WITH COMPUTER RUNS | ACHIEVED BY TH |
| 022 | T00071 | THIS ALGORITHM | ACHIEVER |
| 023 | T00073 | NTIRE PLOTS OR SUBPLOTS BY THE | ACTI |
| 024 | T00086 | STRUCTURE-BUILDIN | |

PRESENTED FOR DESCRI

ほぼ中央にキーワードが並ぶ

項目の値の一部(1行分だけ)

レコードキー番号

図 5.9 KWICリスト

5.3 まとめ

このシステムには、資料の形態にかかわらず、その内容に重点をおいて資料が利用できるなければならないという基本的な考え方がある。

たとえば、「熱帯地方の農業生産と人工かんがい計画」という主題を考えた場合に、このシステムでは次のとおりの対応が可能となる。

① 上記主題について触れている調査報告書、図書、統計等の関係資料が、形態にかかわらず検索される。

② 関連主題に関する資料も検索しようとするれば可能である。たとえば、a) 温帯ではどうなのか、b) 林業はどうなのか、c) 人工かんがいと河川湖水利用との比較はどうなのか、d) 南米とアフリカの人工かんがい計画の写真と地図があるか、など発展にはいとまがない。これは、これまでの索引カード箱の前を行ったり来たりする調査の実態と内容は同一であろう。しかし、このシステムでは、資料室でなくとも、端末のある事業所であれば、利用者の連想のおもむくままに検索が可能である。利用者自身も気づかなかった発見が、ここでは可能になるのであり、それが大量な記憶を持つ電算機システムとの会話の妙味である。

事業団のように、一般に市販されていない資料が多い場合には、常識的にはないであろうと思われる資料は埋もれてしまうことが多い、と推察される。このシステムには、そのような問題点を解消する大きな可能性があり、それは大型電算機の記憶照合能力を借りることによってのみ達成される。

6 画像情報システム

6.1 設計案の考え方

事業団の資料室において、その最も特徴的なコレクションは1万枚に及ぶ地図であり、おそらく日本国内のどこにもない貴重な資料群である。この地図の利用をこれまで以上に容易にすることは、事業団内外の利用者にとって非常に有意義なことである。地図の資料としての特徴は、その視覚性にあり、1枚の地図によって得られる情報量はいかに細かい文字で書かれた図書の1ページよりも、はるかに多いことがある。地図のもうひとつの特徴は、それが1枚にまとまっている点にあり、複数枚の地図帳であっても、1枚ごとに独立した地図の集合である。

さて、最近の科学技術の進歩は目覚ましいものがあり、実用化が進んでいる光ディスクには、1枚でA4版 数万枚の記録が可能である。この光ディスクは従来の磁気ディスクと異なり、文書に表現された情報を文字として記録するのではなく、その文書をそのままのイメージで記録するものである。そしてその記録密度が上記のように非常に大きいことが特色になっている。(付5参照)

このような光ディスクに地図コレクションを記録しておき、種々の検索要求に応じて、地図を画面上に呼び出し、必要とあればコピーする、というシステムを以下に提案する。また、統計も地図と似た性格をもっており、このシステムに格納することができる。

このシステムは、それ自体でも十分な機能を持つが、前記、二次情報提供システムと連係させるとその機能は飛躍的に拡大する。

6.2 設計案

6.2.1 概要

事業団の資料室で所蔵する持帰り資料のなかから地図および統計表について、その一次情報(地図、統計そのもの)の提供を光ディスクファイルを利用して行う。光ディスクで扱う資料としては、地図・統計などのように1枚でも意味を持つ資料で、そのままでは整理保管作業が不便なものが適している。

地図に関しては、地域コード、地図の種類など、情報のコード化は比較的容易である。統計に関しても(特に事業団で作成する統計については「統計集計要領」が制定されてい

る事情を考慮して)、形態、事業名、分類等の情報のコード化は可能である。また、光ディスクファイリングシステムを大型電算機と接続してもよいし、スタンドアローン型システムとして利用することもできる。

このシステムをネットワーク化できるようになれば、遠距離からもファクシミリを通じて利用することができ、資料の有効利用が図れる。しかも、電算機に接続した場合にはその利用件数なども的確に把握でき、将来の資料の保存期間を設定する場合の貴重なデータが得られる。

システムの概念図を、図 6.1 に示す。

6. 2. 2 情報のフロー

光ディスクファイリングシステムを利用した情報のフローは図 6.2 のようになる。そのなかでポイントとなる点をいくつか記す。

1) 地図の収集

地図には様々な種類がある。印刷されたもの、手書きのもの、多色刷のものなど変化に富んでいる。現在、市販されている光ディスクではカラーは扱えないが、物理的には可能であるので、近く実現するであろう。当面は白黒で差し支えないものから着手することになる。

2) 統計の収集

統計には事業団で収集したものと、事業団自身で作成したものとの2種類あるが、そのどちらも扱う。イメージとして扱うため計算は不可能で、たとえば、新年度の分は前年度の後に1年分追加するのでなく、新規として入力することになる。

3) スキャナ入力

現在、光ディスクファイリングシステムの性能は各メーカーによって、かなり違っており、そのなかで特に問題となるのが、扱える資料の大きさと解像度である。

地図を入力する場合には最低A3版が扱える機種が望ましい。地図にはA0版からA3版程度まで大きいものが多く、例えば、A1版の地図の場合は枝番を付与してA3版4枚に分割する必要がある。また、解像度も、地図には細かく入りこんだ部分があるので、16 dots/mm 程度は必要である。

4) 地図の索引図ファイル

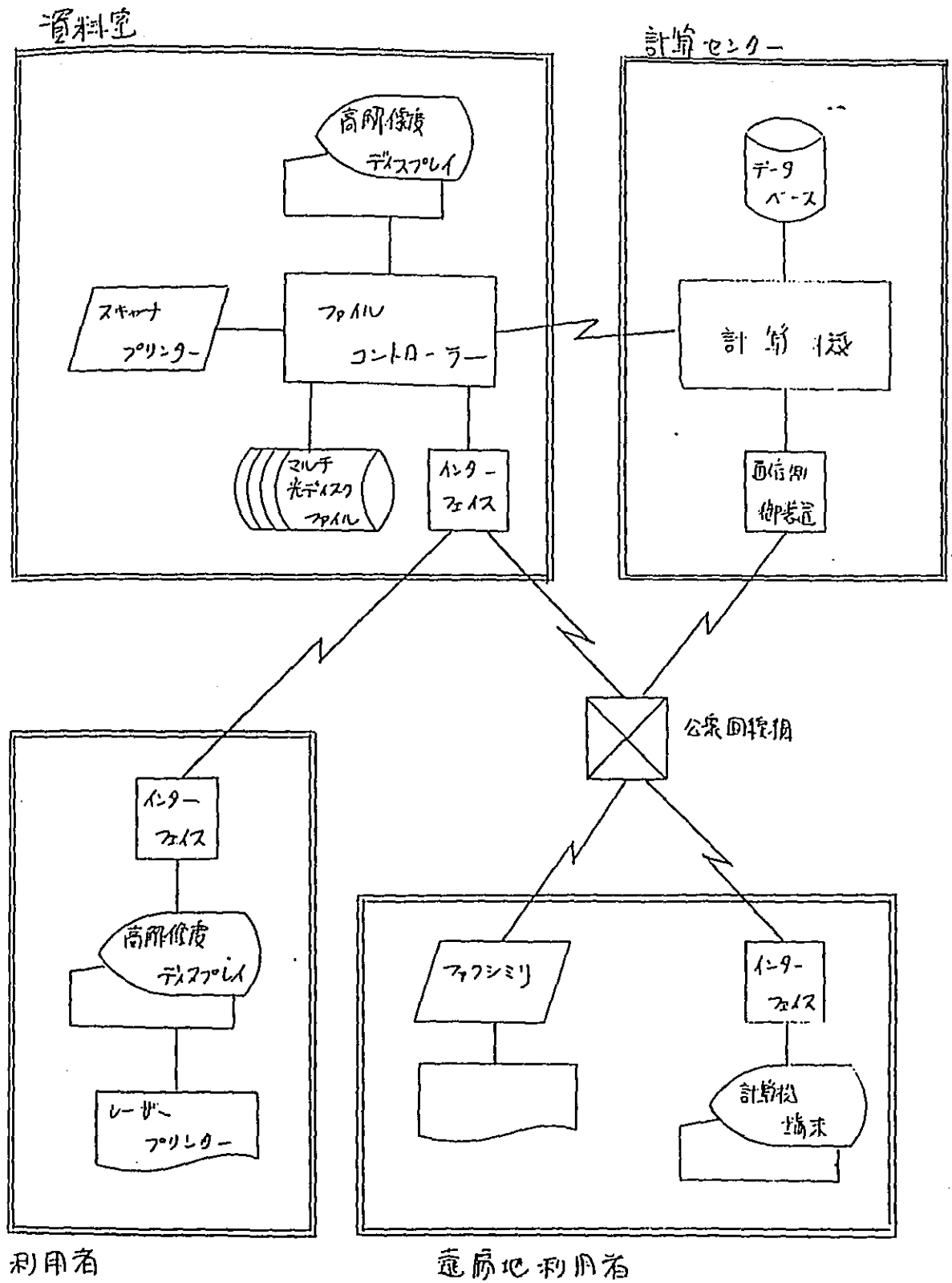


図 6. 1 画像情報提供システム

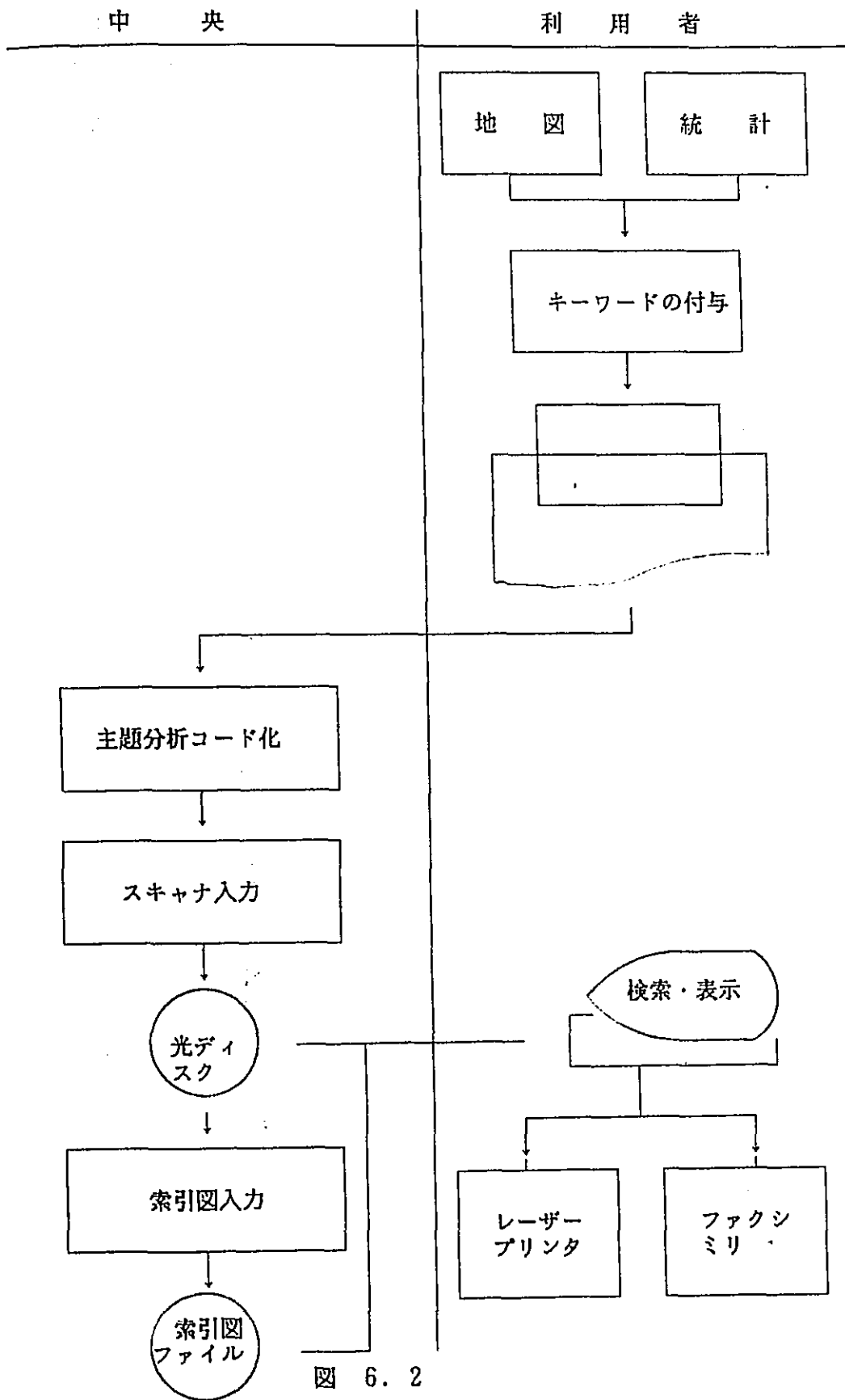


図 6. 2

現在、事業団が所有する地図の目録として「国別収集地図目録」があるが、この索引図は非常に有効なものなので、これを光ディスクに収録し、検索手段の一つとする。

5) 地図コードの構造化

地図には、狭い地理区分（町、町の一区画）を対象とするものもあれば、広い地理区分（南米のコーヒー産地図、シルクロード地図）を対象とするものもある。このような地図類を適切に提供するには、あらゆる地理区分レベルでの検索が必要である。このためには地域コードに構造化をもたせて、あるレベルで検索すると、それより下位のレベルの地図をすべて検索できたり、またその逆ができたりすることも必要となる。地域コードにこのような構造化をもたせるとともに、各コードに対応する地理区分名をキーワードとして JICA シソーラス中に組み入れ、コードでも地理区分名でも JICA データベースに接近できるような工夫をすべきである。これは統計にもいえることであり、統計種別、対象地域、対象期間等について、シソーラスとの結合を十分に配慮すべきである。

6. 2. 3 光ディスクの種類

1) 通常の技術

① 検索条件の入力

検索条件として、完全一致、前方一致、後方一致、部分一致、否定、以上、以下、範囲指定を設定することができ、さらに論理条件（AND, OR）を組み合わせることで、キメの細かい検索が可能である。

② 検索結果の一覧表示

検索条件に合致したデータの一覧を作成できる。さらに検索結果を配列することができる。したがって、たとえば、「モルディブの地図一覧」を地図名称の ABC 順に作成することができる。また、入力年月日で検索すれば、新着地図一覧が作成できる。

③ 必要画像の出力

高解像度のディスプレイ装置を利用することにより、鮮明な画像を表示でき、画面の拡大、回転、スクロールなどが簡単な操作で行える。ハードコピーはレーザー光による電子写真方式を使用しているため、オリジナルと変わらない品質が保て、地図でも十分に使用に耐える。

④ 電算機との結合

データベースが構築されている電算機システムと光ディスクファイル装置を結合するこ

パプアニューギニア

3°S

6°S

9°S

12°S

Papua New Guinea
S 1:100,000
(Series T601)
57 sheets
1084 G-1

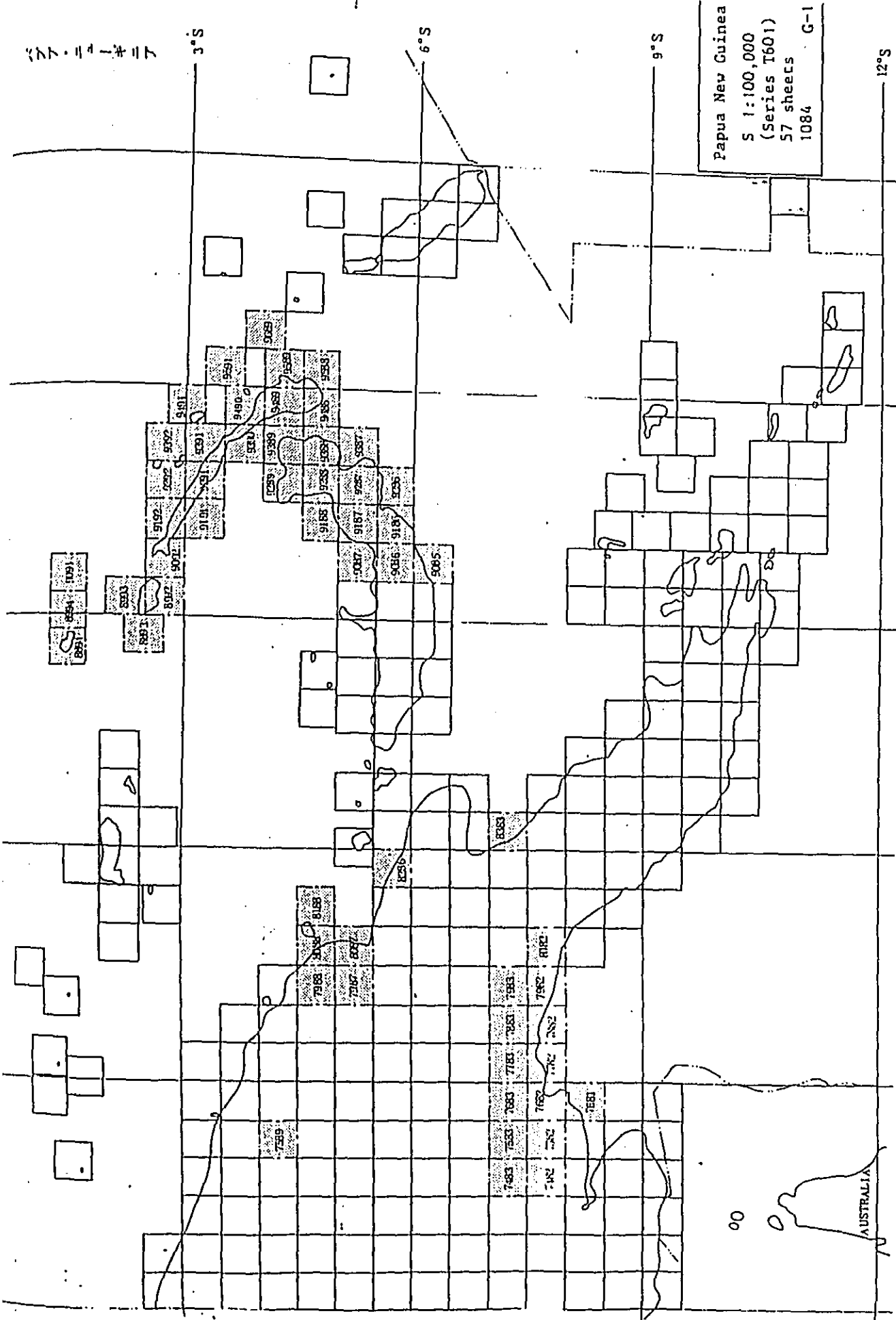


图 6.3 地图索引图

とにより、電算機のオンライン端末からデータベースを検索し、必要とする情報(二次情報)を探し出し、それが地図や統計であれば、一次情報の出力指示を電算機を通じて光ディスク装置に伝える。光ディスク装置は指示された一次情報を自動的にファクシミリ通信装置経由で利用者へ電送する。これにより、利用者は遠隔地においても、電算機の端末とファクシミリの受信装置があれば、光ディスク-ファイリング-システムを利用することができる。

2) 地図の特殊な検索

地図に関しては通常の検索データの他に、検索引引図を作成する。これを使えば、利用者は必要とする地図について索引図を目で見ながら探し出していける。地図の標題や地名によって探すよりも、地図の場合はこの方法が有効であることが多いで、両者の併用を勧める。

6. 3 まとめ

このシステムの最大の特色は、求める情報の存否だけでなく、情報そのものが端末画面に呼び出せることにある。その他、保管の難しい地図の収納スペースの節約、コピーの容易さ、遠距離送付の機械化など、可能性は非常に大きい。そして、5章の二次情報提供システムと連係させると、その有機的な機能はますます充実する。

貴重なコレクションである事業団の地図群は、このようなシステムによって、飛躍的に活用されることになる。

統計については、事業団自体の調査部門の協力が必要であるが、収集および作成される統計のもつ情報量が最大限に事業団の事業に活かされるためには、即時的な検索・コピーが可能なこのシステムが、十分に効果を持つに違いない。

付4 光ディスクファイルの概要

1) 光ディスクの定義

電算機などで広く使用されている磁気ディスクは、円盤の上に鉄粉が塗布してあり、この鉄粉の磁化方向を N-S にするか S-N にするかによって信号を記録再生している。これに対して光ディスクはプラスチック円盤に金属膜が蒸着されており、テープレコーダーの磁気ヘッドに相当するものとして非常に高品質な光であるレーザー光線発生装置を使って記録再生を行う。

情報を記録するときは、円盤の上に極めて細く絞った光量の強いレーザーを照射する。それによって、金属膜を溶かして直径約 1ミクロンという非常に小さいピットと呼ぶ穴をあけるタイプ（金属熔融型）や、照射した部分の金属の結晶構造を変えるタイプ（熱変態型）がある。再生する場合は、同じレーザーで光量を弱くして照射し、穴があいているかいないか、あるいは結晶構造が変わったかどうかによって、そのレーザー光の反射量が変わることを検出する。

2) 光ディスクファイリングシステムの特徴

① 省スペース化

記録方式、ディスクの直径、両面/片面記録などによって異なるが、A4版文書に換算して光ディスク1枚で1万から6万ページの情報が記録できる。

② 入力作業の簡素化

電算機にデータを記憶させる場合は、通常キーボードから一文字ずつ入力する必要がある。光ディスクファイルでは、読み取り装置（スキャナ）はコピーをとる要領で短時間で大量、しかもその場で入力結果が確認できる。また、入力原稿のサイズもA3版まで扱えるものもあり、解像度も 16 dots/mm まで可能である。

③ ハードコピーおよび通信機能

検索した文書は必要に応じて、すばやく何枚でも、オリジナル原稿と同様（16×16dots/mm×mm）のコピーに再生できる。また、インターフェイスを通じてファクシミリに接続し、画像情報を遠隔地に瞬時に、自動的に転送できる。

④ 多彩な検索機能

大量のデータを蓄積してあるため、その検索には種々の機能が用意されている。登録番

号によるダイレクト検索、検索用タイトルに論理条件を組み合わせた多項目検索、注釈一覧検索などがある。

⑤ オートチェンジャ装置

超大量データを蓄積するために、複数枚の光ディスクを検索できるようにした装置で、約 600万ページ（A4版換算）のデータを収録できる。

⑥ 編集・複製機能

デジタル処理により、複製や伝送が行われるため、信号の劣化がなく、複写や編集を何回繰り返しても、常に鮮明な画質の資料が得られる。したがって、保存用ファイルの作成や、分類別ファイルを作成することができる。

⑦ ネットワーク化が可能

光ファイバーケーブルの敷設が普遍化して、イメージの伝送が容易になってくるようになれば、光ディスクファイルを中心に、回線交換網に接続することにより、リモート画像情報検索システムが構築できる。

⑧ 資料形態の統一と機密管理

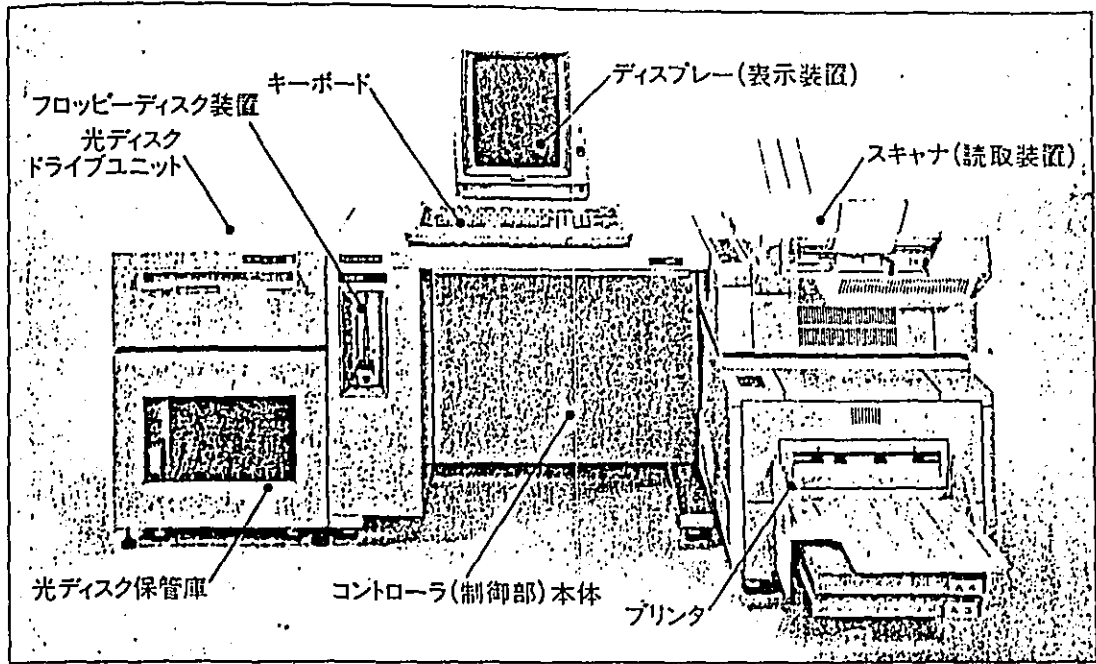
文書、図面、マイクロフィルム、書籍、伝票、地図等多種多様な形状の情報を同じレベルで管理できる。光ディスクのアクセスにはパスワードを設定できるため、資料の機密管理も可能である。

3) 光ディスクファイル適合業務

光ディスクファイルで扱う情報としては、次のようなものが適している。

- ① 日常的に使う蓄積量の多い情報
- ② 図形の入った情報
- ③ 検索にスピードが要求される情報
- ④ 一つの系列ではファイルし難い情報
- ⑤ 一シートでも意味をもつ情報

こうしたことから、事業団としては、地図、統計表等を扱うのが最も効果的であると考えられる。



光ディスク文書ファイルシステム

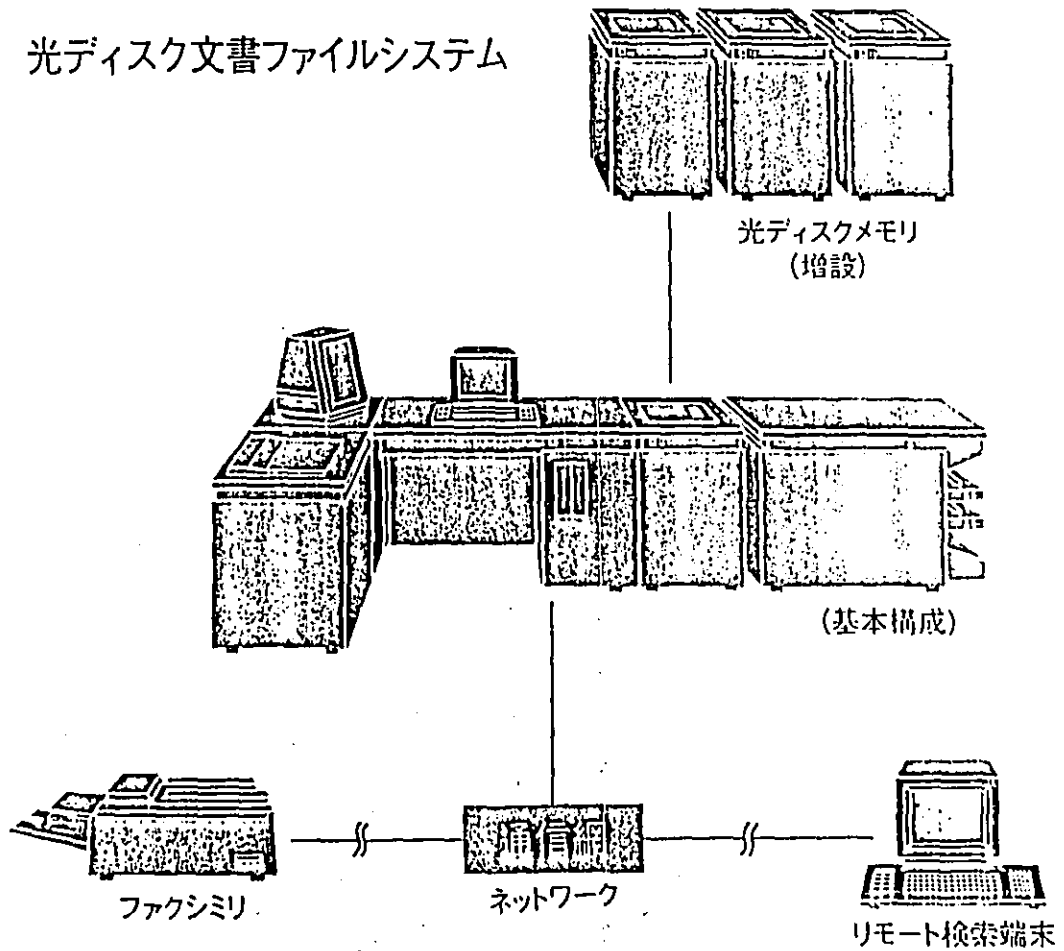


図 6. 4 光ディスクファイリングシステム

7 閲覧貸出システム

7.1 設計の考え方

資料室の業務全体の中でも、この閲覧・貸出・返却の部分は、「モノ」としての資料の動きを把握するだけの、比較的簡単な業務である。このような内容の業務は、電算機の導入が最も効果を発揮する。

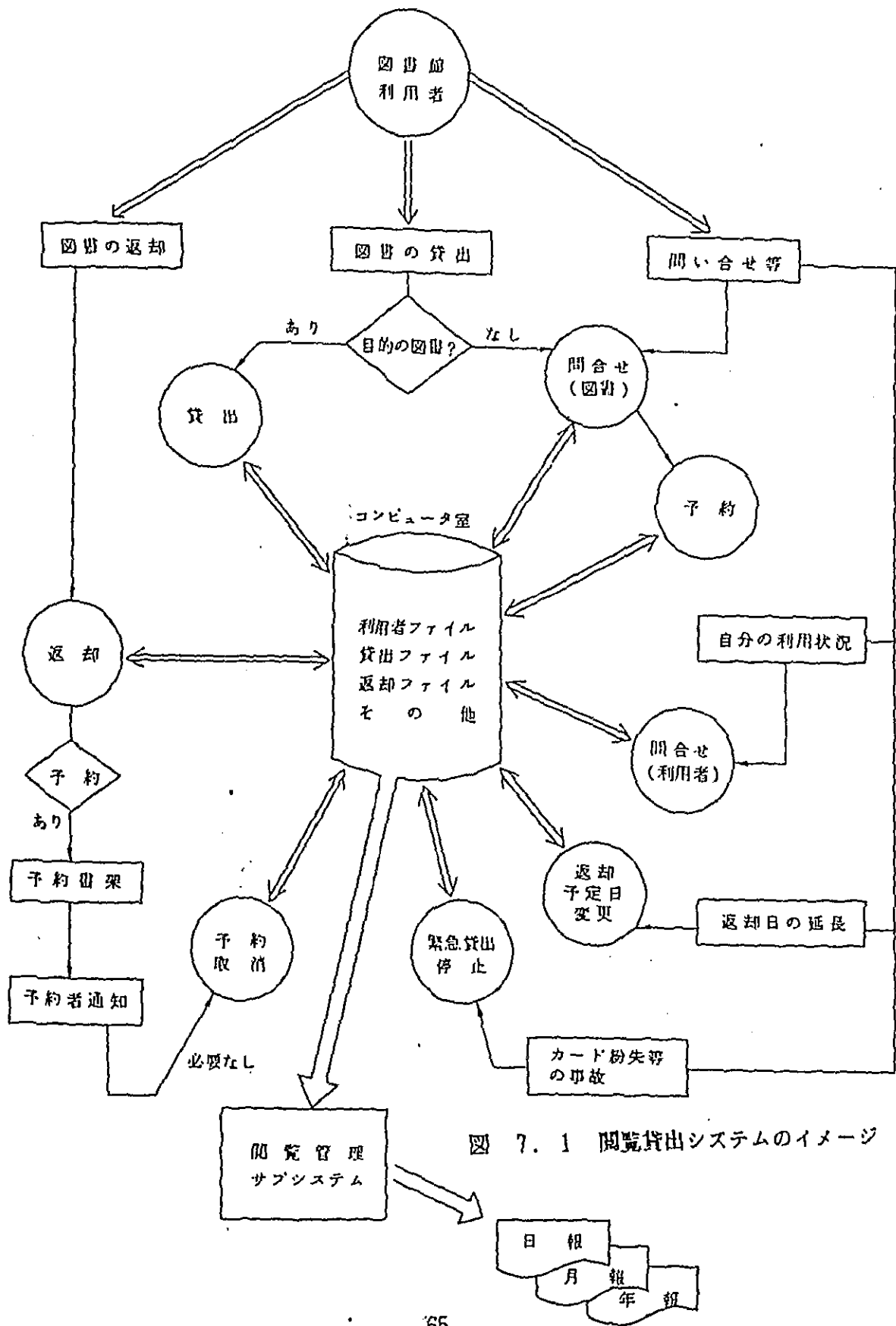
これは、資料の利用状態の表示が①資料番号と②現在の利用者番号という二つの番号情報で表現できるからである。資料が書架にある場合には、②の情報がないことで表されており、貸し出されていれば②の情報が現在の位置、すなわち利用者を示している。

従来の資料貸出し方法は、ある資料をあるう利用者に貸出しているという証拠資料として、貸出依頼表を利用者に書かせるというものである。しかし、この資料と利用者を示す情報は、ほとんどの場合あらかじめ知られている情報であり、この両者の新しい組み合わせが生じることが、すなわち貸出が発生したことを意味する。

したがって、この両者をあらかじめ電算機に記憶させておき、貸出の発生時に両者を結合する命令を電算機に出せば、貸出の記録は成立する。このように、本システムは電算機利用が最も容易で、しかも有効なのである。

表 7.1 システムの対象業務

| | | |
|---------|---|--------------------------|
| 書誌データ登録 | 受入資料の所要目録データを登録および更新する。 | |
| 利用者登録 | 貸出利用者の発番登録（仮登録）を行い、さらに督促のための宛名情報の登録及び更新を行う。 | |
| カウンタ | 貸出 | 資料の貸出、返却処理および日報リストを作成する。 |
| | 予約 | 資料の予約、予約解除及び予約リストを作成する。 |
| | 督促 | 未返却資料の督促を行うため、督促状を作成する。 |
| 利用者検索 | 利用者の宛名情報、貸出及び予約状況を検索する。 | |
| 蔵書点検 | 不明資料リストを作成する。 | |
| 統計業務 | 貸出統計 | 貸出利用状況に関する各種統計リストを作成する。 |
| | 蔵書統計 | 蔵書の分類番号別冊数などの統計リストを作成する。 |
| | 利用者統計 | 利用者の各種統計リストを作成する。 |



後に提案する二つの設計案は、いずれも基本的にこのことを念頭においたものである。このシステムでは、①事業団図書資料室が保有し、貸出が可能な資料について、資料マスターを作成し、②資料自体には資料番号コードを記載したラベルを貼付し、③利用者についても利用者マスターに登録する。これにより、①貸出・返却、②資料問い合わせ、③予約、④返納督促そして⑤統計作成が可能となる。システムの対象業務をまとめると、表 7.1 のとおりであり、各業務の関係は図 7.1 に示したとおりである。

事業団では、これからも資料室の所蔵資料の増加は必至であり、これを利用者にかんして十分に活用してもらおうか、という問題になると従来の方法では解決がかなり難しい。しかし、これら業務を電算機にまかせることになるので、利用者へのサービスを向上させることができ、図書資料室のイメージアップが可能となる。

7. 2 設計案の前提

1) 事業団の図書資料室では現在図書 5万冊、雑誌 500タイトル、各種フィルム(16mm, VTR) 280本、写真 2千枚、地図 1万枚、マイクロフィッシュ 1万枚などを所蔵して、利用に供している。

2) 図書資料室の利用状況

| | |
|------------|--------|
| a) 来館利用者数 | 400名/月 |
| b) 貸出資料数 | 250冊/月 |
| c) 複写件数 | 350件/月 |
| d) 貸出フィルム数 | 240種/年 |
| e) 貸出写真数 | 20種/年 |

利用者は職員と外来者がほぼ半々であって、複写の件数がかかなりある。複写については複写申し込み書に記入し、さらに貸出手続きをすませてから、利用者が自分で行うようになっている。

3) システム設計においては、次のような点に注意する必要がある。

① コンピュータの専門家でなくても、簡単に操作できるように、画面をメニュー形式にして対話型のシステムとする。

② 将来の資料数の増加を考慮し、5~10年先まで使用可能なシステムとする。

③ 現段階の業務のみでなく、他の業務と将来関連を持たせられるような、拡張性、柔

軟性のあるシステムとする。

④ システム開発には、ゆとりのあるスケジュールを組み、新旧システムの移行時に無理のないようにする。

7. 3 オフィスコンピュータ（オフコン）を用いたシステム

このシステムのイメージは図 7.3 に示すようなものである。資料には図 7.4に示すような資料番号ラベルが貼付される。利用者は、自己を識別する ID カード（図 7.5）を持ち、貸出時に資料番号ラベルと ID カードとを OCRハンドスキャナでなぞると、この両者が電算機に記憶されて、貸出記録が発生する。

7. 3. 1 システム運用の基本事項

① 資料番号を各資料に付与し、ラベルを資料の表紙に貼付する。この資料番号は、JICAデータベースの登録番号でもよいが、通常は資料種別ごとの受入順番号が用いられることが多い。

② JICAデータベースから資料マスターを作成する。このマスターには、貸出に必要なデータのみを抽出すればよい。使用するオフコンに応じたマスターの規模を検討することが必要である。

③ 利用者を登録して利用者マスター作成し、利用者カードを発行する。

④ ファイルメンテナンス、すなわちデータの作成・更新はオンラインで行い、メニュー画面形式とする。

⑤ システムのソフトは、なるべく既製のものを事業団用に修正・追加して使用する。

⑥ ディスクの容量に余裕を持たせ、5～10年は使用可能なシステムとする。

7. 3. 2 システムの運用

① 資料の貸出は、利用者番号と資料コードを、OCR スキャナで走査するだけですむ。貸出冊数がオーバーしているときは、貸出停止の表示が画面に出る。

② 返却は資料番号のみの走査ですみ、その資料に予約があれば、画面上に予約者などの表示が出る。

③ 予約は、予約する資料番号と利用者番号を走査するだけですむ。また、キャンセルの処理も可能である。

④ 問い合わせ（資料の有無もしくは、貸出中の資料の利用者名の調査）は、資料番号

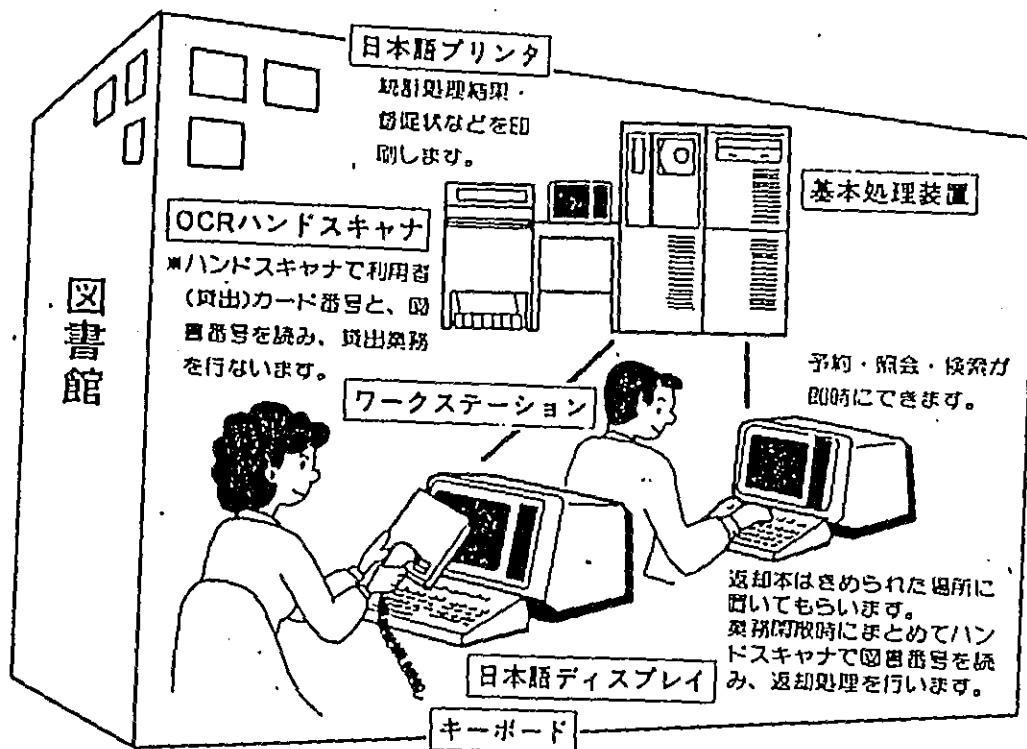


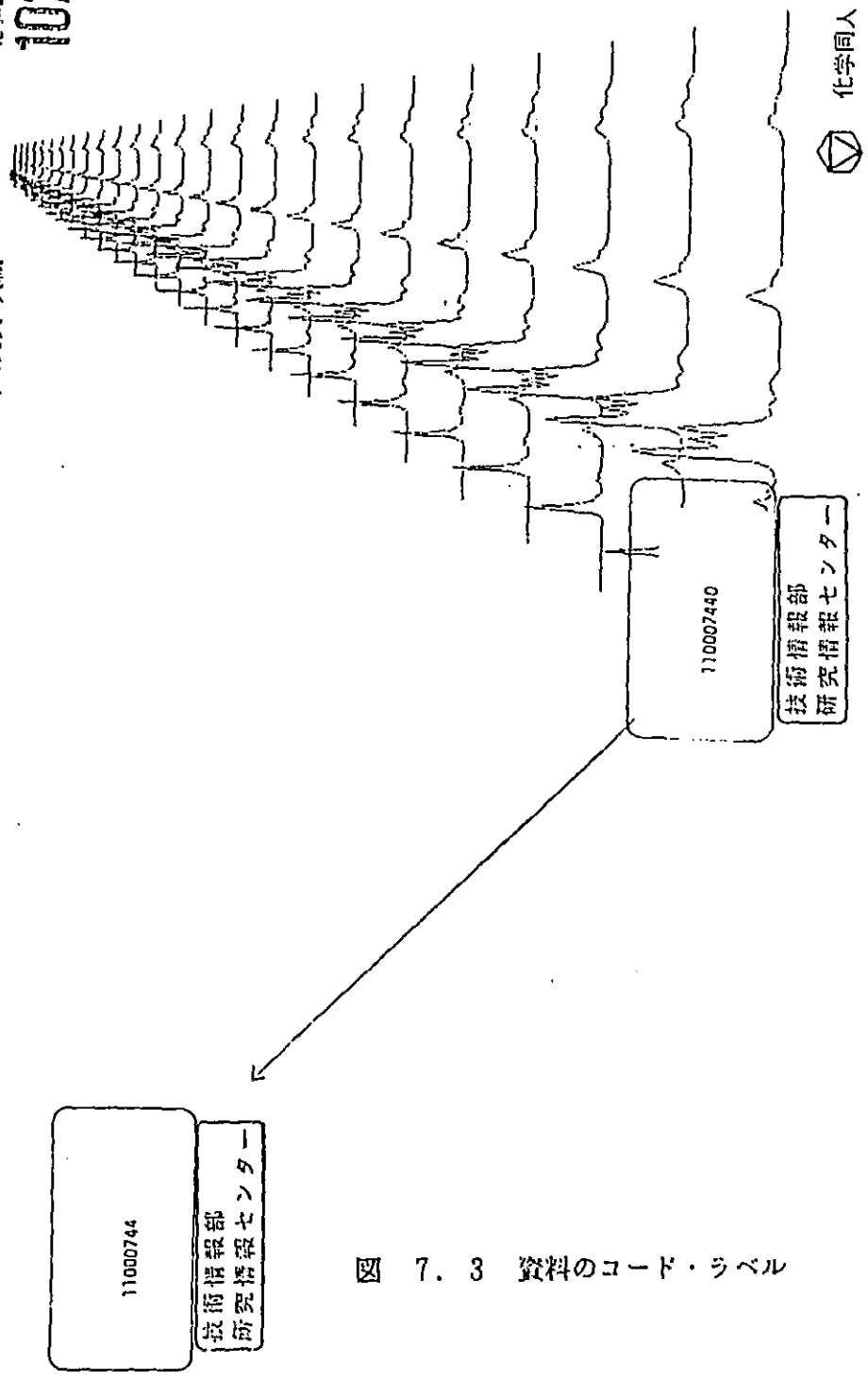
図 7. 2 オフコン利用システム

化学情報誌 42(1997)3 3120-3124 岩永貞昭・崎山文夫 共編
 CODEN:KGZKA3
 ISSN 0244-5072

タンパク質・ペプチドの 高感液体クロマトグラフィー

宇非信生・岩永貞昭・崎山文夫 共編

化学情報
 102



化学同人

図 7. 3 資料のコード・ラベル

| | |
|-------|---------------------------------|
| 貸出カード | 200001022 |
| 氏名 | JICA 太郎 |
| | 技術情報部 研究情報センター TEL. 4 5 0 |

※このカードは発行を受けた本人以外は使用できません

※夜間、ノートに記入して貸出を受ける時も表記のID番号を使用してください

※このカードを拾われた方は、お手数ですが図書室までご連絡ください

図 7. 4 利用者IDカード

または分類コード、その他マスターにはいつている項目により行う。また、利用者番号から、誰がどんな資料を借りているか調べられる。

⑤ 督促は、いままで、必要に応じて電話で処理していたが、このシステムでは、定期的な督促状の作成が可能となり、資料の所在も明確になる。

⑥ 統計作成は、従来は手作業で簡単な閲覧統計しかできなかったが、主題別、国別、利用課室別の利用統計が作成できるようになる。

7. 3. 3 運用メニューの考え方

今日のオフコンの隆盛は、電算機の知識のあまりない人でも電算機操作ができるように工夫した、オンライン会話メニュー方式の確立によるところが大きい。このシステムでもメニュー方式による運用を考えている。

このシステムでは、電算機の端末が貸出システムにおいて生じるいくつかの場面設定をあらかじめ持っており、ワンタッチでそれぞれの場面設定状況に応じたメニューを画面に判り易く表示する。場面設定の1例を 図 7.5 に示す。

① 貸出メニュー

貸出データは、利用者カードの利用者コードと、資料に貼ってある資料コードを OCR スキャナで走査して入力する。また、キーイン方式でも入力可能である。貸出モードで、利用者の利用状況（どんな資料を何件借りているか）を知りたいときは、ファンクションキーにより、利用者状況画面モードとなる。

② 返却メニュー

返却データは、資料番号を OCR スキャナまたはキーイン方式で入力する。このとき資料の予約があれば画面上に表示される。

③ 問い合わせメニュー

書名、著者名、資料番号、利用者番号による問い合わせができる。これにより今までのように目録を見る手間が省け、資料の有無がすぐに判る。貸出中の場合は、誰が借りていて、いつが返却日か調べることが可能である。

④ 予約メニュー

貸出中の資料に対して、別の利用者が予約することができる。入力データは、利用者番号と資料番号である。

7. 3. 4 システムの特徴

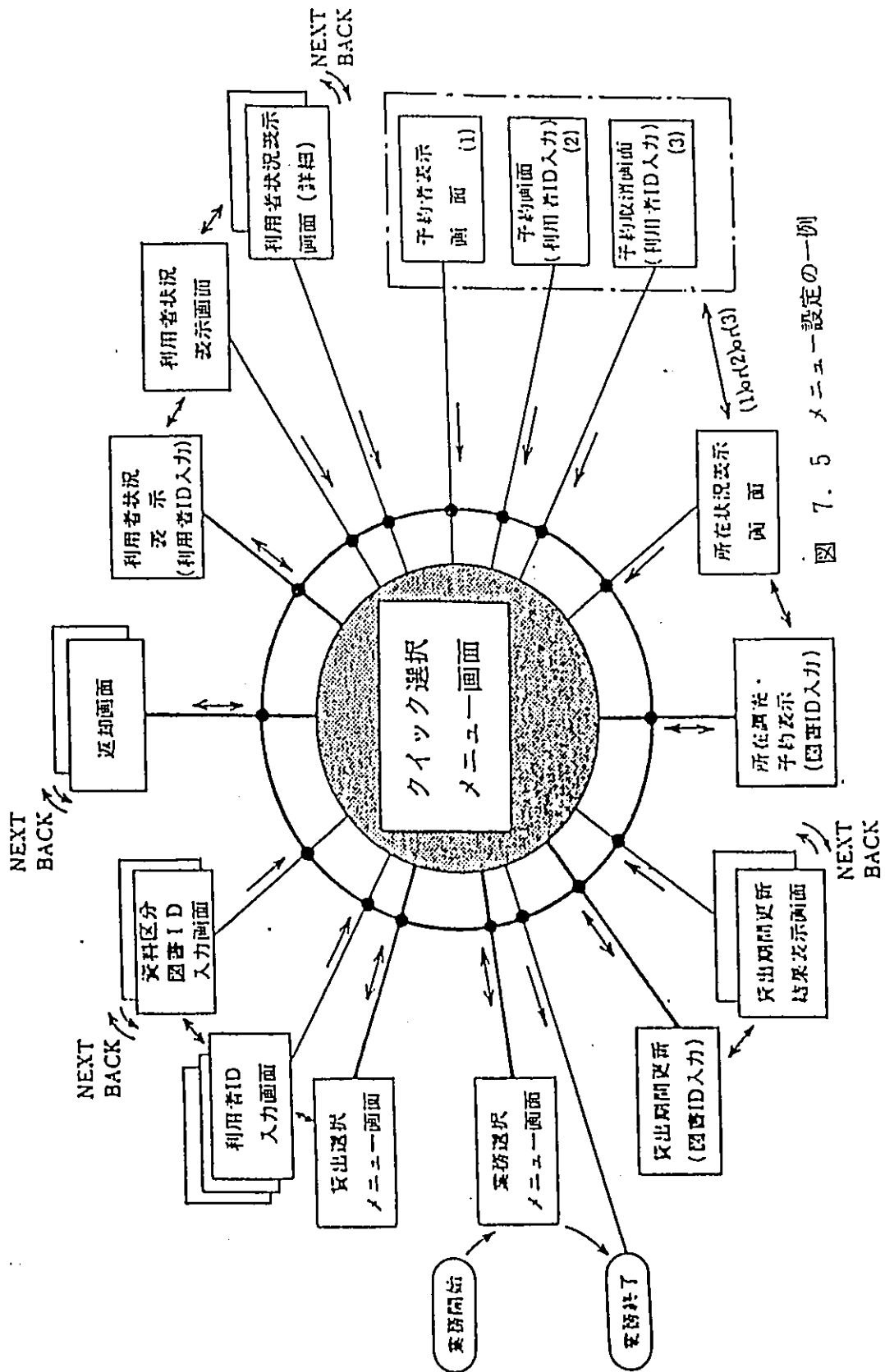


図 7.5 メニュー設定の一例

1) オフコンを用いた図書館システムでは、発注・受入・目録・閲覧業務といったトータルシステムが多いが、このシステムでは閲覧業務のみのために、ゆとりのある設計が可能である。

2) このシステムでは、英数カナ文字を使用した。現段階で漢字処理はオフコンで可能だが、漢字処理をいれるとハード・ソフトともにコストが高くなる。また、漢字データは読みもいっしょに入力するので、データ量も増える。

3) コンピュータの操作が画面メニュー形式となっており、だれでも簡単にできる。電算機の知識のない人でも、すぐに慣れて使えるようになる。

4) 目録システムに入力したデータを用いて、資料マスターを作成できるので、かなり作業面で楽になっている。

5) 将来は、オフコンを大型電算機につなぎ、データのやりとりを行うことも可能である。

7. 4 大型電算機を用いたシステム

閲覧貸出システムを、事業団の保有する大型電算機を利用し、情報提供システムと連動したトータルシステムとすることを、ここで提案する。これによって図書館業務のすべてがトータルシステムとして有機的に機能し、必要な業務はすべてが即時処理によるオンラインデータベースシステムのなかで実施される。また、漢字を使用する入力・表示は誰でも容易に運用できる操作性の優れたものとなる。このシステムの概念図は、図 7.6 のとおりであり、機器構成の 1例は図 7.7 のとおりとなる。

このシステムは、次のような特徴をもつ。

- ① オフィスコンピュータを用いる場合と違い、電算機を世話するシステム要員が必要ない。
- ② 機器面では、漢字端末に OCR ハンドスキャナを装備したもの、および OCR文字出力プリンターを用意することが必要になるだけで、新たなシステム投資が最小限度に抑えられる。
- ③ 情報提供システム用に準備したデータベースがそのまま利用できるため、資料マスターを新しく作成する手間が省ける。
- ④ 大型電算機に DBMS(Data Base Management System)があるので、ファイル効率がよ

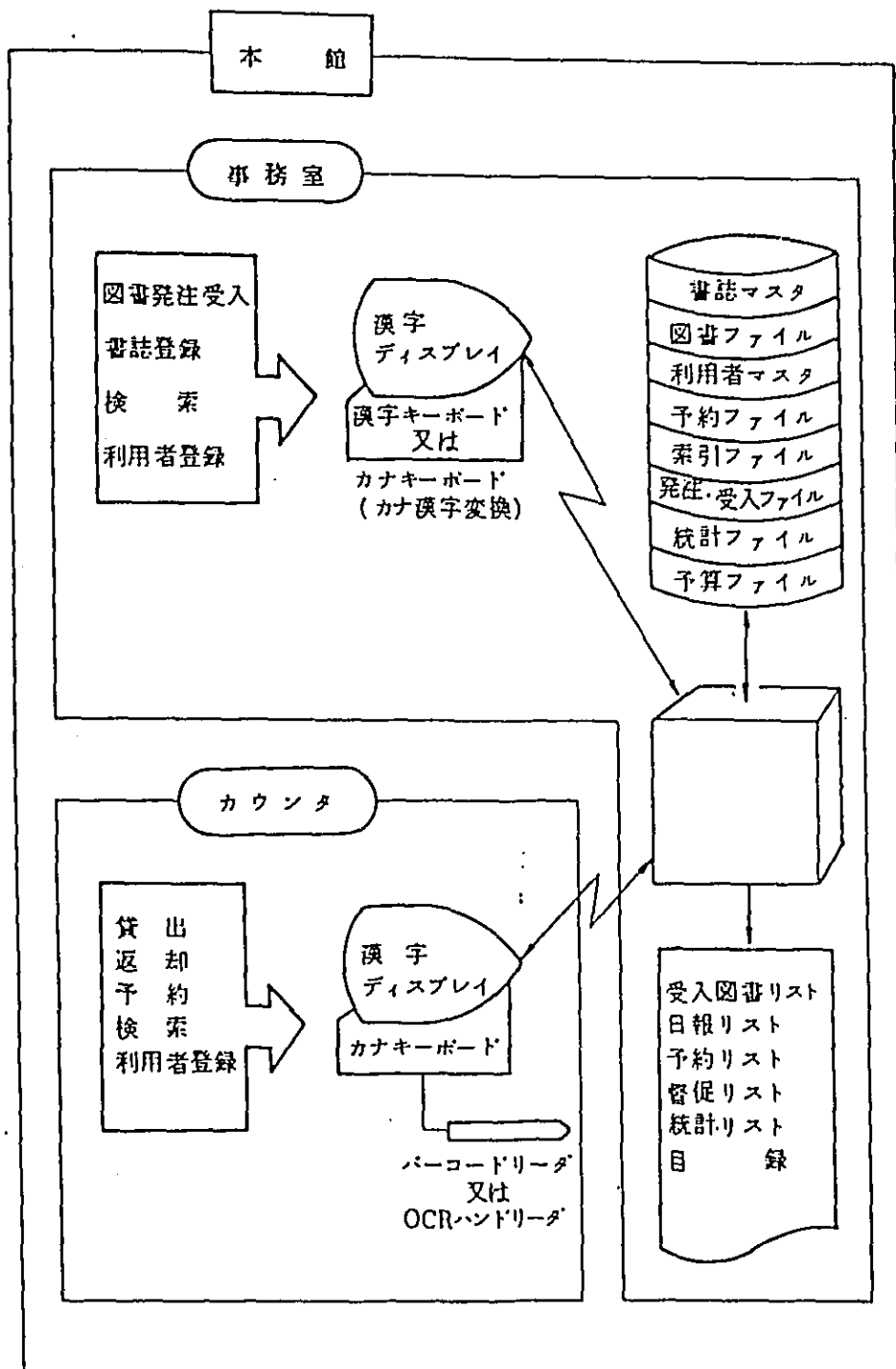


図 7. 6 大型機システムのイメージ

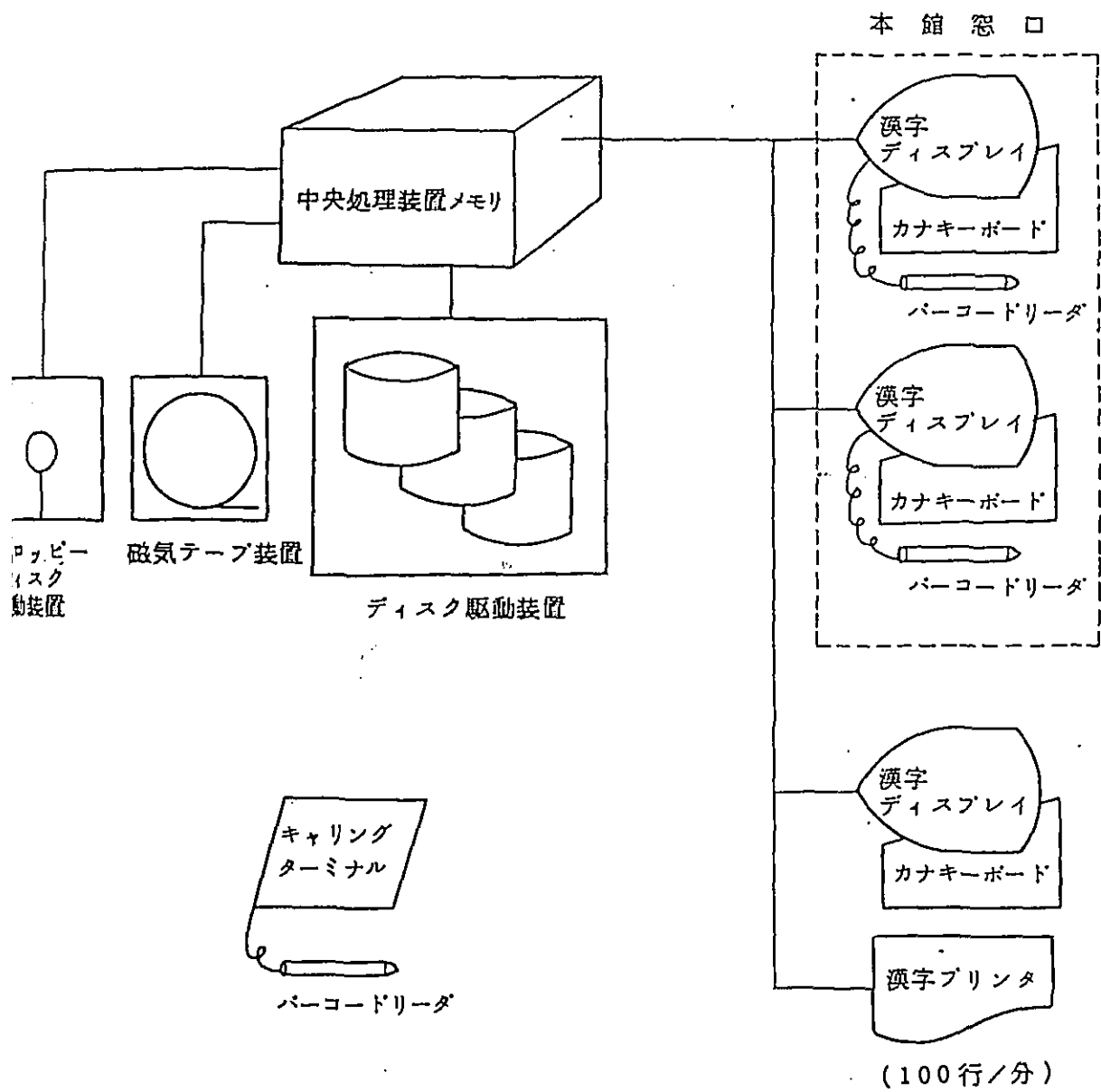


図 7.7 機器構成の一例

くなり、データの管理も容易になる。

⑤ 通常の閲覧・貸出に関する日報・月報類のほかに、主題別利用統計、雑誌統計等のキメの細かい統計が作成でき、資料の利用実態や傾向を正しく把握することができる。また、その活用により、さらに研究動向の予想も可能になる。

7. 4. 1 システムの設計条件

1) 漢字処理、データベース構造を採用する。

JIS 第一水準、第二水準を含む漢字をサポートし、誰でも見易く判りやすいディスプレイ表示およびリスト作成を行える、日本語システムを実現する。また、資料・利用者・予約等の各種情報を有機的に連結させたデータベース構造を採用し、情報の一元的管理を可能とする。

2) オンラインネットワークを構成する。

資料室がいくつかに分散している場合、これらのすべてを連結し、ネットワーク化してあたかも一つの総合的な資料室として機能するようになる。この結果、他の資料室の資料をも利用することができ、資料室のスペースが節約できる。

3) 操作が簡単である。

メニュー画面、操作ガイダンス、ワンタッチオペレーションを利用した会話処理を基本とし、電算機の専門知識を持たない職員でも操作できるものとする。また、貸出・返却時は OCR ハンドスキャナを利用することにより、資料番号、利用者番号の入力は迅速におこなえ、利用者を待たせず、職員の負担も軽減させる。さらに、貸出・返却時にはエラーや予約があった場合、ブザーでその旨を知らせることにより、画面をその都度見ないでも、操作できるようにする。

7. 4. 2 システムの概要

1) 利用者登録・検索

① 利用者登録の際、カナ氏名を入力して重複チェックを行う。同姓同名のときは生年月日で区別する。

② カウンタでは、カナ氏名と利用者番号のみを入力し、その他の情報はあとで入力することにより、利用者を待たせないようにする。

③ 利用者カード紛失時は有効期限1ヶ月程度の仮カードを発行する。

④ 再発行時は自動的に旧番号での情報（貸出情報等）を引き継ぐ。

⑤ 照会の場合のキーはカナ氏名または利用者番号とする。

2) 貸出・督促

① 貸出において、貸出冊数を越えたとき、長期に延滞している本があるときなどは、ブザーを鳴らして注意を促す。

② 貸出の手続きは、利用者カードと資料に貼ってあるラベルをスキャンするだけで済ませ、利用者を待たせないようにする。

③ 返納期限が切れた資料がある場合には、バッチ処理で督促状を出力する。

3) 返却

① 返却本は、業務の空いたときに、まとめて処理する。

② 返却本が予約されている場合、ブザーを鳴らして注意を促すとともに、画面にその内容を表示する。

4) 検索・予約

① 検索は単に資料の照合だけでなく、予約・登録等の処理にも使われるので、容易にかつ迅速に処理できるよう、検索項目を複数用意する。

② リクエストがあって検索した結果、その資料が貸出中のものであるときは、予約の処理を行う。

③ 利用者が予約して、一定期間以上過ぎても予約資料を取りにこない場合、バッチ処理で予約を解除する。

5) 蔵書点検

① 蔵書点検を行うときは、書架の傍らで携帯用のハンドスキャナを持って、資料の O CRラベルをなぞっていく。記録された番号の資料は、現品があるということになる。

② 全資料の番号入力後、資料マスターと比較することにより、不明資料リストを作成する。

③ 不要となった資料は除籍処理を行う。

7. 4. 3 システム導入の効果

1) 貸出業務では、利用者カードおよび資料に貼付してあるラベルのコードをスキャンするだけなので、利用者の窓口での待ち時間が減少する。

2) 多面的な情報検索との連係により、利用者の必要とする情報を即座に提供できる。

3) 従来の各種目録に収めてある諸データの一元的管理が可能になり、修正・追加が容

易になる。

4) 従来の手作業による記録・整理・突き合わせ・集計業務が電算機に一度データを入力するだけで、自動的に処理できる。

7. 5 まとめ

以上のように、閲覧貸出システムについて、業務分析や事業団の環境分析に基づいて、二つの設計案を検討してきた。オフコン案は比較的短期間に導入できるし、投資に見合う効果もある。JICA情報システムの他のサブシステムの実施とは切り離して、それだけで実施してもメリットは十分ある。大型機案は、現在考えられ、また実施可能な究極の形である。オフコン案よりも導入準備は長期間を要するが、しかし、実現されたときの高度なサービスの質は比較にならない。

JICA情報システムのトータルな実施に、たとえば4、5年を要するというのであれば、まずオフコン案の実施が望ましい。5年経過した時点でもトータルシステムへの移行は容易であり、利用方法にも変化がないので、利用者指向のサービス改善としては、オフコン案を早急に実施することが望ましい。

8 運営

8. 1 組織と運営

1章で述べたように、組織の定め方は情報流通に関してほぼ充足する形をとっており、特に改正の必要はないと思われる。それよりも、運営の仕方に工夫の余地を残しているようである。各部局・支部・付属機関はそれぞれの独立性をもち、地域的にも分散しているため、中央の総合調整機能を強力にするには困難を伴うようにみえる。中央に情報機能を集中させても、他の事業の運営ともからんで、円滑な流通を期待することはできず、分散方式による情報システムの構築を余儀なくされる。この点は決してマイナスではない。ただ、調整機能の負担・労力が大きくなる。

電算機システムの効率性からいって、処理機能と蓄積機能は集中化した方がよく、収集と前処理機能を分散化させることになるであろう。したがって、中央調整機能の役割は極めて重要になり、積極的な活動を課せられることになる。負担が大きくなったとしても、調整機能の役割が効を奏して各組織に浸透した場合は、情報利用の普及措置にもなり、大きなメリットとなりうる。

各部局に要求される「収集」の責務は、現行の事業団法制で可能と考えられる。問題はその励行であって、その徹底を図るとともに、情報活動の成果を早急に波及させることである。情報システムの利益が認識されるようになれば、多くの要請より有効である。その点からいって、システムは各部の協力を必要とするだけに、早めに成果を提供しなければならない。収集は規程・通達で定められているので、励行が課題である。

各部局に要請する「前処理」には新しく各部局に要請するものもあるので、そのための新通達もしくは通達の改正が必要であるばかりでなく、趣旨の徹底を図らなければならない。この成否が新システムの成否を決定するであろう。

8. 2 マニュアルの整備と研修

情報システムの施行開始のかなり前から、新システムの趣旨を徹底し、処理や利用に習熟するよう計画する。手段は関連文書・マニュアル・要領の整備と説明会および訓練である。現場、各部局の情報担当、中央のそれぞれで、情報活動に要求される職務の内容・質が異なるので、従事者の数によって普及の手段を選択する。

8. 2. 1 前処理マニュアル

資料持帰り者・報告作成者のそれぞれに相当するマニュアルを作成する。詳細で多くの要求は励行されないから、平明簡易で実行し易いものでなければならない。提出フォーマットをレイアウトして、通常に記入していけば、目的に達するような配慮が望ましい。必要な表・コード類は手軽に参照できるようにしておく。

8. 2. 2 手引

全職員の理解と利用を促進するため、新システムの案内もしくは手引を用意する。システムが稼働すれば、成果が配布されるから、システムの概要を把握できるけれども、システムの発足が円滑に進むために、多くの人々の協力が必要であり、判り易い手引類の準備を丁寧にキメ細かく行うことである。

8. 2. 3 説明会

マニュアル・手引・要領を利用し、大小の説明会もしくは実習を繰り返して実施することによって、分散化システムの運営が順調に進められることになる。広く分散している事業団各支部・付属機関に説明会をもつことは、多くの労力を要するが、本部に出頭した際を利用すればよく、説明会といっても、数十名の規模を指しているのではなく、1～2名に対するものも含めていっている。オンライン利用が軌道にのると、この説明会・指導の要求は高まってくる。

8. 3 外注

行政改革中の現状では、人員の増加はなかなか困難とみるのが、常識であろうから、外部に依頼できるものは外注で処理する形のシステムを考慮せざるをえないと思われる。外注の利点は単に組織外運営というだけでなく、情報専門家の雇用昇進に関する人事上の問題を抱えこまないことにある。業務の執行が組織の命令施行の形でなく、契約ベースになるから仕様と検収の形式を整えることになる。

ただ、外注の場合、システムの接続に考慮を払う必要がある。外部の出来高で製品の授受で接続するのであれば、通常の検収受入の手続きとなるが、人員派遣の形で同一場所の業務執行となると、人間関係の労務問題が別途存在することになり、情報システムが単に機械の接続だけでなく、人間性を包含した総合システムであることを認識しなければならなくなる。

9 所要資源と予算

9.1 所要機器、ソフトとコスト

9.1.1 二次情報サービス

(1) ハードウェア

- 1) 漢字端末・プリンタ 5 台

事業団図書室内にデータ入力用、情報検索用として。(他の図書室にも各1台が必要である。)

$$2,500 \text{ 千円} \times 5 = \underline{12,500 \text{ 千円}}$$

- 2) 漢字用電話端末 1 台

外部データベース検索用に、漢字用電話端末が必要である。この検索費用も多少用意する必要がある。

$$800 \text{ 千円} \times 1 \text{ 台} = \underline{800 \text{ 千円}}$$

(2) ソフトウェア 1 式

ORION はすでに提供されているので、入力部分(JICA データベース作成)、出力部分(各種目録類の出力、検索ガイドの作成)のソフトウェアを独自に開発して、ORION に接続する。システム分析とプログラム作成で 9人・月

$$\underline{5,400 \text{ 千円}}$$

(3) データ入力

過去分の資料を JICA データベースのために計算機可読にする作業と、新着資料をデータ入力する作業の 2種類がある。例えば、主題分析・インデキシング・要旨作成・目録作成・計算機可読のテープを作成する一連の作業は外注もでき、1 件約 4,000円として積算すると、

$$4,000 \text{ 円} \times 5 \text{ 千件/年} = \underline{20,000 \text{ 千円}} \text{ (新規分)}$$

$$4,000 \text{ 円} \times 6 \text{ 万件} = \underline{240,000 \text{ 千円}} \text{ (過去分)}$$

9.3 外注の節を参照

(4) システムメンテナンス

- 1) JICA分類表およびシソーラスの維持
- 2) ソフトウェアメンテナンス
- 3) オペレーションメンテナンス

(5) 消耗品・その他

9. 1. 2 画像情報システム

(1) ハードウェア

光ディスクファイリング装置 1 式

検索端末の数はネットワークの組み方によって変動する。

最小構成 13,000 万円

(2) データ入力

地図自体の入力、および検索項目入力の双方が必要である。

蓄積分 $1000 \text{ 円} \times 10,000 \text{ 件} = \underline{10,000 \text{ 千円}}$

9. 1. 3 閲覧貸出システム

1. オフコンを用いる場合

(1) 所要機器

1) 本体 メインメモリ 512 KB

フロッピーディスク 1 MB

磁気ディスク 50 MB

2) ディスプレイ

3) JIS キーボード (英・数・カナ)

4) シリアルプリンター (OCR 用、24×24ドット)

5) OCR ハンドスキャンナ (Bフォント)

以上 6,000 千円

5 年リースで考えた場合、月額15万円ぐらいになる。これには保守費が含まれている。

(2) ソフトウェア開発費

既製のものを修正・追加するとして 2,000 千円

(目録磁気テープから資料マスター作成プログラムも含む)

(3) 消耗品

プリンター用紙 200 千円

資材ラベル(ラベルキーパーも含む) 1,300 千円 (単価 20 円 65,000件)

利用者カード 100 千円 (単価 50 円 2,000人)

(4) 保守費

300 千円 (本体価格の5%程度)

(5) 過去分データ入力費

| | |
|-------|-----------------------------|
| ラベル貼り | 650 千円 (単価 10 円 65,000件) |
| データ入力 | 25,000 千円 (単価 500円 50,000冊) |

入力項目数による。

| | |
|--------|------------------|
| 合計 | <u>9,900 千円</u> |
| 内訳 | |
| 初期分 | 8,000 千円 |
| 経常分 | 1,900 千円 |
| 過去分処理費 | <u>25,650 千円</u> |

2. 大型電算機利用

(1) ハードウェア

| | |
|-------------------|----------|
| 1) 貸出返却用漢字端末 | 2,500 千円 |
| 2) OCR ハンドスキャナ | 1,000 千円 |
| 3) OCR 文字印字用プリンタ | 500 千円 |
| 4) 各種リスト出力用漢字プリンタ | 1,000 千円 |
| 計 | 5,000 千円 |

(2) ソフトウェア

| | |
|---------------|------------|
| 1) 貸出返却 | |
| 2) 各種リスト作成 | |
| 3) マスタ管理 | |
| 4) 雑誌管理 | |
| 5) ファイルメンテナンス | |
| 6) 統計処理 | 計 6,000 千円 |

(3) 消耗品等

- 1) プリンター用紙
- 2) 資料ラベル
- 3) ラベルキーパー
- 4) 利用者カード
- 5) ラミネートフィルム

6) フロッピーディスク

7) ラミネーター

| | | |
|----|-----|------------------|
| 合計 | 初期分 | <u>11,000</u> 千円 |
| | 経常分 | <u>2,000</u> 千円 |

9. 2 人員

9. 2. 1 二次情報システム

| | |
|--------------|------|
| 書誌入力取り極めチェック | 2人 |
| 分類・インデキシング | 2人* |
| 総括 | 0.5人 |

9. 2. 2 画像情報システム

| | |
|-------------|------|
| 書誌入力インデキシング | 2人* |
| 総括 | 0.5人 |

計 管理職 1人、 専門職 3人(2*)、 補助職 3人(2*)

*) 外注可能

9. 3 外注

現状では、人員の確保はなかなか困難とみるのが、通常であろうから、外部に依頼できるものは外注で処理することを考慮してみる。外注できると思われるのは、分類・インデキシング・書誌事項である。外注の場合の予算は、事業団が定める人工費を基準に積算することになる。5. 1. 1 (3) 項は事業団外に出来高で外注した場合、人員派遣で事業団内で作業してもらう場合は $300 \text{ 千円} \times 18 \text{ 月} \times 4 \text{ 人} = \underline{21,600 \text{ 千円/年}}$

10 年次計画

10.1 段階的实施

JICA 情報システムの構築は、可急的速やかに実施するのが望ましいが、過去分の入力のように、蓄積の一気の処理は高額の予算を必要とするので、年次計画を立て、段階的に機械化するのが妥当であると思料される。また、予算事情がさらに困難であるときは、二次情報システムと画像情報システムは並列せずに、順次、構築していくのも、周辺や上層部の多くの理解を得る方法であろう。

第一期 3年、第二期 2年の 5カ年計画を一例として、掲げる。

(1) 第一期(3年)

1) ハードに関しては、図書室内に目録・検索用の漢字端末、情報システム課にJICA データベース用のディスク約 300 MB 必要である。ディスクは一度にこの量が必要なわけではない。

2) ソフトに関しては分割して作成することができ、また、一部利用に供しながら改善していく作業が必要である。

3) データベースの基礎となるデータの輸入は時間と費用が最もかかる部分である。例えば、目録入力作業を 1日 1人で15件出来るとして、60,000冊で 200人・月かかる。外注しても、90,000千円を必要とするが、3カ年で実施すれば、年30,000千円ということになる。

(2) 第二期(2年)

1) 画像情報システムは、ハードとして、光ディスクファイル装置を導入するため、費用が最もかかるものの一つである。1年目は装置本体と入力・検索を中心にシステムを考え、フックシミリなどの周辺装置を 2年目に考慮する。

2) ソフトに関しては、入力方法の検討、検索キーの選定等に作業が必要であるが、費用、手間とも、ほとんどかからない。

2) 入力作業としては、オリジナルの入力と検索項目の入力の 2種類がある。検索項目の入力はコード化した情報の入力为主となるので、それほどものとはならない。1件 500 円として、10,000件で、5,000 千円というメドである。

情報提供システム実施 5カ年計画 (案)

| | | 二次情報提供・閲覧貸出システム | | | 画像情報提供システム | |
|-----|---|-----------------------|------------------------|-----------------|-----------------|----|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 |
| ハード | 漢字端末 2 (目録用) | 漢字端末 2 (目録 検索用) | 漢字端末 1 (検索用) | 光ディスクフ ァイル装置 | 周辺装置 | |
| | 漢字端末 1 (閲覧用) 閲覧貸出用 機器 | | | | | |
| ソフト | JICAデータベ ース作成用ソ フト 閲覧貸出ソフ ト | 各種リスト作 成用ソフト | オンライン検 索ガイド用ソ フト | 検索項目の設 定 | 検索ネットワ ークの構築 | |
| 入力 | 定常分 | | | | | |
| | JICA データベース | | | 光ディスク | | |
| | | 過去分 | | 過去分 | | |
| 予算 | 136,000 千円 | 120,000 千円 | 117,500 千円 | 52,050千円 | 49,050千円 | |
| 人員 | + 3.0人 | + 2人 | | + 2人 | | |

消耗品費 4,000千円/年

10.2 並行実施

二次情報システムも画像情報システムも同時に実施することにして、過去分の処理を双方、5年で完成する例を試算してみる。この場合、システムや機器の運営操作が並行するので、当初の投資と人員が大きくなる。

並行実施の例

| | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 |
|-----|---|--|-----------------|-----------|----------|
| | 漢字端末 3 (目録 閲覧用) 光ディスクフ ァイル装置 閲覧貸出用機 器 | 漢字端末 2 (目録 検索用) 光ディスク周 辺装置 | 漢字端末 1 (検索用) | | |
| ソフト | 各種ソフト | 各種ソフト | | | |
| | 定常分 → ← JICA データベース・画像情報データ過去分入力 → | | | | |
| 予算 | 120,000 千円 | 101,100 千円 | 88,600 千円 | 77,550 千円 | 77,550千円 |
| 人員 | +5 人 | +2 人 | | | |

1 1 助言

1 1. 1 ACTIVE COMPONENTへ

事業団の情報活動を改善するには、まず、従来の機能を活用してその充実と円滑な運営を図ることが、妥当な着手であろう。しかしながら、その以前に、図書館活動の思想を大幅に切り換えることが必要である。従来の図書館は図書や資料のモノに着目して、その目録や整理・保管・閲覧・貸出にあたる業務を司ると考えられていた。そして、図書館を開設して利用者を待つという姿勢であった。この公共図書館のあり方は、企業図書館にも影響して、多くの機関では図書室、資料室は受け入れた資料の保管場所程度の認識しかなかったし、また、図書館側も受け身の姿勢でいた。

機関が事業目的を持ち、機能を組織化して、それぞれの分担と役割をもって事業の推進をはかっているときに、図書館だけが客を待つ形にあるのは機関の組織としては、片手落ちの感がある。図書館の持つ収集・整理・蓄積・提供の機能を利用して、積極的に機関の情報部門としての働きを進めるべきと考える。事業に必要な情報を整理し、利用者を待つのではなく、能動的に機関内に流通させるように位置づけたい。

機関内の、passive component でなく、active component としての役割と機能を与えて、より積極的な活動に突進すべきである。

1 1. 2 情報管理課の機能充実

事業団の情報資料に関する責任は情報管理課に課せられているのであるから、中央機構としての機能を発揮できるよう措置すべきであろう。とくに、事業団が発行する報告書について、地位と役割を強化させる。例えば、報告書の作成仕様において、報告書番号を各部で付しているが、情報管理課に登録して、統一番号を事業団として付するようになる。これは報告書の発行を事前に把握するだけでなく、その過程で情報の収集に資する目的がある。所管事項についての対外発信文書の発信権限が各部にあるのは、了解できるけれども、事業団報告書の発行権が各部にあるのは、一抹の不安が感じられる。もっとラジカルには、報告書の印刷発注を一元化して、事業団としての統一管理を図る思想も考えられるが、事業の執行、組織の運営状況からみて、はなはだ実行は困難かと思われる。

報告書の送付について、情報管理課宛の送付書のフォーマット（報告書作成管理規程昭和53年 6月 6日規程第 9号書式）は、他部とは異にすべきである。キーワードの付与、要旨の添付等、情報流通の観点からの協力を要請し、フォーマットの改正で実現できる。

11. 3 持帰り資料の収集

持帰り資料の納入フォーマットは情報流通に資するため変更すべきである。単なるリストだけでなく、キーワードや簡単な要旨を記入するように改める。この結果、持帰者の負担が増大して納入がさらに、低下するものといわれているが、公費で収集した資料の利用を高めようとする企てであるから、たとえ時間がかかっても、協力を得るよう努力すべきと考えられる。

持帰り資料の収集が完全でない懸念が持たれているが、各部各様の事情からある程度は黙認せざるを得ない場合もあろう。しかし、その一つの理由には図書室へ納付した資料の利用の面倒さが挙げられないだろうか。図書室保管資料の管理・利用が効率化、高度化すれば納入も改善されるものとみられる。

11. 4 各部図書室の連係

地理的特性から、各部局でそれなりの図書室をもち、独自に運営されているが、相互の連係について強化をはかるべきである。他の図書室の収集資料がお互いに把握できれば、入手困難な資料が多い状況では殊に重要な対策となる。図書目録が電算化、オンライン化すれば、各部の図書の本所在は容易につかめるから、事業団での全体的な利用が向上することになる。この場合、各部図書室の収集資料の目録・二次情報を総務部図書室に提出するように措置しなければならない。このためには、各部に情報資料担当者を設置するよう努める。単に資料の扱だけでなく、各部の収集情報について、また、情報の流通利用について所管活躍するようになれば、そのネットワークの形成によって、事業団は情報に関するかぎり、かなりの成果と能率を発揮できるはずである。

11. 5 総合研修所

総合研修所は新しいだけに、情報管理の設計に容易に取り組みそうであるし、また、意欲も有しているようである。しかし、場所を異にしているとしても、同じ事業団のなかで

重複した情報システムを構成する必要はないと、外部からは観察される。総合研修所の対象とする情報のローカルシステムを作成し、この情報システムと接続すれば、相互のメリットが相乗されるであろう。技術導入のローカルデータベースはそれほど大きくはならないとみられ、光ディスクの導入をすでに決定しているようであるから、分業の原理から、二次情報サービスを情報管理課が行うとして、地図・統計・写真のような画像情報を担当したら如何であろう。画像情報のようなファクト情報は後方支援の重要な対象であるし、画像情報システムは二次情報システムと切り離して運営が可能であり、ハードも別に構成することができる。この方の過去分の処理は、検索キーをどのように選択するかによって労力がかかなり変わってくるが、二次情報ほどの金額にはならない。

11.6 過去分の処理

電算化以前の分、すなわち過去分の情報処理をどのように考えるかは、対象の内容と需要の程度および必要経費によって、左右されるが、大きな金額と労力を要するので、やみくもに全部というのも賢明でない。一つは目録のみで件名標目をつける方法があるし、過去3年以上のものはカード目録だけにして、データベース化しないという決め方もある。所蔵資料の利用の仕方が、どのくらいの過去にまで遡っているかに依存する。また、持帰り資料と作成報告書とでは、需要の特性が違うと思われるが、そのへんも実際のデータなり、経験にもとづいて考えることになる。非常に重要な資料もあることなので、専門家による選別を粗く行って、数を限定するのもよい。とにかく過去分の処理はなかなかの業務である。

1 2 系統計画

1 2. 1 システム構築による成果

1. 現在の図書室システムを継続して、目録システムの機械化を図る。
2. 持帰り資料と事業団発行報告書の二次情報を作成し、データベースとして電算機による検索を可能にする。
3. 上のデータベースを利用して、新着情報案内・累積索引、地域別・事業別・従事者別・時代別などの要請される各種リストを作成し、定期的に各部・支部・付属機関に配布する。
4. 特定主題について、選択配布（SDIサービス）をおこなう。
5. データベースに通信回線でアクセス可能なところは、オンラインで検索し、蓄積した事業団情報を得ることができる。その他は図書室で代行検索し、結果を郵送する。
6. 情報検索の結果にもとづき、原情報を必要とするときは、図書室で複写し、いずれはファクシミリで電送することができる。当分は郵送であるが。
7. 地図・統計・写真をはじめ画像（イメージ）の電子化を図り、蓄積した画像は随時、そして将来は遠隔地からの要求にこたえて、該当する情報のコピーを電送する。当分は郵送による。
8. 図書室の閲覧貸出業務はオフィスコンピューターによる機械化を行い、省力化と目録検索の効率化を図る。

12.2 措置

1. 電算機は大型電算機を使用することとし、このシステムに必要なのは、漢字端末数台・ディスク・閲覧貸出用機器・光ディスク装置などである
2. 汎用検索プログラムはORIONが使用可能なので、追加するのはアプリケーションプログラムと希望出力に対する出力プログラムである。
3. 予算は実施する範囲によって大幅なレンジをもっている。ここに示す設計のすべてを実施に移す場合は、経常費として毎年2千4百万円、初期投資約3千万円が想定され、人員は7名である。(5年計画の場合)
4. 情報流通を円滑に進めるためには、若干の運営上の変更が必要である。組織規程上の改正は不要と思われる。
5. 一過性の電算機ソフト作成はもちろんのこと、情報システム運営の定常業務は、専門性の強いもの、補助業務的なもの双方とも、外注処理した方が、政府関係法人として実現性と管理上に多くの利点がある。

データ要素一覧

注) ○—○は対になってリビータブル

| フィールド ブロック | フィールド 識別子 | フィールド名 | サブフィールド 識別文字 | リビ ータ ブル | 文字コード | | サブフィールド名 | 注 |
|--------------------|--------------|---------------------------|-----------------|----------------|-------|-----------|------------------------------------|----------------------------|
| | | | | | 英数字 | 漢字 | | |
| 識別 ブロック | 001 | レコード識別番号 | | | ○ | | レコードコントロール番号 | (8桁) |
| | 010 | 国際標準図書番号 | A | ○ | ○ | | ISBN | (13桁) |
| | 020 | 全国書誌番号 | A | | ○ | | 国名コード | ISO国名コード(2桁) (ISO 3166) |
| コード 化情報 ブロック | 100 | 一般的処理データ (固定フィールド 35桁) | A | | ○ | | 全国書誌番号(JP番号) | (8桁) |
| | | | | | ○ | | ファイルに入れた日付 | 西暦年月日(8桁) |
| | | | | | ○ | | 予備 | 空白(1桁) |
| | | | | | ○ | | 刊行年 | 西暦年, 不明の時空白 (4桁) |
| | | | | | ○ | | 予備 | 空白(4桁) |
| | | | | ○ | | 対象利用者コード | C=児童書, D=試験 もの, それ以外は空白 (3桁) | |
| | | | | ○ | | 官庁刊行物コード | H, それ以外は空白(1桁) | |
| | | | | ○ | | 改変レコードコード | 0=ゲータなし 1=ゲータあり(1桁) | |

| フィールド ブロック | フィールド 識別子 | フィールド名 | サブフィールド 識別文字 | 文字モード | | サブフィールド名 | 注 |
|---------------|-----------------|--------------------|-----------------|-----------------|-------------|----------------|----------------|
| | | | | リブ ビル データ | 英 数字 | | |
| コード化情報ブロック | 101 | 著作の言語 (翻訳ものに適用) | A C | | ○ ○ ○ | 目録用言語コード | LCの言語コード(3桁) |
| | | | | | | 子備 | 空白(1桁) |
| | | | | | ○ | キャラクター・セット | 12: JIS-C6226 |
| | | | | | ○ | 子備 | 13: EBCDIC(4桁) |
| | | | | | ○ | テキストの言語 | LCの言語コード(3桁) |
| | | | | | ○ | 原文の言語 | LCの言語コード(3桁) |
| 記述ブロック | 251 } 259 | 書名と著者に関する事項 | A | | ○ | 書名 | |
| | | | B | | ○ | 副書名 | |
| | | | D | | ○ | 巻次, 回数, 年次等 | |
| | | | F | ○ | ○ | 著者表示 | |
| | | | W | | ○ | 資料種別表示 | |
| 265 | | 版に関する事項 | A | | ○ | 版表示 | |
| 270 | | 出版に関する事項 | A | | ○ | 出版地 | 西暦4桁, 月はAに続く |
| | | | B | | ○ | 出版者 | |
| | | | D | | ○ | 出版年月 | |
| 275 | | 形態に関する事項 | A D | | ○ ○ | ページ又は冊数 大きさ | |

| フィールド ブロック | フィールド 識別子 | フィールド名 | サブフィールド 識別文字 | | 文字モード | | 注 |
|------------------------|--------------------------|-------------------------|-----------------|-------------|--------|------------------|-------------|
| | | | リ ビ タ | 英 数 字 | 漢 字 | 漢 字 | |
| 記 述 ブ ロ ック | 280 | 取書名に関する事項 | A | | | | 取書名 |
| | | | B | | | | 取書番号 |
| | | | D | | | | 副取書名 |
| | | | F | | | | 副取書番号 |
| | 291 } | 多巻もの各巻の書名と 著者に関する事項 | A | | | | 書名 |
| | | | B | | | | 副書名 |
| | | | D | | | | 巻次, 回数, 年次等 |
| | | | F | | | | 著者表示 |
| | 350 354 360 377 | 注記に関する事項 同 同 同 | A | | | | 一般注記 |
| | | | A | | | | 翻訳書の原書名 |
| | | | A | | | | 表丁 |
| | | | B | | | | 定価 |
| 551 } | 書名の読み | A | | | | カタカナ形 | |
| | | X | | | | ローマ字形 | |
| | | B | | | | 漢字形(所在フィールドの識別子) | |
| | | D | | | | 巻次の読み | |

| フィールド ブロック | フィールド 識別子 | フィールド名 | サブフィールド 識別文字 | リ ピ ビ ー タ | 文字モード | | サブフィールド名 | 注 |
|--|-----------------|-------------------|------------------|-----------------------|-------------|--------|---|-----|
| | | | | | 英 数 字 | 漢 字 | | |
| ア ク セ ス ・ ポ イ ン ト ・ ブ ロ ッ ク | 580 | 取扱名の読み | A X B D | ○ ○ ○ ○ | | | カタカナ形 ローマ字形 漢字形(所在フィールドの識別子) 取扱い番号 | 訓令式 |
| | 591 } 599 | 多巻ものの各巻の巻名の 読み | A X B D | ○ ○ ○ ○ | | | カタカナ形 ローマ字形 漢字形(所在フィールドの識別子) 巻次の読み | 訓令式 |
| | 650 | 個人件名 | A X B | ○ ○ ○ | | | カタカナ形 ローマ字形 漢字 | 訓令式 |
| | 658 | 一般件名 | A X B | ○ ○ ○ | | | カタカナ形 ローマ字形 漢字 | 訓令式 |
| | 677 685 | NDC NDL分類 | A A X | ○ ○ ○ | | | 分類記号 分類記号(カナ付) 分類記号(ローマ字付) | 訓令式 |

| フィールド ブロック | フィールド 識別子 | フィールド名 | サブフィールド 識別文字 | 文字モード | | サブフィールド名 | 注 |
|----------------|--------------|---------------|-----------------|-------------|-------------|-----------------------|-----|
| | | | | 英数字 | 漢字 | | |
| アクセス・ポイント・ブロック | 751 } | 著者名の読み | A X B | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | カタカナ形 ローマ字形 漢字形 | 訓令式 |
| | 759 | | | | | | |
| アクセス・ポイント・ブロック | 791 } | 多巻もの各巻の著者名の読み | A X B | ○ ○ ○ | ○ ○ ○ | カタカナ形 ローマ字形 漢字形 | 訓令式 |
| | 799 | | | | | | |
| ユーザ・ブロック | 905 | N D Lの請求記号 | A | | ○ | 請求記号 | |

Ⅱ .センターファイリング・システム の導入等に係る基礎概念設計

センターファイリング・システムの
導入等に係る基礎概念設計

| | |
|---------------------|----|
| 1. 本システムの基本的性格 | 1 |
| 1. 1 システムの基本的目的 | 1 |
| 1. 2 システムの成功の条件 | 2 |
| 2. システムの概念 | 2 |
| 2. 1 システムの一般特性と組織形成 | 2 |
| 2. 2 各サブシステムの機能 | 3 |
| 2. 2. 1 発生・収集サブシステム | |
| 2. 2. 2 流通・蓄積サブシステム | |
| 2. 2. 3 提供サブシステム | |
| 2. 3 システムの運用と維持 | 5 |
| 2. 4 次期システムとの接点 | 6 |
| 2. 5 コストの要素 | 7 |
| 3. 関係するハードウェア | 8 |
| 3. 1 原稿作成段階 | 8 |
| 3. 2 資料化段階 | 9 |
| 3. 3 蓄積段階 | 9 |
| 4. システム第1案 | 13 |
| 4. 1 システムの全体像 | 13 |
| 4. 2 一次資料 | 13 |
| 4. 2. 1 蓄積対象資料の量 | |
| 4. 2. 2 一次資料の作成 | |
| 4. 2. 3 一次資料の保管 | |
| 4. 3 二次資料 | 15 |
| 4. 3. 1 分類法 | |
| 4. 3. 2 主題別目録 | |
| 4. 3. 3 その他の目録 | |
| 4. 3. 4 インデクシング | |
| 4. 3. 5 検索の手順 | |
| 5. システム第2案 | 23 |

| | |
|---------------------|----|
| 5. 1 システムの全体像 | 23 |
| 5. 2 一次資料 | 23 |
| 5. 3 二次資料 (目録) | 23 |
| 5. 3. 1 目録の種類 | |
| 5. 3. 2 主題によるKWIC索引 | |
| 5. 3. 3 その他の索引 | |
| 5. 3. 4 インデクシング | |
| 5. 3. 5 検索方法 | |
| 6. システム第3案 | 29 |
| 6. 1 システムの全体像 | 29 |
| 6. 2 一次資料 | 30 |
| 6. 3 二次資料 | 30 |
| 6. 4 検索の方法とDBMS | 31 |
| 6. 5 検索の実施 | 33 |
| 7. 提案の検討と将来問題 | 33 |
| 7. 1 各案の比較 | 33 |
| 7. 2 今後の対策 | 35 |
| 7. 2. 1 今後の拡張への配慮 | |
| 7. 2. 2 地域的拡大への配慮 | |
| 8. 付録 | 36 |

1. システムの基本的性格

1. 1 システムの基本的問題

センターファイリング（以下CFと略す）は資料集中管理ともいわれ、ファイリングセンターと普通よばれるところに発生後の資料を集め、保管し、必要とする者に提供・閲覧あるいは、複写提供を行う機能である。もしこの資料が普通いう「文書」であれば、文書集中管理ともよばれる。そして集中保管所はセントラル・ファイルということが多い。

ここでは日本流にいう「文書」よりは、プロジェクト化した業務において、発生する報告書、覚書き、検討資料、メモ、来信、発信等を、プロジェクト完了後に担当部課より引継ぎ、後の参照のために整理・保管する業務のことと理解して話を進める。

従来この種の資料はプロジェクト担当の部課等の組織が、完了後も保管することが多かったが、この方法には次のような得失がある。

プロジェクト進行中には担当部課に各種の資料が集まり、業務推進のためにその部課は責任を持って資料の取扱・管理に当るであろうから、ここが資料についての中心となることが当然である。ただ業務がプロジェクト形式で行われるときには、各方面の人の臨時的離合集散があるため、資料の一部は参加者の元来の所属組織にも分散しているであろう。

業務の終了後は、旧担当部課には求心力がなくなるので、終了時にはよほど気を付けないと資料が分散してしまう。もちろん業務としての報告書等は残るが原資料は分散してしまいがちである。担当部課も次の仕事に追われて資料の整理には熱意を失う。従ってプロジェクトに参加した者が後に他の業務で必要を感じて、旧プロジェクトの資料を、旧プロジェクトの担当部課に参照したいと要求しても、整理不完全なために速かに入手できない。一度これを経験すると、プロジェクト参加者は資料の提出を渋りがちになり、資料はますます残らなくなり、以後悪循環を繰返す。

一方、資料集中管理が完成すると、1) 旧担当課は保管の責任から解放され、2) 旧参加者も必要に応じ参照可能となり、3) 更に旧プロジェクト関係者以外であっても、気軽に参照できるようになる。この成功のためには、集中管理センターの優れたサービスが絶対必要な条件であり、具体的には

- ①許された範囲内の誰もが、いつでも参照を要求すれば、その要求がかなえられる。
- ②各種広い観点から資料を速かに探し出せる。
- ③利用者の要求を理解し、または利用者の指導し、協力するサービスが存在することが大切である。

さらにこのシステムが存在すると、各プロジェクトの成功あるいは失敗の教訓をまとめ検討し、高次の業務遂行のためのノウハウを作り上げ組織としての能力向上が期待できる。

これにより、副次的効果として、各部課の所蔵品の量がへり、従って床面積あるいは什器の節約が図れる。

1. 2 システム成功の条件

センターファイリングは上に述べたような基本的性格を持つので、この制度が成功するための条件を以下のように引出すことができる。

センター側においては

- ①各資料の属性を十分につかんでいること、
- ②広く利用者の持つ各種の観点に対応できること、
- ③集中すれば資料の量は多くなるので、この量をこなせる技術を十分に持っていること、
- ④利用者の希望を速かに満しうるだけの設備投資がいる、
- ⑤センター職員は資料の内容を理解できる能力を持っていること、
これはセンター全職員がそのような能力を持ちうれば、これに越したことはないが、センター職員の一部にそのような人がいて、必要があれば利用者の前に現われるようになっていなければならない、という意味である。
- ⑥利用者へ利用のための訓練を行えるような機会を与えられていること。

逆に組織のトップとしては、次の配慮をする必要がある。

- ①上記④に述べたような投資が必要になる。ただし一時にすべてを行う必要はない。むしろ段階的に時間をかけて機能を拡充することが望ましい。
- ②適切な人員配置が必要である。ことにセンターの長には、事業団の主要業務に経験があり、利用者の要求を十分に理解できる人であり、そのうえでセンターの業務に積極的な人を選ぶ必要がある。
- ③組織内の実務者から集中化に対する不平が初期には出るが、それを説得し終える気構えを持つこと。

以上述べたような各方面の注意と配慮のもとに5年間程度の忍耐をすれば、この制度は組織内に定着するであろう。

2. システムの概念

2. 1 システムの一般特性と組織形成

システムという用語は今や軽がるしく使われてすぎているかのようである。またシステムとは何かとなると、人によりいろいろ定義もある。しかし最低共通して言えることは、以下の3条件であろう。

- ①システムは機能の違うサブシステムから成っている。
- ②それにもかかわらず、一つのシステムは全システムを通じて、一つの目的のために動いている。
- ③そして（上のことが成立するためには）各サブシステム間に何等かのコミュニケーションが盛んに行われている。

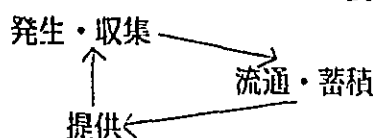
この条件は、言葉をかえれば、いろいろに表現できる。各サブシステムは機能が違おうと

いて、各個バラバラなことをすれば、それらサブシステムの連合であるシステムは、共通の目的を果たすことができず、崩壊してしまう。あるいはまた、一つのシステムの目的を実現するサブシステムのうち何かが欠けていれば完全なシステムは構成できない。さらに、一度システムが完成しても、その後各サブシステム間のコミュニケーションが失なわれればシステムは看板だけ残り実質はなくなる。

さて、ここでわれわれが考えてるのは情報システムである。これが一貫したシステムとして動いていくためには、次の三つのサブシステムが常に必要である。

- ①情報の発生・収集サブシステム
- ②情報の流通・蓄積サブシステム
- ③情報の（ユーザーへの）提供サブシステム

そして、ユーザーは、受け入れた情報をもとにして、自分たちの活動を営むから、その結果何か情報が生まれるので①に戻る。すなわちこの三要素は環状になっている。



従ってまず以下において、われわれの扱う資料のセンター・ファイリングという情報システムの3サブシステムの機能を検討する。

2. 2 各サブシステムの機能

2. 2. 1 発生・収集サブシステム

ある一つの活動の結果として情報が発生する。しかしその情報は、何等かの媒体にのせないとい具体的で処理可能なものにならない。

それには人間の頭の中に浮んだ考えを、文字あるいは図形あるいは数字等によって書き表した資料（報告、文書、メモ、磁気記録等）にする仕事がある（資料作成マニュアル参照）。また組織内の各部署や外部機関から（物の形態になった）情報を集めることもある。これらを取りまとめるものが発生・収集サブシステムである。

このサブシステムでの主な問題点は

①関係資料の完全収集の方法

組織内資料は自動的にもれなく入手するような事務組織の確立

②収集するものが次の蓄積サブシステムの仕様に適合するように形態等を制度化する

③収集のおくれの克服

④他機関発生資料の調査に基く、入手措置の確立。それら資料について資料シートの作成

2. 2. 2 流通・蓄積サブシステム

発生・収集サブシステムから受入れた資料の内部流通のためのツールと蓄積のための措置を講ずる。この二つは一体化して以下のような過程が必要である。

a. 蓄積のための情報処理（二次情報作成）

a1 インデクシング（分類を含む）

a2 目録作成

利用するハードウェアにより以下のように分けられる。

- ① カード索引の作成
- ② 目録の機械化作成
- ③ 目録データベースの作成

a3 目録の維持

新規分の追加（更新）作業

a4 目録の利用

b. 受入資料（一次情報）の保管のための処置

収蔵場所の整備

数量増大時の処置、収蔵場所の分割、廃棄、媒体の変換（マイクロフォーム等）

参照3. 3節

c. 検索および取出し

二次資料を検索して該当資料を見出し、これにより一次資料を取り出す処置

参照3. 3節

この段階は選択するハードウェアによって、外見は大きく変わる。検索と取り出しは、なるべく一体化することが望ましい。

d. 一次資料返却後の処置

返却を行う場合に限る。

2. 2. 3 提供サブシステム

資料システムにおける提供とは、次の一連の操作の一部である。

利用者の要求→二次資料の検索→一次資料の提供→返却

もちろん利用者が既に一次資料を適確に知っている場合には、特定一次資料を指定してくるから、これを取り出せばよい。

また利用者が資料について十分な知識あるいは経験を持っていないときには、このサブシステムの係員に相談を持ちかけるであろう。この場合この係員は利用者との会話によって、利用者の要求を確かめ（要求の本音をさぐり出し）た後システムを使って要求に最も近い資料を捜し出して利用者に引渡す。この仕事を通常レファレンス・サービスあるいは参考業務などという。これも提供サブシステム中の大切な一部である。

この提供業務の実施法も消極的、積極的といろいろある。ユーザーのセルフサービスは

消極的のほうに入れて考える。以下のようなやり方がある。

- a ① ユーザーを放置し、ユーザーがかき回していった後始末は確実に行う（セルフサービス方式）。
- a ② システムの使い方をよく教え、実施は利用者にまかす。
- a ③ 方法は教えず、要求を聞いて係員の側ですべて操作する。

また提供時の態度として

- b ① 少しでも関係ありと思われるものは、すべて提供して終る。あとは利用者自身の判断による。
- b ② 利用者の意見を聞きながら、精選されたものを提供する。
これは念入りな選択のコスト・労力はすべて提供サブシステムの負担となる。
- b ③ 利用者が積極的かつ熱心になればなるほど提供側も入念かつ熱心に行う。
逆に利用者側の観点からすると、利用者には次のようなタイプがある。
- c ① 頼んだことだけを正確にしてくれればよい。
これは慣れたユーザーの場合である。
- c ② 親切にされるのは有難いが、該当する資料を沢山に渡され、その処理に利用者は多大の時間を費して、迷惑にも感じる（b ①に対応する）。
これは慣れない、あまい利用者の場合である。
- c ③ なるべく係員との接触をへらしたがる利用者がある。
これはシステムに対し恐怖感を持つ利用者である。

提供業務は対人要素の最も濃いサブシステムであるので、このような3種類のうちそれぞれどんな態度をとるのがよいかは、システム設計のうえで無視できない要素である。

2.3 システムの運用と維持

今ここで考えるような情報システムに限らず、一般にシステムを開設するまでは、たいてい進捗する。そのあとの運用の段階になると、あまり注意を払わず、担当者まかせで、結果のチェックも丁寧にはしないことになりがちである。

しかしシステムの設計の良し悪しは、この運用段階において判明する。設計者にとって予想外の事態が起きたとき、手の打ちようがないとか、小事故ではあるが頻繁に起るとなると、やはり問題でなる。

ことにシステムが余りにも（一見したところ）見事にできていると、手直しあるいは裁量の余地がなく、完全なダウン（運転停止）に陥る。これはむしろ悪い設計である。機械の設計において、いわゆる必要な「遊び」を残しておくのは、このためである。

また次への拡張のための手がかりを残しておくことも必要である（次節参照）。

一般に運用においては、システムの稼働状態をチェックするため、最低の状況監視を行う。これは成果として出てくる量（アウトプット）の測定や、消費された資源（マン・マシン・システムでは職員の稼働時間等の人間的要素を含む）の測定がこれに当るが、余り

細かい測定を行うことになると測定のためのコストが無視できなくなる。そこで設計者から最低の監視量の連絡を受けておき、実情によって多少の改変を運用側で行う。

通常推奨されるのは、比較的少数個の監視測定項目を自動的に記録し、その量に管理限界を設けて、この限界を越えた場合にだけ対策を講ずる方法（例外管理）である。

また定期点検の方法を確立し（その点検項目は初期には設計者との協議によってきまる）、定期期間における運用を評価し、必要なら保守上の策を施すことが予防保守の手法である。この結果は簡単な数値にまとめ、意見を添えて経営層に報告しなければならない。一方経営層は、例外管理の思想に基づいて、必要な場合には判断を下すことが肝要であろう。

2. 4 次期システムとの接点

従来はよいシステムが一旦完成すれば、以後は無限にその運用が続くことを以て良しとする思想が多かった。しかし変化が急速に起る現代にあっては、環境の変化により、システム設計時の条件（与件）を越えるため（あるいは越えそうだという予見に応じて）、システムの変更がありうることを予想しておく必要がある。

その場合に、旧システム的一切を御破算にして新システムを作ることは、莫大な投資が必要になる。そのため一つのシステムを作るときには、ある年数たったらこの方向に拡張して新システムへ変更する、ということを予想しておき、なるべく基本的な部分は変更なしで新システムへ引継げるように考えなければならない。このため設計者には長期傾向（トレンド）を理解している必要があるし、経営者層はどうなったらシステム変更（更新）が必要になるかを理解していなければならない。

普通次期システムが必要になるのは以下のような場合である。

① 業務規模の拡大

システムは通常近未来の作業量を予想し、その時期までの期間におけるコスト対効果を最良にするように設計する。この予想値を越えればシステムは能率が悪くなるか、最悪の場合には全く対応できなくなる。

② 機能の向上

量の増加に基く救済策では十分な機能が発揮できなくなるか、外部における装置や手法の発展に伴い新技術による高い機能のシステムが登場したため新システムに切替えた方が有利になる。

③ 目標の変更

業務主体の持っていた目標が、何等かの理由により変り、現機能の一部が不要となったり、新機能が必要となった場合。システムとしては与件の変更であるから新システムが必要となる。

④ コストのかかり過ぎ

現システムの維持のコストが逐次増加してゆくか、主体組織が機能をへらしてもコストの削減を要求する場合。（2. 5参照）

以上いずれかが、単独で起こるより、多くの場合、複数の項目が組合わさって起る。システムの設計、あるいは、採用に当っては、これらの条件を十分に考慮してゆかなければ、悔いを残すことになる。

2. 5 コストの要素

コストの問題が重要であることは論をまたないし、それを理想的な状況の下で論ずることもたやすい。しかし、それらは余り役に立たない。なぜならば経営主体のおかれている環境や内部事情が大きく物をいうので、外面的なコスト論議は余り役に立たない。

例えば、人件費と物件費の配分をどう考えるかは、置かれている環境によって甚しく異なる。また初期投資と年度支出との比重をどう考えるかも機関により時期により異なる。また人員の稼働が相当必要であっても、人件費は極小にし、依託によりこれを物件費で支出することもある。

従ってそのような各種の方法のどれがよいかと論ずるよりは、ここでは、どんな可能性があるかを指摘することに止める。

ことに情報システムにおいては、特にコンピュータに関係する経費について、従来考えられなかったような可能性が最近は生まれてきたので、可能な手段を広く考えることが必要だと考える。

以下にそのような点を、ごく簡単に比較により指摘する。図2. 1はこれを示す。

第1のケースは従来普通に行われてきた方法で、施設の一切を自家投資で賄い、内部の職員の手で運用する方法である。

第2のケースは施設については上と同じであるが、運用は主として外部機関に運用を依託し、自家職員数を圧縮する方法である。

第3のケースは、施設そのものを自家内に設けず、外部の施設を利用し（恐らく共用）する方法で、これはオンライン技術の進歩と新しい情報業の発生により可能となるものである。

コンピュータ能力を利用するに当ってオンライン・サービスを提供する会社に全データを預ける（勿論秘密保持が前提となり、これは技術的に現在可能でファイル容量を貸出す手法による）プライベートファイル利用とも呼ばれる。

自己組織内には端末機をおき、通信回線に接続するだけであり、端末機もレンタルですむ。

第4のケースは、上の第3のケースと施設の面では同じであるが、運用の業務の実行も外部依託（人員派遣の形式をとる）とする。この場合運用依託先とコンピュータ能力の提供先とは別であっても、同じであってもよい。この方法では事実上初期投資はゼロに近い。運用依託発注は、米国政府機関では広く行なわれている。コンピュータ能力の提供は米国は勿論、日本でもようやく開始されたところである。

| ケース | 手段 | コスト | | |
|-----|-------------------|-----|------|------|
| | | 人件費 | 物件費 | |
| | | | 初期投資 | 年間経費 |
| 1 | 自家用施設 +自家用運用 | 大 | 大 | 小 |
| 2 | 自家用施設 +運用依託 | 小 | 大 | 中 |
| 3 | 外部施設利用 +自家運用 | 中小 | 大 | 大 |
| 4 | 外部施設利用 +運用施設依託 | 小 | 極小 | 大 |

図2.1 各種運用形態によるコスト

3. 関係するハードウェア

この章では、2章に説明した諸機能を実現するために使われている、あるいは使われ始めたハードウェアについて検討し、その性能の限界を心得ておく。これは次に行うシステム設計のより処となるものである。

3.1 原稿作成段階

日本では原稿作成段階に、とり立てていほどのハードウェア（装置）がいるとは従来考えられていない。しかし欧米ではそうではない。すくなくとも原稿と名の付くものはタイプライタで印書されているものを指すことは常識であり、従ってタイプライタおよび類似器具がいろいろある。

従って欧米では、

①タイプライタ……その拡張としてのワードプロセッサ

②口述機械 ……これは当然タイプライタと組合わせて使う。将来はこれが、いわゆる音声タイプライタに移行してゆくであろう。

を問題とする。現にそれらについて、いろいろな新型が現れつつある。

一方日本ではタイプライタ（邦文）を自ら使う著者は考えられなかった。ところが「漢字ワープロ」が現われてから事情が変わりつつある。つまり、いろいろな程度で「ワープロ」を使う著者がふえてきたことである。

これはワープロが軽印刷と結びつき易いがためである。すなわち誤りの全くない原稿を著者はつくるのであるが、同時にこれがオフセット印刷の版下になり、直接印刷に使える。

従って印刷における植字工程（軽印刷では邦文タイプのキーボード操作工程）が省略できるので、資料の製作コストにかなりの低下が生ずる。現にそのような本の製作は、商業出版物ではまだ大きな影響は出ていないが、専門家用の資料、組織内限りの印刷物にはかなりの適用がみられる。

またこれと拡大縮写機能付きの複写機を併用すると、品質が活版印刷にかなり近い体裁の資料がつけれる。

一方漢字ワープロを使わない手書き原稿においても、原稿の整理段階においては、B4判に400字を盛る普通の原稿用紙よりは、B5判に400字（25字×16字）を収容する横ながの原稿用紙を作り、記入した2枚の原稿用紙を縦に2枚ならべ（B4の大きさとなる）、これを縮写つき複写機でA4判とすると、1ページに完成印刷物の体裁に近い、A4判に800はいり、その後の作業がしやすくなる。（図3.1 参照）

また簡易印刷においては図版の下絵作成、数表の作成などにも複写機の諸機能を活用すると意外に広範囲な応用が可能である。例えば開発業務においては地図を利用することが多いが、入手した本格的地図の上に色つきの透明フィルタをおき、複写機でとると淡い色になるようにして、中間地図を作り（拡大・縮写も併用）、その上に黒色インキで、プロジェクトに特有な事項を記入すると、トレースなしで所望の地図を作ることができる。

3.2 資料化段階

資料化とは印刷・造本の一般化した名称である。

現在印刷と複写との境界は全く不明瞭になったため、資料作成プロセスは所要部数によって、従来からの活版印刷、軽印刷、静電複写的手法の応用、あるいはコンピュータ・プリンタの応用、電算写植と多様な方法のうちから選択する。このため印刷・製本という旧来の用語では割り切れなくなってきた。

更に電子化が進んできて、印刷物は全くなく、ディスク等に収容された信号をオンラインで端末機のディスプレイ上で「読む」ことになると、これも資料の一形態であって、印刷、製本などどこにも存在しない。

3.3 蓄積段階

a. 一次資料 一次資料は図書、単行報告書、覚書（紙片または少数ページ数の綴じ物）等のほか、マイクロフォーム（マイクロフィルムあるいはマイクロフィッシュ）や大版の地図・図面等であり、これを事項別に一つの処に配列することは必ずしもできない。従って資料形態別にし、同一形態のものは分類順に配列する。

図書館の書庫、ことに開架式の場合には、利用者が自由に書籍を手にとってパラパラと見ることが可能であるが、図書以外での形態では手に取ることはできても簡単に内容は見られないことが多い。従って図書の場合の配架とは基本的に状態が異なる。従って検索は二次資料（カード目録をも含む）で行い、この二次資料には表題の他に、内容を示す抄録、短い注釈等をできる限り含めておかなければならない（カードの場合でも）。

2.2 資料原稿の構成の手法

この節で述べることは、著者の頭の中で行なう諸過程の分析である。

2.2.1 資料の構成(章立て)

資料はすべて章節に分けて構成する。これを通常「章^立て」と呼ぶ。出来上がった資料を見れば、それは単に「目次」にすぎない。しかしその目次は、どのようにして決めたのか、と問うと、多くの著者はそこに大きな努力を払ったことを認めるであろう。一つの資料につき、章^立てには、いくつかの代案があるはずである。

事実、著者はああしよう、こうしよう、と、かなり迷ったあげく、章^立てを決めるのである。そして執筆途中で章^立てを変更することも多い。このため予め章^立てをきめるのは無駄だ、という人もある。しかし随想や備忘録を著くのではなく、一つのまとまった資料を執筆するのに、予め章^立てをせざるに着手するのは、極めて危険であ

2-3

り、頭の甲だけで思想を展開することは、抽象的思考に特に優れた人を除いて、普通の人間には能率の悪いやり方である。

とくに乃で章^立てをして、紙を広げれば、直ちに記入できるわけではない。通常、頭の中で、かなり長い間

以下各資料の蓄積を形態別に記す。

図書および製本済雑誌は書架上で自立性があるので、図書室における流儀にならない書架を利用すればよい。未製本雑誌は継続的に入手しているものは製本時期まで書架上に水平に積むが、図書館の常識とは反対に、利用頻度の高いものほど製本は遅らせるべきである。こうすると散逸の危険性は増すが、複数者による同一タイトルの各号を併行利用が可能となり、利用効率が高まる。

雑誌でも継続入手品ではなく、その中のある記事が有用なため、資料として入手したものはパンフレット等と同様に扱う。雑誌単独号は薄物の資料と同じく、整理箱に入れて垂直に書架上におくか、パーチカルファイル中で保管するかする。前者の場合には半分閉じたボール紙またはプラスチックの箱（パンフレットホルダともいう）（図3. 2）に入れるのがよい。

マイクロフォームはいろいろの保管形態がある。

ある程度長いフィルムは缶に入れ引出し中に保管するか、数コマ単位に切り専用ホルダー（冊子型）に入れる。マイクロフィッシュは最も簡単で、保護用の透明袋に入れ、直接引出し中にカードと同じく縦に収める。

大型の地図・図面は適当な大きさに折りたたみ、まち（ひだ）付きの大型封筒に入れて架上で立てておく。

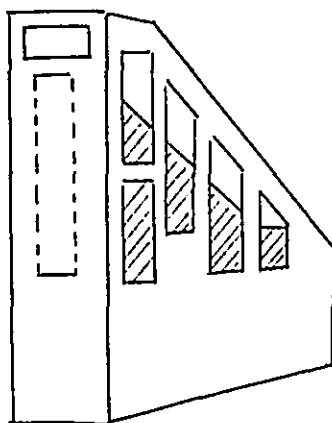


図3. 2プラスチック製の半開箱

b. 二次資料 一次資料にユーザーが近付き直接手にとって見られるときはよいが、一般に各種の形態の資料を扱う場合には、目録類によって希望に適合する一次資料の存在を知る方法が適切である。このような「目録」は「二次資料」といい、その形態もカード目録、冊子体目録、磁気記憶に収容したもの等、各種さまざまである。

ここでは①カード目録、②コンピュータで打出すプリントアウト目録、③オンラインでアクセスできるデータベース化した目録を主要なものとして考察する。これらの各形態はそれぞれ検索の便とコストの点で差があり、対象とする情報の数（結局、資料の数と性格によりきまる）に応じて、取捨選択しなければならない。

カード目録は最も古典的な方法であるが、コンピュータ化する場合にも、カード内に記載する内容はほぼ共通である。ただ物としての形が磁気記憶になり、かつ配列方法がコンピュータに特有なランダムアクセス・メモリーになる点に違いがある。

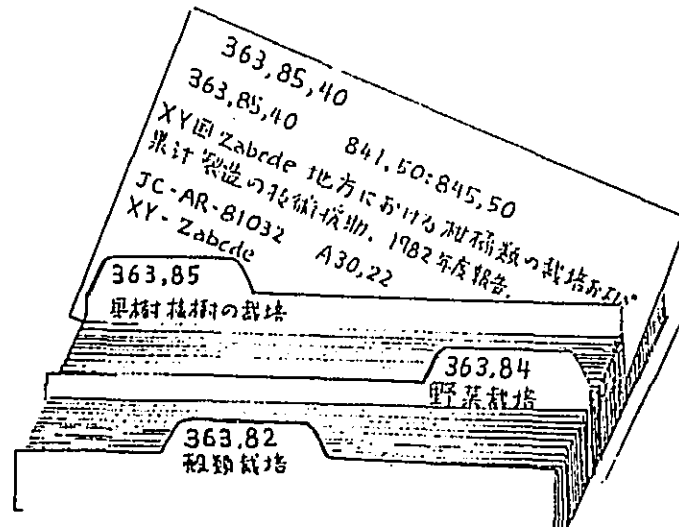


図3.3 カード目録の例

図3.3に示すものは典型的なカード目録の例である。ここではある分類法を利用したケースであり、図示のカードが363,85果樹、核樹の栽培という項目の下位にはいつていることを示す。しかしこの例のカードは、同時に841,50「果物、野菜、ナッツの処理」、845,50「醗酵なしの(非アルコール性)飲料の製造技術」という項目の下にもはいつている。このようなカードを副出カードという。

どれだけの項目の下に副出をすればよいかは、資料に与えられた分類記号(標数)から自動的に判定できる。複雑かつ詳細な内容を持つ資料については、分類自身が組合わせから成る構造をもち、カードは、その構造に応じて副出する仕方をとることが必要である(4.3.1 参照)。

4. システム第1案

4. 1 システムの全体像

この第1案は、かなり控え目の案で、いわばハードウェアとしては従来からありきたりのものだけで、(コンピュータを含め)高価な機械は使わずとも、まずまず実用的といえる所要時間で必要な操作のできることを目指す。

資料はすべて人力で内容の分析(主題分析)を行い、その結果得られた資料の特性をカードに記載する。ただそのカードの取扱いについては工夫がこらしてある。

検索はこの目的のために用意した分類法によって行うが、分類法をいちいち記憶せずとも、自然語の単語から分類項目が引けるような索引(相関索引)を用意しておく。

資料原本(一次資料)は全数保管するが、約20年経過したもので利用頻度の小さなものはマイクロフィッシュに移し換え、書庫の面積のいたずらな拡大を防ぐ。

新規発生の一次資料は月単位で処理し、カード目録はその性質上追加更新が容易であるから、この点は問題ない。ただカード目録は運搬できないから、利用者はいちいち資料室に出むくか、電話で問い合わせをするしか利用の方法がない。いわんや遠隔の地からの利用は思うにまかせない。

目録の利用は利用者が自ら行ってもよいし、係員に依頼してもよい。

原本は閲覧は自由だが、貸出しはせず、所要分を複写して利用者に渡す方法を取る。利用者は貸出しをしても多くの場合自分の手で複写を取るのが現状であることを考えた上での処置である。

4. 2 一次資料

4. 2. 1 蓄積対象資料の量

蓄積対象の大部分は報告類で、事業団自身の作製量は年間2,000件程度とする。過去20年間にゼロからここまで増えてきたのだから、始点(第1年度)と終点(現在)の量を固定し、中間を成長曲線をつなぎ、現在までの発生総量を推定すると14,500件となる。今後10年間に、毎年10%の成長率を仮定すると、今後10年経過後の総量は46,400件となる。

報告書以外の資料も逐次このシステムに収容してゆくであろうが、今後5年間は報告書等を主体とし6年目ないし10年目には他の性質の資料を加えてゆき10年後の総量を50,000件とする(表4.1参照)。

表4.1 対象資料の量

| 年 | 現在 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 報告類 | 2,000 | 2,200 | 2,420 | 2,660 | 2,930 | 3,220 | 3,550 |
| 他資料 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 400 | 3,550 |
| 累積量 (各年始め) | 14,500 | 16,500 | 18,700 | 21,120 | 23,780 | 26,710 | 30,330 |

| 年 | 8年目 | 9年目 | 10年目 | 11年目 |
|---------------|--------|--------|--------|--------|
| 報告額 | 3,910 | 4,300 | 4,730 | |
| 他資料 | 700 | 860 | 1,120 | |
| 累積量 (各年始め) | 34,380 | 38,990 | 44,150 | 50,000 |

上の量の資料全体が、その詳細な内容(主題)によって検索できるに止らず、プロジェクト名、プロジェクトの性格、年度、対象国名等によっても検索できるし、さらにこれら各種項目の組合せによっても検索できなければならない。そして問題となるのは、検索が、どのくらい速かに、どの程度の正確さで行えるのかである。もちろん投資額あるいはコストとの兼ね合いもある。

4.2.2 一次資料の作成

一次資料は所定の原稿用紙に手書きで行われ、それを従前からの軽印刷の手法で作成し刊行されるものとする。ただしその体裁についてはマニュアルが存在し、原稿作成者はそれを尊重していると仮定する。そうすると一次資料の各点ごとに所定の様式による「レポートシート」が作られており、これが一次資料の原稿に添えて提出されるものとする。

4.2.3 一次資料の保管

一次資料は、その物としての形態により保管法が変わってくる。以下資料形態別に保管法を考察する。

製本した資料 厚さ10mm以上のものは大体自立性があるので書架上に垂直に立てて配列する。

ページ数が少ない紙片形態の資料は、やや硬い封筒に入れ、封筒に簡単な表書きをして書架上に垂直におく。封筒がたくさん続く場合には、整頓をはかるため、適当な軼(ボール紙製またはプラスチック製)にに入れて、この軼を書架上に垂直に配列する。

書架上の配列には仕切り板を利用する。この仕切り板には事項別の分類記号(標数)と分類項目の略示語をつける。配列は分類記号によって行い、従って図書館でいう「移動配架法」となる。

大型の一葉物（特に独立した地図）は、水平に重ねて引出しに収容する。従って通常の資料とは「別置」になる。地図は分類上、資料形式の分類が頭にくるので、別置で困難は起こらない。

マイクロ・フォームも地図に準じて扱い、マイクロ用引出しに収容する。

4.3 二次資料

一次資料を主題その他各種の観点により引出すために目録類を使う。これらはすべて二次資料である。

4.3.1 分類法

カード目録の構成をきめるのは分類法の構造である。資料の主題は、一般の図書主題にくらべて当然詳細かつ特定（即ちspecific）であるから、通常の図書分類そのままの形では役に立たない。従って資料レベルの分類法を想定しなければならない。

一方で、事業団の保存活用資料数は当面5万を想定し、後にシステムを拡大しても、この資料数が数十万ないし百万になることは予期していない。

多分十万台のごく下だと考えるから、分類項目はこれに応じて千台（一万には到らない）でよいことになる。従って既存の資料分類法と比較してみると、国際十進分類法（UDC）の詳細版の15万よりはずっと少なく、簡略版（13,000）より選択して使う程度と考えられる。

次に主題の範囲は、一見海外協力・援助という狭い範囲と考えられようが、協力・援助業務に固有な概念はかなり詳細・特定である一方、協力・援助の内容は百般にわたるので、決して狭くない。

そこで分類項目（標数）は二つに分けて考えるとよい。

1) 協力・援助業務に固有な諸概念をかなり細かく展開したもの

例、フィージビリティ調査、プロジェクト実施上の手法等に関するもの。

2) 協力援助の対象となる項目については、広く何にでも対応できることが必要。

例、建設から始まり、多種類のインフラストラクチャ、各種の商品、医療・衛生、無形の教育訓練までに及ぶ。ただし図書分類に必ずある哲学、神学、文学等はほとんど不要であろう。

上の第1項については事業団の活動を考えて新しく作るのがよい。第2項については広域の事項をもれなく収容できるような既存の分類法から項目を選び出すか、変形活用して適切なものを作るのが適当であろう。分類法の作成は、本システムの実行が決定したら直ちに着手すべき事項である。

また本報告においては説明上実例を必要とする場合には、既存の分類法を多少加工したものを使っておく。これは説明上の便宜と了解されたい（利用した分類法はUDC、BSO、農林RECRAS用のCASTである）。

結論としてここで利用するのに適当した分類法は、組合せを活用する分析・合成法的分

類法 (analytico –synthetic classification) である。これは原理に対する名称で、特定の一分類法を指すものではない。

実例として、

「柑橘類の栽培普及及び果汁製造の開発」という協力業務の主題別分類を考える。

ここで「普及」と「開発」とは協力援助業務の種類に関係するので、主題からはずす。従って「柑橘類の栽培と果汁製造」が主題分類の対象となる。

この主題はただ1個の分類項目（あるいは分類標数）にはまともらず、複数個の分類項目の組合せからなる複合主題である。従って次の2個の概念の組合せで表わすのがよい。

1) 「柑橘類栽培」

2) 「果汁製造」（ただし果汁は当然柑橘類の果汁である）

そこで、ある分類法（ここではBSO）を搜してみると次のようになる（表4、2参照）。柑橘類栽培はちょうど363, 85, 40に該当する。ここでは、単に柑橘類の樹木ではなく、その栽培までが含まれている。次に「果汁製造」は直接見当たらないが「非アルコール性飲料の製造」と「果物、野菜、ナッツの処理」との論理積を使うと所望の結果が得られる。ここで論理積の記号としてコロンの(:)を使うと、果汁製造は

841, 50 : 845, 50

となる。

従って、問題の複合主題は

363, 85, 40 : [841, 50 : 845, 50]

とも表わせるし、また要素となる分類標数を並行して書き、

363, 85, 40

841, 50

845, 50

としてもよい。上で使ったカッコ[...] は数学におけるカッコと同じく、カッコの中にくる部分の処理（ここでは論理積を作ること）を先にすべきことを示す。

表4. 2

| | | | |
|---------|--------------|-------------|-------------------------|
| 840 | 食品と飲料の技術 | 845 | 飲料製造技術 |
| 841 | 食品の技術 | 845, 30 | 醸酵を利用する(=アルコール性)の飲料製造技術 |
| 841, 20 | 食品保存および冷凍 | , 32 | ビール製造 |
| 841, 31 | 穀類処理および穀類加工品 | , 34 | ワインとワイン製造 |
| 841, 35 | | , 37 | 蒸溜酒製造 |
| 841, 40 | 牛乳および乳製品 | 845, 50 | 醸酵なしの(非アルコール性)食品の製造技術 |
| 841, 47 | 肉類および魚肉の処理 | , 62 | コーヒー処理技術 |
| 841, 50 | 果物、野菜、ナッツの処理 | , 64 | 茶の処理技術 |
| ・ | [以下省略] | | |
| ・ | | | |
| 360 | 農業、農学 | | |
| 363 | 作物栽培 | | |
| 363, 8 | 個別の作物の栽培 | | |
| 363, 81 | 牧草栽培 | | |
| 363, 82 | 穀類栽培 | | |
| 363, 84 | 野菜栽培 | 363, 85, 30 | 熱帯果樹栽培(パイナップル、バナナ等) |
| 363, 85 | 果樹核樹栽培 | 363, 85, 40 | 柑橘樹の栽培(ミカン、レモン、オレンジ等) |
| 363, 86 | ブドウ栽培 | 363, 85, 50 | 梨果、核果の栽培(リンゴ、ナシ、モモ等) |
| 363, 88 | 花卉栽培 | 363, 85, 60 | 堅果類の栽培(ナッツ等) |
| 366 | 畜産 | 363, 85, 70 | 軟果樹の栽培 |
| ・ | [以下省略] | | |
| ・ | | | |

4.3.2 主題別目録

主題別目録は各種目録の中心となるし、前節の分類法の説明によっても判るように、量でも最大のものとなる。

一般に目録には冊子体のものと、カード利用のものに分けられる（端末機のディスプレイ上に電子的画像として出す型は第1案、第2案では考えない。第3案を参照）。冊子型は取扱いは容易であるが、新版を作らない限り更新（追加・削除）はできない、カード型はこの点の作業が容易であるが、移動性には全く欠けるので、すべての利用者が目録所在の場所に来なければ使えない。しかし目録維持の点から見れば、冊子体も作成過程ではカード作業なしではすませない。従って将来のコンピュータ化を考慮しても目録としてカードをまず第一に考慮する。

上に記したような形態の分類法を使うなら、1件の資料につき、複数のカードを作ることとは不可避である。カードを所要枚数手書きすることは、到底忍び得ない。しかし現在は静電複写機を使えば、10枚程度までのカードを作ることとは容易であり、この各葉につき、カードの配列順に直接関係する分類標数やコードをカードの最上列に書き添えるか、または複写ずみカード中の当該部分に赤線を引くなどすればよい。図4.2に示す例では、事項別目録用に3枚のカードが必要となり、カードの第1段目に記入する分類標数はそれぞれ

- 1) 363, 85, 40
- 2) 841, 50
- 3) 845, 50

となる（図4.2のa, b, c参照）。

これらのカードをカード箱にいれ、仕切りカードを適切な分類標数ごとに設ければ、前に図3.3に示したようになる。

| |
|--|
| 363,85,40 |
| 363,85,40 841,50:845,50 XY国 Zabcde 地方における柑橘類の 栽培および果汁製造の技術援助。 1982年度報告 JC-AR-81032 A30,22 XY-Zabcde |
| 841,50 |
| 363,85,40 841,50:845,50 XY国 Zabcde 地方における柑橘類の 栽培および果汁製造の技術援助。 1982年度報告 JC-AR-81032 A30,22 XY-Zabcde |
| 845,50 |
| 363,85,40 841,50:845,50 XY国 Zabcde 地方における柑橘類の 栽培および果汁製造の技術援助。 1982年度報告 JC-AR-81032 A30,22 XY-Zabcde |
| JP-JICA-A30,22 |
| XY国 Zabcde 地方における柑橘類の 栽培および果汁製造の技術援助。 1982年度報告 JC-AR-81032 A30,22 XY-Zabcde |

図4.2 カードの副出

カードはこの方法によれば1資料につき2～4枚(恐らく平均3枚程度)必要となる。従って5万件の資料に対応する15万枚のカードには、カード引出し1個に1,000枚収容し、5×5の引出しを持つカードケース5組が必要である。

4.3.3 その他の目録

a. 機関別目録

協力援助業務においては常に相手側機関と、これに相対する我方機関があるといつてよい。例外的には一方の機関を特定することができない場合がある。例えば外国の政府某機関が当該国の各種統計をまとめて出した資料があると、相手側機関はその編集発行機関であるが、我方機関は特に明記する必要はない。日本の某社が発行した図書であれば、我方機関はその出版社で、相手国名も相手側機関も不定である。しかし相手側も我方も機関名を特定できない資料はない。

従って、ひとつの資料を受入れて、基本カードを作成すれば、その中には機関名が記録してあるので、このカードを複製し、カード最上段に機関名をある規約によって略記(コードを使うこともできる)すれば、このカードが機関名目録を構成することになる(図4.2 d)参照)

機関については国籍があるので、機関名の前に国名コード(ISO3166規格による2文字コード)を用いる。ただし国連機関には国籍はないがコードUNを用いる。また多国籍の機関(ことに企業)については、本部の存在する国名を利用するが、それではうまくいかない場合には国際、あるいは多国籍を表わすコードOOを使う。

(ISO-3166コードは付録参照)

機関名は長短さまざまであるので、認めやすい省略名を使う。ただし疑義が起ることもあるので略名と正式名称の対応表は用意しておく。

機関の種別による検索を可能にするとともに、機関名の識別度を高めるため、機関の種別を表わす短いコード(Gコードと仮に呼ぶ)を、国名コードと機関名の間に挿入する。Gコードの概略については表4.3参照のこと。

例 IN-G2-Bapenas インドネシア政府機関である計画庁バペナス
US-G8-Bechtel アメリカ合衆国の建設会社ベクテル
UN-G3-FAO 国連のFAO

b. 土地別目録

協力援助業務については相手国の区別は本質的に必要であり、さらに国内の地域を明示する必要もある。国名は既に述べた国名コードを利用する。

一国を10以内くらいの地方に区分し(現地の習慣に倣う)た名称は多くの場合必要である。また土地の固有名も必要に応じて記載する。ただし地方名、固有名についてはコードは設けない。

表4.3

| Gコード | | Pコード | |
|-------|-----------|--------|-------|
| 機関の区分 | | 業務活動分類 | |
| G2 | 計画官庁 | 20 | 資金援助 |
| G3 | 実施官庁 | 30 | 技術援助 |
| G32 | 中央政府 | 30, 20 | 人員派遣 |
| G35 | 地方政府 | , 22 | 専門家 |
| G5 | 会計検査官庁 | , 24 | 協力隊 |
| G6 | 実施公社公団 | 30, 40 | 呼寄せ訓練 |
| G7 | 運営会社(民間) | , 42 | 個別訓練 |
| G8 | 民間の建設製造会社 | , 44 | 集合訓練 |
| G8B | コンサルタント会社 | 30, 60 | 器材提供 |
| G9 | その他 | 30, 70 | 情報提供 |
| | | 50 | 商品援助 |

目録の区分は、国名—地方名—固有名の順に記載した表示によって行う。目録カードは基本カードの最上段に上記の表示を記入し、これによってカードを配列する。

仕切りカードは、対象資料の数に応じて、国名だけ、地方名まで、特殊な場合（ある土地に関する資料が多い場合）には固有名まで、作製する。

例：マルジフ国 MV
 インドネシア国 Jawa 島 IN-Jawa
 インドネシア国 Sumatera 島 Toba 湖
 IN-Sumatera -Toba

4.3.4 インデクシング

a. 主題 資料の表題は通常そのまま基本カードに転記し、極めて不完全のときのみ [] で括って補記する。分類に当っては表題に捕われず、資料の内容に即して行う。このためには内容の主題を把握し、それが複合した複雑なものであるときには、主題分析を行い、要素に分解し、各要素に対応した分類標数を決定し、これを並列に列記する。

ただし資料表題によく見られる「調査」、「開発」、「工事」等は主題の表現からは脱して、協力業務の区分（Pコード）によって現わす。（表4.3 参照）

b. その他 機関については4.3.3a に述べた通り、土地別については4.3.3b に述べた通りである。ただ土地については、どこまで詳しく記載すべきかは決定し難い場合には、次の基準による。目録中に現在所蔵されている資料数が、最も詳しい細分項目のもとで、概ね20を越えたなら、一段下の細分を考えることとする。

4.3.5 検索の手順

a. 主題による検索 これには検索しようとする主題を、利用者が分類表とその五十音（あるいはアルファベット）順索引を使って、分類標数に対応させなければならない。即ち資料を求めようとする主題を、分類表を構成している概念群による表現に翻訳する。これは使用者が自ら、または必要に応じて資料担当の係員の援助を受けつつ、行わなければならない。

このためには分類法の体系を一応理解していなければならない。その理解を助けるために五十音索引があるので、（頭の中の概念）→用語→五十音索引→標数、という順序で標数を求められるが、このあと直ちに分類表の本表の該当標数と、その前後にある諸標数を見て、そこで用語により表現してある内容が、自分が頭の中で考えていた内容と一致するかを検査することが必要である。もし不幸にして一致しない場合には、自分の使った用語が不適切なのだから、適切な（ということは分類表における表現の流儀に合った）用語を見付け出す工夫をしなければならない。

このことは逆に、分類法とその索引の作成に当って、できるだけ利用者の気持ちをくんだ（user-friendlyな）構成をとらなければならないことを意味する。

従って分類表は新しく作るにせよ、既成のものを使うにせよ、利用者グループ（即ち事業団の職員等）の常識、考え方に合致させる諸工夫が必要であることになる。

検索はいろいろな事項を出発点として行えるようであればならない。このため本案では複数の目録を用意してあり、その使い方は図4.3に示してある。

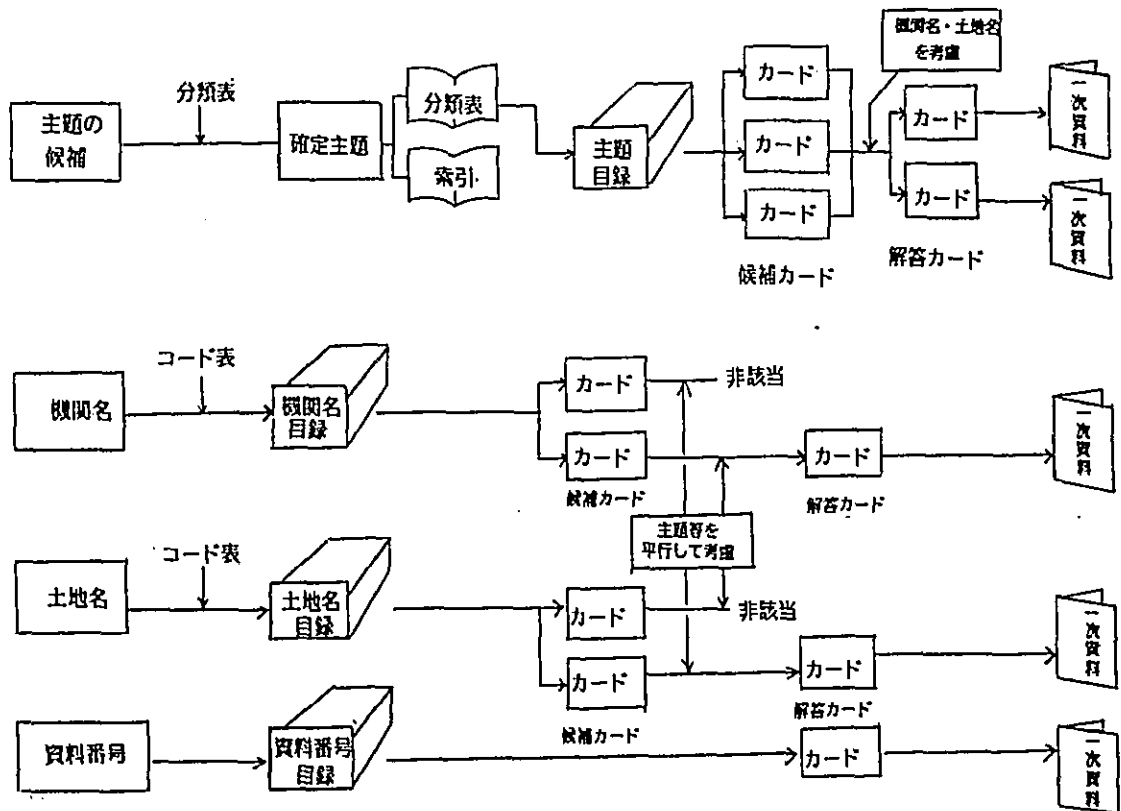


図4.3

5. システム第2案

5.1 システムの全体像

第2案は、二次資料の内容すべて（資料表題を補強したものと機関の記述とから成る）を磁気テープに格納し、これをコンピュータ処理して、各種の目録を作成・印字し、これを適度に縮尺して冊子体の目録にする。利用者はこれを必要に応じ参照して該当資料を見出し、その資料番号によって一次資料を取り出す。

特長は目録の更新を頻繁に行い（月に1～2回程度）、打出した目録は手軽に使える冊子体のものとなり、複製が何部でもできるから、必要な部署にはどこでも（海外の事務所にも）配布できる点にある。利用者は検索後一次資料を情報センター（またはその支所に）請求して受取る。

5.2 一次資料

対象一次資料の量は第1案の場合に同じである。

一次資料を事業団内で作成する場合は、すべてワープロで行うことにする。従って全テキストはフロッピーディスクに収容されている。このほか資料内の図版は、下絵から作った原図があり、その静電複写を利用するか、またはファクスで電気信号に変えたものを磁気テープで保管できる。

従ってオフセット複製をする場合には、ワープロ打出しテキストに、上記テープから再生した原図を添えれば、ただちに版下となる。

資料刊行部数は比較的少量に止め、固定配布先に主として配布する。ユーザーの要求によって、発行後必要のつどコピーを作って引渡す。この方法によれば余分の資料を何年間も予備として保存する必要がなくなる。この保存は資料の点数が多いときには存外に床面積を食うものなので、この方法により床面積の節約ができる。しかし要求の出るたびに複写することは人手がかかり従って人件費の増大になる。ただしこれは事業団職員の手で行う必要性はないので、物件費で賄える。

複写の手間は、原本保管所から複写機まで現資料を選別・運搬する手間が大部分であるから、この方法を取るときは複写用の原本を図書室・資料室から運ぶ必要がないよう、複写システムの中に別に原本保管を行う設備を設けなければならない。また複写機も、裏表の2ページが同時に複写できるものを用意する（既成品あり）必要がある。

5.3 二次資料（目録）

磁気テープに記録した二次資料マスタ・テープがあれば、所定の目録をこれから打出すことは、プログラムさえあれば問題はない。

5.3.1 目録の種類

目録については、以下のものを揃える。

A 事項別KWIC索引

これは各資料の主題を表わす用語から資料番号等を引き出すもの

B 機関別索引

これは2部に分れ、第1部は相手方機関名索引、第2部は我方機関名索引である。どちらにも次の順序で配列した項目から成る：

国名コード—機関種別コード—機関名称（長い場合は縮める）—資料番号（コードは4，3，3の実例参照）

C 地域名別索引

以下の順序で配列した項目から成る：

国名コード—地域名称—固有名称—資料番号
（コードは付録Aの実例参照）

D 資料元帳（同時に資料番号索引となる）

以下の順序で配列した項目から成る：

資料番号—資料名称—相手方機関名—我方機関名—年代

なおAはKWIC索引、他は通常の型（即ちKWOC索引）の形をとる。

5.3.2 主題によるKWIC索引

KWIC索引の特長は、

- 1 事項の内容をしめす短いテキスト（ここでは資料の表題に若干の用語を追加したもの、これは補強した表題とよぶ）を入力するだけで、
- 2 テキスト内の主要用語を中心とした短いフレーズが必要なだけの個数打ち出され、
- 3 ABC順または五十音順に配列することができ、
- 4 短いフレーズ全体を編成して一つの索引を作りあげることにある。

図5-1(a)，(b)の実例参照

図のaは英語の場合、bは日本語の例である。ただし漢字かなまじり日本語の場合には、ワードの境目を指定してから入力するか、目録の見出し（KWIC索引では中央の部分にくる）を指定する方が簡単にすむ。さもないと、プログラムが複雑になる。

図5-1(b)の日本語KWIC索引は、以下の4資料名称から作り出したものである。ここで表題中／の後にくる部分が補強部分である。また表題の終りは点（.）で示してある。

アルゼンチン・チキータ湖発電第4次計画予備調査／水力発電。

ポリビア・タリハ地域錫鉱床賦存状況／アメリカKM社実施。

ジャワ島チレボン港湾開発計画の経済価値調査／運輸。

ジャワ島マイクロ波通信網第3次計画に関するフランス側の計画概要。

| CONTEXT | KEY WORD | CONTEXT | DOCUMENT NUMBER |
|--------------------------------------|--|---------|-----------------|
| OTHERS THE ... | ABANDONMENT | | 3664 |
| OFFICE, THE SUBJECT OF SUCH PROPOSED | ABANDONMENT, WFLA | | 3224 |
| HAVE BEEN VOTED IN FAVOR OF SUCH AN | ABANDONMENT SHALL BE SUCH ... | | 4576 |
| S OF TURNPIKE ROAD OR HIGHWAY, SUCH | ABANDONMENT OF ANY SUCH PORTION OR PORTIONS | | 4685 |
| VISIONS OF THIS ACT., AND AFTER SUCH | ABANDONMENT SHALL THEREBY BE COMPLETED AND A | | 4685 |
| SUCCESSING WHEREIN THE FACTS OF SUCH | ABANDONMENT SUCH TURNPIKE ROAD OR HIGHWAY CE | | 4685 |
| ASE OF THE DESTRUCTION, VACATION OR | ABANDONMENT OF ROAD OR CANAL BY NON-USE AND | | 4685 |
| ASE OF THE DESTRUCTION, VACATION OR | ABANDONMENT MAY BE MATERIAL, AND SHALL BE CO | | 4685 |
| OPERATION OR PURCHASE., TRANSFER OR | ABANDONMENT OF ANY SUCH BUILDING WITHIN THE | | 4685 |
| ING A PETITION FOR RELINQUISHMENT OR | ABANDONMENT | | 5055 |
| 4727. NEGLECT TO MAINTAIN CHILD., | ABANDONMENT .. | | 5055 |
| SUPPORT OF SUCH CHILD. PART OF THE | ABANDONMENT | | 5588 |
| OF ALL TITLE, CORPORATE SEC. 320.432 | ABANDONMENT OF SUCH CHILD IN DESTITUTE CIRCU | | 6162 |
| WITH REGARD TO THE FOLLOWING. 1/1 | ABANDONMENT OF PROPERTY | | 7023 |
| MINISTRATION OF A TRUST SEC. 1-708. | ABANDONMENT OF PROPERTY, AS IN SECTION 922. | | 7745 |
| MINISTRATION OF A TRUST SEC. 1-410. | ABANDONMENT OF PROPERTY | | 8345 |
| ON OF A TRUST SEC. 666. RELOCATION, | ABANDONMENT OF PROJECT | | 8345 |
| ROUTES. AGREEMENTS MAY PROVIDE FOR | ABANDONMENT AND VACATION OF ROADS, STREETS, | | 9196 |
| 4 SEC. 670-210. RELOCATION, ETC., | ABANDONMENT OF EXISTING ROADS, STREETS, BRID | | 9244 |
| 670-210. RELOCATION SEC. 670-609. | ABANDONMENT AS STATE HIGHWAY., VACATION | | 10348 |
| OR FEDERAL RESETTLEMENT PROJECT FOR | ABANDONMENT OF STATE HIGHWAYS IN STATE PARKS | | 12664 |
| FIRST SUBMIT SUCH PROPOSED ORDER OF | ABANDONMENT OF SUCH PORTION OF STATE HIGHWAY | | 13176 |
| | ABANDONMENT TO THE GOVERNOR, AND THAT THE SA | | 13193 |

図5. 1 (a)

| | | | |
|-----------|-------|------------|---|
| ウ | 運輸 | ジャワ島チレボン新 | 3 |
| の経済価値調査／ | ケ | | |
| するフランス側の | 計画概要 | ジャワ島マイク | 4 |
| 新港湾開発計画の | 経済価値 | 調査／運輸. ジャ | 3 |
| | コ | | |
| ア・タリハ地域錫 | 鉱床 | 賦存状況／アメリ | 2 |
| ジャワ島チレボン | 港湾開発 | 計画の経済価値調 | 3 |
| | ス | | |
| 次計画予備調査／ | 水力発電 | アルゼンチン・ | 1 |
| ピア・タリハ地域 | 錫鉱床 | 賦存状況調査／アメ | 2 |
| | タ | | |
| マイクロ波通信網 | 第3次計画 | に関するフラン | 4 |
| ・チキータ湖発電 | 第4次計画 | 予備調査／水力 | 1 |
| | ツ | | |
| ジャワ島マイクロ波 | 通信網 | 第3次計画に関する | 4 |
| | フ | | |
| 3次計画に関する | フランス側 | の計画概要. ジ | 4 |
| | マ | | |
| 画概要. ジャワ島 | マイクロ波 | 通信網第3次計 | 4 |
| | ハ | | |
| チン・チキータ湖 | 発電 | 第4次計画予備調査／ | 1 |

図5. 1 (b) KWIC索引の一例

5. 3. 3 その他の索引

上記のB、C、Dの3種の索引はありきたりの形態のもので特に詳細な説明はいるまい。なおこの中で使われるコードについて簡単に説明しておく（第1案における対応するコードと実質的に同じである）。

国名コード

ISO3166 Codes for the representation of names of countries に規定されるもののうち、2文字コードをここでは使う。

例えば日本はJP、米国はUS、オーストラリアはAU、オーストリアはATである。これは5年毎に見直しがあり、世界的に使われている。

機関種別コード

これはここで独自にきめるコードで以下には1桁の場合を示すが、希望があれば2桁にまでしてもよい。しかし余り複雑にすることは望ましくない。すべてのコードの頭には便宜上Gを付ける。（便宜上Gコードとよぶ。表4.3参照）

相手側機関は、このコードの前に国名コードがくるし、Gコードの後には当該機関の略名をおく。

我方機関は、国名コードJPがくるので区別でき、省庁、公団名、会社名等には統一した略名を用いる。なお国際協力事業団についてはGコード抜きでJP-JICAとすれば十分であろう。

例 IN-G2-Bapenas (インドネシア、バペナス)
JP-G3-Nors (農水省)
US-G8-Bechtel
NL-G8-Philips

地域名、固有地名

これについてはコードは設けない。名称そのものをアルファベットで書く。資料表題にカナ書きで出ていてもこれはアルファベットに直す必要がある。

問題は中国の地名であるが、索引においてはアルファベット（中国式綴り Pin·ying）で書かないと、コンピュータ処理が複雑になる。

例 広州→Guangzhou

地名等による索引は以下の形になる。

仮想的な国 Xylonia (コードXY) の場合を示す。

XY (Xylonia) ZDも参照

Akemeiros

資料表題1

資料番号

資料表題2

資料番号

Bananghei

資料表題3

資料番号

Dahanei

資料表題4

資料番号

5.3.4 インデクシング

- a. 主題 資料の表題を吟味し、特定内容を表現する力が不足（すなわち漠とした表題）のときは、表題のあとに記号（例えば/）をおき、その後に適切な用語を追加列挙する。用語と用語の間にはコンマ（,）をおく。この用語は文章形式にする必要はない。

例 タイ国の経済事情（実は流通業を主体にして書いてある）この場合には「タイ国の経済事情/流通業, 食品, 雑貨」とする。

- b. 機関 関連機関は相手側機関と我方機関と両方記述することが大切である。しかし特定しえない場合にはその一方を除くことができる。

5.3.3に述べたようなコード、略名を使って記載する。

以下に例を示す。

1) インドネシアのペルムテルとJICAとの関係については、次のようになる IN-G6-Perumtel

JP-JICA

2) カナダのIRDCが発行したパンフレットを問題にしている場合には、我方はこれとって特定できないから

CA-G6-IRDC（相手側）

（我方は欠）

- c. 地名関係 前節に述べた通り。

二、三の注意を添える。

1) 表題等に現われた地名についてはその正確さをチェックすること。地名表記が2通りある国もある。

2) 国名の次にくる「地域名称」は、一国をおよそ10個以内程度に分けた広域地方名のことである。これが正確に判らないときは省いてもよい。

例えばインドネシアなら、スマトラ、ジャワ、スラウエシという大きな島の名称にあたる。

3) 地名関係は相手国についてのみ適用する。日本については不要である。

5.3.5 検索方法

主題による検索はK W I C索引の目視サーチによって行う。普通1件1～2分で完了する。もし想定する用語に対して答えが見当たらない場合には、適切な他の用語を考え出して再びサーチを行う。この場合適切な用語を思い浮べることは、一見簡単そうであるが、そう容易ではない。この時役に立つのはサーチ用見出し語リストである。これは一種のシソーラスであり、図書館学でいう件名標目表もこれに近い動きをする。ただ多くの場合、シソーラスはインデクシングの段階で使うが、本案では余り必要ではない。資料の表題にある語はそのまま使うからである。

ただし表題が不完全で補強を要する場合に、補強する語(用語)は標準用語を使う方が有利である。従ってこのためシソーラスは上記のサーチ用シソーラスを転用すればよい。サーチ用シソーラスは、インデクシング用シソーラスにくらべ、非標準語を多く含んでいる必要がある。

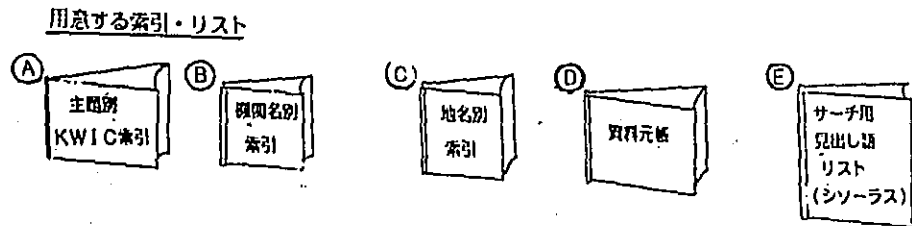
K W I C索引は、誰でも使えるが、検索する人の技能・熟練度に依存するところが多い。組合せ検索をこの方法で行うことは困難である。

機関名、地名によりサーチを行うには、上記の索引(B)及び(C)を使う。機関名だけで引くと、ある場合にはかなりの数の該当資料が出てくる。このような資料の資料番号はまず紙にでも控えておき、次にこの番号により資料元帳(D)を繰って資料の補強表題を読み取り、いちいち該当非該当を判定する。これにより指定する機関に関係し、所要の主題に該当するものが検出できる。

ただこの方法は手間がかかり、恐らく(該当資料の数によるが)1件当り5分程度の時間がかかると予想される。

地名(C)を先に検索する場合は、地名の性格によると思われるが、平均すれば機関名による検索と似た結果になろう。なお国名コードだけによる検索は、国によっては極めて多数の該当資料が出てくるので、有効ではない。

各種の検索の場合の操作手順を図5.2に示す。



サーチの手順

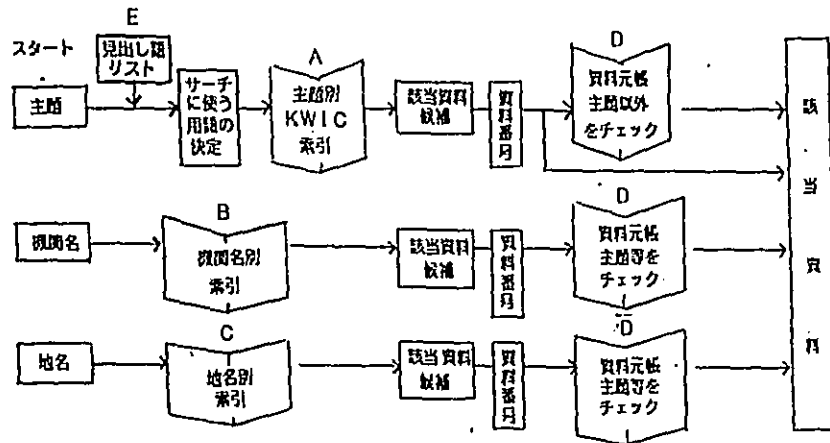


図5. 2

6. システム第3案

6. 1 システムの全体像

この案はコンピュータを十分に利用した案で、事業団構内・構外を問わず、どこかにある大型コンピュータをオンラインで利用し、現在の技術で常識化している機能を十分に持たせたものである。ただし実験的な段階にある手法を先走りして採用することは考えない、実用本位のシステムである。

コンピュータは構内既設のものをそのまますぐ使えるとは限らない。これはそのコンピュータのオペレーショナル・システム(OS)の如何によっては、ある種のプログラム・パッケージが使えたり、使えなかったりするからである。もちろんプログラム・パッケージを既存のハードウェアとOSとに合せて作れば問題ないが、これは新プログラム・パッケージの作成費を総て負担することになり、すすめられない。

従って既存のハードウェアとOSの組合せで、多くの場合適用できるようなプログラム・パッケージ(データベース・マネージメント・システムDBMSという)が既存のものを利用することが安全である。ただDBMSにも各種のものがあ、一長一短であるが、ここでは特定のDBMSを選択し推薦することはしない。まだその段階ではないからである。次に忘れてはならない、もう一つの新しい可能性として、次のことがある。これはここに考える目的に適切なDBMSを備えたハードウェアがあり、その能力をオンラインで借りることができるという点である。これは、あるシステムでは記憶容量の賃貸という形を取り、別なシステムでは、オーダーメイドのオンライン・サービスという形で存在する。この場合には初期投資がほとんどいらず、月づきの使用料だけですむことが大きな利点である。

極めて概略の数字で考えれば、自家用に最適のDBMSを作成すれば、千万円の桁の低

い方程度の投資が必要となり、出来合いのDMSを買い取りまたはリースで使えば、年間約300～400万円程度の支出がいる。

これ以外にオンライン・サービスの使用料、自己のファイルの入力のための金がかかる。その価格は極めて概略値として、前者が年間5百万円以上、後者に（当該年度発生資料を入力するとして）年間1千万以上がかかろう。以上の合計として結局年額2千万円は覚悟しなければならない。

一次資料は第1案、第2案におけるとほぼ同様な方法で運営できる。

6.2 一次資料

第1案、第2案におけるのと大差ないとしてよい。

第2案におけるように、資料本体がデジタル信号となり、磁気記憶の形を既にとっていることは、将来の一次資料のあり方として望ましいが、他方本案では一次資料をレーザーディスク等により、データベースに総て保管することはまだ考えていない。その理由はレーザーディスクは膨大な記憶容量を持つことは好ましいが、この内容を検索する場合、直接的に事項検索をするには、従来と同じく磁気ディスクパック利用によるシステムを併設する必要があると考えられるからである。この困難を切り抜ける方法はあり得るが、いまだに実用的な方法が確立されていないからである。

従って当面は一次情報は、印刷型資料、またはフロッピーディスクによる保存をしなければならない。そのためどちらの媒体を使うにせよ、一次資料サブシステムでは特に特記するほどの新規なことはない。

いずれにせよ、各資料の頭にはレポートシートを付けることにより、二次資料の作成を有利にしなければならない。

また一次資料から自動的にインデクシングを行い、キータームを自動的に引出すことも、本案では行わない。これも、そのような手法は、漢字書きテキストの場合、まだ確実な方法が確立していないためである。

マイクロフォーム、図面、地図等は通常資料とは別置する。これらの所在場所と事項別オンライン検索とを結ぶものは、上記の別置と関係してくる資料番号である。

6.3 二次資料

一次資料に添えるレポートシートから二次資料は作成できる。ただレポートシートに含まれないものは、事項別分類あるいはそれと一体の関係にあるキータームを確定することである。フリーキーワードを資料の著者に書き込んでもらうことは大いに役立つが、検索のキーとなる最終的なものは情報部門の担当者の手によって決定すべきである。

また資料番号は資料発行担当者が決定すべきものである。

シートの一部となる抄録は執筆者が作成するが、情報部門の手で必要な場合は訂正することが必要である。なぜならば、抄録はできる限り客観的な内容のものにすることが望

ましいとともに、抄録のテキストはフリーキーワードとして検索の際に利用することがある。これは、表題と抄録との間の相補性を確保するためである。

6.4 検索の方法とDBMS

データベース・マネージメント・システム(DBMS)は本システムの性能をきめる中心的部分となるので、できる限り利用実績があり、検索システムに関する事業団内ユーザーの要求を満すものでなければならない。

DBMSは各国のコンピュータ・メーカーが提供している場合もあれば、独立したソフトウェア・メーカーが提供するものもある。

もちろんDBMSをユーザーが自製し、あるいはユーザーの特殊仕様によって製作させることは、常に可能であるが、マンアワーを相当に要し、かなり高いものとなる。従って事業団の目的に合い、かつ利用しようとするコンピュータの機種とともに調和するものを選びださなければならない。この目的には、(社)日本ドキュメンテーション協会が行った、日本において利用可能な各種データベース・マネージメント・システムの比較研究の結果は大いに役立つ。

また忘れてならない条件の一つは、漢字データが扱えるものであること、である。

第二に望ましい特性は、オンラインでデータ入力あるいは訂正ができることである。従来は、バッチ作業でのみ可能となっていた。

第三にコマンドの選択であるが、昨今はコマンドも各DBMSでかなり共通化しており、そのベースの上で特異性のあるコマンドを追加している傾向が強い。

ここでは以下に基本コマンドと、その他のコマンドの例を挙げておく(表6.1)。

手続き

LOGIN 開始
LOGOUT 終了
QUIT 一次停止
検索

FIND 質問の表示 (FIND A)
LOOK Displayを要求 (FIND A AND B 等)
SCAN 二次検索における順次検索を命令
DISPLAY 資料内容を表示
BROWSE シソーラスの内容開示

大小関係

GT greater than
GE greater than or equal to
EQ equal to
NE not equal to
LE less than or equal to
LT less than
BT between inclusive
BX between exclusive

位置演算

SS 同一文中に存在
W 語間隔
ADJ 連続隣接
C 文字間隔

オンライン入力
(省略)

表6. 1

6. 5 検索の実施

本案の前2案と違うところは、検索の対象により、別々の目録を使うのではなく、ただ1種類のデータをコンピュータに与えるだけであるが、そのデータの中にある多くのアイテム（例えば、事項内容を表現するインデクス（キーターム）や、各資料の著者、資料番号、発行年月、機関名、土地名等のどれ）を使ってでも検索ができることである。

しかもデータの入出力は端末機のキーボードとディスプレイの画面だけを使って、自在に検索できる点にある。

以下、主要な検索項目を挙げる。

事項別検索 質問内容を表わすキータームを複数個ならべて一つの複合主題を表示し、検索に当っては、これらキータームの全数または一部のものを使って行う（すなわち事後組合せ法（post-coordinate 法）を利用する。これは大多数のコンピュータ検索に共通なことがらではあるが、本案においては、これら検索用キータームは分類表と一体になった形式（ROOTシソーラス類似のもの）をとることと、表題プラス抄録の部分についてはフリーターム検索を行って、前記のキータームによる検索を補強する考え方を取ることを特長としている。

その他の検索項目 事項別検索の他に直接検索（いわゆる一次検索）のできる項目として以下のものを選ぶ。

資料番号

機関名（相手側および我方とも）

土地名（これには国名が含まれる）

発行年月日

これらについては第1案、第2案におけるものと大差ない。これらはいずれも数学およびアルファベットによる入力（EBCDICコード）で行う。

入力方法 これに反し、上記の事項別検索用キータームは漢字で入力（しかし直接ではなく、ワープロにおけるようカナ漢字変換を介して）するか、カナ（ローマ字でもよい）入力だけを使うか、第三の可能性として、コードに変換し（EBCDICコードにより）数字で入力するかのいずれかをとる。この決定はユーザーの反応を十分に調査の後に行うべきである。どの方法をとるにせよハードウェアには変化はない。

7. 提案の検討と将来問題

7. 1 各案の比較

以上資料を中心としてセントラル・ファイリング・システム実現の3案を提案した。ここでこれら3案の比較検討を簡単に示そう。

第1案

新しい機械化の技術を使わずに、従来からの手法の延長でカード目録により

管理し、検索し、利用する方法である。

特長 資料の量が5万程度なら、機械化は必ずしも必要ではなく、カード目録でこなせる。

初期投資がほとんどいらない。

年経費は蓄積が進むに従って増加するが、購入する物の経費は5年目において百万円の程度にすぎない。ただし従事者は正味2人は必要なので、外注しても人件費400万円は必要であろう。

欠点 人力に依存するところが大きいので、もし将来取扱対象を拡張する考え方があるなら、今後5年以内に機械化を考慮する方がよい。

目録は設置場所でしか参照することができない。

第2案

コンピュータのオフライン使用を前提としており、この程度のマシンタイムならば既存の電算機室の能力強化を図らずとも業務をこなせる。

コンピュータにより作成した目録（縮写型）を広く事業団内に（海外でも）配布することが可能である。資料の利用は複写の提供で行うので複写の作業量がある程度増す。目録原稿作成、複写を合わせて3～4名の稼働で足りよう。目録作成費は配布部数によるが、百万円程度であろう。人件費（外注）は600～700万円程度となろう。

目録の種類を減らせば、目録作成費および稼働人数もへらせるが、上記の半分程度にへらしては、便利さが失なわれる。

第3案

現行のコンピュータによるオンライン検索システムを、冒険なしで利用する場合の案である。

本案は実施方法によって初期投資の大きくかかる方法と、ハードウェアの総てを外注に頼り（初期投資なしの）レンタル的運営方法と、いずれかを取ることとできる。コストの概略は第3案中に示してあるが、ごく簡単にいってコンピュータ関係をなるべく外注するとして、年間1～2千万円はかかると推定される。

この他にデータ作成（コンピュータ入力前の作業）に1～1.5人、端末機による運用に0.5人、計2名の稼働が必要となるので400万円程度の支出がある。

機械化は経費がかかるが、前2案では実施できないような、詳細かつ徹底した検索ができ、目に見えない業務の質の向上が生ずる。

7. 2 今後の対策

7. 2. 1 今後の拡張への配慮

このシステムは事業団内で発生する報告書、業務進行中に発生する資料（往復文書の類は考えない）の集中管理を取り上げたのであるが、本案のいずれかを実施し効果が認められれば、システムの取扱い対象が増加することが予想される。

従ってシステムを考える際には拡張の可能性を十分にもたせておかなければならない。またどんな機械化されたシステムを作り上げても、この種の資料、文書等は機械への入力前作業が著しく減少することはない。利便は大いに増すが、無人化システムは安易に想定しない方が賢い。

なおどんなに機械化したシステムでも、無限の記憶容量はないから、いたずらに蓄積することばかりを考えず、使われなくなった資料や情報は活用目的のシステムからはずし、圧縮した保存システムへ移すことを考えなければならない。そして最後には廃棄することになる。もし文書記録保存機能（archive）を考えると、これを本システムにに兼用させようとする考え方は止めて、別に文書館を設けるべきである。

7. 2. 2 地域的拡大への配慮

現在の諸案は、概ね1個所に情報部門があって、そこで総ての業務を行うという前提で進めてある。

ただし事業団も事務を行う場所が国内でも地理的に広がる予想もある。この点から考えると以下のようなコメントができる。

第1案は完全に1個所集中的な考え方であるが、二つのセンターを持つ程度なら、目録のコピーを備える程度の拡張は考えられる。ユーザーはこの二つのセンターに出向かなければ直接サービスを受けられない。ただファクシミリ網を内部に設ければ、この困難は避けられる。

第2案では目録作成業務は1個所に集中するが、目録自身は可搬にしてあるので、ユーザーにとっては何等問題はない。一次資料の（コピー）受取りは郵便、急ぐ場合にはファクシミリ利用を前提としている。

第3案は、利用はオンライン型であるので、回線で接続できる限りどこからでも利用ができる。ただ長文の一次資料までオンラインで送受することは経費の面で、いまだに得策ではない。むしろフロッピーディスクのような小形可搬の電子媒体を郵便等で送ることを考えるべきであろう。INS構想も国内での完成には、まだ10年以上かかるし、国際的にすべてが電氣的伝送できるのはまだ（本システムを考える期間では）将来の問題である。

8 付録

国名コード

下表の他に次のコードを使うことができる

UN United Nations
 OO International, Multinational

| | | | |
|--------------------------------|----|--|----|
| Afghanistan | AF | Central African Republic | CF |
| Albania | AL | Chad | TD |
| Algeria | DZ | Chile | CL |
| American Samoa | AS | China | CN |
| Andorra | AD | Christmas Island | CX |
| Angola | AO | Cocos (Keeling) Islands | CC |
| Antigua | AG | Colombia | CO |
| Argentina | AR | Comoro Islands | KM |
| Australia | AU | Congo | CG |
| Austria | AT | Cook Islands | CK |
| Bahamas | BS | Costa Rica | CR |
| Bahrain | BH | Cuba | CU |
| Bangladesh | BD | Cyprus | CY |
| Barbados | BB | Czechoslovakia | CS |
| Belgium | BE | | |
| Belize | BZ | Dahomy | DY |
| Benin | DY | Denmark | DK |
| Bermuda | BM | Dominica | DM |
| Bhutan | BT | Dominican Republic | DO |
| Bolivia | BO | Dronning Maud Land | NQ |
| Botswana | BW | | |
| Bouvet Island | BV | Ecuador | EC |
| Brazil | BR | Egypt | EG |
| British Antarctic Territory | BQ | El Salvador | SV |
| British Indian Ocean Territory | IO | Equatorial Guinea | GQ |
| British Solomon Islands | SB | Ethiopia | ET |
| British Virgin Islands | VG | | |
| Brunei | BN | Faeroe Islands | FO |
| Bulgaria | BG | Falkland Islands (Malvinas) | FK |
| Burma | BU | Fiji | FJ |
| Burundi | BI | Finland | FI |
| Byelorussian SSR | BY | France | FR |
| | | French Afars and Issas | AI |
| Cameroon | CM | French Guiana | GF |
| Canada | CA | French Polynesia | PF |
| Canton & Enderbury Islands | CT | French Southern and Antarctic Territories | FQ |
| Cape Verde Islands | CV | | |
| Cayman Islands | KY | | |

| | | | |
|------------------------------|----|-----------------------------------|----|
| Gabon | GA | Mali | ML |
| Gambia | GM | Malta | MT |
| German Democratic Republic | DD | Martinique | MQ |
| Germany, Federal Republic of | DE | Mauritania | MR |
| Ghana | GH | Mauritius | MU |
| Gibraltar | GI | Mexico | MX |
| Gilbert & Ellice Islands | GE | Midway Islands | MI |
| Greece | GR | Monaco | MC |
| Greenland | GL | Mongolia | MN |
| Grenada | GD | Montserrat | MS |
| Guadeloupe | GP | Morocco | MA |
| Guam | GU | Mozambique | MZ |
| Guatemala | GT | | |
| Guinea | GN | Namibia | NA |
| Guinea-Bissau | GW | Nauru | NR |
| Guyana | GY | Nepal | NP |
| | | Netherlands | NL |
| Haiti | HT | Netherlands Antilles | AN |
| Heard & McDonald Islands | HM | Neutral Zone | NT |
| Honduras | HN | New Caledonia | NC |
| Hong-Kong | HK | New Hebrides | NH |
| Hungary | HU | New Zealand | NZ |
| | | Nicaragua | NI |
| Iceland | IS | Niger | NE |
| India | IN | Nigeria | NG |
| Indonesia | ID | Niue Island | NU |
| Iran | IR | Norfolk Island | NF |
| Iraq | IQ | Norway | NO |
| Ireland | IE | | |
| Israel | IL | Oman | OM |
| Italy | IT | | |
| Ivory Coast | CI | Pacific Islands (Trust Territory) | PC |
| | | Pakistan | PK |
| Jamaica | JM | Panama | PA |
| Japan | JP | Panama Canal Zone | PZ |
| Johnston Island | JT | Papua New Guinea | PG |
| Jordan | JO | Paraguay | PY |
| | | Peru | PE |
| Kenya | KE | Philippines | PH |
| Khmer Republic | KH | Pitcairn Islands | PN |
| Korea, Democratic People's | | Poland | PL |
| Republic of | KP | Portugal | PT |
| Korea, Republic of | KR | Portuguese Timor | TP |
| Kuwait | KW | Puerto Rico | PR |
| | | | |
| Laos | LA | Qatar | QA |
| Lebanon | LB | | |
| Lesotho | LS | Reunion | RE |
| Liberia | LR | Rhodesia (Southern Rhodesia) | RH |
| Libya | LY | Romania | RO |
| Liechtenstein | LI | Rwanda | RW |
| Luxembourg | LU | | |
| | | St. Helena | SH |
| Macao | MO | St. Kitts-Nevis-Anguilla | KN |
| Madagascar | MG | St. Lucia | LC |
| Malawi | MW | St. Pierre & Miquelon | PM |
| Malaysia | MY | St. Vincent | VC |
| Maldives | MV | San Marino | SM |
| | | Sao Tome & Principe | ST |
| | | Saudi Arabia | SA |

| | |
|--|----|
| Senegal | SN |
| Seychelles | SC |
| Sierra Leone | SL |
| Sikkim | SK |
| Singapore | SG |
| Somalia | SO |
| South Africa | ZA |
| Spain | ES |
| Spanish Sahara | EH |
| Sri Lanka | LK |
| Sudan | SD |
| Surinam | SR |
| Svalbard & Jan Mayen Islands | SJ |
| Swaziland | SZ |
| Sweden | SE |
| Switzerland | CH |
| Syria | SY |
| | |
| Taiwan, Province of | TW |
| Tanzania | TZ |
| Thailand | TH |
| Togo | TG |
| Tokelau Islands | TK |
| Tonga | TO |
| Trinidad & Tobago | TT |
| Tunisia | TN |
| Turkey | TR |
| Turks & Caicos Islands | TC |
| | |
| Uganda | UG |
| Ukrainian SSR | UA |
| Union of Soviet Socialist Republic (=Soviet Union) | SU |
| United Arab Emirates | AE |
| United Kingdom (of Gt. Britain & Northern Ireland) | GB |
| United States (of America) | US |
| United States Misc. Pacific Islands | PU |
| United States Virgin Islands | VI |
| Upper Volta | HV |
| Uruguay | UY |
| | |
| Vatican City State (Holy See) | VA |
| Venezuela | VE |
| Viet-Nam | VN |
| | |
| Wake Island | WK |
| Wallis & Futuna Islands | WF |
| Western Samoa | WS |
| | |
| Yemen (Arab Republic) | YE |
| Yemen (Democratic Rep. former Federation of South Arabia) | YD |
| Yugoslavia | YU |
| | |
| Zaire | ZR |
| Zambia | ZM |

